YAMAHA

Electone® STAGEA®

ELC-02
ELCU-M02

取扱説明書

※ELC-02の組み立て説明については巻末をご参照ください。

※この取扱説明書で説明している内容は、ELC-02です。ELCU-M02は、メインユニットのみです。イス、スタンド、スピーカー、ペダルユニットは付属しておりませんので、メインユニットの説明部分のみをご覧ください。

GENERAL MIDI2 XG XF GS STYLE FILE AEM™

v2.1 JA

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源アダプターについて

⚠ 警告



ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。
電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



電源アダプターは、室内専用のため屋外および水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。

⚠ 注意



製品は電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

楽器本体について

⚠ 警告

電源 / 電源アダプター

禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの(212ページ)を使用する。

異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行

電源コード/プラグは、必ず付属のエレクトーン専用のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

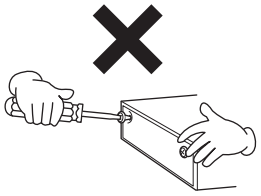
感電やショートのおそれがあります。

分解禁止

禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意

禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意

禁止

本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら

必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

・電源コード/プラグがいたんだ場合
・製品から異常なにおいや煙が出た場合
・製品の内部に異物が入った場合
・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源アダプター

禁止

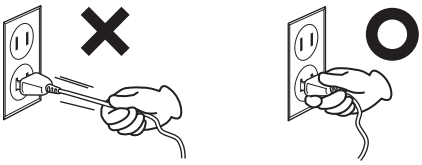
たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

組み立て

必ず実行

本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。

手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

設置

禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

禁止

本体を壁につけない。

換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。壁から3cm以上離してください。

必ず実行

この製品を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行なう。

この製品を 1 人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この製品が落下して破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続

必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。

必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い

禁止

本体のすき間に手や指を入れない。

お客様がけがをするおそれがあります。

禁止

パネルや鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



イス

禁止

不安定な場所に置かない。

イスが転倒して、お客様やほかの方々がけがをする原因になります。

禁止

イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

禁止

イスには二人以上ですわらない。

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

必ず実行

小さなお子様の後方への転倒に注意する。

背もたれがないため、後方へ転倒してけがをするおそれがあります。

注意

組み立て中に手をはさんだりしないよう、ご注意ください。

●データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)



銘板は、製品の底面にあります。

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。
- 手入れするときは、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどは、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- 本体に保存したレジストレーションなどのデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USBフラッシュメモリーに保存してください。データの保存方法に関しては、119ページをご覧ください。
- 保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切な自作データは予備のUSBフラッシュメモリーにバックアップとして保存されることをおすすめします。USBフラッシュメモリーについては、111ページをご覧ください。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- この製品には、XGフォーマット以外の音楽/サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータをこの楽器に最適化して動作させるため、オリジナルデータ(音楽/サウンドデータ)制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承のうえ、ご使用ください。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、iTunes、Mac、Macintosh、iPhone、iPad、iPod touch、Lightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- 「エレクトーン」「ELECTONE」「STAGEA」は、ヤマハ(株)が製造販売する電子オルガンであり、ヤマハ(株)の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- この取扱説明書で使用しているイラストは、バージョン2.1のELC-02です。
- このエレクトーンの画面に写真が表示されるPan Flute、Sitarは、浜松市楽器博物館の所蔵楽器です。

この製品は、JIS C 61000-3-2 に適合しています。

はじめに

このたびは、ヤマハエレクトーンSTAGEA ELC-02/ELCU-M02をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
この楽器は、長年にわたって培ってきたノウハウと最新の電子テクノロジーの粋を集めて完成されたエレクトーンです。ほとんどの機能は、直感的に操作できるタッチパネルで設定できます。
この楽器の、バラエティーあふれる機能のすべてを使って、演奏をお楽しみいただくために、ぜひこの取扱説明書をご活用いただきますようお願い申しあげます。
また、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願いします。

品番名記載について

この取扱説明書では、以降の記載でELS-02/ELS-02C/ELS-02XをELS-02シリーズ、ELS-01/ELS-01U/ELS-01C/ELS-01CU/ELS-01CH/ELS-01X/ELS-01XUをELS-01シリーズと記載します。

取扱説明書について

このエレクトーンには、以下の説明書が用意されています。

冊子マニュアル

取扱説明書(本書)
エレクトーンの機能や使い方を説明しています。

電子マニュアル(PDF)

MIDIリファレンス
MIDIデータフォーマットやMIDIインプリメンテーションチャートが掲載されています。

エレクトーンのお客様向け iPhone/iPad接続マニュアル
エレクトーンをiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。

上記マニュアルは、ヤマハダウンロードのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名(「ELC-02」など)を入力して「検索」をクリックします。

ヤマハダウンロード
http://download.yamaha.com/jp/

ELC-02の構成について(お確かめください)

- メインユニット
- スタンド(200ページ)*
- スピーカー (201ページ)*
- ペダルユニット(202ページ)*
- イス(205ページ)*

* ELCU-M02にはイス、スタンド、スピーカー、ペダルユニットは付属されていません。お手持ちのものをお使いください。

- 付属品
  - 取扱説明書(本書)
  - 取扱説明書(スピーカー用)
  - 保証書
  - ユーザー登録のご案内
    ユーザー登録の際に必要となるプロダクトIDが記載されています。
  - 譜面板
  - 譜面板取付台
  - 電源アダプター
  - 電源コード(エレクトーン用)

特長

スーパーアーティキュレーションボイスが搭載された多彩なボイス

36、39ページ

- ギターと指の摩擦音やサックスのブレス音、管楽器の演奏に欠かせない滑らかなレガートやビブラート、グリッサンドといったアコースティック楽器特有の奏法を、鍵盤のタッチや演奏にあわせて自然に表現してくれるスーパーアーティキュレーションボイスが搭載されています。
- ヤマハ最高峰のフルコンサートグランドピアノ「CFX」から最高の1台を選び、最新の技術でサンプリングしたピアノ音色やエレクトーンの演奏にはかかせないストリングスやオーケストラパーカッション、世界の民族楽器など高品質な音色が搭載されています。
- 本格的なオルガンフルート音色も搭載されています。鍵盤の持つ高い表現力とあわせて、表情豊かな音色を奏でることができます。

いつでも簡単に呼び出せる、洗練されたレジストレーションメニュー

21ページ

パネル上の5つのボタンに、即興演奏やレジスト制作で最初のセッティングとして使えるシンプルなレジストレーションが用意され、弾きたいと思ったときにいつでも簡単に呼び出せます。それぞれのレジストレーションはジャンル別に分類されており、初心者の方には選んだだけですぐに弾けるように、中～上級者の方には、レジストレーションメニューを出発点として、思いどおりに加工し、効率の良いレジストレーションづくりができるようになっています。

最先端のリズムパターンとアカンパニメント

57ページ

シンプルで使い勝手のよいリズムパターンや、さまざまな音楽シーンに手軽に対応できるアカンパニメントを豊富に用意しました。それぞれのパターンで、メイン、イントロ、エンディング、フィルインなど15種類のセクションを切り替えることで、感情やその場の雰囲気に合わせた演奏が可能になります。また、5パートに分かれたアカンパニメントを効果的に使って、思いどおりの演出ができます。

使いやすい編集機能

51、82、96、139ページ

- お気に入りの音色を1つの画面に集めて、いつでも呼び出しが可能なボイスリンク機能が搭載されています。
- 16個のレジストレーションボタンを1バンクとして、最大5バンク (=16×5=80個のレジストレーション)を本体メモリーに記憶させることができます。
- エディットしたボイスをユーザーボイスとして80個まで保存できます。また16カテゴリー、308タイプの多彩なエフェクトを、ボイスセクションごとに2種類ずつ設定できるので簡単にいろいろなボイスを作れます。
- キーボードパーカッションでは自由度の高い緻密な編集が可能で、個々の鍵盤に打楽器音を割り当てることによりオリジナルのドラムキットが作成できます。

オーディオ録音

133ページ

ご自分の演奏をオーディオファイル(.WAV)としてUSBフラッシュメモリーに録音することができます。一般的なCD音質(44.1kHz/16bit)のステレオWAV形式で保存され、コンピューターを使って携帯音楽プレーヤーなどに転送して再生できますので、知り合いとお互いの演奏データをやりとりするなど、さまざまな用途で楽しめます。

ダイレクトに操作できるタッチパネル、見やすい7インチ大型LCDディスプレイ

16ページ

タッチパネルの直感的な操作と、データコントロールダイアルのスピーディーでこまやかな操作で、効率の良い編集作業が可能です。

このエレクトーンは、下記のフォーマットや機能に対応しています。

「GM (General MIDI)」とは、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。
「GM2」とは、「GM」に対し同時発音数、音色数、音色パラメーター、エフェクトなどの機能を拡張して規定することにより、曲データのさらなる互換性を向上させることが可能な一定の基準です。「GM2」に準拠した音源やソングデータには、このGM2マークがついています。

「XG」とは、音色の配列に関する「GM」をより拡張し、時代と共に複雑化、高度化していくコンピューター周辺環境にも対応させ、豊かな表現力とデータの継続性を可能とした音源フォーマットです。「XG」では、音色の拡張方式やエディット方式、エフェクト構成やタイプなどを規定して、「GM」を大幅に拡張しました。XGマークのついた市販ソングデータを、XGマークのついた音源で再生することによって、無数の拡張ボイスやエフェクト機能までも含めた壮大な演奏を手軽に楽しむことができます。

SMF (スタンダードMIDIファイル)をより拡張し、歌詞表示などを可能にしたヤマハ独自のシーケンスフォーマットです。

「GS」とは、ローランド株式会社の音源フォーマットです。ヤマハのXGフォーマットと同様、GMの仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定しています。

「スタイルファイルフォーマット」とは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した伴奏スタイルに関するフォーマットです。

「AEM」とは、データベースの中から演奏に最適なサンプリングデータをリアルタイムで選び出し、それらを滑らかにつなげて発音させることで、自然なアコースティック楽器の音を再現するヤマハの音源技術の商標です。

- 本製品には株式会社リコーのBitmap Fontが使われています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
  "Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999 All Rights Reserved.

目次

安全上のご注意 2
はじめに 7
取扱説明書について 7
ELC-02の構成について(お確かめください) 7
特長 8

各部の名称 12

操作パネル 12
LCDディスプレイ/ディスプレイセレクト 14
全体図 14

1. 基本操作 15

演奏までの準備 15
画面の操作方法 16
画面のページを切り替える 16
ボタンを操作する 16
スライダーを調節する 17
画面に関する基本設定 18
画面に表示させる言語を選ぶ 18
タッチパネルの操作音を消す 18
画面の明るさを変える 18
音声ガイド 19
音声ガイドの設定を変える 19
ボイスディスプレイ 19
レジストレーションメニュー 21
レジストレーションを選ぶ 21
レジストレーションメニューリスト 22
バージョンを確認する 25
エレクトーンの初期化 25

2. ボイス(楽器音色) 26

各鍵盤で選べるボイス 26
ボイスボタンでボイスを選ぶ 27
ボイスリンクに登録する 27
音量を変える 28
ユーザーボタンでボイスを選ぶ 30
ボイスリスト 31
搭載されている音源について 39
AWM音源 39

3. オルガンフルート 40

4. コントロールとエフェクト 43

ボイスコンディション画面で設定するもの 44
パネル上のボタンで設定するもの 47
リバーブ 47
サステイン 49
ロータリースピーカー 50
ボイスリンクを活用する 51
ボイスコンディション画面の設定をボイスリンクに登録する 51
ボイスリンクに登録されたボイスを選択する 52
ボイスリンクに登録されたボイスを編集する 52
ボイスリンクからボイスを解除する 52
ボイス名を変えてボイスリンクに登録する 53
ボイスリンクに登録されたボイスを削除する 53
エフェクトリスト 55

5. リズム/キーボードパーカッション 57

リズムボタンでリズムを選ぶ 57
リズムを選ぶ 57
リズムを操作する 58
リズムの音量を変える 60
リズムのテンポを変える 60
リズムのリバーブを設定する 61
ユーザーボタンでリズムを選ぶ 61
リズムリスト 62
自動伴奏をつける：アカンパニメント 66
ベースパターンをつける：オートベースコード(A.B.C.) 67
メロディーにハーモニーをつける：
メロディーオンコード(M.O.C.) 68
鍵盤で打楽器を演奏する：キーボードパーカッション 69
プリセットキーボードパーカッションを使う 69
プリセットキーボードパーカッションリスト 71
ユーザーキーボードパーカッションを作る 82
キーボードパーカッションをコピーする 84
各打楽器の細かい設定をする 84
キットアサインリスト 86

6. レジストレーションメモリー 96

レジストレーションをナンバーボタンに記録する 96
別のバンクにレジストレーションを記録する 97
レジストレーションを呼び出す 97
記録したレジストレーションをUSBフラッシュメモリーに
保存する 98
レジストレーションメモリーの初期化 99
演奏中にレジストレーションを切り替える：
レジストレーションシフト 100
レジストシフト画面で設定する 100
ボイスディスプレイで確認する 102
パラメーターの一括変更 103
レジストレーションをコピーする 105

7. ミュージックデータレコーダー (MDR) 107

MDR機能に入る 107
MDR画面の操作 107
アイコン一覧 109
[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意 111
USBフラッシュメモリーの取り扱いについて 111
USBフラッシュメモリーを初期化(フォーマット)する 112
ソングを選ぶ 113
ソング検索 113
演奏を録音する 115
演奏を録音する 115
演奏をやり直す 115
パートごとに録音する 116
パンチイン録音 117
ソングに名前をつける 117
レジストレーションなどをユニットに保存する 119
1つのソングに複数のユニットを作る 119
レジストレーションデータを任意のユニットに上書き保存する 119

レジストレーションユニットの順番を変更する 120
レジストレーションなどのデータを読み込む 121
ソングを再生する 123
特定のパートだけを再生する 123
早送り/早戻し/一時停止 124
再生テンポを変更する 124
リピート再生する 125
譜面を表示する 126
譜面の表示内容や設定を変更する 126
その他の機能(ツール)を使う 127
ソングコピー 127
ソングの削除 130
XG変換機能 130
TO EL変換機能 131
FROM EL変換機能 132
ソング容量/USBフラッシュメモリーの残量の確認 132

8. オーディオ 133

演奏を録音する 133
オーディオファイルを再生する 135
早戻し/早送り/一時停止 136
音量、テンポ、ピッチの調節 137
リピート再生する 137
その他の機能(ツール)を使う 138
フォルダーの作成、ファイルの削除、名前の変更 138
ファイルのコピー 138

9. ボイスエディット 139

ボイスの構成 139
AWM音色の構成 139
ボイスをエディットする 139
エディットしたいボイスを選ぶ 139
AWM音色のエディット 141
エディットしたボイスを保存する 144
ボイスエディットを終了する 144
保存したボイスを呼び出す 144

10. リズムプログラム 145

リズムプログラムの概要 145
リズムパターンをつくる：リズムパターンプログラム 145
リズムパターンプログラムを始める 145
入力するリズムの基本設定をする 147
打楽器(リズム)を入力する－ステップ入力 150
入力した音符を編集/消去する 151
打楽器(リズム)を入力する－リアルタイム入力 154
アカンパニメントを選ぶ/つくる(ロワーリズミック機能) 155
コード1、コード2以外のアカンパニメントを変更する 157
ボリューム/パンを設定する 158
エフェクトをかける 158
各打楽器の細かい設定をする 159
リズムパターンを保存する 160
リズムパターンプログラムを終了する 161
保存したユーザーリズムを呼び出す 162
USBフラッシュメモリーからパターンを読み込む 162
キットリスト 163
リズムを自動で切り替える：リズムシーケンスプログラム 171
リズムシーケンスプログラムを始める 171
リズムシーケンスをプログラムする 172
リズムシーケンスを試聴する 172
入力したリズムシーケンスを編集する 173
レジストレーションシーケンスをつくる 173
入力したレジストレーションシーケンスを編集する 174
リズムシーケンスプログラムを終了する 175
リズムシーケンスを再生する 175
複数のシーケンスを順番に再生する 175
シーケンスをコピーする 176
リズムパターンやリズムシーケンスをUSBフラッシュメモリーに保存する 176

11. フットスイッチ/フットペダル(別売)/エクスプレッションペダル 177

フットスイッチ 177
リズムをコントロールする 178
グライドをコントロールする 178
ロータリースピーカーをコントロールする 179
譜めくりをコントロールする 179
効果音(アーティキュレーション)をコントロールする 179
フットペダル(別売) 179
サステインをコントロールする 179
メロディーオンコードをコントロールする 180
リードスライドをコントロールする 180
ソロ機能をコントロールする 180
エクスプレッションペダル 181
ピッチベンドをコントロールする 181
リズムテンポをコントロールする 182

12. トランスポーズ/ピッチ 183

13. 外部機器との接続 185

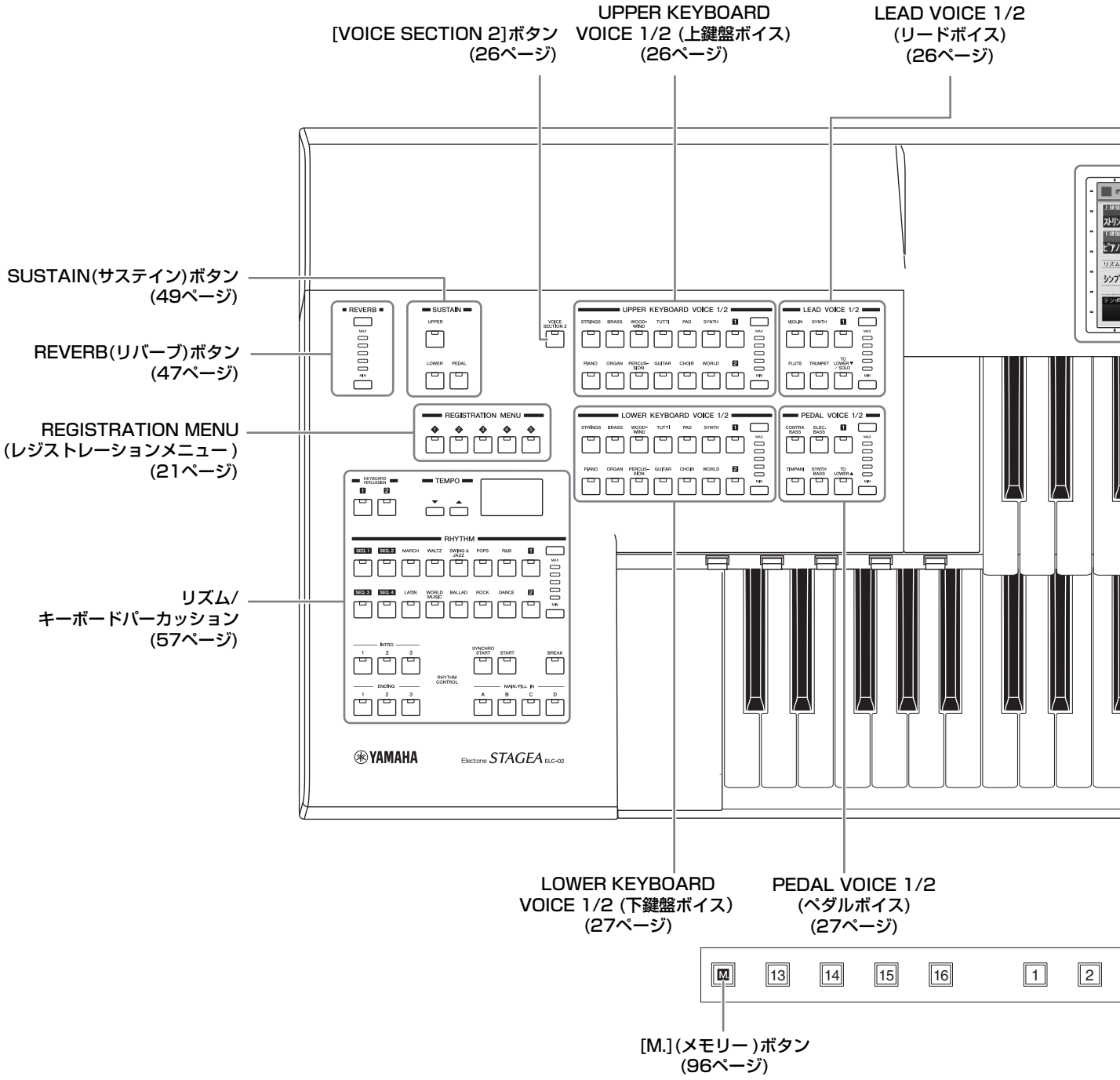
付属端子の名称と機能 185
外部機器との接続 187
スピーカーから音を出さずヘッドフォンで音を聞く 187
エレクトーンの音をスピーカーから出力する 187
ミキサーを使ったライブ演奏 187
エレクトーンの音の出力先をパート別に設定する 188
エレクトーンの音を外部録音機器に録音する 188
外部オーディオ機器の音をエレクトーンを通してスピーカーから流す 189
マイクをつないで使う 189
エレクトーンから外部MIDI音源を鳴らす 189
外部MIDI機器からエレクトーンをコントロールする 190
ペダル鍵盤との接続 190
フットペダルとの接続 190
コンピューターとの接続 191
MIDIコントロール 192
iPhone/iPadと接続する 193
無線LAN接続する 193
無線LANの詳細設定 197
無線LAN設定を初期化する 199
インターネット用語辞典 199

14. 付録 200

スタンドの組み立て 200
スピーカーの取り付け 201
ペダルユニットの取り付け 202
メインユニットの取り付けと接続方法 204
譜面板の取り付け 205
イスについて 205
困ったときは 207
仕様 211
エレクトーン用語辞典 213
索引 216
保証とアフターサービス 219

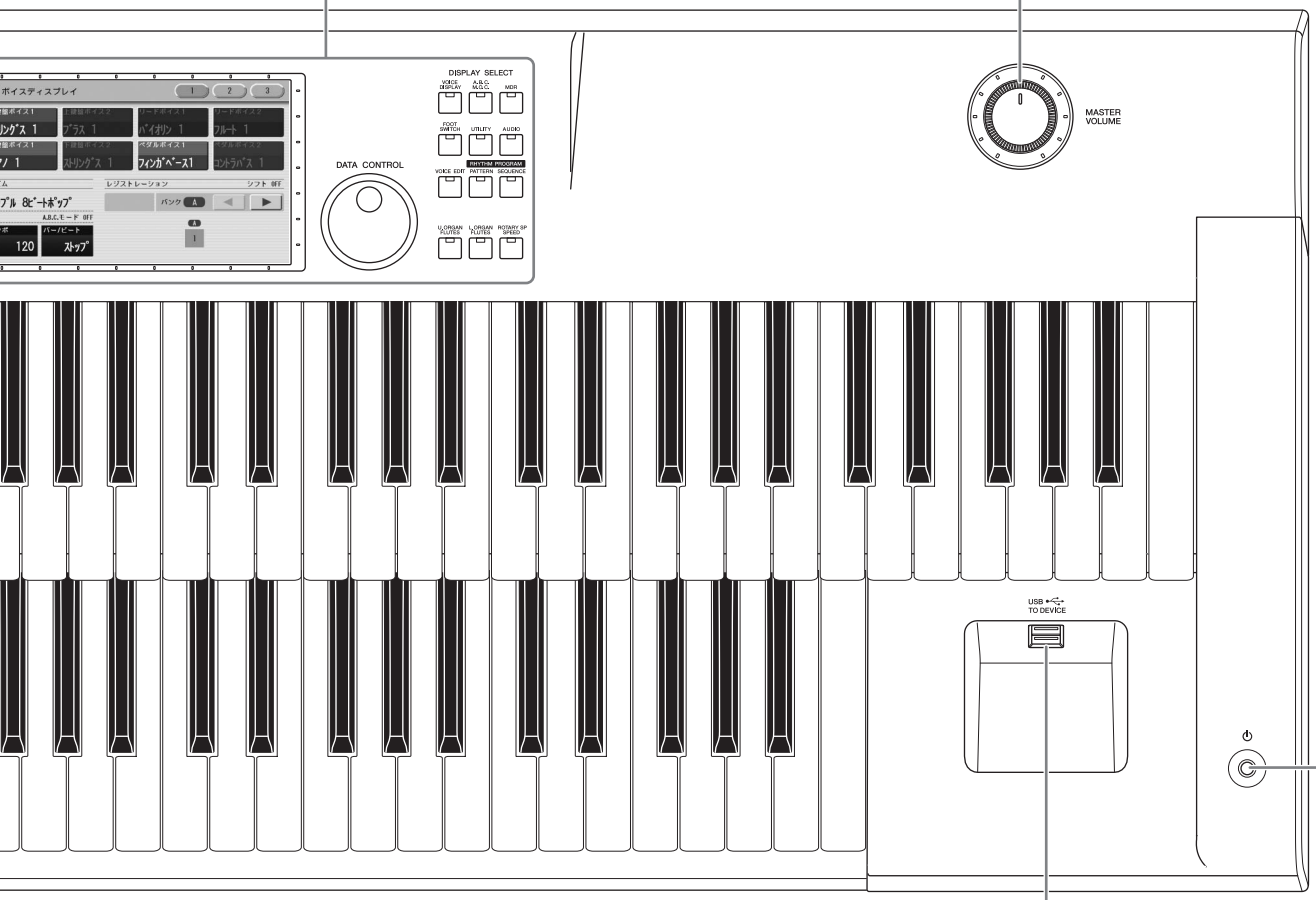
各部の名称

操作パネル


[VOICE SECTION 2]ボタン
(26ページ)
UPPER KEYBOARD
VOICE 1/2 (上鍵盤ボイス)
(26ページ)
LEAD VOICE 1/2
(リードボイス)
(26ページ)
SUSTAIN(サステイン)ボタン
(49ページ)
REVERB(リバーブ)ボタン
(47ページ)
REGISTRATION MENU
(レジストレーションメニュー)
(21ページ)
リズム/
キーボードパーカッション
(57ページ)
LOWER KEYBOARD
VOICE 1/2 (下鍵盤ボイス)
(27ページ)
PEDAL VOICE 1/2
(ペダルボイス)
(27ページ)
[M.](メモリー)ボタン
(96ページ)
REVERB
SUSTAIN
REGISTRATION MENU
TEMPO
RHYTHM
UPPER KEYBOARD VOICE 1/2
LEAD VOICE 1/2
LOWER KEYBOARD VOICE 1/2
PEDAL VOICE 1/2
YAMAHA
Electone STAGEA ELC-02
M
13
14
15
16
1
2

LCDディスプレイ/
DISPLAY SELECT (ディスプレイセレクト)
(14ページ)

MASTER VOLUME
(マスターボリューム)ダイアル
(15ページ)



[⏻]電源スイッチ
(15ページ)

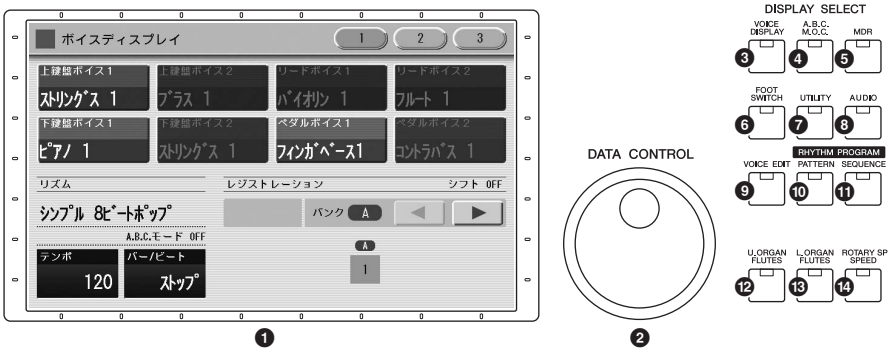
[USB TO DEVICE]端子
(111ページ)



レジストレーションメモリー
(96ページ)

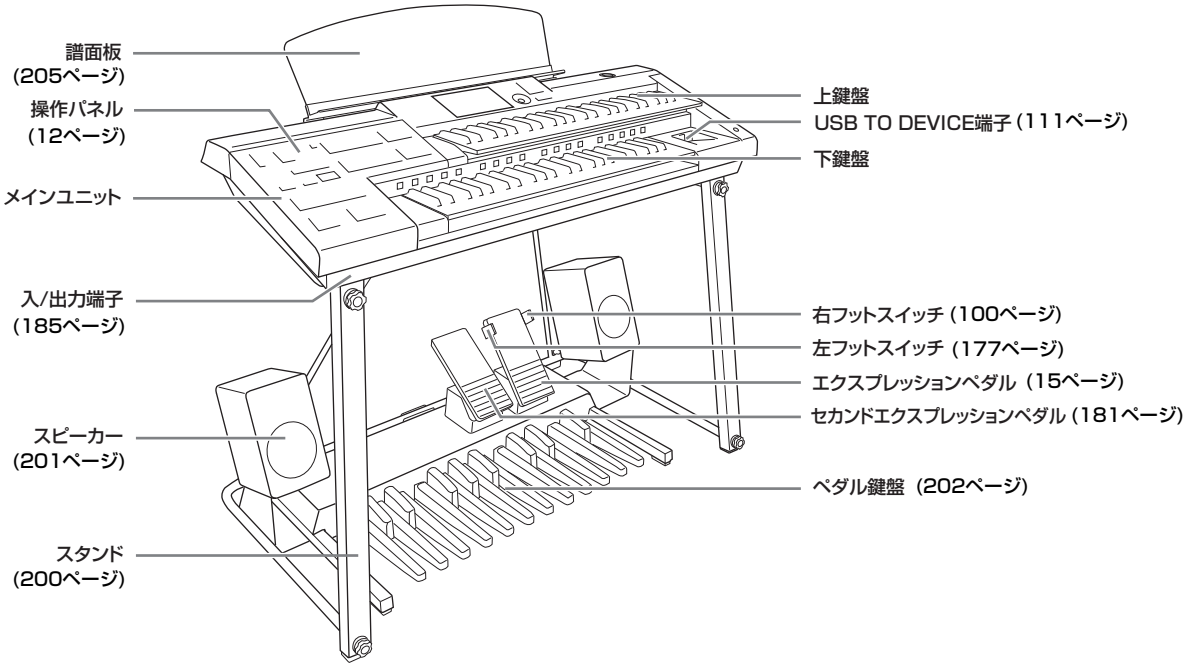
[D.](ディスエーブル)ボタン
(97ページ)

LCDディスプレイ/ディスプレイセレクト



❶ LCDディスプレイ(タッチパネル) 16ページ
❷ DATA CONTROL(データコントロール)ダイアル17ページ
❸ [VOICE DISPLAY](ボイスディスプレイ)ボタン 19ページ
❹ [A.B.C./M.O.C.]ボタン.....67、68ページ
❺ [MDR]ボタン..... 107ページ
❻ [FOOT SWITCH](フットスイッチ)ボタン 100、177ページ
❼ [UTILITY](ユーティリティー)ボタン
..... 18、181、183、192ページ
❽ [AUDIO](オーディオ)ボタン..... 133ページ
❾ [VOICE EDIT](ボイスエディット)ボタン.....140ページ
❿ [PATTERN]ボタン 145ページ
⓫ [SEQUENCE]ボタン..... 171ページ
⓬ [U. ORGAN FLUTES](上鍵盤のオルガンフルート)ボタン
.....40ページ
⓭ [L. ORGAN FLUTES](下鍵盤のオルガンフルート)ボタン
.....40ページ
⓮ [ROTARY SP SPEED](ロータリースピーカースピード)
ボタン.....50ページ

全体図



NOTE

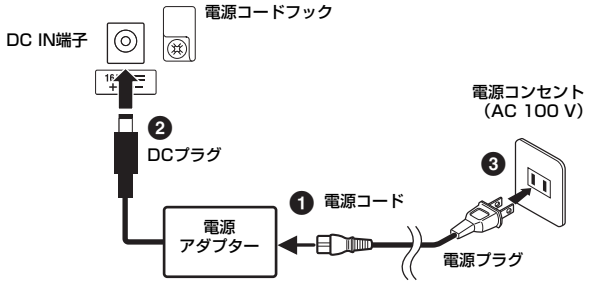
- スタンド、ペダルユニット、スピーカー、イスについては、200ページから206ページをご覧ください。
- ELCU-M02にはスタンド、ペダルユニット、スピーカー、イスは付属しておりません。お手持ちのものをご使用ください。

1 基本操作

ここでは、電源の入れ方や、画面の見方、エレクトーンの基本設定など、エレクトーンを使う上で必要となる基本事項について説明します。

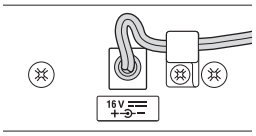
演奏までの準備

1 図の順序で電源アダプターを接続します。



電源コードフック

DC IN端子の横にあるフックに、電源アダプターのコードを図のようにセットします。コードをフックにはめてからDC IN端子に接続してください。誤ってコードを引っ掛けた場合に抜けにくくなります。



⚠ 警告

電源アダプターは、必ず指定のもの(212ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。

⚠ 警告

電源コード/プラグは、必ず付属のエレクトーン専用のものを使用してください。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。

⚠ 注意

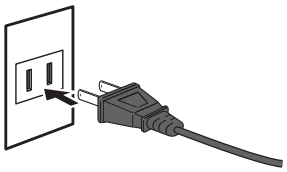
本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

2 スピーカー、ペダルユニットが正しく接続されているか確認します(204ページ)。

3 スピーカーの電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。



4 エレクトーンの[⏻]電源スイッチを押して、オンにします。

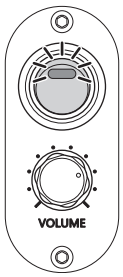


電源を切るときは、もう一度[⏻]電源スイッチを押します。

⚠ 注意

電源が切れた状態でも微電流が流れています。楽器を長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

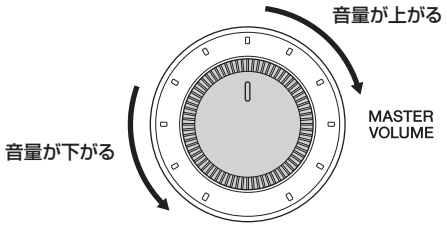
5 スピーカーの電源スイッチをオンにします。



電源をオンにするとパワーインジケーターが緑色に点灯します。

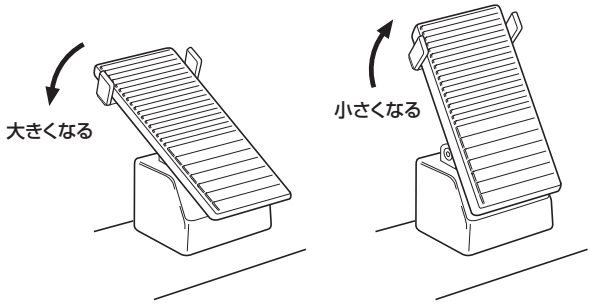
6 マスターボリュームを調節します。

MASTER VOLUME (マスターボリューム)ダイアルでは、エレクトーン全体の音量を調節します。



7 エクスプレッションペダルを右足で適度に踏み込みます。

エクスプレッションペダルでは、演奏中の音の強弱を調節します。



画面の操作方法

このエレクトーンの画面は、タッチパネルを搭載しています。画面上の設定/選択したい項目に、直接触って操作できます。ただし、2か所以上の点を同時に操作することはできません。
また、ボリュームやリバーブなどの量を変更したい場合には、画面の右にあるデータコントロールダイアル(14ページ)を使います。
ここでは、画面上での操作について、主なものを紹介します。

NOTE

タッチパネルが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。

注記

先のとがったものや、爪などの硬いもので、画面を操作しないでください。画面を傷つけるおそれがあります。

画面のページを切り替える

多くの画面では、画面の右上に数字などの書いてある楕円のボタンが表示されています。
このボタン表示を押すことで、ページを切り替えることができます。選択されたページボタンはオレンジ色に変わります。



ボタンを操作する

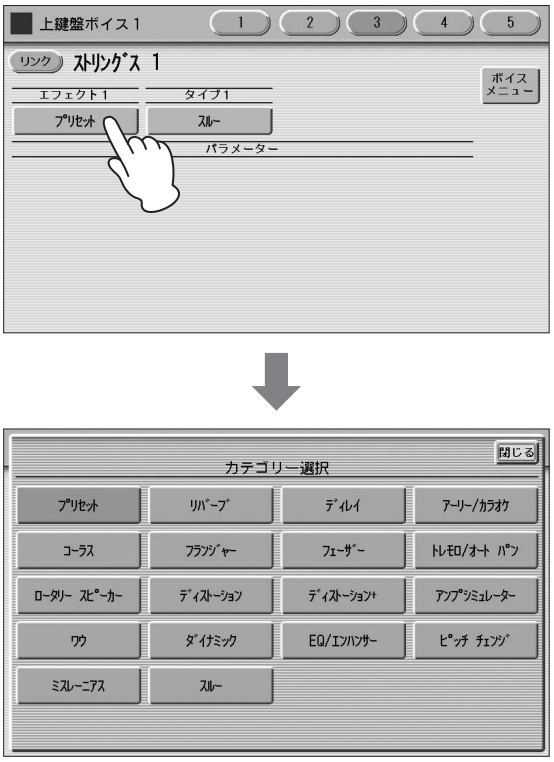
画面に表示されるボタンを直接押すと、押したボタンが選択できます。そのほかに、オン/オフを切り替えるタイプのボタン、リストを表示させるためのボタンがあります。

オン/オフを切り替えるボタン：



ボイスディスプレイの1ページ目で各ボイスセクションのミュートを設定したり、リズムの画面でアカンパニメントの各パートをオン/オフしたり、ボイスエディットの画面で各エレメントのミュートを設定したりする操作です。

リストを表示させるボタン：

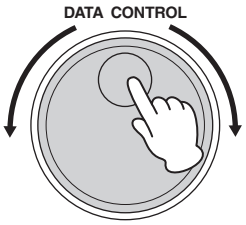


リストの中から目的のものを選ぶことができます。リスト内の項目を選ぶと、自動的にリストが閉じます。リスト右上の[閉じる]ボタンを押してリストを閉じることもできます。エフェクトタイプなどを選ぶときの操作です。

値を変更するボタン：

[▲][▼]ボタンを使って大まかに値を変更できます。また、データコントロールダイアルを回すと、値を一つずつ増減できます。ゲートタイムやピッチコントロールなど、値を変更する操作です。



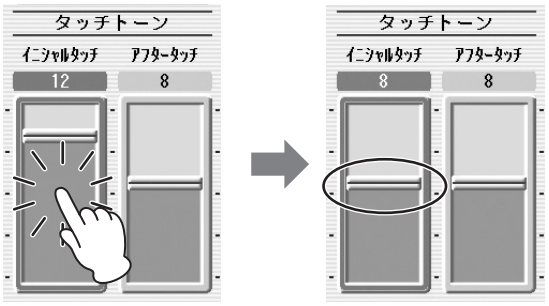


スライダーを調節する

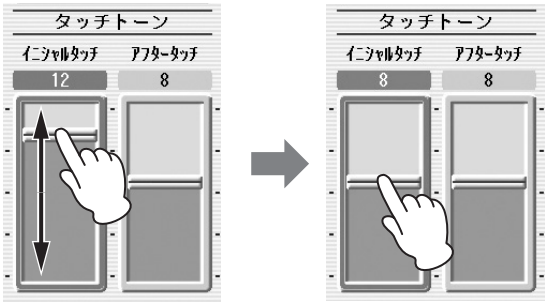
ボリュームやリバーブなどの量は、画面上にスライダーで表示されます。画面に表示されたスライダーを直接触って値を変更するやり方と、データコントロールダイアルで値を変更するやり方の2通りの操作法があります。大まかに値を変更したい場合には画面を触って変更し、細かく変更する場合にはデータコントロールダイアルを使うと便利です。

スライダーを直接触る方法：

値を変更したい枠内を触ると、触った位置にスライダーが動き、値が変更できます。また、スライダーのつまみ部分を指で触った状態で上下に動かすと、値が変更できます。



触った位置にスライダーが移動

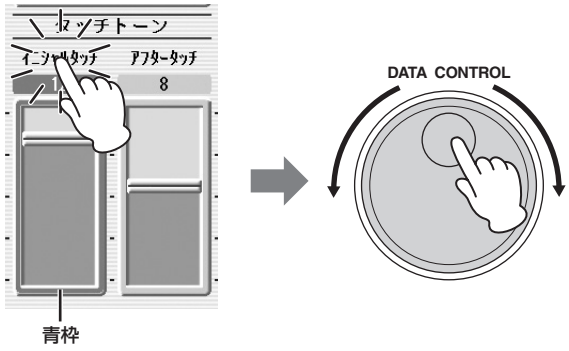


つまみ部分を指で触った状態で上下に動かす

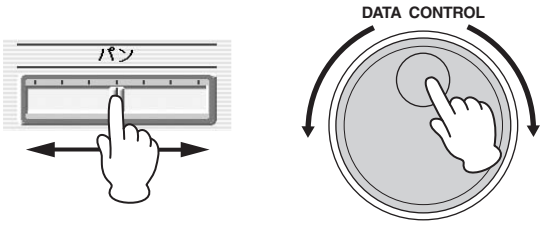
データコントロールダイアルを使う方法：

値を変更したいスライダーの上部(パラメーターの名前が書いてある部分)に触ると、そのスライダーに青枠が移動します。この状態でデータコントロールダイアルを回すと、値を一つずつ増減できます。

ここを触るとスライダーに青枠が移動



パンに関しては、横に動かすタイプのスライダーが表示されますが、操作方法は縦に動かすスライダーとまったく同じです。



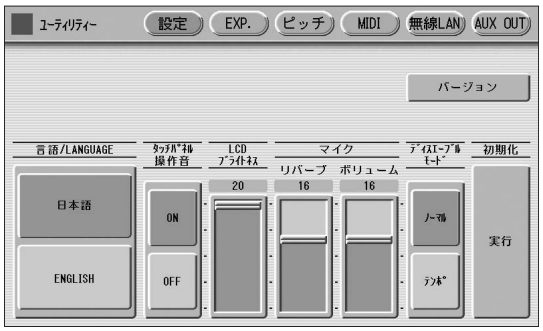
画面に関する基本設定

ここでは、エレクトーンを使う前に設定する項目について説明します。

画面に表示させる言語を選ぶ

エレクトーンの画面の表示言語は、初期状態で電源を入れたときには日本語に設定されています。必要に応じて表示言語を英語に切り替えることができます。（なお、この取扱説明書では、表示言語は日本語で説明しています。）

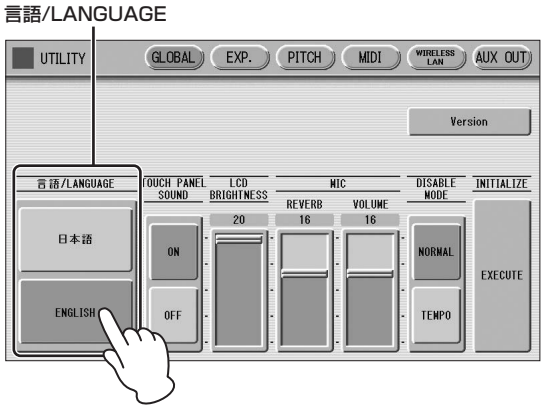
1 **[UTILITY]ボタンを押します。**
ユーティリティー画面の設定ページが表示されます。



NOTE
ユーティリティー画面の設定は、別の画面に移動したときに自動的に保存されます。

2 **[設定]ボタンを押して、設定ページを表示させます。**

3 **画面左側の「言語/LANGUAGE」で[ENGLISH](英語)ボタンを押すと、表示言語が英語に設定されます。**



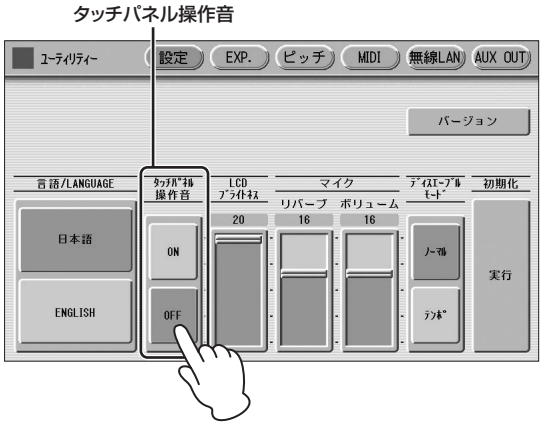
これ以降、画面の言語は英語で表示されます。日本語に戻したいときは、手順2で[日本語]ボタンを押してください。

タッチパネルの操作音を消す

初期状態で電源を入れたときには、タッチパネルを操作するたびに「ピッ」という音が鳴るように設定されています。ステージで演奏するときなどは、この操作音を消すことができます。

1 **[UTILITY]ボタンを押します。**
ユーティリティー画面の設定ページが表示されます。

2 **「タッチパネル操作音」の[OFF]ボタンを押すと、タッチパネルの操作音はオフになります。**



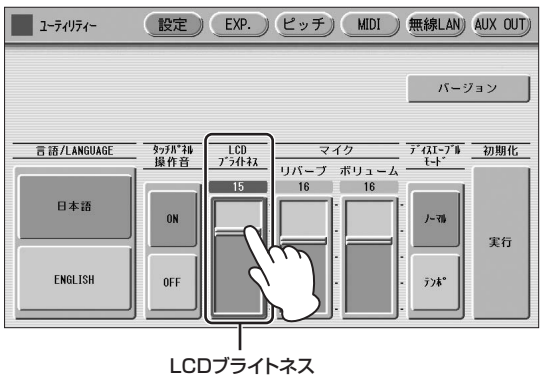
これ以降、タッチパネルを操作しても「ピッ」という音は鳴らなくなります。再び操作音を鳴らしたいときは、手順2で[ON]を押してください。

画面の明るさを変える

画面が明るすぎたり暗すぎたりして文字が見づらい場合には、画面の明るさを変えることができます。

1 **[UTILITY]ボタンを押します。**
ユーティリティー画面の設定ページが表示されます。

2 **[LCDブライトネス]スライダーを動かして、画面の明るさを調節します。**
スライダーを上げると明るくなり、下げると暗くなります。



音声ガイド

音声ガイドとは、画面の表示内容や実行した操作などを音声で読み上げる機能です。この機能を使うには、ヤマハウェブサイトから音声ガイドファイルをダウンロードし、それを保存したUSBフラッシュメモリーを楽器本体に接続する必要があります。
音声ガイドの詳しい使い方については、音声ガイド活用マニュアル(テキストファイル)をご覧ください。
音声ガイドファイルと音声ガイド活用マニュアルのダウンロードについては、下記URLの製品情報より対象モデルのサイトにアクセスし、特長のページをご覧ください。
http://jp.yamaha.com/

NOTE
USBフラッシュメモリーを使う前に、必ず111ページの「[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意」と「USBフラッシュメモリーの取り扱いについて」をお読みください。

音声ガイドの設定を変える

音声ガイドのボリューム(音量)とスピード(読み上げの速さ)を調節できます。

1 **音声ガイドファイルを保存したUSBフラッシュメモリーが[USB TO DEVICE]端子に接続されていることを確認します。**

2 **[UTILITY]ボタンを押します。**
ユーティリティー画面の設定ページが表示されます。

3 **[音声ガイド]のボリュームとスピードのスライダーを動かして、音声ガイドの音量と、読み上げの速さを調節します。**

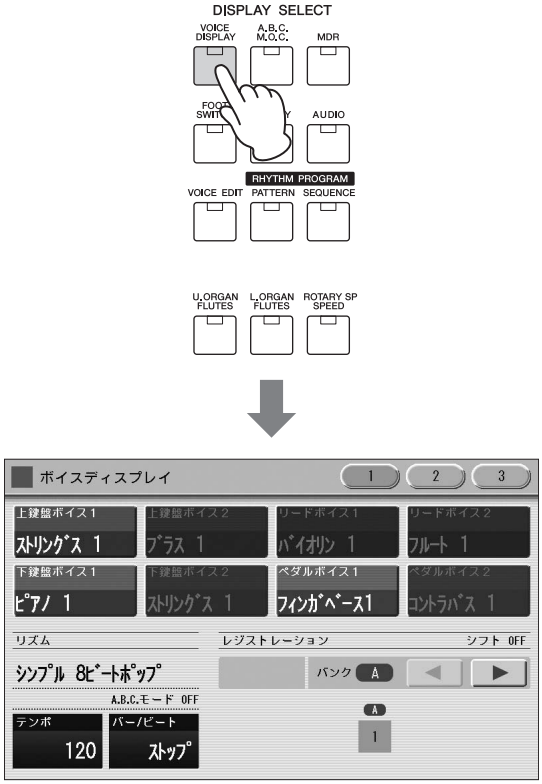


ボイスディスプレイ

電源を入れたときに表示される画面がボイスディスプレイです。ボイスディスプレイでは、各鍵盤に設定されているボイスや、リズム、右フットスイッチ(レジストレーションシフト)などのあらゆるデータを確認したり、各ボイスセクションのミュート設定をしたりできる、エレクトーンの最も基本的な画面といえます。
ここでは、ボイスディスプレイの見方を説明します。操作方法については、関連ページをご覧ください。

ボイスディスプレイを表示させるには：

電源を入れたときには必ずボイスディスプレイが表示されます。ほかの画面からボイスディスプレイに移動する場合は、[VOICE DISPLAY]ボタンを押します。



ボイスディスプレイには、3つのページがあります。画面右上の[1]～[3]ボタンでページを切り替えます。

ボイスディスプレイ【ページ1】



❶ ボイス名表示

各ボイスセクションに現在選ばれているボイス名が表示されます。また、それぞれのボイス名を押すことで、特定のボイスセクションだけをミュート(消音)することもできます。ボイス名を押すたびに、音が出る状態とミュートとが切り替わります。

関連ページ
- ボイスを選ぶ(27ページ)

❷ リズム名表示

現在選ばれているリズム名が表示されます。

関連ページ
- リズムを選ぶ(57ページ)

❸ A.B.C.モード表示

A.B.C. (オートベースコード)のモードが表示されます。

関連ページ
- オートベースコード(67ページ)

❹ テンポ表示

現在のリズムのテンポが表示されます。

関連ページ
- リズムのテンポを変える(60ページ)

❺ バー /ビート表示

リズムの状態(停止中、待機中、または再生中の小節/拍)を表示します。

❻ レジストレーションユニット表示

現在選択されているレジストレーションユニットが表示されます。

関連ページ
- バンクとユニット(99ページ)
- 1つのソングに複数のユニットを作る(119ページ)

❼ レジストレーションバンク選択

呼び出したいレジストレーションが記録されているバンクを選択します。バンクAを先頭として、レジストレーションが記録されているバンクの次のバンク(空)まで選択可能です。たとえば、バンクAとBにレジストレーションが記録されていれば、バンクCまで選択可能です。選択されたバンクにレジストレーションが記録されているかどうかは、バンク名表示(A～E)のオン/オフで判別できます。

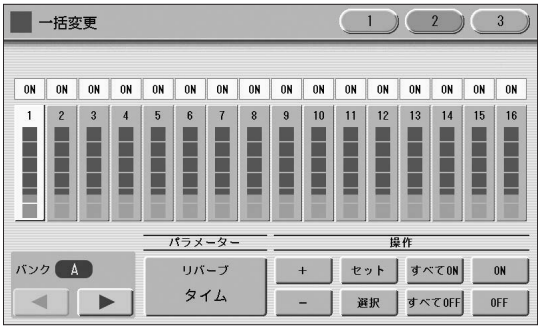
関連ページ
- レジストレーションメモリーとバンク(96ページ)
- 別のバンクにレジストレーションを記録する(97ページ)

❽ レジストレーションシフト表示

レジストレーションシフトの状態を表示します。

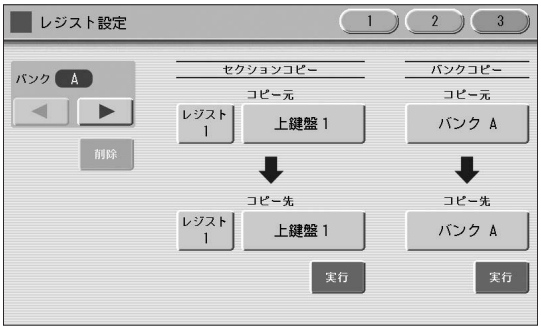
関連ページ
- レジストレーションシフト(100ページ)

ボイスディスプレイ【ページ2】



あるパラメーター (リバーブ、ボリューム、パンなど)の、各レジストレーションメモリーでの値を確認できる画面です。また、複数のレジストレーションメモリーの同一パラメーターを、同時に変更することもできます。詳しくは103ページをご覧ください。

ボイスディスプレイ【ページ3】



レジストレーションメモリーのナンバーに記録されているレジストレーションをセクション単位で別のレジストレーションナンバーにコピーすることができます。詳しくは105ページをご覧ください。またバンクをコピーしたり削除できます。詳しくは106ページをご覧ください。

関連ページ
- レジストレーションメモリー (96ページ)

レジストレーションメニュー

エレクトーンでは、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤のボイスやリズムなどの組み合わせのことを「レジストレーション」といいます。REGISTRATION MENU (レジストレーションメニュー)の[1]～[5]ボタンには、それぞれ異なったジャンルのレジストレーションが用意されています。演奏したい曲のジャンルにあわせて、それぞれのボタンを使い分けてください。

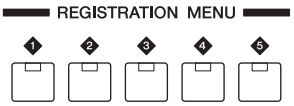
NOTE

レジストレーションメモリー 1～16にも、基本的なレジストレーションがプリセットされています(96ページ)。

レジストレーションを選ぶ

1 REGISTRATION MENU (レジストレーションメニュー)の[1]～[5]ボタンのいずれかを押します。

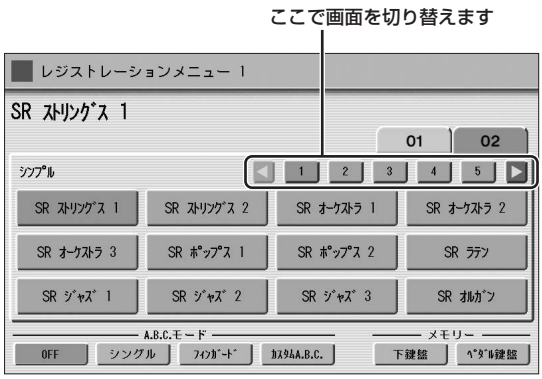
各ボタンにどんなレジストレーションが含まれているかは、22ページのレジストレーションリストをご覧ください。



1	01 キッズ(童謡やアニメソングなどに適しています) 02 シンプル(よく使うベーシックなレジストレーションです)
2	01、02 ポップス&ロック
3	01、02 ダンス&バラード
4	01、02 ジャズ&ラテン
5	01、02 シンフォニー &ワールド

2 画面上で、使用したいレジストレーションを選びます。

各ボタンには、[01]、[02]の2つのタブがあり、このタブを押してレジストレーションの[01]と[02]を切り替えます。[01]はELS-01シリーズ、[02]はELS-02シリーズのレジストレーションメニューと同じものが搭載されています。また、各画面には数字ボタンがあり、この数字ボタンで表示を切り替えて、好きなレジストレーションを選ぶことができます。



選んだレジストレーションのボタンはオレンジ色に変わります。また、画面の下にはオートベースコードの状態が表示されます。

関連ページ

・オートベースコード(67ページ)

3 選んだレジストレーションで、好きな曲を弾いてみましょう。

レジストレーションメニューリスト

レジストレーションメニューリスト 01

画面番号	レジストレーションメニュー1 01 キッズ	レジストレーションメニュー2 01 ポップス & ロック	レジストレーションメニュー3 01 ダンス & バラード	レジストレーションメニュー4 01 ジャズ & ラテン	レジストレーションメニュー5 01 シンフォニー & ワールド
1	シンプル 8ビート 1	ダイナミック 8ビート	オルガン バラード	ブロー オン サックス	ファンファーレ
	シンプル 8ビート 2	NY バラード	ドラマチック バラード	サックス アンサンブル	ストリング オーケストラ
	ライト ステップ	ブリティッシュ ポップ	ラブ バラード	ムーンライト	ロマンチック バイオリン
	サニー ポップ	8ビート モダン	スムース リード	ビッグ バンド	バロック
	キッズ マーチ 1	ロック バンド	ポップ バラード	クラリネット スイング	フルート&ハープ ※注
	キッズ マーチ 2	デトロイト ポップ	ギター バラード	ジャズ コンボ	セレナーデ
	キッズ マーチ 3	テクノ ポップ	アコースティック バラード	ミディアム ジャズ	ファスト マーチ
	シンセ ロック	シェリフ レゲエ	ヒーリング ギター	オルガン セッション	ワイルド ウエスト
	シンフォニック マーチ 1	ロックンロール	チルアウト	ギター コンボ	ウィンナー ワルツ
	シンフォニック マーチ 2	パワー ロック	スイートハート 1	テンダー バラード	ポルカ
	ブルーグラス	60s ギター ロック	スイートハート 2	ジャズ ワルツ	シャンソン クラブ
	シー カーニバル	アンプラグド	スロー & イージー	ファイブフォー	シアター オルガン
2	ベーシック ワルツ	モーター シティ	ユーロ トランス	ビッグ バンド サンバ	フラメンコ
	ブラス アンサンブル	ラブリー シャッフル	6/8 トランス	マンボ ブラス	ポップ フラメンコ
	ピュア ワルツ	ゴスペル シャッフル	クール ヒップ ホップ	マンボ テナー	メキシカン ダンス
	ロココ アンサンブル	ジョイフル ゴスペル	ラテン ハウス	モントゥーノ	マリアッチ
	ポップ チャチャ	フランクリー ソウル	ダンス ビート	ボサノバ	ケルティック ダンス
	コミカル ルンバ	ソウル	ユーロ ダンス ポップ	ポップ ボサ	フォーク ステップ
	コミカル サンバ	ゴスペル	UK ポップ	スイート ルンバ	イタリアーノ
	トイ オーケストラ	6/8 ソウル	ジャイブ	ビギン	ミュゼット
	チャールストン	ヒット ポップ	ディスコ クイーン	チャチャチャ	カントリー
	ウィンター スイング	ニュー カントリー	ディスコ ソウル	メロー グルーヴ	ハワイアン
	スノー ワルツ 1	エターナル ポップ	ポップ ディスコ	モダン R&B	チャイニーズ ノクターン
	スノー ワルツ 2	グランド ビート	ホット ディスコ	デキシーランド ジャズ	ジャパニーズ サウンド
3	アルペン ポルカ *A	バウンス ポップ *A	イビサ *A	ジャングル ドラム *A	オーケストラ マーチ *A
	アルペン ポルカ *B	バウンス ポップ *B	イビサ *B	ジャングル ドラム *B	オーケストラ マーチ *B
	アルペン ポルカ *C	バウンス ポップ *C	イビサ *C	ジャングル ドラム *C	オーケストラ マーチ *C
	アルペン ポルカ *D	バウンス ポップ *D	イビサ *D	ジャングル ドラム *D	オーケストラ マーチ *D
	ドリーム バラード *A	ブルース ジャム *A	パワー ハウス *A	ジャズ クラブ *A	パソドブレ *A
	ドリーム バラード *B	ブルース ジャム *B	パワー ハウス *B	ジャズ クラブ *B	パソドブレ *B
	ドリーム バラード *C	ブルース ジャム *C	パワー ハウス *C	ジャズ クラブ *C	パソドブレ *C
	ドリーム バラード *D	ブルース ジャム *D	パワー ハウス *D	ジャズ クラブ *D	パソドブレ *D
	ポップス オーケストラ *A	エバーグリーン ワルツ *A	ダンス ラティーノ *A	アフロ セッション *A	タンゴ *A
	ポップス オーケストラ *B	エバーグリーン ワルツ *B	ダンス ラティーノ *B	アフロ セッション *B	タンゴ *B
	ポップス オーケストラ *C	エバーグリーン ワルツ *C	ダンス ラティーノ *C	アフロ セッション *C	タンゴ *C
	ポップス オーケストラ *D	エバーグリーン ワルツ *D	ダンス ラティーノ *D	アフロ セッション *D	タンゴ *D
4	キッズ オン ステージ *A	16ビート ポップ *A	トワイライト ディスコ *A	チャチャ グランディー *A	ショー タイム *A
	キッズ オン ステージ *B	16ビート ポップ *B	トワイライト ディスコ *B	チャチャ グランディー *B	ショー タイム *B
	キッズ オン ステージ *C	16ビート ポップ *C	トワイライト ディスコ *C	チャチャ グランディー *C	ショー タイム *C
	キッズ オン ステージ *D	16ビート ポップ *D	トワイライト ディスコ *D	チャチャ グランディー *D	ショー タイム *D
	ギャラクシー マーチ *A	トップ ギア ロック *A	ラブ ソング *A	3/4 ファストジャズ *A	マジェスティックサウンド*A
	ギャラクシー マーチ *B	トップ ギア ロック *B	ラブ ソング *B	3/4 ファストジャズ *B	マジェスティックサウンド*B
	ギャラクシー マーチ *C	トップ ギア ロック *C	ラブ ソング *C	3/4 ファストジャズ *C	マジェスティックサウンド*C
	ギャラクシー マーチ *D	トップ ギア ロック *D	ラブ ソング *D	3/4 ファストジャズ *D	マジェスティックサウンド*D
	SE *A	サザン ポップ *A	ムービー バラード *A	トワイライト サックス *A	オーケストラ スイング *A
	SE *B	サザン ポップ *B	ムービー バラード *B	トワイライト サックス *B	オーケストラ スイング *B
	SE *C	サザン ポップ *C	ムービー バラード *C	トワイライト サックス *C	オーケストラ スイング *C
	SE *D	サザン ポップ *D	ムービー バラード *D	トワイライト サックス *D	オーケストラ スイング *D

※注: 別売のフットペダルを接続すると、フルート&ハープになります。接続していない場合は、ストリングス&ハープのサウンドになります。

レジストレーションメニューリスト 02

画面番号	レジストレーションメニュー1 02 シンプル	レジストレーションメニュー2 02 ポップス & ロック	レジストレーションメニュー3 02ダンス & バラード	レジストレーションメニュー4 02 ジャズ & ラテン	レジストレーションメニュー5 02 シンフォニー & ワールド
1	SR ストリングス 1	70s イージー ポップ	R&B ポップ バラード	ビッグバンド トゥッティ	オーケストラ フル ユニット
	SR ストリングス 2	ボーイズギターバラード	R&B ソウル バラード	アルト サックス コンボ	ストリング クラシック
	SR オーケストラ 1	ソウル ポップ	R&B クール バラード	ジャズ コンボ ファスト	スイート ピチカート
	SR オーケストラ 2	70s トップ デュオ	クール AOR	ジャズ コンボ 66	バロック シンフォニー
	SR オーケストラ 3	デイドリーム シャッフル	スイート チャート ヒット	ザ ビッグバンド *A	ノスタルジック グリーン
	SR ポップス 1	オールディーズ ポップ	スイート スロー バラード	ザ ビッグバンド *B	ニュー イヤー マーチ
	SR ポップス 2	ユーロポップフォルクローレ	ユア ピアノ バラード	ギター ジャズ コンボ	ウィンド オーケストラ
	SR ラテン	ディスコティック ロック	スイート エレピ バラード	ザ スイング ジャズ	ブラスバンド パレード
	SR ジャズ 1	スロー ハンド バラード	J-Popイージーバラード	ニュー オーリンズ ジャズ	コーラル No.9
	SR ジャズ 2	スイート AOR バラード	スイート サックス バラード	ラグタイム バンド	エンジェル ボイス
	SR ジャズ 3	70s プライムタイムTV	スイート R&B バラード	ファンキーキャットグルーヴ	ビート クラシック
	SR オルガン	クロスオーバー ファンク	ラバーズ R&B	アフロ キューバン ジャズ	カンカン ポップ
2	ブラスバンド マーチ *A	ジョイフルゴスペル #2	センチメンタル バラード	ギター ジャズ ワルツ	エレガント ワルツ
	ブラスバンド マーチ *B	ゴスペル グルーヴ	ティアーズ バラード	サックス ジャズ ワルツ	コーラス ワルツ
	オーケストラ マーチ	ワーシップ シャッフル	グローリー バラード	スイング ステップ	ラブ ワルツ
	6/8 マーチングバンド	ワーシップ 16ビート	アンプラグド バラード	スイング コーラス	ファンタジー ワールド
	6/8 マーチングキッズ	ソウルフル ワンダー	センチメンタル ムービー	リラックス スイング	ムービー パイレーツ
	ライト ワルツ	ラブリー & ソウルフル	ビューティーシネマバラード	アーバン ラウンジ	コーラス シンフォニー
	オーケストラ ワルツ *A	ダンサブル ファンク	シネマシンフォニックバラード	ブロードウェイ タップ	ハリウッド サウンド
	オーケストラ ワルツ *B	ブライト ポップ ロック	エンカ バラード		スーパー ショーチューン
	オーケストラ ワルツ *C	アメリカン ハード ロック	6/8 エンカ シャッフル		TVドラマ トラック *A
	オーケストラ ワルツ *D	パワー ロック 80s	クリスマス バラード		TVドラマ トラック *B
		USA ロック スタンダート			ムービー シンフォニック
					ムービー サウンドトラック
3	8ビート シンセ ポップ	シーサイド ロック	ディスコ ヒット 70s	ブラジリアン ボサ	ヤッホー ポルカ
	8ビート ポップ	70s フォーク ロック	70s ディスコ ナイト	ラウンジ ボサノバ	ポップ ポルカ
	ポップ シャッフル	オルタナティブ ロック	ユーロ ポップ ディスコ	8ビート ボサノバ	ファニー ポルカ
	R&B シャッフル	オルタナティブ 6/8 ロック	シンセ ディスコ	ポップ ボサノバ	カジュアル ポルカ
	ロック	ハイウェイ ロック	ボールルーム ディスコ	タイニー ボサノバ	カントリー タウン
	ロック シャッフル	ファンキー ロックンロール	シンセダンスポップ80s	カフェ サンバ	タンゴ バンド
	ロック ポップ バラード	シンセ ポップ ロック	ダーティ ダンス ビート	ビター スイート ラテン	トルコ ポップス
	ファンク	パワー シンセ ロック	フォーチュン ディスコ	ラテン ロック	オリエンタル ダンス
		ロック ギター バラード	ガールズポップ48 *A	ダンス ビート ラテン *A	ケルティック ビート
		ポップ ロックンロール	ガールズポップ48 *B	ダンス ビート ラテン *B	ケルティック ワルツ
		バック トゥ ザ 60s	シャイニーガールズポップ	ポップ アコーディオン	トラッドアイリッシュパイプ
		ダンシング ブギー	シェア ザ ピース	スイート ボンバ	アイリッシュ バラード
4	ダンス ポップ	6/8 シャッフル ロック	ダンス アンド リズム*A	オルケスタ サルサ	チャイナ スイート バラード
	ディスコ ポップ	シャッフル ボーイズ ロック	ダンス アンド リズム*B	ニュー フラメンコ	チャイナロマンチックバラード
	R&B エレピ バラード	シャッフル ポップ ロック	ダンス アンド リズム*C	ジャミン レゲエ	チャイナ ダンス ビート
	R&B ピアノ バラード	シャッフル ロック バラード	ダンス アンド リズム*D	ルンバ アンド ザ シティ	チャイナ カンフー
	8ビート バラード	ポップ ロック バンド	ガールズ テクノ	フレンチ カリビアン	チャイナ トラッド ソング
	8ビートOrchバラード	シャッフル ポップ ピアノ	キャンディーポップテクノ	カリビアン シー	チャイナ トラッド ダンス
	3/4 ポップ バラード	コンテンポラリー カントリー	ダンシングプラットフォーム		
	6/8 ポップ バラード	スムース カントリー	ダンス ビート EX.		
		クリスマス シャッフル	クラブ ビート		
		スノーウィ クリスマス	エレクトロニカ ビート		
			クール ガラージ		
			エレクトロニック ダンス		
5	ビッグバンドキング*A	プリティー ロック	ニュー エイジ チルアウト		
	ビッグバンドキング*B	ウルトラ ロック	ユーロビート パーティー		
	ビッグバンドキング*C	ロック グラフィティ	イビサ トランス		
	ビッグバンド スイング	カジュアル ロック	カジュアル トランス		
	ジャズ セッション	ルーキー ロック	トランス パーティー		
	フュージョン サンバ	ハッピー ロック	ワンダー トランス シャッフル		
	ポップ サンバ	J-Pop アイドル ロック			
	シンプル ボサノバ	J-Pop バンド ロック			
	マンボ	スピリット ポップ			
	ルンバ	スイート ラブ ポップ			
		サマー ポップ			
		シェイキー ダンス			

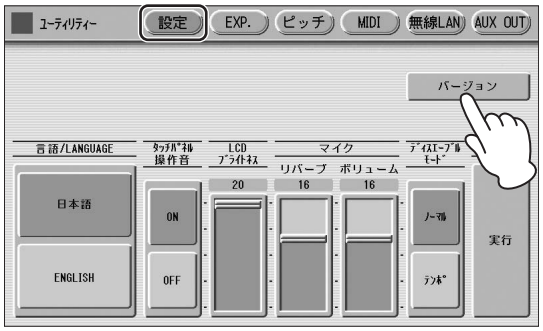
画面番号	レジストレーションメニュー1 02 シンプル	レジストレーションメニュー2 02 ポップス & ロック	レジストレーションメニュー3 02ダンス & バラード	レジストレーションメニュー4 02 ジャズ & ラテン	レジストレーションメニュー5 02 シンフォニー & ワールド
6	クラシカルオルガン チャペル	J-Pop ピアノ バンド			
	クラシカルオルガン ホール	J-Pop ボーイズ			
	ロック オルガン バラード	J-Pop シャッフルビート			
	R&B ロック オルガン	J-Popバンドバラード			
	オルガン コンボ	ブリージー バラード			
	6/8 オルガン バラード	ヒーローレンジャーテーマ			
	ソウル ジャズ オルガン	サンセット ポップ			
	ポップ オルガン 60s	ファンキーパンチ *A			
	トイ オルガン	ファンキーパンチ *B			
	シアター オルガン NY	ギャラクシーバトルシップA			
	ノスタルジック オルガン	ギャラクシーバトルシップB			
7		J-Pop アニメ *A			
		J-Pop アニメ *B			
		70s ハニー			
		70s ヒーロー			
		DBZ *A			
		DBZ *B			
		DBZ *C			
		DBZ *D			

バージョンを確認する

次の手順でエレクトーンのバージョンを確認できます。

1 **[UTILITY]ボタンを押します。**
ユーティリティー画面が表示されます。

2 **設定ページで[バージョン]ボタンを押します。**



画面に、バージョンを示すダイアログが表示されます。[OK]を押すと、ダイアログが閉じます。

本体ファームウェアのバージョンアップ

ヤマハ製品では、機能や操作性向上のために、不定期に製品本体のファームウェアをアップデートすることがあります。本体ファームウェアのアップデートがある場合は、対象製品のウェブサイトでお知らせいたします。ウェブサイトでバージョンを確認後、ダウンロードしてください。

なおこの取扱説明書では、本書制作時のバージョンで説明しております。

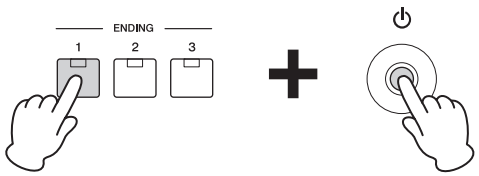
エレクトーンの初期化

すべてのデータをリセットして、エレクトーンを初期状態に戻すことができます。画面の言語設定やタッチパネル操作音のオン/オフも含めたすべての情報をリセットします。
無線LAN接続に関する設定だけは、この操作ではリセットされません。199ページの方法で初期化をする必要があります。

関連ページ
• レジストレーションを保存する(119ページ)
• 無線LAN設定を初期化する(199ページ)

1 **いったん、エレクトーンの電源を切ります。**

2 **パネルの左下にあるENDING [1]ボタンを押しながら電源を入れます。**



3 **ボイスディスプレイが表示されたら、ENDING [1]ボタンから指をはなします。**

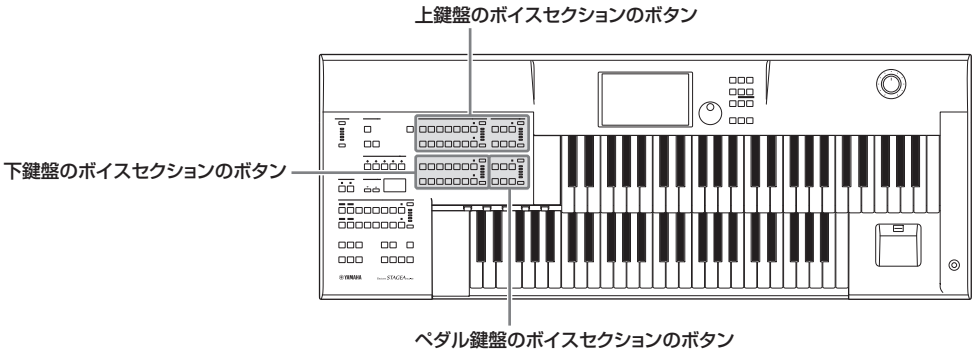
画面の設定は初期化せずに、ボイスやリズムなどの設定だけを初期化する方法もあります。
99ページをご覧ください。

関連ページ
• レジストレーションメモリーの初期化(99ページ)

注記
エレクトーンの初期化の操作を実行すると、本体で設定したデータが工場出荷時の設定に戻りますので、大切なデータはあらかじめUSBフラッシュメモリーに保存しておきましょう。

2 ボイス(楽器音色)

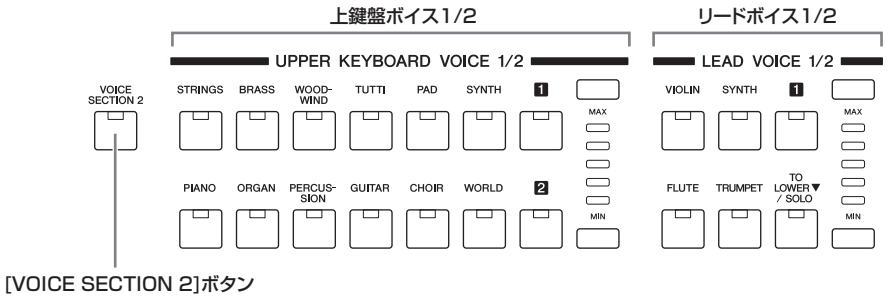
このエレクトーンには、900種類以上の多彩でリアルな楽器音色が内蔵されており、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤のどの鍵盤にも呼び出して演奏できます。これらの楽器音色のことを、「ボイス」といいます。上鍵盤では4つ、下鍵盤では2つ、ペダル鍵盤では2つのボイスを重ねて鳴らすことができます。



各鍵盤で選べるボイス

上鍵盤ボイス

上鍵盤ボイス1、上鍵盤ボイス2、リードボイス1、リードボイス2の4つのボイスセクションがあり、それぞれのボイスセクションで選んだボイスを重ねて鳴らすことができます。パネル上のUPPER KEYBOARD VOICE 1/2、LOWER KEYBOARD VOICE 1/2、LEAD VOICE 1/2、PEDAL VOICE 1/2を[VOICE SECTION 2]ボタンを押すことで、切り替えてボタン群で選びます。

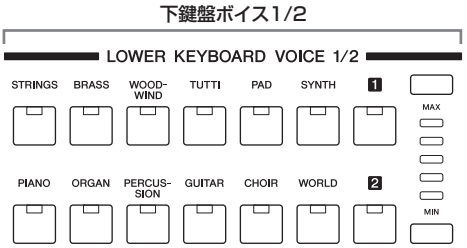


4つのボイスセクションのうち、リードボイス1とリードボイス2では、和音を弾いても最高音(または最後に押さえた音)1音だけしか鳴りません。リードボイスは、トランペットやサックスのような、和音を鳴らすことができない楽器を演奏するのに適したボイスセクションといえます。

関連ページ
• 搭載されている音源について(39ページ)

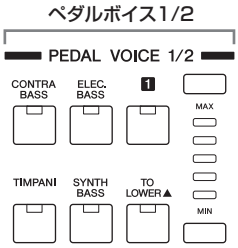
下鍵盤ボイス

下鍵盤ボイス1/2の2つのボイスセクションがあり、それぞれパネル上のLOWER KEYBOARD VOICE1/2のボタン群を[VOICE SECTION 2]ボタンを押すことで、切り替えてボイスを選びます。



ペダルボイス

ペダルボイス1/2の2つのボイスセクションがあり、それぞれパネル上のPEDAL VOICE 1/2のボタン群を[VOICE SECTION 2]ボタンを押すことで、切り替えてボイスを選びます。ペダルボイスは、初期状態では、同時に2つ以上のペダル鍵盤を弾いた場合は、高音優先で単音で発音します。

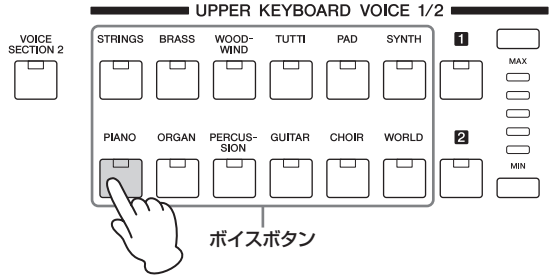


関連ページ
・ポリ(45ページ)

ボイスボタンでボイスを選ぶ

ボイスの選び方は、どの鍵盤でも、どのボイスセクションでも共通です。ここでは上鍵盤ボイス1を例にとって説明します。

1 [VOICE SECTION 2]ボタンが消灯してる状態か確認してから、パネル上のUPPER KEYBOARD VOICE 1/2の中のいずれかのボイスボタンを押します。

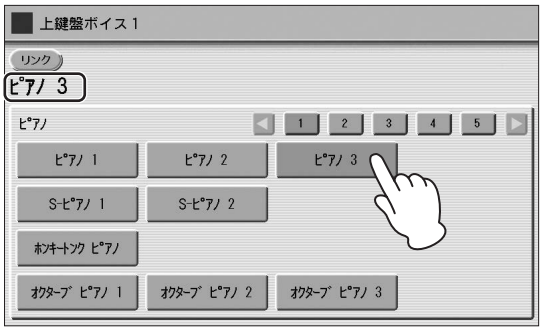


たとえば、PIANO (ピアノ)を選択した場合、画面にはいろいろな種類のピアノ音色(ボイスメニュー)が表示されます。



2 ボイスメニューの中から、使用したいボイス名を押します。

ピアノにはたくさんの音が含まれているので、画面のボイス一覧の上に1、2、3、4、5という数字が表示されています。この数字を押すことで、現在表示されている以外のピアノボイスを表示させて、選択できます。



ボイスを選択すると、選択されたボイス名はオレンジ色に変わります。これで上鍵盤ボイス1には、ピアノ3が設定されました。

ボイスリンクに登録する

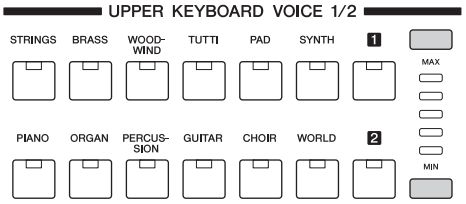
画面左上の[リンク]ボタンを押すことで、ボイスコンディション画面の設定を含めた現在の音色を、1つのボイスとして「ボイスリンク」に登録できます。登録されたボイスは、各ボイスセクションのユーザーボタン(30ページ)から選択できます。この機能により、お気に入りのボイスを1つの画面に集めることができるので、演奏中に呼び出しやすくなり、大変便利です。登録されたボイスは、すべてのボイスセクションのユーザーボタンから呼び出される画面中のボイスリンクカテゴリーから選択できます。登録の手順については、51ページをご覧ください。

音量を変える

音量を設定するには、ボイスセクションのボリュームボタンを使う方法と、画面上で設定する方法があります。画面上のボリュームスライダーで設定する方が、音量を細かく設定できます。

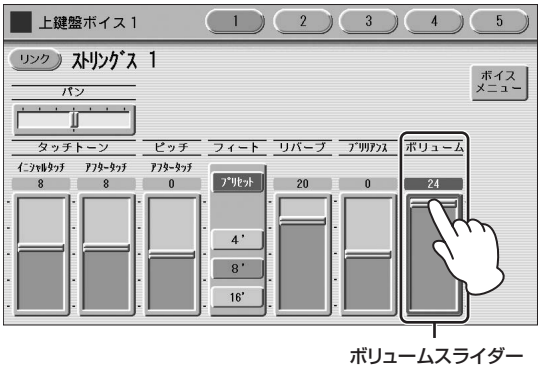
ボリュームボタンでの設定：

それぞれのボイスセクションの右端にあるボリュームボタンを使用します。5段階の設定が可能です。
MIN (一番下)にすると、音は鳴りません。



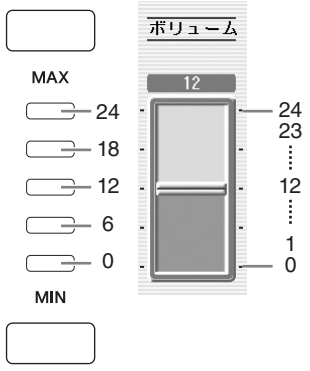
画面上での設定：

画面上に現在表示されているボイスのボイスボタンをもう一度押すことで、(または、画面上のボイスメニューで現在選ばれているボイスをもう一度押すことで)イラストにあるようなボイスコンディション画面が表示されます。



ボリュームスライダー

画面のボリュームスライダーで、直接スライダーに触れる、またはデータコントロールダイアルを使用して、音量が調節できます。0～24の細かな設定が可能です。
パネル上のボリュームランプとボイスコンディション画面のボリュームスライダーの値は以下のように対応しています。

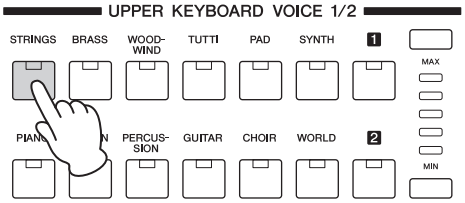


NOTE

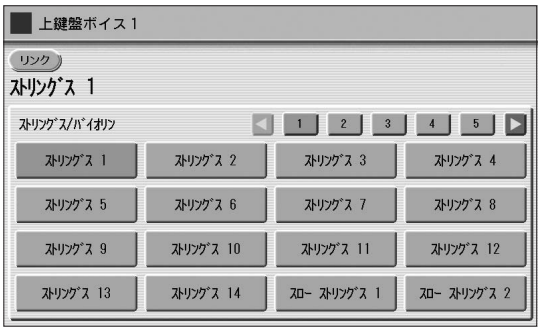
ボリュームの値によっては、パネル上のボリュームランプは2つ点灯します。

ボイスメニュー画面とボイスコンディション画面の切り替え

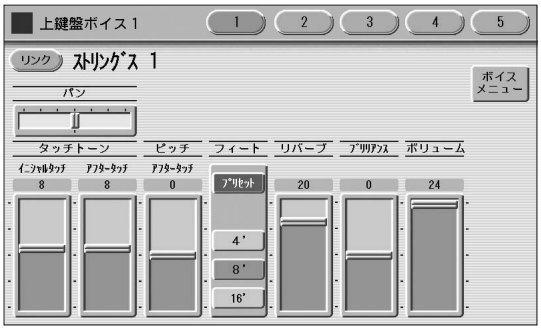
パネル上のボイスボタンを一度押すと、そのボイスのボイスメニューが画面上に表示されます。もう一度押すと、ボイスコンディション画面が表示されます。ボイスボタンを押すたびに、ボイスメニューとボイスコンディション画面が切り替わります。



ボイスメニュー画面



ボイスコンディション画面



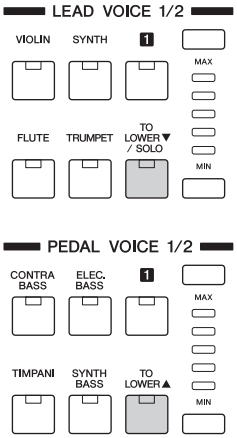
ボイスコンディション画面にある[ボイスメニュー]ボタンを押すことでも、ボイスメニューの表示に戻ります。
ボイスコンディション画面は、パンやエフェクト、ボリュームなど、ボイスに関する設定を行なう画面です。ボイスコンディション画面については、44ページをご覧ください。

注記

エレクトーンの電源を切ると、パネル上や画面上で設定していたデータはすべて消去されます。データを消去したくない場合は、電源を切る前に必ずレジストレーションをUSBフラッシュメモリーに保存してください(119ページ)。

TO LOWER (トゥーロワー)機能

リードボイス1と、ペダルボイス1、2のボイスセクションで選んだボイスは、それぞれのボイスセクション内の[TO LOWER▼/SOLO]または[TO LOWER▲]ボタンを押すと、下鍵盤で演奏できます。
この機能がオンになっていると、上鍵盤/ペダル鍵盤を弾いても、リードボイス1/ペダルボイスは発音しません。
トゥーロワー機能は、リードボイス2にはありません。



SOLO (ソロ)機能

ほかのボイスセクションと異なり、リードボイス2には、ソロ機能があります。ソロ機能を使うことによって、演奏中でも瞬時に上鍵盤をリードボイス2のみのソロ演奏に切り替えることができます。

NOTE

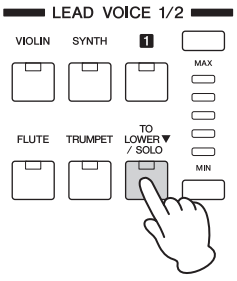
SOLO機能を使用するにはフットペダル(別売)が必要です。

1 ソロ演奏したいボイスをリードボイス2のボイスセクションで設定します。

[TO LOWER▼/SOLO]ボタンが消灯状態では、上鍵盤ボイス1、2、リードボイス1、2すべてのボイスセクションボイスが上鍵盤で鳴ります。

2 リードボイス2の[TO LOWER▼/SOLO]ボタンを押します。

これで、ソロ機能が待機状態になりました。



3 フットペダル(別売)を接続します。

上鍵盤はリードボイス2で設定したボイスに切り替わり、リードボイス2だけが上鍵盤で鳴るようになります。

4 演奏しながら、フットペダルを踏み込みます。

この状態では、リードボイス2を除いたボイスセクションのボイスが上鍵盤で演奏可能です。
フットペダルを踏み込んでいる間は、リードボイス2以外のボイスセクションの音が鳴り、フットペダルを踏み込むのをやめると、リードボイス2の音のみが鳴ります。

ソロ機能を使う上で気をつけること

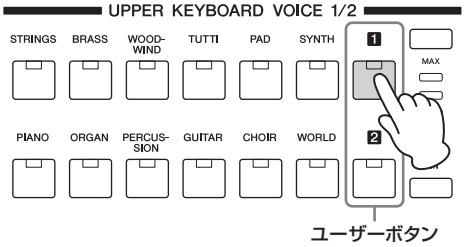
- フットペダルには、ソロ機能のオン/オフ切り替え以外の機能を割り当てることもできます。したがって、フットペダルにソロ機能以外のコントロール機能が割り当てある場合は、フットペダルを操作したときに複数の機能が同時にオン/オフされることになります。
- 鍵盤を弾いている最中にフットペダルを踏み込むのをやめると、そのときに弾いていた音はソロにならず、次に弾いた鍵盤からソロ演奏されます。鍵盤を弾いている最中にフットペダルを踏み込むと、そのときに弾いていた音はソロのままで、次に弾いた鍵盤からソロ演奏にはなりません。
- リードボイスは、通常は高音優先(2つ以上の鍵盤を弾くと高い音のみが鳴る)ですが、リードボイス2のソロ演奏時は、後着優先(2つ以上の鍵盤を弾くとあとから押さえた鍵盤のみが鳴る)となります。

関連ページ
- フットペダル(別売)(179ページ)
- ボイスコンディション画面(44ページ)

ユーザーボタンでボイスを選ぶ

このエレクトーンには、パネル上のボイスボタン数よりはるかに多くのボイスが内蔵されています。ここでは、それぞれのボイスセクションの全ボイスや、自分でエディットして作成したユーザーボイスを自在に使いこなせる便利なユーザーボタンについて説明します。
ユーザーボタンは、各ボイスセクションの右側に2つまたは1つある、数字の書いてあるボタンです。
ユーザーボタンを使って、パネル上にボイスボタンがないボイスを選んでみましょう。

1 使用したいボイスセクションのユーザーボタンを押します。



2 画面に表示される楽器のカテゴリーから、使用したいボイスが入っているカテゴリーを選択します。

ここで「USER」(ユーザー)のカテゴリーを選ぶと、ボイスエディットしてつくったユーザーボイスを選ぶこともできます。

関連ページ
• ボイスエディット(139ページ)

また、ここで「ボイスリンク」のカテゴリーを選ぶと、ボイスコンディション画面(44ページ)での設定を反映したボイスを選ぶこともできます。

関連ページ
• ボイスリンクに登録されたボイスを選択する(52ページ)



ここではパーカッションのカテゴリーからマリンバ1を選んでみましょう。
画面上に表示されている楽器のカテゴリーから「パーカッション」を選びます。

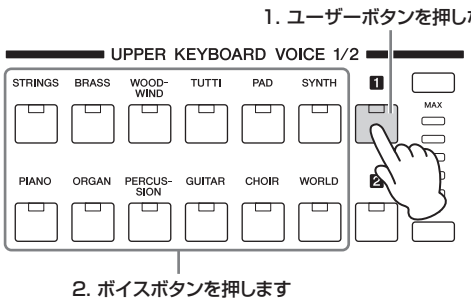
関連ページ
• ボイスリスト(31ページ)



ここで選んだカテゴリー (パーカッション)が、画面の左上に小さく表示されます。
この時点では、まだ実際にボイスが選択されていませんので、左上のカテゴリー名と、その上に大きく表示されているボイス名は一致しません。

カテゴリーをすぐに選ぶには：

ユーザーボタンを押し続けたままで、自分の使用したいボイスボタン(どのボイスセクションでもよい)を押すと、すぐにそのカテゴリーが選択できます。



3 表示されているボイスメニューから、使用したいボイス(ここではマリンバ1)を選択します。

画面上に表示された数字を押すことで、カテゴリー内の別のボイスを表示させることができます。
画面上にマリンバ1と表示され、マリンバ1が選択されました。



ボイスリスト

内蔵されているボイスの一覧です。リストの左の数字は、画面上の数字と対応しています。

STRINGS/VIOLIN (ストリングス/バイオリン)

1	ストリングス 1
	ストリングス 2
	ストリングス 3
	ストリングス 4
	ストリングス 5
	ストリングス 6
	ストリングス 7
	ストリングス 8
	ストリングス 9
	ストリングス 10
	ストリングス 11
	ストリングス 12
	ストリングス 13
	ストリングス 14
	スロー ストリングス 1
	スロー ストリングス 2
2	チェンバー ストリングス 1
	チェンバー ストリングス 2
	チェンバー ストリングス 3
	チェンバー ストリングス 4
	チェンバー ストリングス 5
	バイオリンセクション
	ビオラセクション
	チェロセクション
	S-ストリングス 1
	S-ストリングス 2
	S-ストリングス 3
3	ピチカート ストリングス 1
	ピチカート ストリングス 2
	ピチカート ストリングス 3
	ピチカート ストリングス 4
	ピチカート ストリングス 5
	トレモロ ストリングス1
	トレモロ ストリングス2
	トレモロ ストリングス3
	スピッカート ストリングス1
	スピッカート ストリングス2
	スピッカート ストリングス3
4	ストリングス1&7
	ストリングス2&ビオラ
	ストリングス3&4
	ストリングス7&バイオリン5
	バイオリン5&チェロ
	オクターブ ストリングス1
	オクターブ ストリングス2
4	オクターブ ストリングス3
5	バイオリン 1
	バイオリン 2
	バイオリン 3
	バイオリン 4
	バイオリン 5
	バイオリン 6
	バイオリン 7
	バイオリン 8
	S-バイオリン 1
	S-バイオリン 2
	ピチカート バイオリン
6	ビオラ
	チェロ 1
	チェロ 2

CONTRABASS (コントラバス)

1	コントラバス 1
	コントラバス 2
	コントラバス 3
	コントラバス 4
	コントラバス 5
	コントラバス 6
	コントラバス 7
	ピチカート ベース 1
	ピチカート ベース 2
2	アコースティック ベース 1
	アコースティック ベース 2
	アコースティック ベース 3
	アコースティック ベース 4
	アコースティック ベース 5
	ベース & シンバル
	S-アコースティックベース 1
	S-アコースティックベース 2

BRASS/TRUMPET (ブラス/トランペット)

1	ブラス セクション 1
	ブラス セクション 2
	ブラス セクション 3
	ブラス セクション 4
	ブラス セクション 5
	ブラス セクション 6
	ブラス セクション 7
1	ブラス セクション 8
	ブラス セクション 9
	パワー ブラス 1
	パワー ブラス 2
	パワー ブラス 3
2	ソフト ブラス 1
	ソフト ブラス 2
	ソフト ブラス 3
	S-ブラスセクション Lgt
	S-ブラスセクション フォール
	S-ブラスセクション アップ
	ブラス フォール
3	トロンボーン セクション 1
	トロンボーン セクション 2
	トロンボーン セクション 3
	トロンボーン セクション 4
	トロンボーン セクション 5
	トロンボーン セクション 6
	トロンボーン セクション 7
4	ブラス1&トランペット6
	ブラス2&トランペット6
	ホルン 1&4
	トランペット & コルネット
	オクターブ ブラス 1
	オクターブ ブラス 2
	オクターブ ブラス 3
	オクターブ ブラス 4
	オクターブ ブラス 5
	オクターブ ブラス 6
	オクターブ ブラス 7
	オクターブ ブラス 8
	オクターブ ブラス 9
5	トランペット 1
	トランペット 2
	トランペット 3
	トランペット 4
	トランペット 5
	トランペット 6
	トランペット 7
	トランペット 8
	トランペット 9
	トランペット 10
	トランペット 11
	トランペット 12
	S-トランペット 1
	S-トランペット 2
5	S-トランペット フォール
	S-トランペット シェイク
6	ミュート トランペット 1
	ミュート トランペット 2
	ミュート トランペット 3
	ミュート トランペット 4
	コルネット
	ミュート コルネット
	フリューゲル ホルン 1
	フリューゲル ホルン 2
7	トロンボーン 1
	トロンボーン 2
	トロンボーン 3
	トロンボーン 4
	トロンボーン 5
	S-トロンボーン
	ミュート トロンボーン 1
	ミュート トロンボーン 2
8	ホルン 1
	ホルン 2
	ホルン 3
	ホルン 4
	ホルン 5
	ホルン 6
	ホルン 7
	ホルン 8
	ホルン 9
	S-ホルンセクション
	ミュート ホルン 1
	ミュート ホルン 2
9	チューバ 1
	チューバ 2
	ユーフォニウム
	ブラス ベース 1
	ブラス ベース 2
	ブラス ベース 3

WOODWIND/FLUTE (ウッドウィンド/フルート)

1	フルート 1
	フルート 2
	フルート 3
	フルート 4
	フルート 5
	S-フルート
	S-フルート フラッター

「S-」で始まるボイスはスーパーアーティキュレーションボイスといいます。これらのボイスを演奏することでどのような効果が得られるかについては、36ページの「スーパーアーティキュレーションボイス補足リスト」をご覧ください。また、スーパーアーティキュレーションボイス自体の説明は、39ページをご覧ください。

1	ピッコロ
2	リコーダー 1
	リコーダー 2
	オカリナ
	ホイッスル
3	クラリネット 1
	クラリネット 2
	クラリネット 3
	クラリネット 4
	クラリネット 5
	クラリネット 6
	S-クラリネット 1
	S-クラリネット 2
	バス クラリネット
4	オーボエ 1
	オーボエ 2
	オーボエ 3
	オーボエ 4
	オーボエ 5
	オーボエ 6
	イングリッシュホルン 1
	イングリッシュホルン 2
	バスーン 1
	バスーン 2
	バスーン 3
5	アルト サックス 1
	アルト サックス 2
	アルト サックス 3
	アルト サックス 4
	S-アルトサックス
	S-アルトサックス グロウル
	テナー サックス 1
	テナー サックス 2
	テナー サックス 3
	テナー サックス 4
	S-テナー サックス 1
	S-テナー サックス 2
	S-テナー サックス 3
	S-テナーサックス グロウル
6	ソプラノ サックス 1
	ソプラノ サックス 2
	S-ソプラノサックス
	S-ソプラノサックスグロウル
	バリトン サックス 1
	バリトン サックス 2
7	サックス アンサンブル 1
	サックス アンサンブル 2
	サックス アンサンブル 3
	サックス アンサンブル 4
	サックス アンサンブル 5
	サックス アンサンブル 6
8	ウッドウィンド 1
	ウッドウィンド 2
	ウッドウィンド 3
8	ウッドウィンド 4
	ウッドウィンド 5
	ウッドウィンド 6
	ウッドウィンド 7
	クラリネット&フルート
	クラリネット&オーボエ
	フルート&オーボエ
	ウッドウィンド&グロッケン

TUTTI (トゥッティ)

1	ストリングス&ウィンズ
	ストリングス&ブラス 1
	ストリングス&ブラス 2
	ストリングス&ブラス 3
	ストリングス&ホルン 1
	ストリングス&ホルン 2
	ストリングス&クワイア
	トランペット&ウインズ
	ホルン&ウインズ
	オーケストラ ベース
2	ブラス&サックス 1
	ブラス&サックス 2
	ブラス&サックス 3
	ブラス&サックス 4
	ブラス&サックス 5
	ブラス&サックス オクターブ
	ブラス&サックス ユニゾン
	ブラス&ウィンズ 1
	ブラス&ウィンズ 2
3	オーケストラ ヒット 1
	オーケストラ ヒット 2
	オーケストラ ヒット 3
	オーケストラ ヒット 4

CHOIR (クワイア)

1	クワイア 1
	クワイア 2
	クワイア 3
	クワイア 4
	クワイア 5
	クワイア 6
	クワイア 7
	クワイア 8
	クワイア 9
	クワイア 10
	クワイア 11
	ボーカル
2	S-クワイアソフト Aah
	S-クワイアBoys Aah
	S-クワイアソフト Ooh
	S-クワイアBoys Ooh
3	ゴスペル クワイア 1
3	ゴスペル クワイア 2
	ゴスペル クワイア 3
	S-ゴスペルクワイア Hmm
	S-ゴスペルクワイアH/Ah
	S-ゴスペルクワイア Wow
	S-ゴスペルクワイアW/Hy
	S-ゴスペルクワイア Hey
4	ポップボーカル Haa 1
	ポップボーカル Haa 2
	ポップボーカル Ooh 1
	ポップボーカル Ooh 2
	ポップボーカル Ooh 3
	ポップボーカル Aah
	ポップボーカル Baa
	ポップボーカル Bee
	ポップボーカル Daa
	ポップボーカル Doo
	ポップボーカル Mmh
	ポップボーカル Wah
	ポップボーカル Yoo
5	S-シュビドゥバ/Hmm
	S-シュビドゥバ/Wah
	S-シュビドゥバ/Doo
	S-シュバドゥバ/Daa
	S-ドゥバビ/Shoo
	S-ドゥビドゥビ/Wah
	S-ドゥビバダ/DoWe
	S-バダヤ/Doo
	S-ヤバダバ/Doo
	S-スキャット/Doo
	S-スキャット/DoWe
	S-スキャット/SFX 1
	S-スキャット/SFX 2
6	S-ホワットシュッドウィドゥ
	S-フーアーユー /Wee
	S-ドゥウィユービー /Wah
	S-Haaビブラート/SFX
	S-Oohビブラート/SFX
	S-OohボーイズVib/S
	S-OohガールズVib/S
	S-Dooビブラート/SFX
	S-Dooボーイズ/SFX
	S-Dooガールズ/SFX
	S-Daaビブラート/SFX
	S-Baaビブラート/SFX
	S-Wahビブラート/SFX
	S-Yooビブラート/SFX

PAD (パッド)

1	スムース パッド 1
	スムース パッド 2
	スムース パッド 3
	スムース パッド 4
1	スムース パッド 5
	スムース パッド 6
	スムース パッド 7
	スムース パッド 8
	スムース パッド 9
2	レゾナンス パッド 1
	レゾナンス パッド 2
	レゾナンス パッド 3
	レゾナンス パッド 4
	レゾナンス パッド 5
	レゾナンス パッド 6
	レゾナンス パッド 7
	レゾナンス パッド 8
	レゾナンス パッド 9
	レゾナンス パッド 10
	レゾナンス パッド 11
3	ベル パッド 1
	ベル パッド 2
	ベル パッド 3
	ベル パッド 4
	ベル パッド 5
	ベル パッド 6
	ベル パッド 7
	ベル パッド 8
	ベル パッド 9
	ベル パッド 10
	ベル パッド 11
	ベル パッド 12
4	スペース パッド 1
	スペース パッド 2
	スペース パッド 3
	スペース パッド 4
	スペース パッド 5
	スペース パッド 6
	スペース パッド 7
	スペース パッド 8
	スペース パッド 9
	スペース パッド 10
5	ギャラクシー パッド 1
	ギャラクシー パッド 2
	ギャラクシー パッド 3
	ギャラクシー パッド 4
	ギャラクシー パッド 5
	ブライト パッド 1
	ブライト パッド 2
	ブライト パッド 3
	ブライト パッド 4
	ブライト パッド 5
6	ノイジー パッド 1
	ノイジー パッド 2
	ノイジー パッド 3
	ノイジー パッド 4
	ノイジー パッド 5
	ノイジー パッド 6

「S-」で始まるボイスはスーパーアーティキュレーションボイスといいます。これらのボイスを演奏することでどのような効果が得られるかについては、36ページの「スーパーアーティキュレーションボイス補足リスト」をご覧ください。また、スーパーアーティキュレーションボイス自体の説明は、39ページをご覧ください。

7	アンビ パッド 1
	アンビ パッド 2
	アンビ パッド 3
	アンビ パッド 4
	アンビ パッド 5
	アンビ パッド 6
	ウォーム パッド 1
	ウォーム パッド 2
	ウォーム パッド 3
	ウォーム パッド 4
	ウォーム パッド 5
	ウォーム パッド 6
8	ダーク パッド 1
	ダーク パッド 2
	ダーク パッド 3
	ダーク パッド 4
	ダーク パッド 5
	ダーク パッド 6
	ダーク パッド 7
	ダーク パッド 8
	ダーク パッド 9
9	ボックス パッド 1
	ボックス パッド 2
	ボックス パッド 3
	ボックス パッド 4
	ボックス パッド 5
	ボックス パッド 6
10	スウィープ パッド 1
	スウィープ パッド 2
	スウィープ パッド 3
	スウィープ フェーズ
	スウィープ フランジャー 1
	スウィープ フランジャー 2
11	メタリック パッド 1
	メタリック パッド 2
	メタリック パッド 3
	SFX パッド 1
	SFX パッド 2
	SFX パッド 3

SYNTH (シンセ)

1	シンセ リード 1
	シンセ リード 2
	シンセ リード 3
	シンセ リード 4
	シンセ リード 5
	シンセ リード 6
	シンセ リード 7
	シンセ リード 8
	シンセ リード 9
2	ファット Saw リード 1
	ファット Saw リード 2
	ファット Saw リード 3
	ファット Saw リード 4
	ファット Saw リード 5
	ファット Saw リード 6
	フィルター リード 1
	フィルター リード 2
	フィルター リード 3
	フィルター リード 4
	フィルター リード 5
	フィルター リード 6
	フィルター リード 7
3	ソフト リード 1
	ソフト リード 2
	ソフト リード 3
	ソフト リード 4
	ソフト リード 5
	ソフト リード 6
	ソフト リード 7
	アーリー リード 1
	アーリー リード 2
	PWM リード 1
	PWM リード 2
	コーラス Saw リード 1
	コーラス Saw リード 2
	コーラス Saw リード 3
4	ビンテージ リード 1
	ビンテージ リード 2
	ビンテージ リード 3
	ビンテージ リード 4
	ビンテージ リード 5
	ビンテージ リード 6
	ビンテージ リード 7
5	ダンス コード 1
	ダンス コード 2
	ダンス コード 3
	ダンス コード 4
	ダンス コード 5
	クラブ リード 1
	クラブ リード 2
	クラブ リード 3
6	ポップ リード 1
	ポップ リード 2
	ポップ リード 3
	ポップ リード 4
	ポップ リード 5
	ポップ リード 6
	ポップ リード 7
7	シンセ クラリネット 1
	シンセ クラリネット 2
	シンセ クラリネット 3
	シンセ クラリネット 4
	シンセ クラリネット 5
	シンセ クラリネット 6
	シンセ クラリネット 7
	シンセ クラリネット 8
7	シンセ クラリネット 9
	シンセ クラリネット 10
	シンセ サックス
	シンセ トランペット
	シンセ バイオリン
8	シンセ ブラス 1
	シンセ ブラス 2
	シンセ ブラス 3
	シンセ ブラス 4
	シンセ ブラス 5
	シンセ ブラス 6
	シンセ ブラス 7
	シンセ ブラス 8
	シンセ ブラス 9
	シンセ ブラス 10
	シンセ ブラス 11
	シンセ ブラス 12
	シンセ ブラス 13
9	ファット シンセ ブラス 1
	ファット シンセ ブラス 2
	ファット シンセ ブラス 3
	ファット シンセ ブラス 4
	デチューンドSawブラス1
	デチューンドSawブラス2
	デチューンドSawブラス3
	ソフト シンセ ブラス 1
	ソフト シンセ ブラス 2
	PWM ブラス スロー
	PWM ブラス ファスト
	ファンキー アナログ
10	シンセ ストリングス 1
	シンセ ストリングス 2
	シンセ ストリングス 3
	シンセ ストリングス 4
	シンセ ストリングス 5
	シンセ ストリングス 6
	シンセ ストリングス 7
	シンセ ストリングス 8
	シンセ ストリングス 9
	シンセ ストリングス 10
	シンセ ストリングス 11
	シンセ ストリングス 12
	シンセ ストリングス 13
11	ライト シンセストリングス 1
	ライト シンセストリングス 2
	ライト シンセストリングス 3
	ライト シンセストリングス 4
	ムービンシンセストリングス1
	ムービンシンセストリングス2
	ファットシンセストリングス 1
	ファットシンセストリングス 2
	ファットシンセストリングス 3
	ファットシンセストリングス 4
	Oct シンセストリングス 1
11	Oct シンセストリングス 2
	Oct シンセストリングス 3
12	シンセ ベル 1
	シンセ ベル 2
	シンセ ベル 3
	シンセ ベル 4
	シンセ ベル 5
	シンセ ベル 6
	シンセ ベル 7
13	スカイ ベル 1
	スカイ ベル 2
	ボックス ベル 1
	ボックス ベル 2
	ポップ シンセ ベル 1
	ポップ シンセ ベル 2
	ポップ シンセ ベル 3
	ポップ シンセ ベル 4
	ポップ シンセ ベル 5
14	シンセ ディケイ 1
	シンセ ディケイ 2
	シンセ ディケイ 3
	シンセ ディケイ 4
	シンセ ブラック 1
	シンセ ブラック 2
	シンセ ブラック 3
	シンセ ブラック 4
	シンセ ブラック 5
	シンセ ブラック 6
15	シンセ Seq 1
	シンセ Seq 2
	シンセ Seq 3
	トランス Seq 1
	トランス Seq 2
	トランス Seq 3
	トランス Seq 4
	パーカッシブ Seq 1
	パーカッシブ Seq 2
	パーカッシブ Seq 3
	パーカッシブ Seq 4
	パーカッシブ Seq 5
	パーカッシブ Seq 6

ORGAN (オルガン)

1	パイプ オルガン 1
	パイプ オルガン 2
	パイプ オルガン 3
	パイプ オルガン 4
	パイプ オルガン 5
	パイプ オルガン 6
	パイプ オルガン 7
	パイプ オルガン 8
	パイプ オルガン 9
	パイプ オルガン 10

「S-」で始まるボイスはスーパーアーティキュレーションボイスといいます。これらのボイスを演奏することでどのような効果が得られるかについては、36ページの「スーパーアーティキュレーションボイス補足リスト」をご覧ください。また、スーパーアーティキュレーションボイス自体の説明は、39ページをご覧ください。

2	シアター オルガン 1
	シアター オルガン 2
	シアター オルガン 3
	シアター オルガン 4
	シアター オルガン 5
	シアター オルガン 6
	シアター オルガン 7
	シアター オルガン 8
	シアター オルガン 9
	シアター オルガン 10
	シアター ティビア フル
	シアター ティビア 8&4
	シアター ティビア 16&4
	シアター Tp & キヌラ
	シアター ボックス&ティビア
	シアター Tp 16&8
3	ハーモニカ 1
	ハーモニカ 2
	ハーモニカ 3
	ハーモニカ 4
	S-ハーモニカ
	S-ブルースハープ
	リード オルガン
	バンドネオン 1
	バンドネオン 2
4	アコーディオン 1
	アコーディオン 2
	アコーディオン 3
	アコーディオン 4
	アコーディオン 5
	アコーディオン 6
	アコーディオン 7
	アコーディオン 8
	アコーディオン 9
	アコーディオン 10
	アコーディオン ミュゼット1
	アコーディオン ミュゼット2
	アコーディオン フル
5	ジャズ オルガン 1
	ジャズ オルガン 2
	ジャズ オルガン 3
	ジャズ オルガン 4
	ジャズ オルガン 5
	ジャズ オルガン 6
	ジャズ オルガン 7
	ジャズ オルガン 8
	ジャズ オルガン 9
6	ジャズオルガン Slow1
	ジャズオルガン Slow2
	ジャズオルガン Slow3
	ジャズオルガン Fast1
	ジャズオルガン Fast2
	ビンテージ オルガン
	Vin オルガン Slow 1
6	Vin オルガン Slow 2
	Vin オルガン Fast 1
	Vin オルガン Fast 2
	Vin オルガン Fast 3
7	トーン ホイール オルガン 1
	トーン ホイール オルガン 2
	トーン ホイール オルガン 3
	トーン ホイール オルガン 4
	トーン ホイール オルガン 5
8	ポップ オルガン 1
	ポップ オルガン 2
	ポップ オルガン 3
	ポップ オルガン 4
	ポップ オルガン 5
	ポップ オルガン 6
	ポップオルガン Fast1
	ポップオルガン Fast2
	ポップオルガン Fast3
	コンボ オルガン 1
	コンボ オルガン 2
	コンボ オルガン 3
	コンボ オルガン 4
9	ロック オルガン 1
	ロック オルガン 2
	ロック オルガン 3
	ロック オルガン Slow 1
	ロック オルガン Slow 2
	ロック オルガン Slow 3
	ロック オルガン Slow 4
	ロック オルガン Slow 5
	ロック オルガン Slow 6
	ロック オルガン Slow 7
	ロック オルガン Slow 8
	ロック オルガン Fast 1
	ロック オルガン Fast 2
10	オルガン ベース 1
	オルガン ベース 2
	オルガン ベース 3
	オルガン ベース 4

PIANO (ピアノ)

1	ピアノ 1
	ピアノ 2
	ピアノ 3
	S-ピアノ 1
	S-ピアノ 2
	ホンキートンク ピアノ
	オクターブ ピアノ 1
	オクターブ ピアノ 2
	オクターブ ピアノ 3
2	ハープシコード 1
	ハープシコード 2
	ハープシコード 3
2	S-ハープシコード
	クラビコード
3	DX エレピ 1
	DX エレピ 2
	DX エレピ 3
	DX エレピ 4
	DX エレピ 5
	DX エレピ 6
	DX エレピ スウィート 1
	DX エレピ スウィート 2
	DX エレピ&パッド 1
	DX エレピ&パッド 2
	ギャラクシー エレピ
	DX エレピ ダイナミクス
4	ステージ エレピ 1
	ステージ エレピ 2
	ステージ エレピ 3
	ステージ エレピ 4
	ステージ エレピ 5
	ステージ エレピ 6
	S-ステージ エレピ 1
	S-ステージ エレピ 2
	S-ステージ エレピ 3
	S-ステージ エレピ 4
	S-ステージ エレピ 5
5	スタック エレピ 1
	スタック エレピ 2
	S-E. グランドCP80 1
	S-E. グランドCP80 2
	クラビ 1
	クラビ 2
	クラビ 3
	クラビ 4
	S-クラビ
	S-ミュート クラビ

GUITAR (ギター)

1	ナイロン ギター 1
	ナイロン ギター 2
	ナイロン ギター 3
	ナイロン ギター 4
	ナイロン ギター 5
	S-ナイロン ギター 1
	S-ナイロン ギター 2
	フラメンコ ギター
	S-フラメンコ ギター
2	スチール ギター 1
	スチール ギター 2
	スチール ギター 3
	スチール ギター 4
	スチール ギター スライド
	スチール ギター ミュート
	S-スチール ギター 1
2	S-スチール ギター 2
	12弦(ゲン) ギター 1
	12弦(ゲン) ギター 2
3	ジャズ ギター 1
	ジャズ ギター 2
	ジャズ ギター 3
	ジャズ ギター 4
	ジャズ ギター スライド
	ジャズ ギター Oct
	S-ジャズ ギター 1
	S-ジャズ ギター 2
	S-ジャズ ギター 3
4	エレクトリック ギター 1
	エレクトリック ギター 2
	エレクトリック ギター 3
	エレクトリック ギター 4
	エレクトリック ギター 5
	クリーン ギター 1
	クリーン ギター 2
	クリーン ギター 3
	クリーン ギター 4
	クリーン ギター 5
	クリーン ギター 6
	クリーン ギター 7
	クリーン ギター 8
5	エレキ ギター アンプ 1
	エレキ ギター アンプ 2
	エレキ ギター アンプ 3
	エレキ ギター アンプ 4
	エレキ ギター アンプ 5
	エレキ ギター アンプ 6
	エレキ ギター アンプ 7
	ミュート ギター 1
	ミュート ギター 2
	ミュート ギター 3
	ミュート ギター 4
	S-クリーン ソリッド 1
	S-クリーン ソリッド 2
	S-クリーン ソリッド 3
6	S-クリーン ギター 1
	S-クリーン ギター 2
	S-クリーン ギター 3
	S-クリーン ギター 4
	S-クリーン ギター 5
	S-クリーン ギター 6
	S-クリーン フィンガー 1
	S-クリーン フィンガー 2
	S-クリーン フィンガー 3
	S-クリーン フィンガー 4
	S-クリーン ビンテージ 1
	S-クリーン ビンテージ 2
	S-クリーン ビンテージ 3
7	ディストーション ギター 1
	ディストーション ギター 2

「S-」で始まるボイスはスーパーアーティキュレーションボイスといいます。これらのボイスを演奏することでどのような効果が得られるかについては、36ページの「スーパーアーティキュレーションボイス補足リスト」をご覧ください。また、スーパーアーティキュレーションボイス自体の説明は、39ページをご覧ください。

7	ディストーション ギター 3
	ディストーション ギター 4
	ディストーション ギター 5
	ディストーション ギター 6
	ディストーション ギター 7
	ディストーション ギター 8
	ディストーション ギター 9
8	S-ディスト ソリッド 1
	S-ディスト ソリッド 2
	S-ディスト ソリッド 3
	S-ディスト ソリッド 4
	S-ディスト ソリッド 5
	S-ディスト ソリッド 6
	Sディスト ビンテージ 1
	Sディスト ビンテージ 2
	S-ディスト クランチ 1
	S-ディスト クランチ 2
	S-ディスト フィンガー 1
	S-ディスト フィンガー 2
9	バンジョー 1
	バンジョー 2
	マンドリン
	ペダル スチールギター 1
	ペダル スチールギター 2
	ペダル スチールギター 3
	ハープ 1
	ハープ 2
	ハープ 3
	ハープ 4
	ハープ 5

PERCUSSION (パーカッション)

1	ビブラフォン 1
	ビブラフォン 2
	ビブラフォン 3
	マリンバ 1
	マリンバ 2
	マリンバ 3
	シロフォン 1
	シロフォン 2
	グロッケン 1
	グロッケン 2
	グロッケン 3
2	チェレスタ 1
	チェレスタ 2
	ミュージックボックス 1
	ミュージックボックス 2
	チャイム 1
	チャイム 2
	チャイム 3

TIMPANI (ティンパニ)

1	ティンパニ 1
	ティンパニ 2
	ティンパニ 3
	ティンパニ 4
	ティンパニ 5
	ティンパニ ロール 1
	ティンパニ ロール 2
	ティンパニ ロール 3
	ティンパニ ロール 4
	S-ティンパニ ロール
	S-ティンパニ ロール fp

ELECTRIC BASS (エレクトリックベース)

1	フィンガー ベース 1
	フィンガー ベース 2
	フィンガー ベース 3
	フィンガー ベース 4
	フィンガー ベース 5
	フィンガー ベース 6
	フィンガー ベース 7
	フィンガー ベース 8
	フィンガー ベース 9
	フィンガー ベース 10
	フィンガー ベース 11
	S-フィンガー ベース 1
	S-フィンガー ベース 2
	S-フィンガー ベース 3
2	スラップ ベース 1
	スラップ ベース 2
	スラップ ベース 3
	スラップ ベース 4
	スラップ ベース 5
	スラップ ベース 6
3	ピック ベース 1
	ピック ベース 2
	ピック ベース 3
	ピック ベース 4
	ピック ベース 5
	ピック ベース 6
	ピック ベース 7
	ピック ベース 8
	ピック ベース 9
	ピック ベース 10
4	フレットレス ベース 1
	フレットレス ベース 2
	フレットレス ベース 3
	フレットレス ベース 4

SYNTH BASS (シンセベース)

1	ファンク ベース 1
	ファンク ベース 2
	ファンク ベース 3
	ファンク ベース 4
	ファンク ベース 5
	ファンク ベース 6
	ファンク ベース 7
	ファンク ベース 8
	ファンク ベース 9
	ファンク ベース 10
2	ダンス ベース 1
	ダンス ベース 2
	ダンス ベース 3
	ダンス ベース 4
	ダンス ベース 5
	ダンス ベース 6
	ダンス ベース 7
	ダンス ベース 8
	ダンス ベース 9
	ダンス ベース 10
	ダンス ベース 11
	ダンス ベース 12
	ダンス ベース 13
	ダンス ベース 14
	ダンス ベース 15
	ダンス ベース 16
3	スムース ベース 1
	スムース ベース 2
	スムース ベース 3
	スムース ベース 4
	スムース ベース 5
	スムース ベース 6
	スムース ベース 7
	スムース ベース 8
	スムース ベース 9
	スムース ベース 10
4	ディープ ベース 1
	ディープ ベース 2
	ディープ ベース 3
	ディープ ベース 4
	ディープ ベース 5
	ディープ ベース 6
5	ファット ベース 1
	ファット ベース 2
	ファット ベース 3
	ファット ベース 4
	ファット ベース 5
	ファット ベース 6
	ファット ベース 7
	ファット ベース 8
	ファット ベース 9
	ファット ベース 10

WORLD (ワールド)

1	パン フルート 1
	パン フルート 2
	S-パン フルート 1
	S-パン フルート 2
	S-アイリッシュ パイプ 1
	S-アイリッシュ パイプ 2
	バグパイプ
	ダルシマー 1
	ダルシマー 2
	ツィター
2	尺八(シャクハチ)
	横笛(ヨコブエ)
	三味線(シャミセン) 1
	三味線(シャミセン) 2
	箏(コト)
	大正琴(タイショウコト)
3	二胡(ニコ) 1
	二胡(ニコ) 2
	二胡(ニコ) 3
	板胡(バンコ)
	馬頭琴(バトウキン)
	笛子(ディズ)
	哨吶(スオナ)
	葫蘆絲(フルス)
	中国笙(ショウ)
	古箏(コソウ) 1
	古箏(コソウ) 2
	楊琴(ヤンチン)
	中国琵琶(ビワ)
	S-中国琵琶(ビワ)
	柳琴(リュウチン)
	三弦(サンゲン)
4	ネイ
	スルネイ
	ウード
	シタール 1
	シタール 2
	ケメンチェ
5	スチール ドラム
	ログ ドラム
	カリンバ

「S-」で始まるボイスはスーパーアーティキュレーションボイスといいます。これらのボイスを演奏することでどのような効果が得られるかについては、36ページの「スーパーアーティキュレーションボイス補足リスト」をご覧ください。また、スーパーアーティキュレーションボイス自体の説明は、39ページをご覧ください。

スーパーアーティキュレーションボイス補足リスト

ここにあるリストは、31～35ページにあるボイスリストのうち、「S-」で始まるボイスにつき、演奏時にどのような効果が得られるかを説明したものです。リスト中の各項目の意味は以下のとおりです。

- **スーパーアーティキュレーション:** この欄には、通常の鍵盤演奏で得られる効果が書かれています。表中にある「AEM」については、9ページをご覧ください。また「キーオフサンプリング」とは、鍵盤から指を離したときにも、演奏中のボイスに特有の音が鳴ることを示しています。
- **オート:** この欄には、ボイスコンディション画面のページ2にある「オート」(46ページ)をONにしたときの鍵盤演奏で得られる効果が書かれています。表中に (オクターブ) が添記されている効果は、短7度、長7度、オクターブの音程をレガートで演奏をした場合に得られる効果です。
- **ART.1 / ART.2:** この欄には、ボイスコンディション画面のページ2にある「フットスイッチレフト」(46ページ)の、[ART.1]または[ART.2]をONにしたときの左フットスイッチをオンにした状態の鍵盤演奏で得られる効果が書かれています。表中に「***/***」のように書かれている場合、キーオン時の効果/キーオフ時の効果を意味します。たとえば「装飾音/ベンドダウン」と書かれている場合、左フットスイッチをオンにした状態でキーオンするとボイス音に装飾音が付き、左フットスイッチをオンにした状態でキーオフするとボイス音にベンドダウンの効果がかかります。「効果音」と書かれている効果については、左フットスイッチをオンにしただけで効果音が鳴ります。その他は、左フットスイッチをオンにした状態でキーオンしたときの効果です。
- **タイプ:** この欄には、奏法によって分けられる4つのタイプが書かれています。各タイプがどのような奏法になるか、具体的な事例を39ページで説明しているので、合わせてご覧ください。

カテゴリー	音色名	スーパーアーティキュレーション	オート	ART.1	ART.2	タイプ
STRINGS/VIOLIN (ストリングス/バイオリン)	S-ストリングス 1	レガート	—	—	—	
	S-ストリングス 2	レガート	—	—	—	
	S-ストリングス 3	レガート	—	—	—	
	S-バイオリン 1	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	ベンドアップ、ベンドダウン、ポルタメント(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	装飾音/ベンドダウン	D
	S-バイオリン 2	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	ポルタメント(オクターブ)	装飾音/ベンドダウン	ベンドアップ/ベンドダウン	D
CONTRABASS (コントラバス)	S-アコースティックベース 1	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-アコースティックベース 2	レガート	—	効果音	効果音	A
BRASS/TRUMPET (ブラス/トランペット)	S-ブラスセクション Lgt	レガート	—	—	—	
	S-ブラスセクション フォール		—	フォールダウン	—	B
	S-ブラスセクション アップ		—	グリッサンドアップ	—	B
	S-トランペット 1	レガート(AEM)	ベンドアップ、ベンドダウン、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-トランペット 2	レガート(AEM)	グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-トランペット フォール		—	グリッサンドアップ	—	B
	S-トランペット シェイク		—	シェイク	—	B
	S-トロンボーン	レガート(AEM)	ベンドアップ、ベンドダウン、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ(短)/ベンドダウン	ベンドアップ(長)/グリッサンドダウン	D
	S-ホルンセクション	レガート	—	—	—	
WOODWIND/FLUTE (ウッドウィンド/フルート)	S-フルート	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	—	装飾音/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-フルート フラッター	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	装飾音、グリッサンド(オクターブ)	装飾音/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-クラリネット 1	レガート(AEM)	装飾音、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-クラリネット 2	レガート(AEM)	ベンドアップ、ベンドダウン、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-アルトサックス	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	ベンドアップ、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-アルトサックス グロウル	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	ベンドアップ、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-テナー サックス 1	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	ベンドアップ、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-テナー サックス 2	レガート(AEM)	ベンドアップ、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-テナー サックス 3	レガート(AEM)	ベンドアップ、ベンドダウン、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-テナーサックス グロウル	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	ベンドアップ、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-ソプラノサックス	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	装飾音、グリッサンド(オクターブ)	装飾音/ベンドダウン(短)	ベンドアップ/ベンドダウン	D
	S-ソプラノサックスグロウル	キーオフサンプリング、レガート(AEM)	ベンドアップ、グリッサンド(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D

カテゴリー	音色名	スーパー アーティキュレーション	オート	ART.1	ART.2	タイプ
CHOIR (クワイア)	S-クワイアソフト Aah	レガート	—	—	—	
	S-クワイアBoys Aah	レガート	—	—	—	
	S-クワイアソフト Ooh	レガート	—	—	—	
	S-クワイアBoys Ooh	レガート	—	—	—	
	S-ゴスペルクワイア Hmm	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ゴスペルクワイアH/Ah		—	"Aah"	—	B
	S-ゴスペルクワイア Wow	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ゴスペルクワイアW/Hy		—	"Hey"	—	B
	S-ゴスペルクワイア Hey	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-シュビドゥバ/Hmm	スキャット	—	"Hmm"	—	C
	S-シュビドゥバ/Wah	スキャット	—	"Wah"	—	C
	S-シュビドゥバ/Doo	スキャット	—	"Doo"	—	C
	S-シュバドゥバ/Daa	スキャット	—	"Daa"	—	C
	S-ドゥバビ/Shoo	スキャット	—	"Shoo"	—	C
	S-ドゥビドゥビ/Wah	スキャット	—	"Wah"	—	C
	S-ドゥビバダ/DoWe	スキャット	—	"DoWe"	—	C
	S-バダヤ/Doo	スキャット	—	"Doo"	—	C
	S-ヤバダバ/Doo	スキャット	—	"Doo"	—	C
	S-スキャット/Doo	スキャット	—	"Doo"	—	C
	S-スキャット/DoWe	スキャット	—	"DoWe"	—	C
	S-スキャット/SFX 1	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-スキャット/SFX 2	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ホワットシュッドウィドゥ	スキャット	—	"Wah"	—	C
	S-フーアーユー /Wee	スキャット	—	"Wee"	—	C
	S-ドゥウィユービー /Wah	スキャット	—	"Wah"	—	C
	S-Haaビブラート/SFX	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-Oohビブラート/SFX	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-OohボーイズVib/S	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-OohガールズVib/S	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-Dooビブラート/SFX	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-Dooボーイズ/SFX	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-Dooガールズ/SFX	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-Daaビブラート/SFX	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-Baaビブラート/SFX	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-Wahビブラート/SFX	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-Yooビブラート/SFX	レガート	—	効果音	効果音	A
ORGAN (オルガン)	S-ハーモニカ	レガート(AEM)	装飾音、ベンドダウン、レガート(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	装飾音/ベンドダウン	D
	S-ブルースハープ	レガート(AEM)	装飾音、ベンドダウン、レガート(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	装飾音/ベンドダウン	D
PIANO (ピアノ)	S-ピアノ 1	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-ピアノ 2	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-ハープシコード	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-ステージ エレピ 1	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-ステージ エレピ 2	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-ステージ エレピ 3	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-ステージ エレピ 4	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-ステージ エレピ 5	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-E.グランドCP80 1	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-E.グランドCP80 2	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-クラビ	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-ミュート クラビ	キーオフサンプリング	—	—	—	
GUITAR (ギター)	S-ナイロン ギター 1	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ナイロン ギター 2		—	ハーモニクス	—	B
	S-フラメンコ ギター	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A

カテゴリー	音色名	スーパー アーティキュレーション	オート	ART.1	ART.2	タイプ
GUITAR (ギター)	S-スチールギター 1	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-スチールギター 2		—	ハーモニクス	—	B
	S-ジャズギター 1	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ジャズギター 2	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ジャズギター 3	キーオフサンプリング	—	オクターブ奏法	—	B
	S-クリーン ソリッド 1	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン ソリッド 2	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン ソリッド 3	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン ギター 1	キーオフサンプリング	—	ハーモニクス	—	B
	S-クリーン ギター 2		—	ハーモニクス	—	B
	S-クリーン ギター 3	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン ギター 4		—	効果音	効果音	A
	S-クリーン ギター 5	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン ギター 6	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン フィンガー 1	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン フィンガー 2	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン フィンガー 3	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン フィンガー 4	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン ビンテージ 1	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン ビンテージ 2	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-クリーン ビンテージ 3	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ディスト ソリッド 1	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ディスト ソリッド 2	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ディスト ソリッド 3	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ディスト ソリッド 4	レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ディスト ソリッド 5	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ディスト ソリッド 6	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	Sディスト ビンテージ 1	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	Sディスト ビンテージ 2	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ディスト クランチ 1	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ディスト クランチ 2	キーオフサンプリング、レガート	—	効果音	効果音	A
	S-ディスト フィンガー 1		—	装飾音	—	B
	S-ディスト フィンガー 2		—	装飾音	—	B
TIMPANI (ティンパニ)	S-ティンパニ ロール	キーオフサンプリング	—	—	—	
	S-ティンパニ ロール fp	キーオフサンプリング	—	—	—	
ELECTRIC BASS (エレクトリックベース)	S-フィンガーベース 1	キーオフサンプリング	—	効果音	効果音	A
	S-フィンガーベース 2	キーオフサンプリング	—	効果音	効果音	A
	S-フィンガーベース 3	キーオフサンプリング	—	効果音	効果音	A
WORLD (ワールド)	S-パン フルート 1	レガート(AEM)	ベンドアップ、グリッサンドアップ(オクターブ)	ベンドアップ(短)/ベンドダウン	ベンドアップ(長)/ベンドダウン	D
	S-パン フルート 2	レガート(AEM)	ベンドアップ、グリッサンドアップ(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	グリッサンドアップ/グリッサンドダウン	D
	S-アイリッシュ パイプ 1	レガート(AEM)	ベンドアップ、ベンドダウン、装飾音(オクターブ)	ベンドアップ/ベンドダウン	装飾音/ベンドダウン	D

カテゴリー	音色名	スーパー アーティキュレーション	オート	ART.1	ART.2	タイプ
WORLD (ワールド)	S-アイリッシュ パイプ 2	レガート、装飾音(AEM)	ベンドダウン	ベンドアップ/ ベンドダウン	装飾音/ベンドダウン	D
	S-中国琵琶(ビワ)	キーオフサンプリング	—	—	—	

搭載されている音源について

このエレクトーンには、AWM (アドバンストウェーブメモリー)音源でつくられたボイスが内蔵されています。

AWM音源

AWM音源は、実際の楽器の音をサンプリングして、複雑な波形をデジタルデータとして再現することで、リアルな楽器音をつくり出します。ここでは特別な操作が必要なスーパーアーティキュレーションボイスについて説明します。

スーパーアーティキュレーションボイス

スーパーアーティキュレーションボイスは、アコースティック楽器のリアルなサウンドや奏法を再現する音源技術が使われています。ギターの弦と指が擦れるノイズやハーモニクス、エレピの鍵盤アクションノイズまでリアルに再現しています。ジャズの即興で使われる歌唱法で「シュビドゥバ…」といったスキャット、レガート、ベンド、グリッサンドなどの奏法も、奏者の息使いが感じられるほど自然な演奏表現が可能です。弾き方や左フットスイッチで、自由な表情付けができます。スーパーアーティキュレーションボイスには、「S-」で始まるボイス名がつけられています。

スーパーアーティキュレーションボイスの表情付けの例

ボイスコンディション画面のページ2にあるアーティキュレーション(46ページ)の項目を設定することにより、下記のような表情付けができます。

効果音の例: S-ナイロン ギター 1 (タイプA)

[ART.1]あるいは[ART.2]を選択した状態で、左フットスイッチを押すと、ギターの胴を叩いたような効果音が鳴ります。

ハーモニクスの例: S-スチール ギター 2 (タイプB)

[ART.1]を選択した状態で、左フットスイッチを押しながら鍵盤を弾くと、ハーモニクス奏法(ピッキング・ハーモニクス)のサウンドになります。

スキャットの例: S-シュビドゥバ/Hmm (タイプC)

[ART.1]を選択した状態で、左フットスイッチを押しながら鍵盤を弾くと、常に「Hmm」の発声に固定されます。左フットスイッチが押されていないときは、鍵盤を弾くたびに「シュ」「ビ」「ドゥ」「バ」と発声が切り替わります。

ベンドやグリッサンドの例: S-アルトサックス(タイプD)

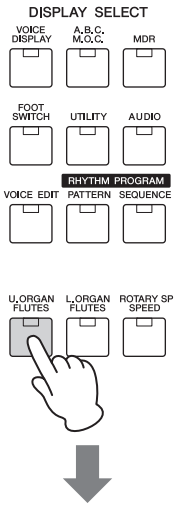
[ART.1]を選択した状態で、左フットスイッチを押しながら鍵盤を弾くと、ピッチがベンドアップしながら発音します。
[ART.2]を選択した状態で、左フットスイッチを押しながら鍵盤を弾くと、グリッサンド奏法になります。
[オート]をONにした状態で鍵盤を弾くと、ベンド奏法やグリッサンド奏法の効果が自動的にかかります。

3 オルガンフルート

このエレクトーンにはオルガンフルート機能があり、多彩なスタイルのオリジナルオルガンサウンドをつくることができます。伝統的なオルガンと同じように、フッテージレバーで各フッテージのレベルを上げ下げしたり、パーカッシブサウンドを加えたりして、ゴージャスなフルオルガンサウンドが思いどおりにつくれます。9種類のフルートフッテージと3種類のアタックフッテージを組み合わせて、さまざまなオルガンサウンドをつくってみましょう。

1 [U. ORGAN FLUTES]ボタン(上鍵盤のオルガンフルート)、または[L. ORGAN FLUTES]ボタン(下鍵盤のオルガンフルート)を押します。

ボタンを押すとボタンのランプが点灯し、フルートフッテージの画面が表示されます。



フッテージページ



2 オルガンフルートの波形を設定します。

3つのタイプ(サイン/ビンテージ/ユーロ)別のボタンでオルガンフルートの波形を選択します。

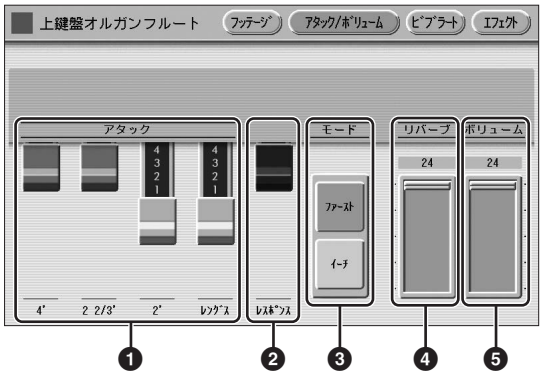
- **サイン**：サイン波(正弦波)のクリアな音質
- **ビンテージ**：やや歪んだ特徴がある音質
- **ユーロ**：電子式トレモロが装備されたトランジスタ電子オルガンの音質

3 フッテージレバーを動かして、各フッテージのレベルを0～8の9段階に調整します。

フッテージレバーは指で直接触って操作します。データコントロールダイアルでは操作できません。ミックスされた音色の変化を確かめながら、各フッテージのバランスを調整しましょう。

4 右上の[アタック/ボリューム]ボタンを押してアタック/ボリュームページを表示させ、全体の音量やアタックなどを設定します。

アタック/ボリュームページ



❶ アタック

パーカッシブ音の設定をします。4'、2 2/3'、2'のレバーでは、それぞれのアタックフッテージを設定します。
レングスのレバーでアタック音の長さを設定します。

❷ レスポンス

鍵盤を弾いたときのレスポンス(応答)の速さを設定します。
レスポンスのレバーを下に引くほど、発音は遅くなり、パイプオルガンのような効果が得られます。

❸ モード

弾いた鍵盤のどの音にアタックを付けるかを決定します。
この設定は上鍵盤/下鍵盤で共通です。

- **ファースト**：最初に弾いた鍵盤の音にだけアタックが付きます。最初に弾いた鍵盤を押さえている間は、アタックはほかの音には付きません。
- **イーチ**：全部の音にアタックが付きます。

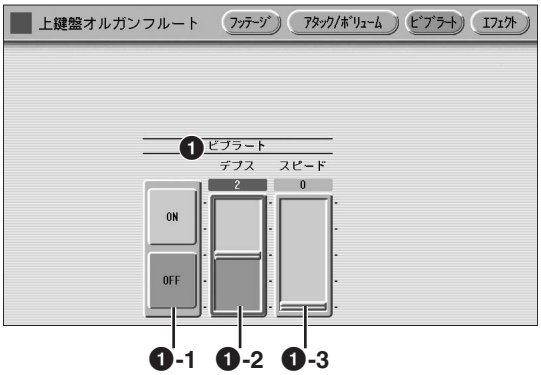
❹ リバーブ
オルガンサウンドにかかるリバーブの量を設定します。ここでリバーブを最大にしても、パネル上のリバーブ量を上げないと、リバーブ効果は得られません。

関連ページ
・リバーブ(47ページ)

❺ ボリューム
オルガンフルートの全体の音量を決定します。各フッテージのバランスを保ったままで音量を変更できます。ここが0になっていると、オルガンフルートの音は出ません。

5 右上の[ビブラート]ボタンを押してビブラートページを表示させ、ビブラートに関する詳細を設定します。

ビブラートページ



❶ ビブラート
ビブラートはボイスセクションごとに設定でき、音色をふるわせてマイルドなイメージにします。

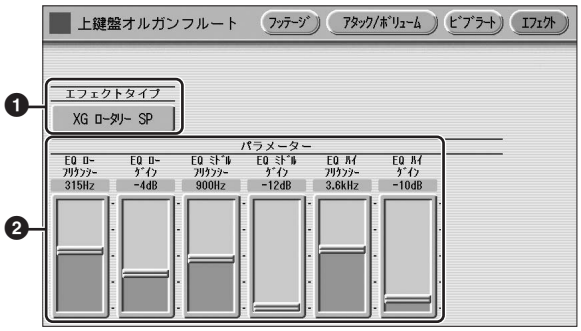
❶-1 ON/OFF
ビブラートのオン/オフを切り替えます。

❶-2 デプス
ビブラートの深さを設定します。レベルを上げるとより深い効果が得られます。
設定範囲：1～3

❶-3 スピード
ビブラートの速さを設定します。レベルを上げるとビブラートのスピードが速くなります。
設定範囲：0～63

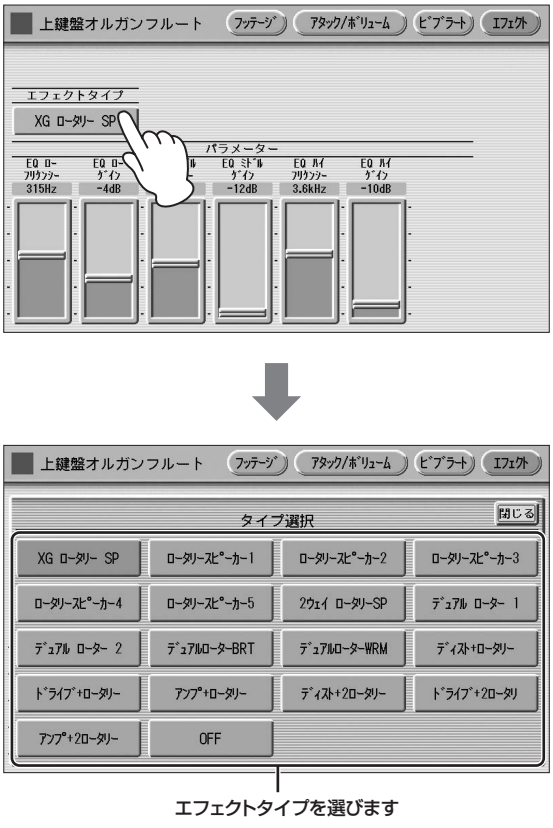
6 右上の[エフェクト]ボタンを押してエフェクトページを表示させ、ロータリースピーカーに関する詳細を設定します。

エフェクトページ



❶ エフェクトタイプ
オルガンサウンドに固有の、ロータリースピーカー (トレモロ効果)の設定をします。エフェクトタイプのボタンを押すと、ロータリースピーカーのエフェクトタイプ一覧が画面に表示されます。一覧の中から使用したいエフェクトタイプを選びます。
[閉じる]ボタンを押すと、エフェクトタイプを選択せずに一覧表示を閉じます。

関連ページ
・エフェクトリスト(55ページ)
・ロータリースピーカー (50ページ)



❷ エフェクトパラメーター
選択しているエフェクトタイプに応じたパラメーターが設定されます。

7 もう一度、[U. ORGAN FLUTES]または[L. ORGAN FLUTES]ボタンを押すと、ボタンのランプは消え、オルガンフルート機能は終了します。

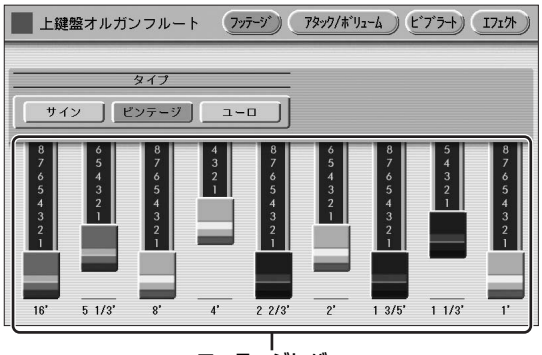


オルガンフルート機能とパイプオルガン

オルガンフルート機能は、伝統的なオルガンの構造をシミュレートしています。ここでは簡単に、パイプオルガンと電気オルガンの仕組みについてご紹介します。

パイプオルガンは、鍵盤を弾くとその鍵盤につながれたパイプに空気が送られて、リードのついたパイプから、正弦波に近い、「ポー」という縦笛のような音が出ます。素材や形状の違うパイプがいくつもあり、その一本一本が、音色を構成する倍音を担当するという構造になっています。これらのパイプにどれだけの空気を送るかを決める、「音栓(ストップ)」と呼ばれるレバーがあり、この音栓の組み合わせで、クラリネットやオーボエ、フルートのような音など、さまざまな音色を合成できるのです。このように合成された音は、教会やホールの全体に反響し、重厚な音の広がりを持って演奏されます。

やがて技術が発達すると、パイプオルガンを電気的に実現した電気オルガンが登場し、小さな教会やレストランなどでもパイプオルガンそっくりの演奏が聴けるようになりました。1930年頃に作られた、最も普及したタイプのものは、今でも世界中で愛されています。それは、1つの鍵盤が9つの正弦波発信器につながっていて、それぞれの正弦波の信号量、すなわち音量を、レバーでコントロールするものでした。正弦波発信器が長さの違うパイプの役割を、レバーが各パイプに割り当てられる音栓の役割をして、パイプオルガンの機構を再現しました。このエレクトーンのオルガンフルート機能は、この電気オルガンと同じ仕組みになっています。



フッテージレバー

各フッテージレバーに表示されている16'や8'などの数字は、パイプオルガンのパイプの長さ(=フッテージ)、つまり音の高さを表しています。8'というのは8フィート、4'は4フィートで、8フィートよりも1オクターブ高い音、16'は16フィートで、8フィートよりも1オクターブ低い音が出ます。3度や5度の音が出るものもあり、分数で表されます。
また、電気オルガンは、ロータリースピーカーと呼ばれる回転式のスピーカーを搭載して、部屋中に音を反射させることで、パイプオルガンの持つ音場の広がりを表現しましたが、このエレクトーンにもロータリースピーカーがエフェクトとして設定できるようになっています。

4 コントロールとエフェクト

ボイスコンディション画面やパネル上のボタンを使用して、選択したボイスに色々なコントロールやエフェクトを加えて、多彩に変化させることができます。
また、ボイスによっては、あらかじめエフェクトが設定されているものもありますが、すべてお好みに応じて変更できます。搭載したエフェクトは、すべてデジタルエフェクトです。
下図は個々のボイスセクションに設定可能なコントロールやエフェクトのリストです。コントロール/エフェクトは種類によってかかり方が異なり、ボイスセクションごと、鍵盤ごと、そして楽器全体にかかるものがあります。

コントロール/エフェクト		設定方法	コントロール/エフェクトを設定できるボイスセクション					
			上鍵盤		リードボイス	下鍵盤		ペダル鍵盤
			上鍵盤ボイス1 上鍵盤ボイス2	オルガン フルート	リードボイス1 リードボイス2	下鍵盤ボイス1 下鍵盤ボイス2	オルガン フルート	ペダルボイス1 ペダルボイス2
ボイスコンディション画面で設定	パン	44ページ	○	—	○	○	—	○
	タッチトーン	44ページ	○	—	○	○	—	○
	ピッチ	44ページ	○	—	○	○	—	○
	フィート	44ページ	○	—	○	○	—	○
	リバーブ (リバーブセンド)	45ページ	○	○	○	○	○	○
	ブリリアンス	45ページ	○	—	○	○	—	○
	ボリューム	45ページ	○	○	○	○	○	○
	プライオリティー	45ページ	—	—	○*	—	—	—
	ポリ	45ページ	—	—	—	—	—	○
	ビブラート	45ページ	○	—	○	○	—	○
	タッチビブラート	46ページ	○	—	○	○	—	○
	スライド	46ページ	—	—	○	—	—	—
	アーティキュレーション オート	46ページ	○	—	○	○	—	○
	アーティキュレーション フットスイッチレフト	46ページ	○	—	○	○	—	○
	トランスポーズ	47ページ	○	—	○	○	—	○
	チューン	47ページ	○	—	○	○	—	○
	エフェクト(1/2)	46ページ	○	○ (ロータリー スピーカーのみ)	○	○	○ (ロータリー スピーカーのみ)	○
ボタンで設定	リバーブ	47ページ	○					
	サステイン	49ページ	○		—	○		○
	ロータリースピーカー	50ページ	○					

*プライオリティーはリードボイス2のみ設定

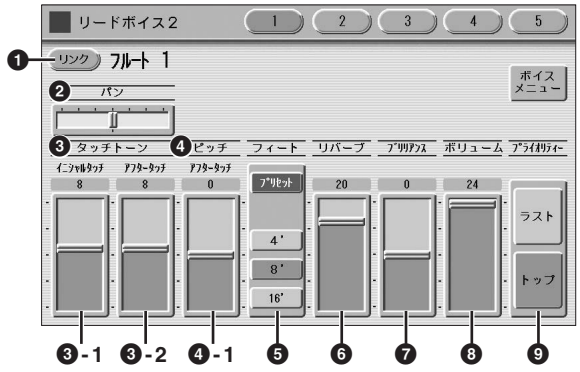
NOTE

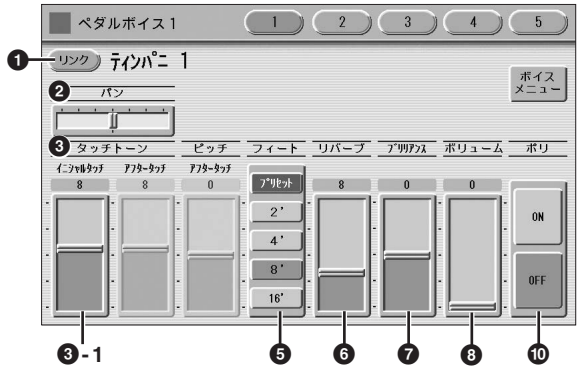
ビブラート、タッチビブラート、スライド、アーティキュレーションオート、アーティキュレーションフットスイッチレフト、サステインは機能しない音色もあります。

ボイスコンディション画面で設定するもの

パネル上のボイスボタンを二度続けて押すと(画面上に使用したいボイスがすでに表示されている場合は一度だけ押すと)、画面上にボイスコンディション画面が現れます。
各ボイスにはそれぞれ5ページのボイスコンディション画面があり、画面右上の[1]～[5]ボタンでページを切り替えます。

ボイスコンディション画面【ページ1】





ボイスコンディション画面の1ページ目では、パンやタッチトーン、ボリュームなどの、ボイスの基本的な設定を行ないます。ボイスセクションによって画面に表示される内容が異なります。

❶ ボイスリンク

ボイスリンクは、ボリュームとブリリアンスを除くボイスコンディション画面上の設定を反映した音色を、1つのボイスとして登録する機能です。登録されたボイスは、すべてのボイスセクションのユーザーボタンから呼び出される画面中のボイスリンクカテゴリーから選択できます。登録の手順については、51ページをご覧ください。

❷ パン

ステレオ出力による楽器音の左右の位置を決定します。ボイスセクションごとに、7か所の位置で設定できます。

❸ タッチトーン

タッチトーンは、弾き方によって音量や音質を変化させる機能です。より豊かに、またはより繊細に表現する力を発揮するもので、個々の楽器特有の微妙な表現が可能となります。タッチトーンには、イニシャルタッチとアフタータッチの2種類があり、ボイスセクションごとに設定できます。

❸-1 イニシャルタッチ

鍵盤を押すスピードによって、音量と音質をコントロールします。一般的に、鍵盤をより強く弾けばそれだけ音量は大きくなり、音質は明るくなります。
レベルを0にするとイニシャルタッチはかからなくなり、レベルを上げると、タッチによる変化が大きくなります。
設定範囲：0～14

NOTE

オルガンの一部のボイスでは、イニシャルタッチはかかりません。

❸-2 アフタータッチ

鍵盤を押さえつける強さによって、立ち上がったあとの音量と音質をコントロールします。
一般的に、鍵盤をより強く押さえることによって音量は大きくなり、音質は明るくなります。
レベルを0にするとアフタータッチはかからなくなり、レベルを上げると、タッチによる変化が大きくなります。
設定範囲：0～14

NOTE

- ペダルボイスには、アフタータッチはありません。
- 減衰系の音(ピアノやビブラフォンなど)やパーカッションサウンド、オルガンの一部のボイスには、アフタータッチはかかりません。

❹ ピッチ

ピッチは、アフタータッチを使って、音程(音の高さ)を変えることのできる機能です。

❹-1 アフタータッチ

鍵盤を押さえつける強さ(アフタータッチ)によって、音程をコントロールします。
レベルを0にするとアフタータッチはかからなくなります。プラスの値にすると、鍵盤を押す強さに応じて音程が高くなり、マイナスの値にすると、鍵盤を押す強さに応じて音程が低くなります。＋14または－14にレベルを近づけるほど、アフタータッチによる変化幅が大きくなります。
設定範囲：－14～＋14

❺ フィート

ボイスセクションごとに異なったオクターブに設定でき、1つのボイスを幅広い音域で使用することができます。4'、8'、16'の3種類の設定が選べます。ペダルボイスセクションの場合はさらに2'の設定が追加されます。プリセットを選ぶと、そのボイスにあらかじめ設定された、最適なフィートになります。

❻ リバーブ
ボイスセクションごとにかけるリバーブの量を設定します。このリバーブを最大にしても、パネル上のリバーブ量を上げないと、リバーブ効果は得られません。詳しくは47ページをご覧ください。

❼ ブリリアンス
ボイスセクションごとに音質を変化させ、音色を明るくしたり暗くしたりします。−3から3までの設定が可能です。レベルを上げるほど明るく、レベルを下げるほど暗くなります。

❽ ボリューム
音量の細かな設定を行ないます。28ページをご覧ください。

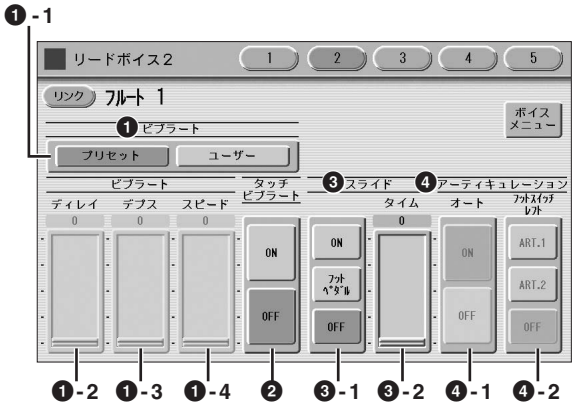
❾ プライオリティー (リードボイス2のみ)
リードボイス2の発音モードを切り替えます。ラスト、トップの2種類の設定があります。

- **ラスト：**後着優先(2つ以上の鍵盤を弾くとあとから押さえた鍵盤のみが鳴る)にします。
- **トップ：**高音優先(2つ以上の鍵盤を弾くと高い音のみが鳴る)にします。ソロ機能をオンにしているときには、ここでの設定に関係なく、後着優先となります。

関連ページ
・ソロ機能(29ページ)

❿ ポリ(ペダルボイスのみ)
ペダルポリモードのオン/オフを切り替えます。ペダルポリモードをオン(ON)にすると、ペダル鍵盤を単音発音の状態から複音発音の状態に変更できます。ペダル鍵盤でレガートに演奏したり、重奏を行なう場合などに便利です。
ペダルポリモードをオンにした場合、上鍵盤/下鍵盤/ペダルボイスセクションの合計で14音発音します。

ボイスコンディション画面【ページ2】

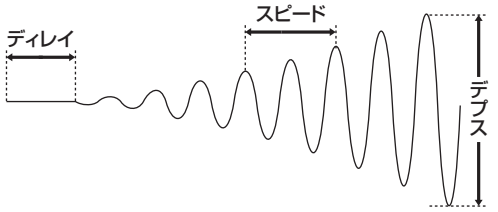


リードボイスセクションとそれ以外のボイスセクションによって内容が異なります。スライド(❸)は、リードボイス1、2のみの設定です。

❶ ビブラート
ビブラートは、音色をふるわせてマイルドなイメージにします。ボイスセクションごとに設定できます。
ただし、まったくビブラートのかからないボイスや、設定したとおりにビブラートの効果が得られないボイスもあります。

❶-1 プリセット/ユーザー
プリセットを選択すると、そのボイスにあらかじめ設定された、最適なビブラートになります。
この場合、画面上のディレイ、デプス、スピードの各パラメーターは設定できません。
ユーザーを選択すると、画面上のパラメーター (ディレイ、デプス、スピード)を変更して、自分のイメージにあったビブラートを設定できるようになります。

ビブラートコントロール



❶-2 ディレイ
鍵盤を押してからビブラートがかかるまでの時間の長さを決定します。レベルを上げるとビブラートがかかるまでの時間が長くなります。
設定範囲：0〜14

❶-3 デプス
ビブラートの深さを設定します。レベルを上げるとより深い効果が得られます。デプスを0にすると、ビブラートはかかりません。
設定範囲：0〜14

❶-4 スピード
ビブラートの速さを設定します。レベルを上げるとビブラートのスピードが速くなります。
設定範囲：0〜14

❷ タッチビブラート

タッチビブラートのオン/オフを切り替えます。タッチビブラートをオンにすると、演奏中に鍵盤を強く押さえること(アフタータッチ)によって、ビブラートをかけることができます。鍵盤をさらに強く押さえると、ビブラートはより深くなります。タッチビブラートをオフにすると、鍵盤を押さえる強さを変えてもビブラートの深さは変わりません。

NOTE

ペダルボイスにはタッチビブラートはありません。

❸ スライド(リードボイスのみ)

スライドは、レガートで演奏したときに、ポルタメント効果(続けて弾いた2つの音をなめらかにつなげる効果)を加えます。リードボイスに、1オクターブの範囲内でかけることができます。1オクターブ以上離れた音を弾いた場合には、スライドの効果はかかりません。

関連ページ

• リードスライドをコントロールする: フットペダル(別売)(180ページ)

❸-1 ON/フットペダル/OFF

スライドのオン/オフ、またはフットペダルでの設定を選択できます。

❸-2 タイム

スライド(ポルタメント)の速さを設定します。レベルを上げると、スライド効果のスピードは遅くなります。

設定範囲：0～14

NOTE

スーパーアーティキュレーションボイスを選択している場合にはスライドの効果は選択できません。

❹ アーティキュレーション

スーパーアーティキュレーションボイスにだけ有効な設定です。ここでの設定により、絶妙なタイミングで楽器独自の効果(ピッチベンドやグリッサンドなど)がかかり、鍵盤演奏にアコースティック楽器のような表現効果を付けることができます。

❹-1 オート

ONにすると、ピッチベンドやグリッサンドなどの効果が自動的にかかります。

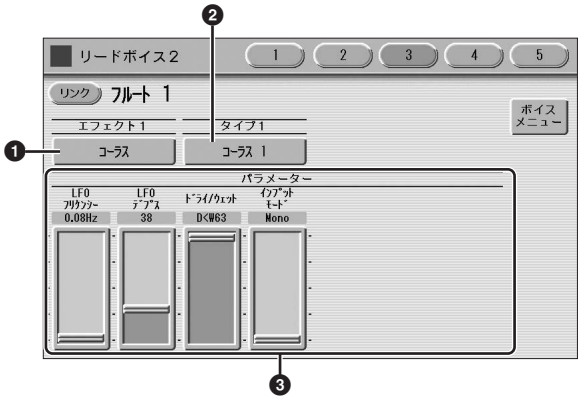
❹-2 フットスイッチレフト

左フットスイッチで効果をかけられるアーティキュレーション機能(ART.1/ART.2/OFF)を選択します。

NOTE

「オート」や「ART.1」「ART.2」をONにすることで得られる効果については、36～39ページの「スーパーアーティキュレーションボイス補足リスト」をご覧ください。リストにあるとおり、一部のボイスでは「オート」や「ART.1」「ART.2」が効果しないボイスもあります。

ボイスコンディション画面【ページ3、4】



ボイスコンディション画面の3ページ目と4ページ目は、エフェクトに関する詳細設定をする画面で、この2つのページはまったく同じ構成になっています。各ボイスセクションにはそれぞれ2つのエフェクトを設定できるので、それぞれについて、ボイスコンディション画面のページ3とページ4で設定します。

❶ エフェクト1(ページ3)/エフェクト2(ページ4)

エフェクトカテゴリーを選択します。エフェクト1/エフェクト2のボタンを押すと、エフェクトカテゴリーの一覧が表示されます。その中から使用したいエフェクトカテゴリーを選びます。

[閉じる]ボタンを押すと、エフェクトカテゴリーを選択せずに一覧表示を閉じます。

関連ページ

• エフェクトリスト(55ページ)



プリセットを選択すると、現在選ばれているボイスに最適なエフェクトが自動的に選ばれます。また、スルーを選択すると、エフェクトはかかりません。

❷ タイプ1(ページ3)/タイプ2(ページ4)

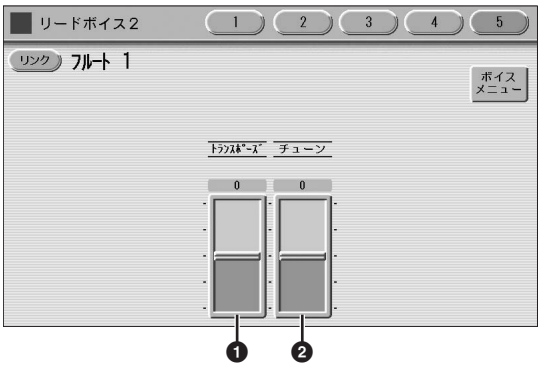
エフェクトのタイプ(種類)を選択します。タイプ1/タイプ2のボタンを押すと、選択しているエフェクトカテゴリーに応じたエフェクトタイプ一覧が表示されます。その中から使用したいエフェクトタイプを選びます。

[閉じる]ボタンを押すと、エフェクトタイプを選択せずに一覧表示を閉じます。

エフェクトタイプを変更すると、下のエフェクトパラメーターも、選択されたエフェクトタイプに応じて、自動的に変更されます。

❸ エフェクトパラメーター
選択しているエフェクトタイプに応じたパラメーターが表示されます。

ボイスコンディション画面【ページ5】



❶ トランスポーズ
ボイスセクションごとに、音程を変える(移調する)ことができます。
−6〜+6の範囲で、半音ずつ移調できます。

関連ページ
• トランスポーズ：楽器全体(183ページ)

❷ チューン
より豊かな楽器表現力を得るために、ボイスセクションごとにピッチを少し上げ下げすることで音の厚みを増します。
1セント単位でピッチを変更できます。
設定範囲：−64〜+63

関連ページ
• ピッチ：楽器全体(183ページ)

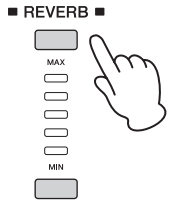
パネル上のボタンで設定するもの

リバーブ、サステイン、そしてロータリースピーカーは、パネル上のボタンを使って、それぞれのページを画面上に呼び出して、設定します。

リバーブ

リバーブによって、広い部屋やコンサートホールで演奏しているような、音が響きわたる効果を得ることができます。
ボイスセクションごとにリバーブをかける量を設定したり、リズムとアカンパニメントそれぞれにリバーブ量を設定したりできます。

リバーブを設定するには：
パネル上の左端にあるREVERB (リバーブ)ボタンを押します。画面上にリバーブ画面が現れます。



リバーブ画面は4ページで構成されています。

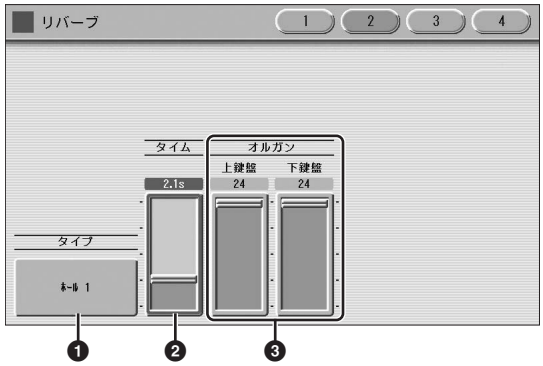
リバーブ画面【ページ1】



デプス：
リバーブの深さを調節します。パネル面のリバーブランプは、このデプスの程度を表示しているものです。パネル面のリバーブランプでは5段階の調節ができますが、このページでタッチパネルやデータコントロールダイアルを使うことで、さらにきめ細かな設定が可能です。
デプスの設定が0もしくはそれに近い状態の場合は、以下に述べるボイスセクション/種類ごとの設定でリバーブのかかる量を設定してもリバーブ効果は得られません。
設定範囲：0〜24

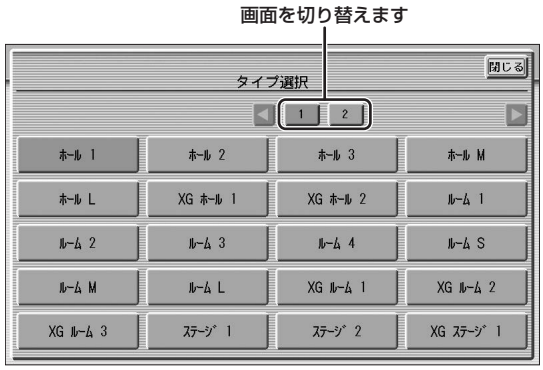
NOTE
デプスの値によっては、パネル上のリバーブランプは2つ点灯します。

リバーブ画面【ページ2】



❶ タイプ
各ボイスセクションのボイスとオルガンフルート音色にかかるリバーブのタイプ(種類)を選択します。
ホール、ルーム、ステージなどさまざまなタイプのリバーブが選択できます。
タイプボタンを押すことで、選択できるリバーブタイプの一覧が画面に表示されます。

関連ページ
・エフェクトリスト(55ページ)



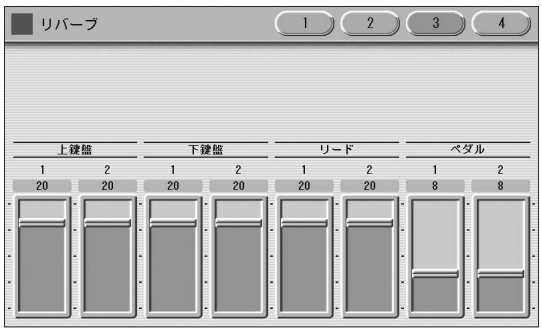
画面上の[1]、[2]ボタンを押すことで画面を切り替えて、現在表示されてないエフェクトタイプを表示させることもできます。一覧の中から使用したいリバーブタイプを選びます。
[閉じる]ボタンを押すと、リバーブタイプを選択せずに一覧表示を閉じます。リバーブタイプを変更すると、タイムは自動的に最適な値に変更されます。

❷ タイム
各ボイスセクションのボイスとオルガンフルート音色のリバーブの長さを設定します。レベルを上げると、より長い設定となります。
設定範囲：0.3s～30.0s

❸ オルガン
オルガンフルート音色にかかるリバーブの深さを設定します。オルガンフルートのアタック/ボリュームページのリバーブスライダーと同じものです。
設定範囲：0～24

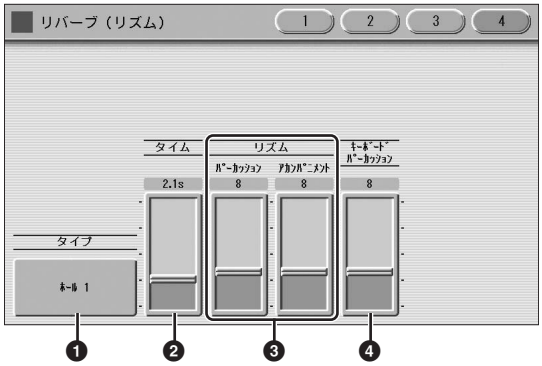
関連ページ
・オルガンフルート(40ページ)

リバーブ画面【ページ3】



このページでは、ボイスセクションごとにリバーブのかかる深さを設定します。
それぞれのボイスセクションのボイスコンディション画面1ページ目にある、リバーブスライダーと同じものです。
設定範囲：0～24

リバーブ画面【ページ4】



❶ タイプ
リズムやアカンパニメント、キーボードパーカッション、マイク入力にかかるリバーブの種類を選択します。

関連ページ
・マイクをつないで使う(189ページ)

❷ タイム
リズムやアカンパニメント、キーボードパーカッション、マイク入力にかかるリバーブの長さを設定します。
設定範囲：0.3s～30.0s

❸ リズム
パーカッション(リズム)、アカンパニメントにかかるリバーブの深さを設定します。リズムのコンディション画面にあるリバーブスライダーと同じものです。
設定範囲：0～24

関連ページ
・リズムのリバーブを設定する(61ページ)

❹ キーボードパーカッション
キーボードパーカッションにかかるリバーブの深さを設定します。
設定範囲：0～24

関連ページ
・キーボードパーカッション(69ページ)

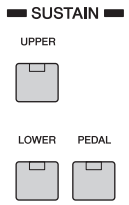
サステイン

サステインは、鍵盤から指をはなしたあとに音に余韻を与える効果です。ボイスセクションごとに、オン/オフしたりサステインの長さを調節したりできます。
また、フットペダル(別売)を取り付けてサステインのオン/オフを切り替えることもできます。サステインはリードボイスにはかかりません。

関連ページ
• フットペダル(別売)(179ページ)

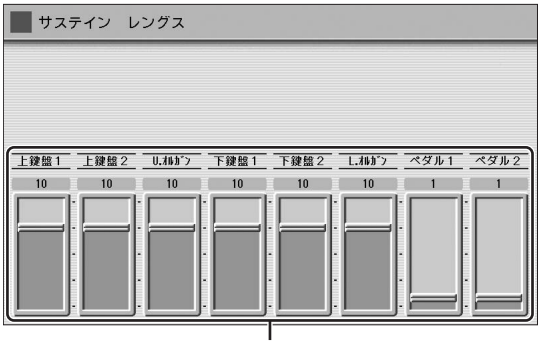
サステインを設定するには：

パネル上の左端にあるSUSTAIN (サステイン)ボタンを押します。画面上にサステインレングス画面が現れます。



サステインボタンを押すと、ボタンの真上のランプが点灯し、サステインがオンの状態であることを示します。もう一度押すことで、ランプは消え、サステインはオフになります。ランプが消えた状態ではサステインはかかりませんので、演奏前には、サステインをかけたい鍵盤のサステインボタンがオンの状態になっているか、必ず確認しましょう。

サステインレングス画面



ここでサステインの長さを設定します

各ボイスセクションにかけるサステインの長さは、スライダーで調節します。レベルを一番上(ホールド)まで上げると、オルガンやシンセなど一部のボイスは、鍵盤から指を離しても、ずっと音は鳴り続けます。
設定範囲：0～12、ホールド

NOTE

- ホールドの状態で鍵盤から指を離している間に音色を変えると、次に弾いた鍵盤から新しい音色になります。
- ホールドにして演奏すると、前に弾いた音が消える場合があります。
- サステインのレベルを0にすると、サステインの長さは0になります。サステインをオフにすると、ボイスごとにあらかじめ設定されているサステインの長さになります。
- 以下の音色では、ホールドのみ効果します。サステインレングスが0～12の時は音の余韻に変化はありません。
  S-バイオリン 1/ 2　　S-テナー サックス 1/2/3
  S-トランペット 1/2　　S-テナーサックス グロウル
  S-トロンボーン　　S-ソプラノサックス
  S-フルート　　S-ソプラノサックスグロウル
  S-フルート フラッター　　S-ハーモニカ
  S-クラリネット 1/2　　S-ブルースハープ
  S-アルトサックス　　S-パン フルート 1/2
  S-アルトサックス グロウル　　S-アイリッシュ パイプ 1/2
- ペダルボイスをホールドにして演奏すると、スーパーアーティキュレーションボイス(ただし、S-ピアノ1/2を除く)はペダルポリモードのオン/オフ(45ページ)にかかわらず、前に弾いた音が消えずに鳴り続けます。

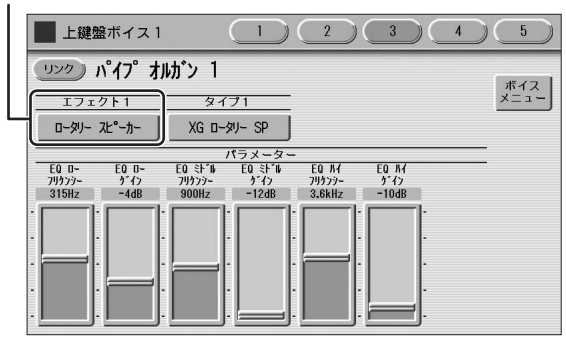
ロータリースピーカー

ロータリースピーカーは、スピーカーを回転させて得られるような、豊かで広がりのある効果(トレモロ効果)をつくり出すエフェクトです。パネル上の[ROTARY SP SPEED]ボタンや、左フットスイッチを使って、演奏中もリアルタイムで効果をオン/オフできます。
ロータリースピーカーは、パネル面の[ROTARY SP SPEED]ボタンをオンにするだけでは、効果は得られません。以下の手順で設定する必要があります。

1 トレモロ効果をかけたいボイスセクション、またはオルガンフルート音色で、エフェクトにロータリースピーカーを選択します。

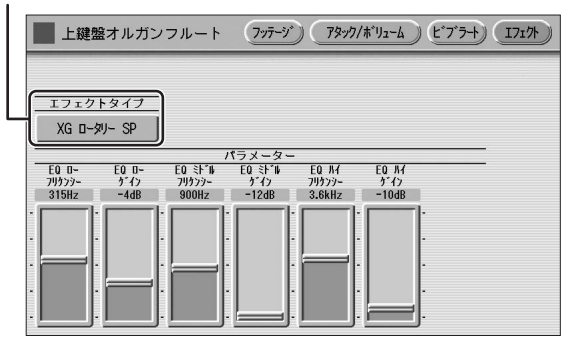
各ボイスセクションのボイスにロータリースピーカーを設定する場合は、ボイスコンディション画面の3ページ目にあるエフェクト1ボタン、または4ページ目にあるエフェクト2ボタンで設定します。詳しくは46ページをご覧ください。

ここでロータリースピーカーを選択します



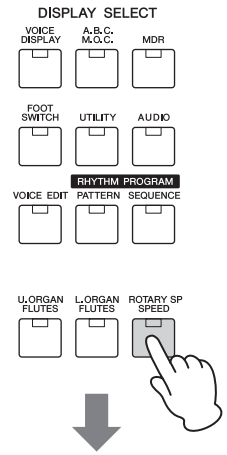
オルガンフルート音色の場合は、エフェクトページのエフェクトタイプボタンで設定します。詳しくは41ページをご覧ください。

ここで[OFF]以外のエフェクトタイプを選択します

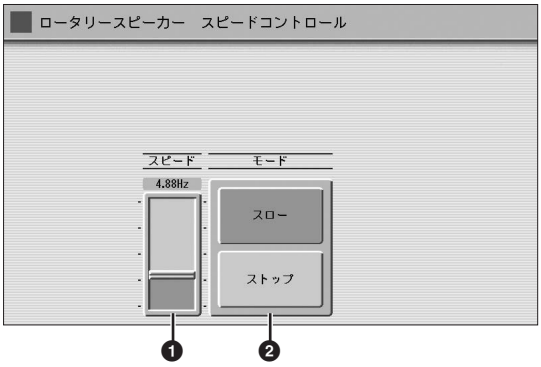


2 ロータリースピーカーの回転のスピードやモードを設定します。

パネル上の[ROTARY SP SPEED]ボタンを押します。画面上にロータリースピーカー画面が表示されます。ここでの設定は、全ボイスセクションに共通です。



ロータリースピーカー画面



❶ スピード

ロータリースピーカーの回転するスピードを調節します。
設定範囲：2.69Hz～39.7Hz

❷ モード

パネル上の[ROTARY SP SPEED]ボタンがオフのときのロータリースピーカーの状態を設定します。スローを選択すると、ロータリースピーカーの回転が遅く(0.6Hz)なり、コーラスのような効果がかかります。ストップを選択すると、スピーカーの回転が止まったような効果が得られます。

これで、ロータリースピーカーをあらかじめ設定し、演奏しながら簡単にロータリースピーカーの切り替えする準備が整いました。

3 [ROTARY SP SPEED]ボタンやフットスイッチで、トレモロ効果をオン/オフします。

[ROTARY SP SPEED]ボタンをオン/オフしたり、フットスイッチを使ったりして、トレモロ効果をコントロールしてください。(ロータリースピーカーは、あらかじめ設定しておけば、フットスイッチでもコントロールできます。詳しくは、179ページの「ロータリースピーカーをコントロールする」をご覧ください。)

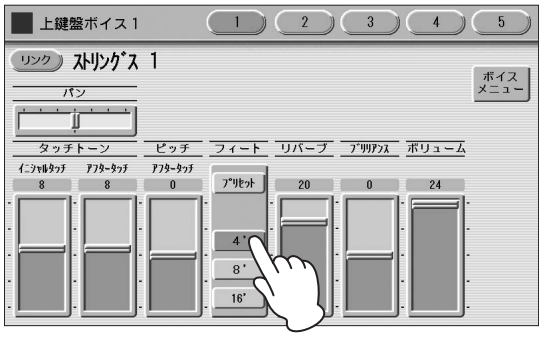
ボイスリンクを活用する

ボイスコンディション画面の設定をボイスリンクに登録する

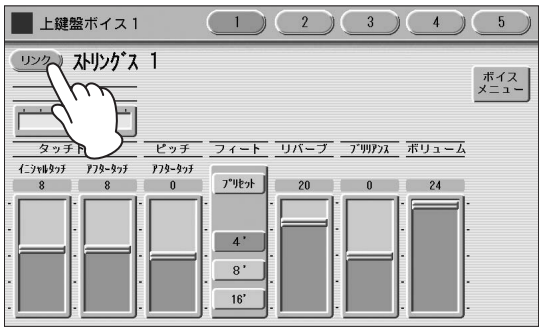
ボイスコンディション画面の現在の設定(ボリュームとブリリアンスは除く)を、そのまま1つのボイスとしてボイスリンクに登録します。

1 **ボイスコンディション画面で必要な設定を行ないます。**

ここでは、フィートを「4'」に設定します。



2 **画面左上にある[リンク]ボタンを押します。**



3 **[登録]ボタンを押します。**



設定内容が登録され、画面に表示されたボイス名の右横にボイスリンク表示が現われます。



このリンク表示はボイスディスプレイ画面でも表示され、どのボイスセクションがボイスリンクを使っているか、確認ができます。

ボイスリンクを使用している表示

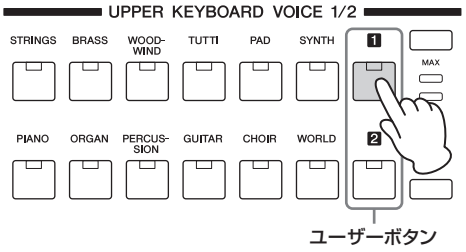


NOTE

手順3の操作で、すでに同じ名前のボイスがボイスリンクに登録されている場合は、[登録]ボタンがグレーアウト表示されて押せません。これはすでに同名のボイスがボイスリンクに登録されていることを示しています。この場合は、[名前変更]ボタンを押してボイス名を変更してからボイスリンクに登録してください(53ページ)。同じボイス名で上書き登録したい場合については、52ページをご覧ください。

ボイスリンクに登録されたボイスを選択する

1 使用したいボイスセクションのユーザーボタンを押します。



2 画面右上のカテゴリー群の中からボイスリンクのボタンを押して表示されるボイス群の中から、使用したいボイス(ここではストリングス2)を選択します。



ボイスリンクに登録されたボイスを編集する

すでにボイスリンクに登録されているボイスにつき、ボイスコンディション画面上の設定を変えた場合は、レジストレーションメモリーに記録することで、すべてのレジストレーションに反映できます。

1 ボイスリンク登録されたボイスのコンディション画面で必要な設定を行ないます。

2 96ページ手順2の方法で、レジストレーションメモリーに記録します。

NOTE

- ボイスコンディション画面上の設定変更は、次回のソング保存時またはユニット保存時に、全ユニットに反映されます。
- すでにボイスリンクに登録されているボイスにつき、他のボイスセクションや他のレジストレーションメモリー番号へ影響させずにボイスコンディション画面上の設定を変えたい場合は、該当ボイスをいったんボイスリンクから解除(次項参照)してから、再度名前を変えてボイスリンクに登録する(53ページ)ことをお勧めします。

ボイスリンクからボイスを解除する

すでにボイスリンクに登録されているボイスにつき、他のボイスセクションや他のレジストレーションメモリー番号へ影響させずにボイスコンディション画面上の設定を変えたい場合は、該当ボイスをいったんボイスリンクから解除してから、再度名前を変えてボイスリンクに登録(53ページ)してください。

1 ボイスリンクのカテゴリー内のボイスメニューから解除したいボイスを選びます。



2 [リンク]ボタンを押します。



3 [OK]ボタンを押します。



ボイスリンクからボイスが解除されました。

ボイス名を変えてボイスリンクに登録する

ボイス名を変えてボイスリンクに登録したい場合の操作方法を説明します。

1 **ボイスリンクに登録するときに[名前変更]ボタンを押します。**



2 **ボイス名を変更し、[OK]ボタンを押します。**



関連ページ
・ソングに名前を付ける(117ページ)

3 **[登録]ボタンを押します。**



設定内容が登録され、画面に表示されたボイス名の右横にボイスリンク表示が現われます。



ボイスリンクに登録されたボイスを削除する

ボイスリンクに登録できるボイスの数は80個までです。足りなくなってきたときは、使用していないボイスを削除しましょう。削除は、どのボイスセクションでも操作できます。

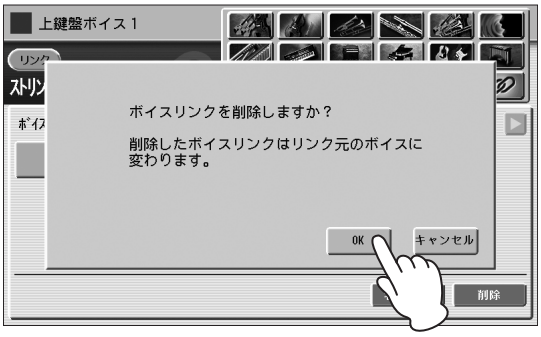
1 **ボイスリンクのカテゴリー内のボイスメニューから削除したいボイスを選択します。**



2 **[削除]ボタンを押します。**



3 [OK]ボタンを押します。



ボイスリンクに登録したボイスが削除されました。



ボイスリンクから削除されたボイスを使った設定が記録されているレジストレーションメモリー番号を押した場合、元のカテゴリーから該当ボイスおよびボイスコンディション画面設定を呼び出すので、記録当時のサウンドは再現できます。

エフェクトリスト

リバーブ（ホールなどの残響感を与え、サウンドに奥行きや広がりを付加します。）				
ホール 1	ホール 2	ホール 3	ホール M	ホール L
XG ホール 1	XG ホール 2	ルーム 1	ルーム 2	ルーム 3
ルーム 4	ルーム S	ルーム M	ルーム L	XG ルーム 1
XG ルーム 2	XG ルーム 3	ステージ 1	ステージ 2	XG ステージ 1
XG ステージ 2	プレート 1	プレート 2	XG プレート	GM プレート
ホワイト ルーム	アトモスフィア ホール	アコースティック ルーム	ドラム ルーム	パーカッション ルーム
トンネル	キャニオン	ベースメント		
ディレイ（音声信号を遅らせることで、時間差をおいて繰り返しエコー効果が得られます。）				
ディレイ LCR	XG ディレイ LCR	ディレイ LR	エコー	クロス ディレイ 1
クロス ディレイ 2	テンポ ディレイ 1	テンポ ディレイ 2	テンポ エコー	テンポ クロス 1
テンポ クロス 2	テンポ クロス 3	テンポ クロス 4		
アーリー /カラオケ（カラオケのようなエコーを与えます。）				
アーリー 1	アーリー 2	ゲート リバーブ 1	ゲート リバーブ 2	リバース ゲート
カラオケ 1	カラオケ 2	カラオケ 3		
コーラス（複数の音が同時に鳴っているような効果が得られ、サウンドに奥行きや厚みを与えます。）				
コーラス 1	コーラス 2	XG コーラス 1	XG コーラス 2	XG コーラス 3
XG コーラス 4	GM コーラス 1	GM コーラス 2	GM コーラス 3	GM コーラス 4
FB コーラス	コーラス ファスト	コーラス ライト	アンビエンス コーラス	セレステ 1
セレステ 2	セレステ 3	セレステ 4	アンビエンス セレステ	シンフォニック
XG シンフォニック	アンビエンス シンフォ	ENS デチューン 1	ENS デチューン 2	
フランジャー（音にうねりを与え、回転しているような効果を演出します。）				
フランジャー 1	フランジャー 2	XG フランジャー 1	XG フランジャー 2	XG フランジャー 3
GM フランジャー	V フランジャー	テンポ フランジャー	ダイナ フランジャー	VIN フランジャー 1
VIN フランジャー 2	アンビ フランジャー			
フェーザー（うねりを与えるエフェクトです。）				
フェーザー 1	フェーザー 2	フェーザー 3	エレピフェーザー 1	エレピフェーザー 2
エレピフェーザー 3	テンポ フェーザー 1	テンポ フェーザー 2	ダイナフェーザー	VIN フェーザー 1
VIN フェーザー 2	VINフェーザー ST1	VINフェーザー ST2	VINフェーザー ST3	VINフェーザー ST4
トレモロ/オートパン（音を前後、左右に移動させたり、音量を周期的に変化させたりします。）				
トレモロ 1	トレモロ 2	XG トレモロ	エレピ トレモロ	ギター トレモロ 1
ギター トレモロ 2	オルガン トレモロ	バイブビブラート	テンポ トレモロ	オートパン
XG オート パン 1	XG オート パン 2	エレピ オートパン	テンポ オートパン1	テンポ オートパン2
ロータリースピーカー（スピーカーを回転させて得られるような、豊かで広がりのある効果を作り出します。）				
XG ロータリー SP	ロータリースピーカー 1	ロータリースピーカー 2	ロータリースピーカー 3	ロータリースピーカー 4
ロータリースピーカー 5	2ウェイ ロータリー SP	デュアル ローター 1	デュアル ローター 2	デュアルローター BRT
デュアルローター WRM	ディスト+ロータリー	ドライブ+ロータリー	アンプ+ロータリー	ディスト+2ロータリー
ドライブ+2ロータリ	アンプ+2ロータリー			
ディストーション（サウンドに歪みを与えます。）				
ディスト ハード 1	ディスト ハード 2	ディスト ソフト 1	ディスト ソフト 2	ステレオ ディスト H
ステレオ ディスト S	オーバードライブ	ステレオ オーバー DR	XG ディストーション	XG ST ディスト
V ディスト ハード	V ディスト ソフト	コンプ+ディスト	XG コンプ+ディス	Vディスト ウォーム
Vディスト CLS H	Vディスト CLS S	Vディスト メタル	Vディスト クランチ	Vディスト ブルース
Vディスト エッジ	Vディスト ソリッド	Vディスト クリーン1	Vディスト クリーン2	Vディスト ツイン
Vディスト ロカビリ	Vディスト JZCLN	VディストFUSION		

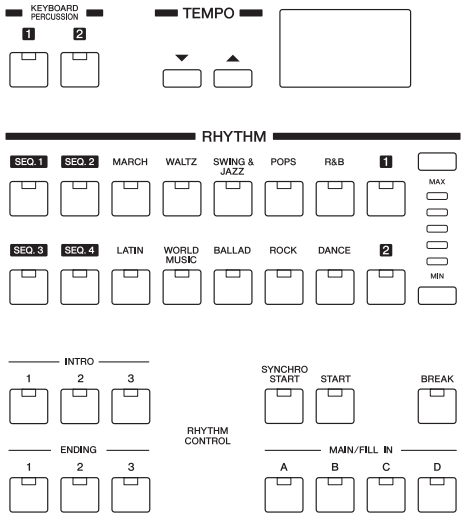
ディストーション+（サウンドに歪みを与えます。）				
ディスト+ディレイ	ドライブ+ディレイ	XG ディスト+DLY	XG ODRV+DLY	CMP+DIST+DLY
CMP+ODRV+DLY	XG CMP+DT+DL	XG CMP+OD+DL	VディストH+DLY	VディストS+DLY
ディスト+Tディレイ	ドライブ+Tディレ	CMP+DST+TDLY	CMP+OD+TDLY1	CMP+OD+TDLY2
CMP+OD+TDLY3	CMP+OD+TDLY4	CMP+OD+TDLY5	CMP+OD+TDLY6	VDST H+TDLY1
VDST H+TDLY2	VDST S+TDLY1	VDST S+TDLY2		
アンプシミュレーター（ギターアンプやマイクアンプをシミュレートする機能です。）				
アンプ シミュレーター	XG アンプシミュレタ	ステレオ アンプ 1	ステレオ アンプ 2	ステレオ アンプ 3
ステレオ アンプ 4	ステレオ アンプ 5	XG ステレオ アンプ	ステレオAMPソリッド	ステレオAMPクランチ
ステレオAMPブルース	ステレオAMPクリーン	ステレオAMPハーブ	SML ST ディスト	SML STドライブ
SMLSTビンテージ	SML ST ヘビー	B コンボ クラシック	BコンボトップBST	B コンボ カスタム
B コンボ ヘビー	B LGND ブルース	B LGND ヘビー 1	B LGND ヘビー 2	B LGND クリーン
B LGND Dクリーン	US CMB ツイン	USCMBリッチクリーン	USCMB シンクリーン	US CMB クランチ
JZCMB ベーシック	JZ CMB ウォーム	US HIGNダーティ	US HI GN リフ	US HIGN バーン
US HI GN ソロ	Bリード ダーティー	Bリード ドライブ	Bリード ゲイナー	Bリード ハード
ワウ（音色を周期的に変化させます。）				
オート ワウ	XG オート ワウ	V オート ワウ	タッチ ワウ 1	タッチ ワウ 2
タッチ ワウ 3	V タッチ ワウ	オートワウ+ディスト	XG オートワウ+DST	オートワウ+DST HD
オートワウ+DST HV	オートワウ+DST LT	オートワウ+ODRV	XG オートワウ+OD	オートワウ+OD HD
オートワウ+OD HV	オートワウ+OD LT	タッチワウ+ディスト	XG タッチワウ+DST	タッチワウ+DST HD
タッチワウ+DST HV	タッチワウ+DST LT	タッチワウ+OD	XG タッチワウ+OD	タッチワウ+OD HD
タッチワウ+OD HV	タッチワウ+OD LT	クラビ タッチ ワウ	エレピ タッチ ワウ	ワウ+DST+Tディレ
ワウ+OD+Tディレ1	ワウ+OD+Tディレ2	ワウ+DST+ディレ	XG ワウ+DST+DL	ワウ+OD+ディレイ
XG ワウ+OD+DLY	テンポ オートワウ	Tオートワウ+ディスト	Tオートワウ+DSTHD	Tオートワウ+DSTHV
Tオートワウ+DSTLT	Tオートワウ+ODRV	Tオートワウ+OD HD	Tオートワウ+OD HV	Tオートワウ+OD LT
ダイナミック（コンプレッサーやノイズゲートなど、音量を調節するエフェクトです。）				
マルチバンドコンプ	コンプレッサー	コンプ ミディアム	コンプ ヘビー	コンプ メロディ
コンプ ベース	V コンプレッサー	ノイズ ゲート		
EQ/エンハンサー（特定の周波数帯域の音量を変化させて、音場を表現します。）				
ST 2バンド EQ	ST 3バンド EQ	XG 3バンド EQ	EQ ディスコ	EQ テレフォン
ハーモニックエンハンサー	XG ハーモニエンハンサ			
ピッチチェンジ（ピッチに変化を与えるエフェクトです。）				
ピッチ チェンジ	XG ピッチCHG 1	XG ピッチCHG 2		
ミスレーニアス（特殊な効果を持つエフェクトタイプが選べます。）				
アンビエンス	インパルス EXP	レゾネーター	ボイス キャンセル	トーキング MOD
ローファイ	ダイナ フィルター	ダイナリングMOD	リングモジュレーター	アイソレーター
ループ FX1	ループ FX2	ローファイ ドラム 1	ローファイ ドラム 2	ローファイ ドラム 3
ローファイ ドラム 4	ダンパーレゾナンス			
スルー（エフェクトがかからないようにします。）				
スルー				

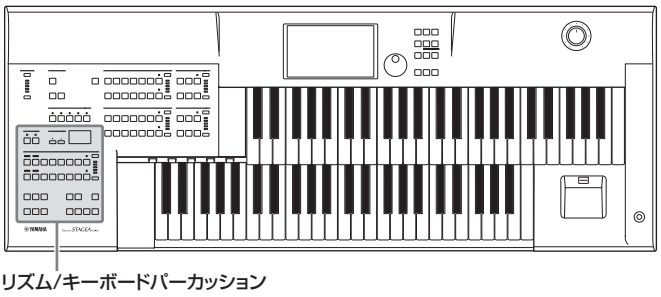
NOTE

ダンパーレゾナンスは、サステインをオンにしないと効果がかかりません。サステインをオンにする操作については、49ページをご覧ください。

5 リズム/キーボードパーカッション

このエレクトーンには、実際のドラムやパーカッションサウンドをサンプリングして作成された600種類以上のリアルなリズムパターンが内蔵されています。そのリズムパターンにアルペジオやコードバッキングなどの伴奏パターン(アカンパニメント)を付加して、さまざまなリズム伴奏を楽しむことができます。また、鍵盤の一つ一つのキーに打楽器音を割り当てておき、リアルタイムで打楽器の演奏ができるキーボードパーカッションの機能もあります。




リズム/キーボードパーカッション

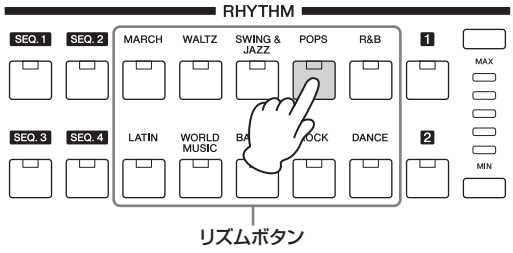
リズムボタンでリズムを選ぶ

パネル面のリズムボタンを押して画面にリズムメニューを呼び出すことにより、600種類以上のさまざまなリズムパターンを選択できます。

リズムを選ぶ

ここではポップスの16ビート1を選ぶ手順を例に説明します。

1 パネル上のRHYTHMの中の、いずれかのリズムボタン(ここではPOPS)を押します。



画面上には、押したリズムボタンのリズムメニューが表示されます。

2 リズムメニューの中から、使用したいリズム名を押します。

ポップスにはたくさんのリズムが含まれているので、画面のリズム一覧の上に1、2、3、4、5という数字が表示されています。この数字を押すことで、現在表示されている以外のポップスのリズムを表示させて、選択できます。



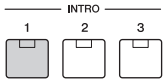
リズムを選択すると、選択されたリズム名はオレンジ色に変わります。

リズムの構成

演奏を盛り上げるために、一つのリズムの中にも「セクション」と呼ばれるリズムパターンのバリエーションが用意されています。セクションはリズムの再生中に自由に切り替えることができます。

イントロ

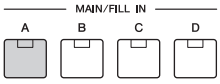
曲の始まりに適したセクションです。3つのイントロセクションがあり、INTRO [1]～[3]ボタンで選びます。小節数はリズムによって違い、イントロの演奏が終了すると自動的にメインに移ります。



選ばれているイントロセクションが点灯

メイン

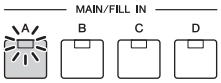
曲のメイン部分の演奏で使う、基本のリズムパターンです。4つのメインセクションがあり、MAIN/FILL IN (メイン/フィルイン) [A]～[D]ボタンで選びます。数小節のリズムパターンをくり返し演奏します。



選ばれているメインセクションが点灯

フィルイン

曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げる、1小節のリズムパターンです。4つのフィルインセクションがあり、点灯しているMAIN/FILL IN [A]～[D]ボタンをもう一度押すと、フィルインが再生します。1小節のフィルインパターンを再生したあとは、自動的にメインに移ります。



再生中のフィルインセクションが点滅

ブレイク

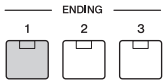
リズムに一時的な空白部分を入れることでメリハリをつける効果を持つ、1小節のリズムパターンです。
[BREAK]ボタンを押すと、ブレイクが再生します。
1小節再生したあとは、自動的にメインに移ります。



ブレイクが選ばれているときに点灯

エンディング

曲の終わりに適したセクションです。小節数はリズムによって違い、エンディングの演奏が終了すると自動的にリズムはストップします。3つのエンディングセクションがあり、ENDING [1]～[3]ボタンで選びます。



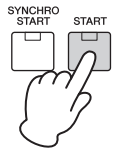
選ばれているエンディングセクションが点灯

リズムを操作する

パネル上のボタンを使って、リズムをスタート/ストップさせたり、各セクションを切り替えたりします。再生中にフィルインやブレイクを入れてリズムにアクセントをつけるなど、変化に富んだ演奏が可能です。

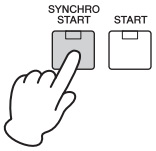
リズムをスタート/ストップさせるには：

スタート



[START] (スタート)ボタンを押すと、リズムがスタートします。もう一度押すと、リズムはストップします。

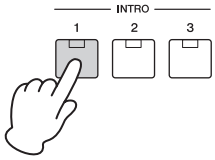
シンクロスタート



[SYNCHRO START] (シンクロスタート)ボタンを押すと、リズムは待機状態になります。下鍵盤かペダル鍵盤で演奏を始めると同時に、リズムがスタートします。
A.B.C.モードがOFFの場合は、もう一度[SYNCHRO START]ボタンを押すことで、リズムがストップします。
A.B.C.モードがOFF以外の場合は、下鍵盤を離すと、リズムがストップします。
A.B.C.モードが「カスタムA.B.C」の場合は、下鍵盤とペダル鍵盤の両方を離すと、リズムがストップします。

関連ページ
• ベースパターンをつける：オートベースコード(A.B.C.) (67ページ)

イントロ



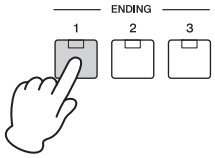
自動的に数小節イントロを入れてからリズムをスタートさせます。INTRO [1]～[3]ボタンのいずれかを押したあと、[START]または[SYNCHRO START]ボタンを押してリズムをスタートさせます。
イントロが演奏されている間、BAR/BEAT (バー /ビート) 表示は、マイナス表示で逆にカウントします。



NOTE

イントロ、エンディングの再生中は、下鍵盤を弾いても音は鳴りません。

エンディング

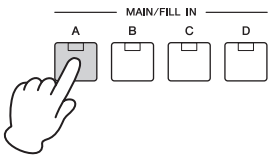


リズムをストップするときに、自動的に数小節エンディングパターンを入れます。
リズムを再生しているときにENDING [1]～[3]ボタンのいずれかを押すと、エンディングパターンが入ったあとで、リズムは自動的に終了します。
エンディングが演奏されている間に、再度同じENDINGボタンを押すと、テンポが徐々にゆっくりになります。

NOTE
メインセクション再生中にENDING [1]ボタンを押すと、エンディング1が鳴る前に自動的に1小節フィルインが入ります。

セクションを切り替えるには：

MAIN/FILL IN (メイン/フィルイン) [A]～[D]ボタンで、4種類のバリエーション(メインA～メインD)を切り替えます。現在選ばれているメインセクションのボタンが点灯します。

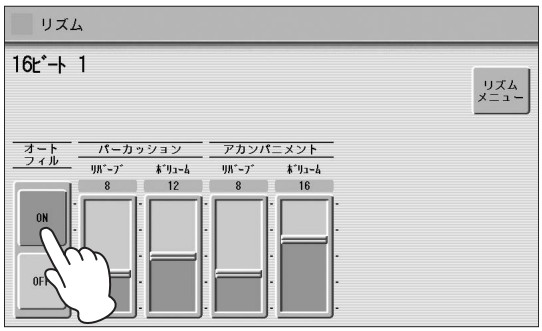


フィルインを入れるには：

リズムを使用して演奏しながら、フィルインを入れたいところで、現在選ばれているメイン/フィルイン[A]～[D]ボタンをもう一度押すと、1小節のフィルインが入ります。フィルインが鳴っている間は、ボタンのランプは点滅します。

NOTE
選ばれているセクションはレジストレーションメモリーに記録しておくことができます。オートフィルイン機能のオン/オフはレジストレーションメモリーに記録しておくことができません。

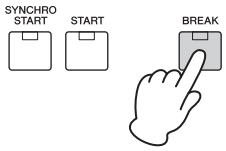
オートフィルイン機能を使って、自動的にフィルインを入れることもできます。オートフィルイン機能は、リズムコンディション画面で設定します。
パネル上の点灯しているRHYTHMボタン(または、画面上の選ばれているリズムボタン)をもう一度押すことでリズムコンディション画面が表示されます。



画面左端のオートフィルをONにすると、MAIN/FILL IN [A]～[D]ボタンでセクションを切り替えるたびに、フィルインが自動的に入ります。

ブレイクを入れるには：

リズムを使用して演奏しながら、ブレイクを入れたいところで[BREAK]ボタンを押します。



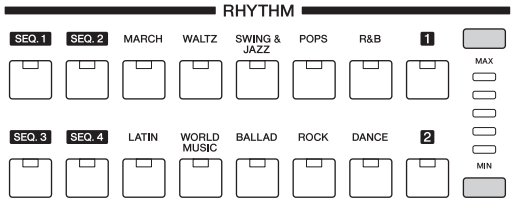
このほかに、フットスイッチを使ってリズムをスタート/ストップしたり、セクションを切り替えたりすることもできます。詳しくは、178ページをご覧ください。

リズムの音量を変える

音量を設定するには、リズムのボリュームボタンを使う方法と、画面上で設定する方法があります。画面上で設定する方が、音量を細かく設定できます。

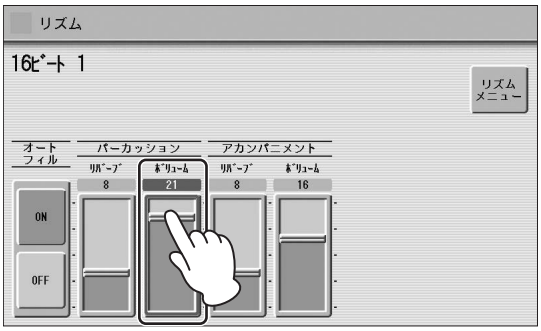
ボリュームボタンでの設定：

RHYTHM (リズム)の右端にあるボリュームボタンを使用します。5段階の設定が可能です。
MIN (一番下)にすると、音は鳴りません。



画面上での設定：

パネル上に現在表示されているリズムボタンをもう一度押すことで、(または、画面上で現在選ばれているリズムをもう一度押すことで)イラストにあるようなリズムコンディション画面が表示されます。



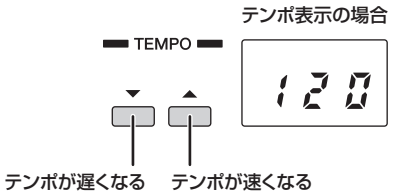
パーカッションのボリュームスライダーで、画面に直接触ったり、データコントロールダイアルを使ったりして、音量が調節できます。0～24の細かな設定が可能です。

NOTE

ボリュームの値によっては、パネル上のボリュームランプは2つ点灯します。

リズムのテンポを変える

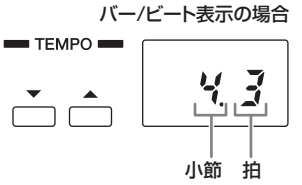
TEMPO (テンポ)ボタンを押して、リズムの速さを変更できます。右のボタンを押すと速くなり、左のボタンを押すと遅くなります。



設定されているリズムの速さ(テンポ)は、テンポボタンの右の画面に、数字で表示されます。表示される数字は、1分間の拍数を表します。

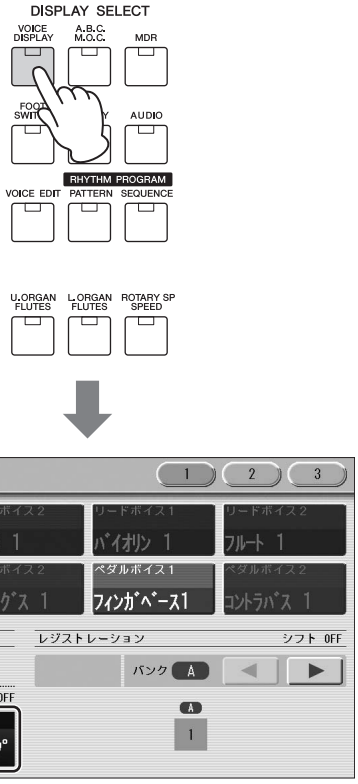
設定範囲：40～240

リズムの再生中には、テンポ表示は自動的にバー /ビート表示に切り替わります。



バー /ビート表示のときには、画面内の左の数字は現在の小節を表し、右の数字は小節内の拍数を表します。

テンポやバー /ビートは、ボイスディスプレイでも確認できます。ボイスディスプレイは、テンポとバー /ビート表示を同時に確認できるので便利です。



関連ページ
• ボイスディスプレイ(19ページ)

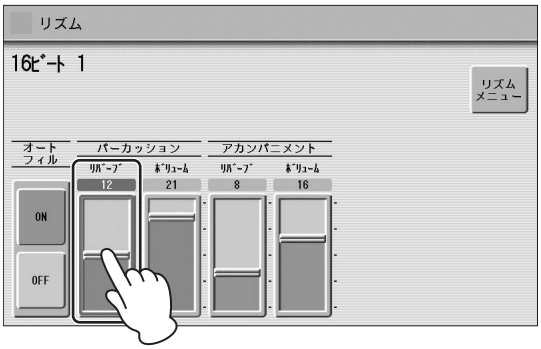
それぞれのリズムには、あらかじめリズムごとに設定されたテンポ(プリセットテンポ)があります。プリセットテンポに戻したい場合は、リズムメニュー画面の右下にある[テンポ初期設定]ボタンを押すか、パネル上のTEMPO (テンポ)ボタンを2つ同時に押します。



リズムのリバーブを設定する

リズムコンディション画面で、リズムや打楽器音にかかるリバーブ(パーカッションリバーブ)の量を調節できます。画面に直接触ってスライダーを動かすか、データコントロールダイアルを使って調節します。

関連ページ
・リバーブ(47ページ)

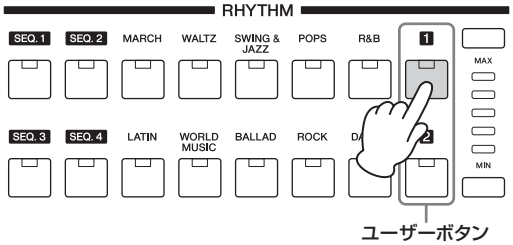


ここでリバーブを最大にしても、パネル上のリバーブ量を上げないと、リバーブ効果は得られません。
設定範囲：0～24

ユーザーボタンでリズムを選ぶ

リズムボタンの右側にあるユーザーボタンを使うことで、リズムメニューのすべてのリズムだけでなく、リズムパターンプログラムでつくったユーザーリズムも選択できます。また、同一カテゴリー内の異なったリズムをパネルに呼びだしておきたいときに、1つはリズムボタンに、もう1つはユーザーボタンに呼びだしておくと、すぐに切り替えができて便利です。

1 リズムボタンの右側にあるユーザーボタンを押します。



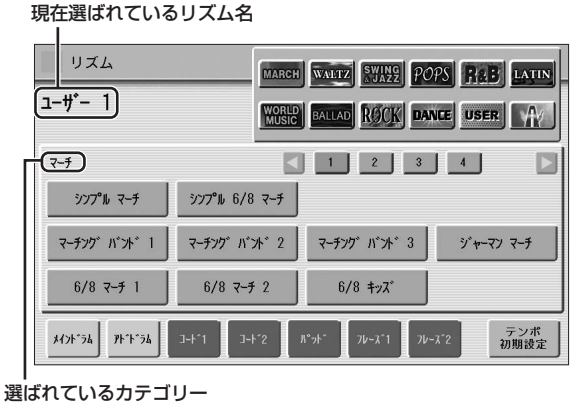
リズムメニューが画面上に表示されます。

2 画面上に表示されるリズムのカテゴリーから、使用したいリズムが入っているカテゴリーを選択します。

ここで「USER」(ユーザー)のカテゴリーを選ぶと、リズムパターンプログラムでつくったリズム(ユーザーリズム)を選ぶこともできます。

関連ページ
・リズムパターンプログラム(145ページ)

選んだカテゴリーが、画面のリズム名の上に小さく表示されます。この時点では、まだ実際にリズムが選択されていませんので、カテゴリー名と、その上に表示されているリズム名は一致しません。



3 表示されているリズムメニューから、使用したいリズムを選択します。

リズムボタンでリズムを選んだときと同じように、画面上に表示された数字を押すことで、カテゴリー内の別のリズムを表示させて選択することもできます。

リズムリスト

下表のとおり、リズムは全部で600種類以上のパターンがあります。リストの左の数字は、画面上の数字と対応しています。

MARCH (マーチ)

1	シンプル マーチ	*2
	シンプル 6/8 マーチ	*2
	マーチング バンド 1	
	マーチング バンド 2	*2
	マーチング バンド 3	
	ジャーマン マーチ	
	6/8 マーチ 1	
	6/8 マーチ 2	
	6/8 キッズ	
2	オーケストラ マーチ +	*1
	アニメ ファンタジー +	*1
	ギャラクシー シップ	
	SF マーチ 1	
	SF マーチ 2 +	*1
	ブロックバスター	
	ブロードウェイ	*2
	ショーチューン +	*1
	ワイルド ウエスト	
	ポップ クラシック +	*1、*2
3	フレンチ 50s	
	アルペン マーチ	
	6/8 オルガン マーチ	*3
	パブ ピアノ	
	シング ア ロング ピアノ	
	ピアノ マーチ	*2、*3
	ピアノ 6/8 マーチ	*2、*3
	ピアノ ミュージカル	*2、*3
4	バロック	*3
	バロック アリア	*3
	バロック コンチェルト	*3
	ストリングス アダージョ	*3
	ストリングス コンチェルト	*3
	クラシカル セレナーデ	*3
	コーラル シンフォニー	*3
	ロマンチック バレエ	*2、*3
	ブラスバンド ヒム +	*1、*3

WALTZ (ワルツ)

1	ワルツ	*2
	シンプル ワルツ	*3
	オーケストラ ワルツ	
	ウィンナー ワルツ 1	
	ウィンナー ワルツ 2	
	ウィンナー ワルツ 3	
	ジェントル ワルツ 1	
	ジェントル ワルツ 2	
1	クラシック ワルツ	
	スロー ワルツ	
2	ジャズ ワルツ 1	
	ジャズ ワルツ 2	
	ジャズ ワルツ 3	
	ジャズ ワルツ 4	
	ジャズワルツ ミディアム	
	ジャズワルツ ファスト	
	モダン ワルツ	
	ポップ ワルツ	
	カントリー ワルツ	
3	マリアッチ	
	バンダ ヴァルス	
	スノー ワルツ	
	ボーカル ワルツ	
	アルペン ワルツ	
	アルペン ランド 3/4	
	スカンジナビアン ハンボ	
	ハイランド ワルツ	
	ミュゼット	
	イタリアン マズルカ	
	イタリアン ワルツ	
	フレンチ ワルツ	
4	ムービー サウンドトラック	
	クワイア サウンドトラック	
	オーケストラ ボレロ +	*1
	ロマンチック ワルツ	*3
	クラシカル メヌエット	*3
	グリーン ファンタジア	*2、*3
	ギター セレナーデ	*2、*3
	ピアノ ジャズ ワルツ	*2、*3

SWING&JAZZ (スイング&ジャズ)

1	シンプル ビッグバンド	*2
	シンプル コンボ ジャズ	*2
	シンプル スイング	
	ビッグ バンド 1	
	ビッグ バンド 2	
	ビッグ バンド 3	
	ビッグ バンド 4	
	ビッグ バンド 5	
	ビッグ バンド 6	
	ビッグ バンド 7	
2	Orch ビッグバンド1	
	Orch ビッグバンド2	
	ビッグバンド ジャズ	
	ビッグバンド ファスト	
2	クラシック ビッグバンド	
	30s ビッグバンド	
	モダン ビッグバンド	
	モダン BB シャッフル	
	ビッグバンド バップ	
	ムービー パンサー	
	ジャングル ドラム	
3	ミディアム ジャズ 1	
	ミディアム ジャズ 2	
	アコースティック ジャズ 1	
	アコースティック ジャズ 2	
	ファスト ジャズ	
	コンボ スイング	
	クール コンボ	
	ライト スイング	
	インストゥルメンタル ジャズ	
	マンハッタン スイング	
	ジャズ クラブ	
4	ビバップ	
	ファイブ フォー	
	トラッド ピアノ ジャズ	
	ピアノ トリオ	
	ジャズ バラード 1	
	ジャズ バラード 2	
	ミッドナイト スイング	
	スロー ジャズ	
	ムーンライト 1	
	ムーンライト 2	
	ドリーミー バラード	
5	ウィンター ソング 1	
	ウィンター ソング 2	
	クリスマス シャッフル	
	クリスマス バラード +	*1
	ムービー スイング 1	
	ムービー スイング 2	
	ギター スイング	
	アフロ キューバン 1	
	アフロ キューバン 2	
	アフロ キューバン 3	
6	フォックストロット 1	
	フォックストロット 2	
	スローフォックス 1	
	スローフォックス 2	
	デキシーランド 1	
	デキシーランド 2	
	デキシーランドジャズ 1	
	デキシーランドジャズ 2	*3
	ラグタイム 1	

*1 リズムパターンプログラムのもとになるリズムとして選択することができません。
*2 オートベースパートが入っていないセクションがあります。オートベースパートのないセクションでは、A.B.C.をオンにしてもベース音は鳴りません。
*3 ドラムパートが入っていないセクションがあります。ドラムパートのないセクションでは、アカンパニメントをオンにした状態で使用してください。

6	ラグタイム 2	
	チャールストン	
	クイックステップ	
7	オーケストラ スイング	
	ジャズ シンガー	
	タップダンス スイング	
	オルガン グルーブ	
	ピアノ スイング	*2、*3
	ピアノ ジャズバラード	*2、*3
	ピアノ ストライド	*2、*3

POPS (ポップス)

1	シンプル 8ビートポップ	*2
	シンプル 3/4 ポップ	*2
	シンプル シャッフルポップ	*2
	8ビート ライト 1	
	8ビート ライト 2	
	8ビート ライト 3	
	8ビート ライト 4	
	シンプル シャッフル 1	
	シンプル シャッフル 2	
	シンプル シャッフル 3	
2	16ビート 1	
	16ビート 2	
	16ビート 3	
	16ビート 4	
	ブリティッシュ 16ビート 1	
	ブリティッシュ 16ビート 2	
	ギター ポップ	
	クラシック 16ビート	
	16ビート シャッフル 1	
	16ビート シャッフル 2	
	フュージョン シャッフル 1	
	フュージョン シャッフル 2	
3	フォーク ロック 1	*2
	フォーク ロック 2	
	シンガー ソング ライター	
	イージー ポップ	
	チャート ギター ポップ	*2
	60s 8ビート	
	80s ボーイ バンド	
	サーフィン 8ビート	
	ハート ビート	
	フィンガー ピッキン	
4	ジャズ ポップ	
	ユーロビジョン ポップ	
	ブリティッシュ ポップ	
	ポップ シャッフル	
	クール シャッフル	
	アンプラグド 1	*2
	アンプラグド 2	
	アンプラグド 3	
5	JPN ポップ シャッフル	
	JPN アイドル ヒッツ	
	JPN 70s アニメ +	*1
	JPN サウンドトラック	
	キュート ポップ	
	The 3rd ファンク	
	サンセット デカ	
5	US 70s TV テーマ	
	UK ソウル ポップ	
6	アジアン ポップス	
	8ビート アドリア	
	スカンジナビアン シャッフル	
	シング アロング	
	ジャージー ポップ	
	60s ビンテージポップ	
	60s チャート スイング	
	バブルガム ポップ	
	ティファナ	
7	70s 8ビート	
	70s カントリー ポップ	
	70s チャート カントリー	*2
	カントリー ブラザーズ	
	ユーロ ポップ オルガン	
	ユーロ フォックス	
	ユーロ ポップ	
	ピアノ 8ビート	*2、*3

R&B (リズム&ブルース)

1	シンプル ファンク	*2
	シンプル R&B バラード	*2
	シンプル R&B シャッフル	*2
	ソウル 1	
	ソウル 2	
	16ビート ソウル 1	
	16ビート ソウル 2	
	ソウル ブラザーズ	
	フランクリー ソウル	
	ライブ ソウル バンド +	*1
	70s チャート ソウル	
2	ソウル スイング	
	6/8 ソウル	
	アメイジングゴスペル 1	
	アメイジングゴスペル 2	
	ゴスペル ブラザーズ	
	ゴスペル シスターズ	
	ハリウッド ゴスペル	
	ゴスペル パーティー	
	ニュー ゴスペル	
	ゴスペル シャッフル	
3	ゴスペル ファンク 1	
	ゴスペル ファンク 2	
	ファンク ビート 1	
	ファンク ビート 2	
	ジャズ ファンク	
	クール ファンク +	*1
	レッツ ファンク	
	モーター シティー 1	
	モーター シティー 2	
	デトロイト ポップ 1	
	デトロイト ポップ 2	
4	ブルース ロック	
	ブルーベリー ブルース +	*1
	クール ブルース	
	スロー ブルース	
	ブルース シャッフル 1	*2
	ブルース シャッフル 2 +	*1
4	6/8 ブルース	
	ラブリー シャッフル	
	モダン シャッフル +	*1
	クール R&B	
	70s スキャットレジェンド	
5	モダン R&B 1	
	モダン R&B 2 +	*1
	ソウル R&B	
	ニュー R&B	
	ワーシップ ミディアム	
	ワーシップ ファスト +	*1
	ワーシップパワーバラード	*2
	ピアノ ブルース 1	*2、*3
	ピアノ ブルース 2	*2、*3

LATIN (ラテン)

1	シンプル ボサノバ	*2
	シンプル サンバ	*2
	シンプル マンボ	*2
	シンプル ルンバ	*2
	ボサノバ 1	
	ボサノバ 2	
	ボサノバ 3	
	ボサノバ 4	
	ポップ ボサ 1	
	ポップ ボサ 2	
	ボサ ブラジル	
	ラウンジ ボサ	
2	サンバ	
	ビッグ バンド サンバ	
	ライト サンバ 1	
	ライト サンバ 2	
	ポップ サンバ 1	
	ポップ サンバ 2	
	ジャズ サンバ	
3	マンボ 1	
	マンボ 2	
	ビッグ バンド マンボ	
	ルンバ	
	ポップ ルンバ	
	ファスト ルンバ	
	ルンバ フラメンコ	
	チャチャチャ	
	ビッグ バンド チャチャ	
	ポップ チャチャ 1	
	ポップ チャチャ 2	
4	サルサ 1	
	サルサ 2	
	サルサ 3	
	モントゥーノ	
	カリブソ	
	グァグァンコ	
	ダンソン	
	グアヒーラ	
	キューバン ボレロ	
	ボンバ	
	ポップ ラテン	*2
5	ビギン 1	
	ビギン 2	

5	タンゴ 1	
	タンゴ 2	
	タンゴ 3	
	イタリアン タンゴ	
	タンゴ オーケストラ	
	タンゴ ミロンガ	
6	ギター ルンバ 1	*3
	ギター ルンバ 2	
	ピアノ ルンバ	*2、*3
	ピアノ チャチャ	*2、*3

WORLD MUSIC (ワールドミュージック)

1	ボレロ	
	フラメンコ	
	ポップ フラメンコ	*2
	パソドブレ	
	タランテラ	
	シルタキ	
	スカンジナビアン ショティス	
	ハワイアン	
	メキシカン ダンス	*3
	エンカ	
2	ポルカ 1	
	ポルカ 2	
	バンダ ポルカ	*3
	オーケストラ ポルカ	
	チター ポルカ	
	イタリアン ポルカ	
	スコティッシュ ポルカ	
	ポルカ オバークライナ	
	パーティー ポルカ	
	ユーロ ポルカ	
	ポルカ ポップ +	*1
3	アイリッシュ ダンス	
	アイリッシュ ヒム	*2
	ケルティック ダンス	
	ケルティック ダンス 3/4	
	ケルティック クリスマス	
	スコティッシュ リール	
4	レゲエ	
	ハッピー レゲエ	
	シェリフ レゲエ 1	
	シェリフ レゲエ 2	
	シャッフル レゲエ	
	カリビアン	
	ズーク	
	ハリー ガリー	
5	ホーダウン 1	*3
	ホーダウン 2	
	ブルーグラス 1	
	ブルーグラス 2	
	モダン ブルーグラス	
	カントリー バンド	
	カントリー シャッフル	
	カントリー 2/4	
	ピッキン スイング	
6	チャイナポップバラード1	*2
	チャイナポップバラード2	
	チャイナ ダンス	
6	チャイナ トラッド 1	
	チャイナ トラッド 2	*2
	カンフー	
	エセアリアル ボイス	*2、*3

BALLAD (バラード)

1	シンプル8ビートバラード	*2
	シンプル ロック バラード	*2
	8ビート バラード	
	アコースティック 8Bt Bld	*2
	8ビート モダン	
	16ビート バラード 1	
	16ビート バラード 2	
	16ビート バラード 3	
	16ビート バラード 4	
2	6/8 バラード	
	6/8 スロー ロック 1	
	6/8 スロー ロック 2	
	6/8 スロー ロック 3	
	6/8 オーケストラ 1	
	6/8 オーケストラ 2	
	シュラガー 6/8	
	ムーンライト 6/8	
	ユーロ スロー ロック	
	アコースティック バラード	
	ビッグ ロック バラード	
	90s ロック バラード	
3	パワー バラード	
	イージー バラード	
	ロマンチック バラード	
	ラブ ソング	
	エピック バラード +	*1
	ドラマチック バラード	*3
	アニメーション バラード	
	シークレット サービス	
	70s クール バラード	
	80s スムース バラード	
	90s クール バラード	
4	ポップ エバーグリーン	
	ボーカルポップBld +	*1、*2
	70s ポップデュオ 1	
	70s ポップデュオ 2	
	70s グラム ピアノ	
	ムービー バラード 1	
	ムービー バラード 2	
	80s ムービーバラード	
	ビッグスクリーン クラシック	
5	チャート バラード	
	アナログ バラード	
	ポップ バラード	
	モダン ポップバラード	*2
	ニュー R&B バラード	
	スロー &イージー 1	
	スロー &イージー 2	
	チルアウト	*2
	カントリー ロック バラード	
	イージー カントリー	
6	JPN ロマンチックバラード	
	JPNフォークポップデュオ	
6	JPN ダンス バラード	*2
	JPN R&B バラード	
	JPN TVサウンドトラック	*2
	オン ブロードウェイ	*2、*3
	カウディ ベイ +	*1、*3
	ナイト ウォーク +	*1、*2、*3
	オルガン バラード 1	
	オルガン バラード 2	
7	ギター バラード 1	
	ギター バラード 2	
	ギター バラード 3	
	ポップギター バラード	
	ピアノ バラード	
	クラシックピアノ バラード	*3
	エレクトリックピアノ Bld	
	ポップピアノ バラード	*2
	ピアノ 8ビートバラード	*2、*3
	ピアノ スロー ロック	*2、*3
	ピアノオーケストラバラード	*3

ROCK (ロック)

1	シンプル ロック	*2
	シンプル シャッフル ロック	*2
	ハード ロック 1	
	ハード ロック 2	
	ハード ロック 3 +	*1
	ティアーズ ロック 1	
	ティアーズ ロック 2	
	ブリティッシュ ロック	*2
	ソフト ロック	
2	パワー ロック	
	スタジアム ロック +	*1
	コンテンポラリー ロック +	*1
	スタンダード ロック	
	アコースティック ロック	
	ブリット ロックポップ +	*1
	ジャーマン ロック	
	ファンク ポップ ロック	
	チャート ロック シャッフル +	*1
	チャート ピアノ シャッフル+	*1
	ビーチ ロック	
	サーフ ロック	
3	60s ロック 1	
	60s ロック 2	
	60s ロック 3 +	*1
	60s ロック 4 +	*1
	70s ロック +	*1
	80s パワー ロック +	*1
	80s シンセ ロック +	*1
	80s ポップ ロック +	*1
	80s ギター ポップ+	*1
	00s ボーイ バンド	
4	ロック シャッフル 1	
	ロック シャッフル 2	
	ロック シャッフル 3 +	*1
	70s ロック シャッフル +	*1
	ロックンロール 1	
	ロックンロール 2	
	ロックンロール 3 +	*1

4	6/8 ロック	
	60s ロックンロール +	*1
	ロックンロール シャッフル	*3
	ジャイブ	
	スキッフル	
5	ブギー ウギー 1	
	ブギー ウギー 2	
	スインギン ブギー	
	オールディーズロックンロール	
	クロコ ツイスト +	*1
	サザン ロック	
	カウボーイ ロック	
	スカンジナビアン バグ	
	カントリー ロック 1	
	カントリー ロック 2	
	カントリー ブルース	
	ニュー カントリー	*2
6	カントリー ストレイツ +	*1
	カントリー ストラム	
	アイリッシュ ロック	
	60s ライジングポップ	*2
	アルプ ロック +	*1
	カリビアン ロック 1	
	カリビアン ロック 2	
	ディスコ フォックス ロック+	*1、*2
	JPN ポップ ロック 1	
	JPN ポップ ロック 2	
	JPN バンド ロック 1	
	JPN バンド ロック 2	
7	JPN ライト ロック 1	
	JPN ライト ロック 2	
	JPN ロック デュオ +	*1
	JPN アイドル ロック	
	JPN キッズ ヒーロー	
	ドラゴン ロック	
	ミラクル ロック	*2
	プリティー キュート	
	ハッピー ポップ	

DANCE (ダンス)

1	シンプル ダンスポップ+	*1、*2
	シンプル ディスコ	*2
	イビサ 1	
	イビサ 2	
	イビサ 3	*3
	トランス ポップ	
	ユーロ トランス 1	
	ユーロ トランス 2	*2
	6/8 トランス 1	
	6/8 トランス 2	
2	クラブ ダンス 1	*2
	クラブ ダンス 2 +	*1、*2
	クラブ ダンス 3	
	グローバル DJ's	
	ダンスフロアー	*2
	テクノ パーティー	
	ドリーム ダンス	
	80s ダンス	
	クラブ ハウス	
2	スイング ハウス	
	ファンキー ハウス	
3	ダーティー ポップ	
	マジョルカ パーティー +	*1、*2
	パーティー アリーナ	
	アブレスキー ヒット	
	ディスコ ロック +	*1、*2
	ディスコ フォックス	
	マジョルカ ディスコ +	*1、*2
	ディスコ パレス	
	ディスコ フィリー 1	
	ディスコ フィリー 2	
	ディスコ ティーンズ 1	*2
	ディスコ ティーンズ 2	
4	ディスコ ファンク 1	
	ディスコ ファンク 2	
	ディスコ チョコレート	
	ダンス ポップ	
	US ディスコ	
	サタデー ナイト +	*1
	ディスコ フィーバー	
	90s ディスコ	
	70s ディスコ 1	
	70s ディスコ 2	
	70s ディスコ 3	
5	トリップ ホップ	*2
	チャート ポップ 1	
	チャート ポップ 2	
	グランド ビート	
	シンセ ポップ	
	シンセ ポップ デュオ +	*1
	US ポップ	
	UK ポップ	
	ターキッシュ ユーロビート	*2
	オリエンタル ポップ	
6	ポップ ビート 1	
	ポップ ビート 2	
	ファンキー ダンス	
	ダンスホール	
	ガラージ 1	
	ガラージ 2 +	*1
	エレクトロニカ +	*1
	ラテン DJ's	
	クラブ ラテン	
	ラテン ディスコ 1	
	ラテン ディスコ 2	
7	US ヒップ ホップ 1	
	US ヒップ ホップ 2 +	*1、*2
	ユーロ ヒップ ホップ 1	
	ユーロ ヒップ ホップ 2+	*1
	ヒップ ホップ ポップ	
	ヒップ ホップ ライト	
	ヒップ ホップ グルーブ	
	クラシック ヒップ ホップ	
	ポップ R&B	
8	JPN アイドルポップ1+	*1
	JPN アイドルポップ 2	
	JPN アイドルポップ 3	
	JPN ダンス ポップ 1	
	JPN ダンス ポップ 2	
8	キュート テクノ	
	ダンス ポリス	

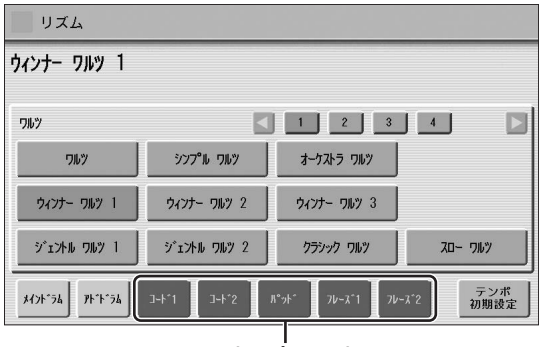
METRONOME (メトロノーム)

1	メトロノーム 2/4 +	*1、*2
	メトロノーム 3/4 +	*1、*2
	メトロノーム 4/4 +	*1、*2
	メトロノーム 6/8 +	*1、*2
	メトロノーム 9/8 +	*1、*2
	メトロノーム 12/8 +	*1、*2
	メトロノーム 5/4 +	*1、*2
	メトロノーム 7/4 +	*1、*2
	メトロノーム 8/4 +	*1、*2
2	クリック 2/4 +	*1、*2
	クリック 3/4 +	*1、*2
	クリック 4/4 +	*1、*2
	クリック 6/8 +	*1、*2
	クリック 9/8 +	*1、*2
	クリック 12/8 +	*1、*2
	クリック 5/4 +	*1、*2
	クリック 7/4 +	*1、*2
	クリック 8/4 +	*1、*2
3	カウベル 2/4 +	*1、*2
	カウベル 3/4 +	*1、*2
	カウベル 4/4 +	*1、*2
	カウベル 6/8 +	*1、*2
	カウベル 9/8 +	*1、*2
	カウベル 12/8 +	*1、*2
	カウベル 5/4 +	*1、*2
	カウベル 7/4 +	*1、*2
	カウベル 8/4 +	*1、*2
4	ウッドブロック 2/4 +	*1、*2
	ウッドブロック 3/4 +	*1、*2
	ウッドブロック 4/4 +	*1、*2
	ウッドブロック 6/8 +	*1、*2
	ウッドブロック 9/8 +	*1、*2
	ウッドブロック 12/8 +	*1、*2
	ウッドブロック 5/4 +	*1、*2
	ウッドブロック 7/4 +	*1、*2
	ウッドブロック 8/4 +	*1、*2

自動伴奏をつける：アカンパニメント

アカンパニメントは、リズムと連動して、多彩な装飾音を施した伴奏パターンが得られる機能です。アカンパニメントは、リズムメニューとリズムコンディション画面で設定します。

1 パネル上の使用したいリズムのボタンを押します。



画面下部に、リズムを構成する各パートのボタンがあります。ドラム以外のパートをまとめて「アカンパニメント」といいます。

2 鳴らしたいアカンパニメントのパートをオンにします。

アカンパニメントは、コード1、コード2、パッド、フレーズ1、フレーズ2の5つのパートで構成されており、それぞれのパートをオン/オフさせることができます。
すべてのパートをオフにすると、アカンパニメントは鳴りません。

コード1/コード2：
コード伴奏を担当する、ピアノやギターなどの演奏を再生するパートです。

パッド：
ストリングスやオルガンなどの演奏を再生するパートです。

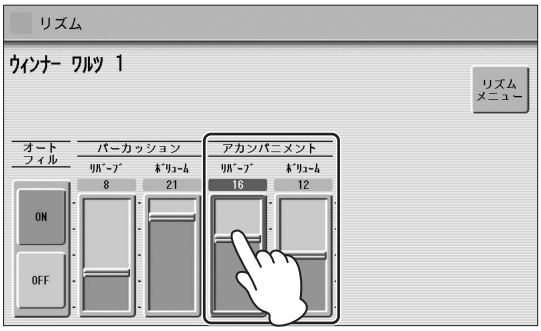
フレーズ1/フレーズ2：
アルペジオや、パンチの効いたブラスフレーズなどを再生するパートです。アカンパニメントの中でひときわ華やかなパートです。

すべてのパートにデータが入っているわけではありません。リズムによって、データの入っているパートは異なります。

メインドラム、アドドラムのパートには、アカンパニメントではなく打楽器音が入っています。メインドラムとアドドラムの両方をオフにすると、打楽器音は鳴らなくなります。一般に、メインドラムに主な打楽器音が入っており、アドドラムにはタンバリンやトライアングルなどの付加的な打楽器音が入っています。

3 アカンパニメントのボリュームやリバーブを調節します。

選んだリズムボタンをもう一度押して、リズムコンディション画面を表示させます。
右側2つのスライダーで、画面に直接触ったりデータコントロールダイアルを使ったりして、アカンパニメントの音量とリバーブを設定します。



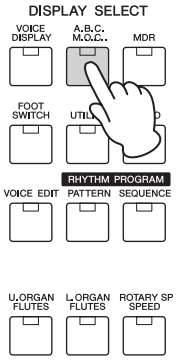
ベースパターンをつける：オートベースコード(A.B.C.)

オートベースコード(A.B.C.)は、リズムと連動し、演奏に合わせて自動的にベースの伴奏が得られる機能です。選ばれているリズムに合わせて、ベースのパターンが自動的に選択されます。オートベースコードには、シングルフィンガー、フィンガードコード、カスタムA.B.C.の3種類のモードがあります。
オートベースコードを使用するためには、ペダルポリモードをオフにしておいてください。
ペダルポリモードがオンの状態では、オートベースコードのベース伴奏は鳴りません。

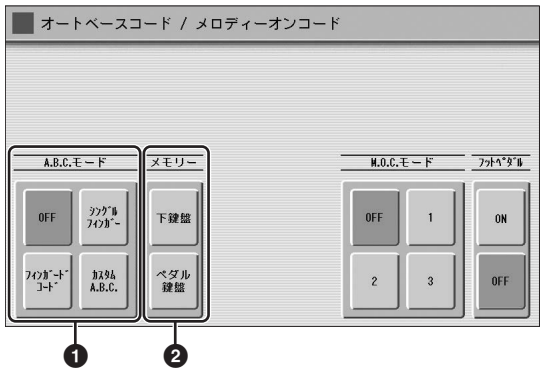
関連ページ
• ポリ (45ページ)

オートベースコードを設定するには：

[A.B.C./M.O.C.]ボタンを押します。



オートベースコード/メロディーオンコード画面



オートベースコード/メロディーオンコード画面が表示されます。オートベースコードは、画面の左側で設定します。

❶ A.B.C.(オートベースコード)モード

OFF：
オートベースコード機能をキャンセルします。

シングルフィンガー：
下鍵盤を1～3音押さえるだけで、自動的に和音とベースの伴奏が得られます。コードを構成するすべての鍵盤を弾かなくても、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードが演奏できます。どの音域の鍵盤を押さえても、一定のオクターブでのみ音がでます。

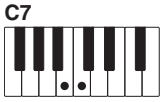
コードCの場合

C

メジャーコード
コードの根音(コード名と同じキー)を押します。

Cm

マイナーコード
コードの根音と、それより左のいずれかの黒鍵を同時に押します。

C7

セブンスコード
コードの根音と、それより左のいずれかの白鍵を同時に押します。

Cm7

マイナーセブンスコード
コードの根音と、それより左の白鍵と黒鍵を同時に押します。

リズムを止めた状態で使うと、和音の持続音が得られます。

フィンガードコード：
下鍵盤でコードを押さえるだけで、自動的にベースの伴奏が得られます。フィンガードコードのベース伴奏では、メジャーやマイナーなどのコード以外にも、さまざまなコードが検出できるので、下鍵盤で弾いたコードにふさわしいベース伴奏が得られます。鍵盤を2音以下しか押さえなかった場合は、直前に弾いたコードをもとに適切なコードが推定されて鳴ります。
フィンガードコードで検出できる代表的なコードは、以下のとおりです。

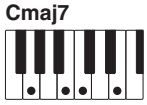
コードCの場合

C

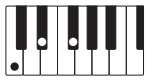
Cm

C7

Cm7

Cmaj7

Cm maj7

Caug

Cdim

Cdim7

Csus4

C7sus4

Cm7-5

C6

Cm6

Cadd9


NOTE
aug、dim7、sus4、6、m6のコードは、根音が最低音となるように押さえる必要があります。

リズムを止めた状態で使うと、和音の持続音が得られます。

カスタムA.B.C.：
下鍵盤で弾くコードとは別に、ペダル鍵盤を1音押さえるだけでベース伴奏が得られます。
この機能を使うことで、演奏に幅を持たせることができます。

❷ メモリー

下鍵盤：
オンにすると、リズムが鳴っている間は、下鍵盤から指をはなしても下鍵盤の音が鳴り続けます。

ペダル鍵盤：
オンにすると、リズムが鳴っている間は、ペダル鍵盤から足をはなしても、ペダル鍵盤の音が鳴り続けます。シングルフィンガーやフィンガードコードの場合は、オンにしてリズムをスタートすると、下鍵盤から指をはなしたあともペダル鍵盤の音が鳴り続けます。

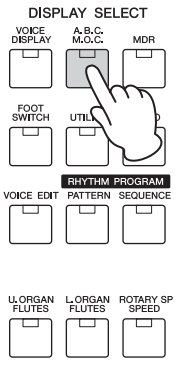
オートベースコードを使って、リズムをシンクロスタートで始める場合は、下鍵盤/ペダル鍵盤のメモリーをオンにしてください。メモリーをオンにしないで使用した場合は、演奏中に下鍵盤から指をはなすと、リズムもストップします。

メロディーにハーモニーをつける：メロディーオンコード(M.O.C.)

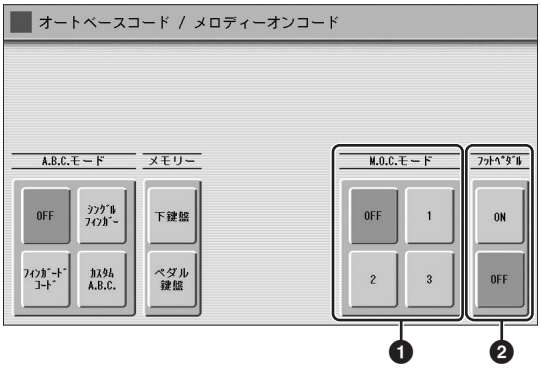
下鍵盤で弾いたコードによって、上鍵盤で弾くメロディーラインに自動的にハーモニーを付ける機能です。メロディーオンコードには、3つのモードがあります。また、メロディーオンコードをフットペダル(別売)でオン/オフすることもできます。

メロディーオンコードを設定するには：

[A.B.C./M.O.C.]ボタンを押します。



オートベースコード/メロディーオンコード画面



オートベースコード/メロディーオンコード画面が表示されます。メロディーオンコードは、画面の右側で設定します。

❶ M.O.C. (メロディーオンコード)モード

OFF：
メロディーオンコード機能をキャンセルします。

モード1：
メロディーに近い音域で最高2音までの付加音がハーモニーとなって得られます。

モード2：
メロディーに近い音域で最高3音までの付加音がハーモニーとなって得られます。

モード3：
メロディーから比較的離れた音域で最高4音までの付加音がハーモニーとなって得られます。

❷ フットペダル

メロディーオンコードをフットペダル(別売)でコントロールするためのオン/オフボタンです。
モードを選択したあと、ここでの設定をONにすると、フットペダルでメロディーオンコードのオン/オフ切り替えができるようになります。

関連ページ
• メロディーオンコードをコントロールする(180ページ)

上鍵盤のボイスセクションで、音量が0の場合はメロディーオンコードの効果は得られません。また、リードボイスに対してはメロディーオンコードの効果はかかりません。

鍵盤で打楽器を演奏する：キーボードパーカッション

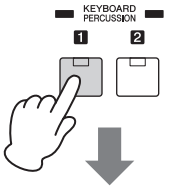
ドラム系やラテンパーカッション系、そして和太鼓などのバラエティーあふれる打楽器音を鍵盤に呼びだして、リアルタイムでパーカッション演奏が楽しめます。
このキーボードパーカッションには、プリセットキーボードパーカッションとユーザーキーボードパーカッションがあります。プリセットキーボードパーカッションは、各鍵盤にあらかじめ打楽器音を割り当てられてあり、すぐにパーカッション演奏ができます。またユーザーキーボードパーカッションは、すべての打楽器音をどの鍵盤に割り当てるかを自分で決めることができます。

プリセットキーボードパーカッションを使う

1 上鍵盤/下鍵盤/ペダル鍵盤のボイスセクションの音量を0にします。

NOTE
ボイスディスプレイで各ボイスセクションをミュートできます。詳しくは、20ページをご覧ください。

2 パネル左端のKEYBOARD PERCUSSION(キーボードパーカッション)の[1]か[2]のボタンを押します。
キーボードパーカッション画面が表示されます。



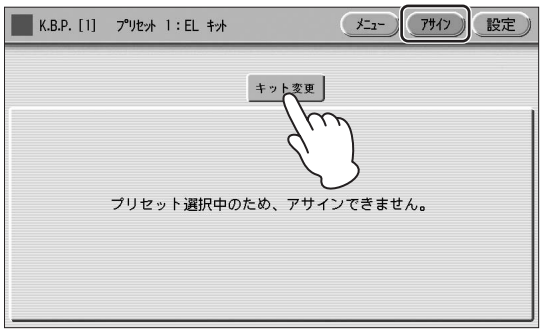


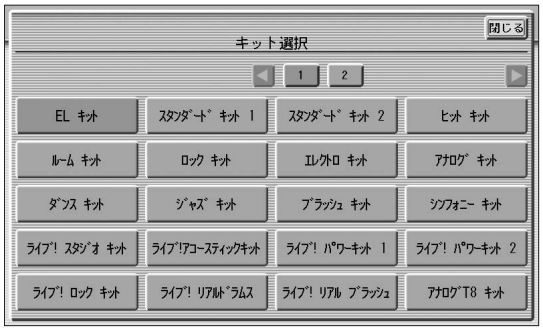
[1]ボタンを押すとプリセット1が、[2]ボタンを押すとプリセット2が鍵盤に呼び出されます。プリセット1は上鍵盤/下鍵盤で打楽器演奏ができるセット、プリセット2は、ペダル鍵盤で打楽器演奏ができるセットです。

NOTE
キーボードパーカッションボタンの[1]と[2]が両方ともオンの場合、[1]と[2]両方を同時に使用できます。

3 画面右上の[アサイン]ボタンを押して、アサインページを表示させます。

4 画面中央の[キット変更]ボタンを押して、キーボードパーカッションのキット一覧を表示させます。



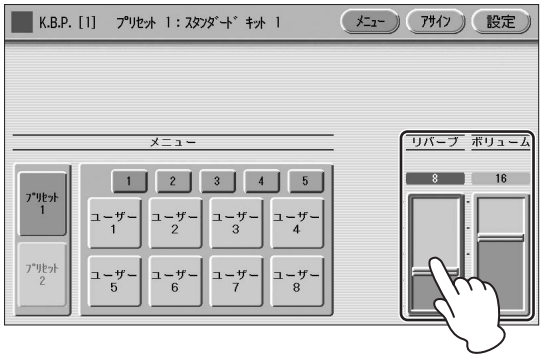


38種類のキーボードパーカッションより、使用したいキット名を押してください。
各キットにどんな打楽器が割り当てられているかは、71ページのプリセットキーボードパーカッションリストをご覧ください。

キットを変更するときに、「セットアップを初期値にしますか？」というメッセージが表示されます。
[OK]を選ぶと、設定ページのプリセットの内容がすべて初期化され、選択したキットを初期状態でパネル上に呼び出します。
[キャンセル]を選ぶと、セットアップを消去せずに選択したキットをパネル上に呼び出します。

5 リバーブや音量を設定します。

キーボードパーカッション画面のリバーブスライダーとボリュームスライダーで、リバーブと音量を調節します。画面に直接触ってスライダーを動かすか、データコントロールダイアルを使って調節します。



ここでの設定は、キーボードパーカッション全体のリバーブ/ボリューム設定です。
個々の打楽器について設定したい場合は、84ページをご覧ください。

6 上鍵盤/下鍵盤やペダル鍵盤を押して、キーボードパーカッションを試してみましょう。

プリセットキーボードパーカッションリスト

	ELキット			スタンダードキット1*		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		-	バスドラム ヘビー		-	キック
C#1		-	スネア ブラッシュロール		スルド ミュート	サイド スティック
D1		-	スネア ドラム ヘビー		スルド オープン	スネア
D#1		クラベス	スネア ブラッシュショット 1		ハイQ	ハンド クラップ
E1		-	スネアドラム リバーブ 1		ウィップ スラップ	スネア タイト
F1		-	スネア ドラム ライト		スクラッチ H	フロア タム L
F#1		シンセ タム 3	タム 3		スクラッチ L	ハイハット クローズ
G1		コンサート バスドラム	スネア ドラム リム 1		フィンガー スナップ	フロア タム H
G#1		シンセ タム 2	タム 2		クリック ノイズ	ハイハット ペダル
A1		バスドラム ヘビー	ハイハット クローズ		メトロノーム クリック	ロー タム
A#1		シンセ タム 1	タム 1		メトロノーム ベル	ハイハット オープン
B1		バスドラム ライト	ハイハット オープン		Seq クリック L	ミドル タム L
C2	-	スネア ドラム ヘビー	ライド シンバル 1	-	Seq クリック H	ミドル タム H
C#2	-	スネア ブラッシュロール	シンセ タム 3	-	ブラッシュ タップ	クラッシュ シンバル 1
D2	-	スネア ドラム ヘビー	クラッシュ シンバル 1	-	ブラッシュ スワール	ハイ タム
D#2	-	スネア ブラッシュショット 1	シンセ タム 2	-	ブラッシュ スラップ	ライド シンバル 1
E2	-	スネアドラム リバーブ 1	オーケストラ シンバル	-	ブラッシュ タップ スワール	チャイニーズ シンバル
F2	-	スネア ドラム ライト	-	-	スネア ロール	ライド シンバル カップ
F#2	-	タム 3	シンセ タム 1	-	カスタネット	タンバリン
G2	-	スネア ドラム リム 1	-	-	スネア ソフト	スプラッシュ シンバル
G#2	-	タム 2		-	スティック	
A2	-	ハイハット クローズ		-	キック ソフト	
A#2	-	タム 1		-	オープン リム ショット	
B2	-	ハイハット オープン		-	キック タイト	
C3	-	ライド シンバル 1		ボンゴ H	キック	
C#3	-	オーケストラ スネア ドラム		ボンゴ L	サイド スティック	
D3	-	クラッシュ シンバル 1		コンガ H ミュート	スネア	
D#3	-	スネア ドラム ロール		コンガ H オープン	ハンド クラップ	
E3	-	オーケストラ シンバル		コンガ L	スネア タイト	
F3	-	オーケストラ シンバル ロール		ティンバル H	フロア タム L	
F#3	-	トライアングル ミュート		ティンバル L	ハイハット クローズ	
G3	-	タンバリン		アゴゴ H	フロア タム H	
G#3	-	トライアングル オープン		アゴゴ L	ハイハット ペダル	
A3	-	カスタネット		カバサ	ロー タム	
A#3	-	カウベル 1		マラカス	ハイハット オープン	
B3	-	ティンバル 1 ロー		サンバ ホイッスル H	ミドル タム L	
C4	-	ティンバル 1 ハイ		サンバ ホイッスル L	ミドル タム H	
C#4	-	ウッドブロック ロー		ギロ ショート	クラッシュ シンバル 1	
D4	-	コンガ ロー		ギロ ロング	ハイ タム	
D#4	-	ウッドブロック ハイ		クラベス	ライド シンバル 1	
E4	-	コンガ ハイ		ウッド ブロック H	チャイニーズ シンバル	
F4	-	ボンゴ ロー		ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ	
F#4	-	アゴゴ ロー		クイーカ ミュート	タンバリン	
G4	-	ボンゴ ハイ		クイーカ オープン	スプラッシュ シンバル	
G#4	-	アゴゴ ハイ		トライアングル ミュート	カウベル	
A4	-	クイーカ ロー		トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2	
A#4	-	ハンド クラップ		シェイカー	ビブラスラップ	
B4	-	クイーカ ハイ		ジングル ベル	ライド シンバル 2	
C5	-	シェイカー		ベル ツリー	-	
C#5	-			-		
D5	-			-		
D#5	-			-		
E5	-			-		
F5	-			-		
F#5	-			-		
G5	-			-		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

: エレクトーンの鍵盤の位置を表しています。

* スタンダードキット2、ヒットキット、ルームキット、ロックキット、エレクトロキット、アナログキット、ダンスキット、ジャズキット、ブラッシュキット、シンフォニーキット、ライブ! スタジオキット、ライブ! パワーキット1、ライブ! パワーキット2、ライブ! ロックキットは、スタンダードキット1と同等の配列を持つキットです。

	ライブ！アコースティックキット			ライブ！リアル ドラムス		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		-	キック オープン アコ		-	キック リアル 2
C#1		スルド ミュート	スティック アコースティック		スルド ミュート	スティック リアル
D1		スルド オープン	スネア アコースティック		スルド オープン	スネア リアル 1
D#1		ハイ Q	ハンド クラップ パワー		ハイ Q	クラップ パワー
E1		ウィップ スラップ	スネア ラフ アコースティック		ウィップ スラップ	スネア リアル 2
F1		スクラッチ H	タム アコースティック 1		スクラッチ H	タム リアル 1
F#1		スクラッチ L	ハイハット クローズ アコ		スクラッチ L	ハイハット クローズ リアル
G1		フィンガー スナップ	タム アコースティック 2		フィンガー スナップ	タム リアル 2
G#1		クリック ノイズ	ハイハット ペダル アコ		クリック ノイズ	ハイハット ペダル リアル
A1		メトロノーム クリック	タム アコースティック 3		メトロノーム クリック	タム リアル 3
A#1		メトロノーム ベル	ハイハット オープン アコ		メトロノーム ベル	ハイハット オープン リアル
B1		Seq クリック L	タム アコースティック 4		Seq クリック L	タム リアル 4
C2	-	Seq クリック H	タム アコースティック 5	-	Seq クリック H	タム リアル 5
C#2	-	ブラッシュ タップ	クラッシュ シンバル アコ 1	-	ブラッシュ タップ	クラッシュシンバル リアル 1
D2	-	ブラッシュ スワール	タム アコースティック 6	-	ブラッシュ タップ スワール	タム リアル 6
D#2	-	ブラッシュ スラップ	ライド シンバル アコ 1	-	ブラッシュ スラップ	ライド シンバル リアル 1
E2	-	ブラッシュ タップ スワール	チャイナ シンバル アコ	-	ブラッシュ タップ スワール	チャイナ シンバル リアル
F2	-	スネア ロール アコースティック	ライドシンバルカップ アコ	-	スネア ロール ロック	ライドシンバルカップリアル
F#2	-	カスタネット	タンバリン	-	カスタネット	タンバリン
G2	-	スネア ソフト アコースティック	スプラッシュ シンバル アコ	-	スネア タイト	スプラッシュシンバル リアル
G#2	-	スティック		-	スティック	
A2	-	キック ソフト アコースティック		-	キック ジェニュイン	
A#2	-	リム アコースティック		-	リム リアル	
B2	-	キック ミュート アコ		-	キック リアル 1	
C3	ボンゴ H	キック オープン アコ		ボンゴ H	キック リアル 2	
C#3	ボンゴ L	スティック アコースティック		ボンゴ L	スティック リアル	
D3	コンガ H ミュート	スネア アコースティック		コンガ H ミュート	スネア リアル 1	
D#3	コンガ H オープン	ハンド クラップ パワー		コンガ H オープン	クラップ パワー	
E3	コンガ L	スネア ラフ アコースティック		コンガ L	スネア リアル 2	
F3	ティンバル H	タム アコースティック 1		ティンバル H	タム リアル 1	
F#3	ティンバル L	ハイハット クローズ アコ		ティンバル L	ハイハット クローズ リアル	
G3	アゴゴ H	タム アコースティック 2		アゴゴ H	タム リアル 2	
G#3	アゴゴ L	ハイハット ペダル アコ		アゴゴ L	ハイハット ペダル リアル	
A3	カバサ	タム アコースティック 3		カバサ	タム リアル 3	
A#3	マラカス	ハイハット オープン アコ		マラカス	ハイハット オープン リアル	
B3	サンバ ホイッスル H	タム アコースティック 4		サンバ ホイッスル H	タム リアル 4	
C4	サンバ ホイッスル L	タム アコースティック 5		サンバ ホイッスル L	タム リアル 5	
C#4	ギロ ショート	クラッシュ シンバル アコ 1		ギロ ショート	クラッシュシンバル リアル 1	
D4	ギロ ロング	タム アコースティック 6		ギロ ロング	タム リアル 6	
D#4	クラベス	ライド シンバル アコ 1		クラベス	ライド シンバル リアル 1	
E4	ウッド ブロック H	チャイナ シンバル アコ		ウッド ブロック H	チャイナ シンバル リアル	
F4	ウッド ブロック L	ライドシンバルカップ アコ		ウッド ブロック L	ライドシンバルカップリアル	
F#4	クイーカ ミュート	タンバリン		クイーカ ミュート	タンバリン	
G4	クイーカ オープン	スプラッシュ シンバル アコ		クイーカ オープン	スプラッシュシンバル リアル	
G#4	トライアングル ミュート	カウベル		トライアングル ミュート	カウベル	
A4	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル アコ 2		トライアングル オープン	クラッシュシンバル リアル 2	
A#4	シェイカー	ビブラスラップ		シェイカー	ビブラスラップ	
B4	ジングル ベル	ライド シンバル アコ 2		ジングル ベル	ライド シンバル リアル 2	
C5	ウィンド チャイム	-		ウィンド チャイム	-	
C#5	-			-		
D5	-			-		
D#5	-			-		
E5	-			-		
F5	-			-		
F#5	-			-		
G5	-			-		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

	ライブ！リアル ブラッシュ			アナログT8 キット		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		-	キック ジャズアンビエンス		-	キック T8 1
C#1		スルド ミュート	スティック ブラッシュ		スルド ミュート	スネア T8 リム
D1		スルド オープン	ビンテージ スラップ 4		スルド オープン	スネア T8 2
D#1		ハイ Q	クラップ パワー		ハイ Q	クラップ T9
E1		ウィップ スラップ	ビンテージ スラップ 5		ウィップ スラップ	スネア T8 1
F1		スクラッチ H	タム リアル ブラッシュ 1		スクラッチ H	タム T8 1
F#1		スクラッチ L	ハイハット クローズ RB		スクラッチ L	ハイハット クローズ T8
G1		フィンガー スナップ	タム リアル ブラッシュ 2		スネア ハンマー	タム T8 2
G#1		クリック ノイズ	ハイハット ペダル RB		キック ザップ ハード	ハイハット ペダル T8
A1		メトロノーム クリック	タム リアル ブラッシュ 3		スネア ガルグ L	タム T8 3
A#1		メトロノーム ベル	ハイハット オープン RB		キック テクノ パワー	ハイハット オープン T8
B1		ビンテージ チップ	タム リアル ブラッシュ 4		キック スライミー	タム T8 4
C2	-	ビンテージ スワール 1	タム リアル ブラッシュ 5	-	キック T8 4	タム T8 6
C#2	-	ビンテージ スラップ 1	クラッシュ シンバル RB 1	-	スネア アナログ CR	クラッシュ シンバル T8
D2	-	ビンテージ スワール 2	タム リアル ブラッシュ 6	-	スネア T8 7	タム T8 7
D#2	-	ビンテージ スラップ 2	ライド シンバル RB	-	スネア クラップ アナログ	ライド シンバル T9
E2	-	ビンテージ タップスワール	チャイナ シンバル RB	-	スネア T8 6	チャイナ シンバル 2
F2	-	ビンテージスラップスワール	ライド カップ RB 1	-	タム T8 5	ライドシンバル カップ 2
F#2	-	ビンテージ スワール 3	タンバリン	-	スネア T8 5	タンバリン RX5
G2	-	ビンテージ スラップ 3	スプラッシュ シンバル RB	-	キック T8 3	スプラッシュ シンバル
G#2	-	スティック		-	スネア T8 4	
A2	-	キック ソフト L		-	キック T8 2	
A#2	-	オープン リム ショット RB		-	スネア T8 3	
B2	-	キック ソフト H		-	T8 キック ベース	
C3	ボンゴ H	キック ジャズアンビエンス		コンガ T8 5	キック T8 1	
C#3	ボンゴ L	スティック ブラッシュ		コンガ T8 4	スネア T8 リム	
D3	コンガ H ミュート	ビンテージ スラップ 4		コンガ T8 3	スネア T8 2	
D#3	コンガ H オープン	クラップ パワー		コンガ T8 2	クラップ T9	
E3	コンガ L	ビンテージ スラップ 5		コンガ T8 1	スネア T8 1	
F3	ティンバル H	タム リアル ブラッシュ 1		ティンバル H	タム T8 1	
F#3	ティンバル L	ハイハット クローズ RB		ティンバル L	ハイハット クローズ T8	
G3	アゴゴ H	タム リアル ブラッシュ 2		グラス H	タム T8 2	
G#3	アゴゴ L	ハイハット ペダル RB		グラス L	ハイハット ペダル T8	
A3	カバサ	タム リアル ブラッシュ 3		カバサ	タム T8 3	
A#3	マラカス	ハイハット オープン RB		マラカス T8	ハイハット オープン T8	
B3	サンバ ホイッスル H	タム リアル ブラッシュ 4		Fx ガン 2	タム T8 4	
C4	サンバ ホイッスル L	タム リアル ブラッシュ 5		Fx ガン 1	タム T8 6	
C#4	ギロ ショート	クラッシュ シンバル RB 1		アナログ シェイカー H	クラッシュ シンバル T8	
D4	ギロ ロング	タム リアル ブラッシュ 6		アナログ シェイカー L	タム T8 7	
D#4	クラベス	ライド シンバル RB		クラベス T8	ライド シンバル T9	
E4	ウッド ブロック H	チャイナ シンバル RB		ハイ Q 1	チャイナ シンバル 2	
F4	ウッド ブロック L	ライド カップ RB 1		ハイ Q 2	ライドシンバル カップ 2	
F#4	クイーカ ミュート	タンバリン		スクラッチ H 2	タンバリン RX5	
G4	クイーカ オープン	スプラッシュ シンバル RB		スクラッチ L 2	スプラッシュ シンバル	
G#4	トライアングル ミュート	カウベル		トライアングル ミュート	カウベル T8	
A4	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル RB 2		トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 4	
A#4	シェイカー	ビブラスラップ		アナログ シェイカー	ビブラスラップ	
B4	ジングル ベル	ライド カップ RB 2		スレイ ベル	ライド シンバル 3	
C5	ウィンド チャイム	-		ウィンド チャイム	-	
C#5	-			スネア ヒップ 1		
D5	-			スネア ヒップ 2		
D#5	-			スネア ヒップ ゲート		
E5	-			スネア ブレイク 1		
F5	-			キック ブリップ		
F#5	-			スネア Fx 1		
G5	-			キック Fx ハンマー		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

	アナログT9 キット			ハウス キット		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		-	キック T9 3		-	キック T9 5
C#1		スルド ミュート	スネア T9 リム		ダブル キック	スネア T9 リム
D1		スルド オープン	スネア T9 1		ディスコ Fx	スネア T9 1
D#1		ハイ Q	クラップ T9		ホワイトノイズ ダウン 1	クラップ T9
E1		ウィップ スラップ	スネア T9 2		ピンクノイズ ダウン 1	スネア T9 2
F1		スクラッチ H	タム T9 1		ホワイトノイズ ダウン 2	タム T9 1
F#1		スクラッチ L	ハイハット クローズ T9		ピンクノイズ ダウン 2	ハイハット クローズ T8
G1		スネア ドラム&ベース 1	タム T9 2		ホワイトノイズ アップ 2	タム T9 2
G#1		キック ブレイク 2	ハイハット ペダル T9		ホワイトノイズ アップ 1	ハイハット ペダル T9
A1		スネア ディストーション	タム T9 3		ピンクノイズ アップ	タム T9 3
A#1		キック テクノ パワー	ハイハット オープン T9		ホワイトノイズアップリリース	ハイハット オープン T9
B1		キック ディストーション RM	タム T9 4		ピンクノイズアップリリース	タム T9 4
C2	-	キック T9 2	タム T9 5	-	キック T9 4	タム T9 5
C#2	-	スネア アナログ CR	クラッシュ シンバル T9	-	スネア T8 リム	クラッシュ シンバル T9
D2	-	スネア T9 5	タム T9 6	-	スネア T8 5	タム T9 6
D#2	-	クラップ アナログ Sm	ライド シンバル T9	-	ハンド クラップ	ライド シンバル T9
E2	-	スネア T9 ゲート 1	チャイナ シンバル 2	-	スネア ガルグ L	クラッシュ シンバル 4
F2	-	スネア ロック ロール	ライドシンバル カップ 2	-	スネア ロール	ライドシンバル カップ 2
F#2	-	スネア T9 3	タンバリン RX5	-	スネア T9 3	タンバリン ヒット
G2	-	スネア T9 4	スプラッシュ シンバル 2	-	スネア T8 1	スプラッシュ シンバル 2
G#2	-	スネア T9 ゲート 2		-	スネア T9 5	
A2	-	キック T9 4		-	キック T9 1	
A#2	-	スネア T9 6		-	スネア T9 ゲート	
B2	-	キック T9 1		-	キック T9 2	
C3	コンガ T8 5	キック T9 3		ボンゴH オープン 1 F	キック T9 5	
C#3	コンガ T8 4	スネア T9 リム		ボンゴL オープン 3 F	スネア T9 リム	
D3	コンガ チップ	スネア T9 1		コンガ H チップ	スネア T9 1	
D#3	コンガ オープン スラップ	クラップ T9		コンガH スラップオープン	クラップ T9	
E3	コンガ オープン	スネア T9 2		コンガ H オープン 2	スネア T9 2	
F3	ティンバル H	タム T9 1		ティンバル H	タム T9 1	
F#3	ティンバル L	ハイハット クローズ T9		ティンバル L	ハイハット クローズ T8	
G3	アナログ クリック	タム T9 2		アゴゴ H	タム T9 2	
G#3	コンガ T8 1	ハイハット ペダル T9		アゴゴ L	ハイハット ペダル T9	
A3	カバサ	タム T9 3		カバサ	タム T9 3	
A#3	マラカス スラー 2	ハイハット オープン T9		マラカス スラー 2	ハイハット オープン T9	
B3	Fx ガン 2	タム T9 4		ボックス ドラム L	タム T9 4	
C4	Fx ガン 1	タム T9 5		ボックス ドラム H	タム T9 5	
C#4	スクラッチ H 3	クラッシュ シンバル T9		ギロ ショート	クラッシュ シンバル T9	
D4	スクラッチ ダウン	タム T9 6		ギロ ロング	タム T9 6	
D#4	ハイ Q 3	ライド シンバル T9		クラベス	ライド シンバル T9	
E4	ハイ Q 1	チャイナ シンバル 2		ウッド ブロック H	クラッシュ シンバル 4	
F4	ハイ Q 2	ライドシンバル カップ 2		ウッド ブロック L	ライドシンバル カップ 2	
F#4	スクラッチ H 2	タンバリン RX5		クイーカ H	タンバリン ヒット	
G4	スクラッチ L 2	スプラッシュ シンバル 2		クイーカ L	スプラッシュ シンバル 2	
G#4	トライアングル ミュート	カウベル 1		トライアングル ミュート	カウベル 1	
A4	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 4		トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 1	
A#4	アナログ シェイカー	カウベル T8		アナログ シェイカー	カウベル T8	
B4	スレイ ベル	ライド シンバル 3		スレイ ベル	ライド シンバル 3	
C5	ウィンド チャイム	-		ウィンド チャイム	-	
C#5	スネア ピッコロ			スネア ブレイク ロール		
D5	スネア T8 7			ノイズ バースト		
D#5	スネア ロックロール ディスト			ボックス ベル		
E5	スネア ブラッシュ ミュート			スネア R&B 1		
F5	キック ブリップ ハード			ボックス アーク		
F#5	スネア ジャングル 1			ウドゥ ハイ		
G5	キック サスティン			フィルター キック		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

	ヒップホップ キット			ドラムマシン		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		-	キック アナログ CR		-	キック T9 4
C#1		スルド ミュート	スネア アナログ Sm リム		スルド ミュート	スネア T9 リム
D1		スルド オープン	スネア ヒップホップ 1		スルド オープン	スネア T9 1
D#1		ハイ Q	スネア クラッピー		ハイ Q	クラップ T9
E1		ウィップ スラップ	スネア ヒップホップ 2		ウィップ スラップ	スネア T9 4
F1		スクラッチ H	フロア タム L		スクラッチ H	タム T9 1
F#1		スクラッチ L	ハイハット クローズ ヒップ		スクラッチ L	ハイハット クローズ T9
G1		ハイハット クローズ T8 2	ロー タム		スネア ドラム&ベース 1	タム T9 2
G#1		タム T8 3	ハイハット ペダル ヒップ		キック ブレイク 2	ハイハット ペダル T9
A1		ハイハット オープン T8 2	ミドル タム L		スネア ディストーション	タム T9 3
A#1		タム T8 6	ハイハット オープン ヒップ		キック テクノ パワー	ハイハット オープン T9
B1		クラッシュ T8	ハイ タム		キック ディストーション RM	タム T9 4
C2	-	トライアングル ミュート	ライド シンバル 3	-	バスドラム ハードロング	タム T9 5
C#2	-	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 3	-	バスドラム テクノパワー	クラッシュ シンバル T9
D2	-	ウィンド チャイム	シェイカー 2	-	バス ドラム ディスト 5	コンガ T8 1
D#2	-	タンバリン ライト 2	スクラッチ BD フォワード	-	バス ドラム ディスト 3	ライド シンバル T9
E2	-	タンバリン ライト 1	スクラッチ BD リバース	-	バス ドラム ディスト 1	コンガ T8 2
F2	-	キック ヒップホップ 9	キック ヒップホップ 2	-	BD ドラム & ベース 1	アナログ クリック
F#2	-	ハイハット クローズ テクノ	スネア ヒップホップリム 2	-	バス ドラム ブリップ	クラベス T8 1
G2	-	キック ゲート	ヒップホップ クラップ 2	-	バス ドラム アナログSm	マラカス T8
G#2	-	ハイハットオープン ローファイ		-	キック T8 2	
A2	-	キック グランカッサオープン		-	キック T8 3	
A#2	-	ハイハット リバース D&B		-	キック T9 HD 3	
B2	-	キック ヒップホップ 1		-	キック T9 2	
C3	キック ヒップホップ 3	キック アナログ CR		スネア T8 1	キック T9 4	
C#3	スネア ヒップホップリム 3	スネア アナログ Sm リム		スネア T8 2	スネア T9 リム	
D3	スネア ヒップホップ 5	スネア ヒップホップ 1		スネア T8 3	スネア T9 1	
D#3	エレクトリック クラップ 1	スネア クラッピー		スネア アナログ CR	クラップ T9	
E3	ハンドベル H	スネア ヒップホップ 2		スネア ジャングル 1	スネア T9 4	
F3	キック ヒップホップ 4	フロア タム L		スネア ドラム&ベース 2	タム T9 1	
F#3	ヒップホップ クラップ 3	ハイハット クローズ ヒップ		スネア ヒップ 1	ハイハット クローズ T9	
G3	ヒップホップ スナップ 2	ロー タム		スネア R&B 1	タム T9 2	
G#3	スネア ヒップホップリム 5	ハイハット ペダル ヒップ		スネア R&B 2	ハイハット ペダル T9	
A3	ヒップホップ フレックス 1	ミドル タム L		スネア ヒップ 1	タム T9 3	
A#3	ヒップホップ フレックス 2	ハイハット オープン ヒップ		スネア ウッド	ハイハット オープン T9	
B3	シェイカー 2	ハイ タム		スネア ティンバー	タム T9 4	
C4	キック ヒップホップ 5	ライド シンバル 3		ハイハット クローズ T8 1	タム T9 5	
C#4	スネア ヒップホップリム 4	クラッシュ シンバル 3		ハイハット オープン T8 1	クラッシュ シンバル T9	
D4	スネア ヒップホップ 6	シェイカー 2		ハイハット クローズ T8 2	コンガ T8 1	
D#4	スネア ヒップホップ 11	スクラッチ BD フォワード		ハイハット オープン T8 2	ライド シンバル T9	
E4	キック ヒップホップ 10	スクラッチ BD リバース		ハイハット ペダル アコ	コンガ T8 2	
F4	スネア ヒップホップ 7	キック ヒップホップ 2		ハイハット クローズ アコ	アナログ クリック	
F#4	ヒップホップ クラップ 5	スネア ヒップホップリム 2		ハイハット オープン アコ	クラベス T8 1	
G4	コンガ H チップ	ヒップホップ クラップ 2		ハイハット クローズLo-Fi	マラカス T8	
G#4	コンガ H ヒール	ヒップホップ スナップ 1		ハイハット オープンLo-Fi	タンバリン アナログ CR	
A4	コンガ H オープン	スネア ヒップホップ 3		ハイハット クローズ Syn	アナログ シェイカー	
A#4	コンガ L オープン 1	エレクトリック クラップ 2		ハイハット オープン Syn	カウベル T8	
B4	コンガ L オープン 2	キック ヒップ ディープ		アナログ シェイカー 1	カウベル アナログ CR	
C5	キック ヒップホップ 8	-		タンバリン RX5 2	-	
C#5	ヒップホップ クラップ 6			タンバリン 1 ヒット		
D5	スネア T8 1			エレクトリック カウベル		
D#5	スネア T8 1 H			コンガ T8 3		
E5	ヒップホップ クラップ 7			エレクトリック トライアングル		
F5	タム T8 1			クラベス T8 2		
F#5	ハイハット クローズ T8 2			アナログ シェイカー 2		
G5	タム T8 2			エレクトリック クラップ 1		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

	ブレイク キット			SFX キット 1 / ライブ! SFX キット1		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		-	キック ブレイク 1		-	カッティング ノイズ 1
C#1		スルド ミュート	スネア ヒップ リム 1		-	カッティング ノイズ 2
D1		スルド オープン	スネア ブレイク 3		-	-
D#1		ハイ Q	スネア ブレイク 1		-	ストリング スラップ
E1		ウィップ スラップ	スネア ブレイク 2		-	-
F1		スクラッチ H	タム ブレイク 1		-	-
F#1		スクラッチ L	ハイハットクローズロックソフト		-	-
G1		フィンガー スナップ	タム ブレイク 2		-	-
G#1		スネア ブレイク 8	ハイハット ペダル ロック		-	-
A1		スネア ブレイク 9	タム ブレイク 3		-	-
A#1		ハイハットクローズブレイク1	ハイハットハーフオープンロック		-	-
B1		ハイハットクローズブレイク2	タム ブレイク 4		-	-
C2	-	キック ブレイク ディープ	タム ブレイク 5	-	-	-
C#2	-	スネア ヒップ	クラッシュ シンバル 1	-	-	-
D2	-	スネア ローファイ	タム ブレイク 6	-	-	-
D#2	-	スネア クラッピー	ライド シンバル 3	-	-	-
E2	-	スネア LdwH モノ	チャイナ シンバル 2	-	-	フルート キー クリック
F2	-	スネア ロック ロール	ライドシンバル カップ 2	-	-	-
F#2	-	スネア ゲート 1	タンバリン 1 ヒット	-	-	-
G2	-	スネア ミドル	スプラッシュ シンバル 2	-	-	-
G#2	-	スネア ブレイク リム		-	-	
A2	-	キック ブレイク ヘビー		-	-	
A#2	-	スネア ヒップ リム 4		-	-	
B2	-	キック ブレイク 2		-	-	
C3	ボンゴ H	キック ブレイク 1		-	カッティング ノイズ 1	
C#3	ボンゴ L	スネア ヒップ リム 1		-	カッティング ノイズ 2	
D3	コンガ H チップ	スネア ブレイク 3		-	-	
D#3	コンガH オープンスラップ	スネア ブレイク 1		-	ストリング スラップ	
E3	コンガ H オープン	スネア ブレイク 2		-	-	
F3	ボンゴ 2 H	タム ブレイク 1		-	-	
F#3	ボンゴ 2 L	ハイハットクローズロックソフト		-	-	
G3	コンガ オープン	タム ブレイク 2		-	-	
G#3	アゴゴ L	ハイハット ペダル ロック		雨	-	
A3	カバサ	タム ブレイク 3		雷	-	
A#3	マラカス スラー	ハイハットハーフオープンロック		風	-	
B3	ティンバル H	タム ブレイク 4		せせらぎ	-	
C4	ティンバル L	タム ブレイク 5		泡	-	
C#4	スクラッチ H 3	クラッシュ シンバル 1		フィード	-	
D4	スクラッチ ダウン	タム ブレイク 6		-	-	
D#4	クラベス	ライド シンバル 3		-	-	
E4	ウッド ブロック H	チャイナ シンバル 2		-	フルート キー クリック	
F4	ウッド ブロック L	ライドシンバル カップ 2		-	-	
F#4	スクラッチ H 2	タンバリン 1 ヒット		-	-	
G4	スクラッチ L 2	スプラッシュ シンバル 2		-	-	
G#4	トライアングル ミュート	カウベル 1		-	-	
A4	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2		-	-	
A#4	キック ブレイク 3	カウベル RX11		-	-	
B4	キック ブレイク 4	ライド シンバル 2		-	-	
C5	キック ブレイク 5	-		犬	-	
C#5	キック ブレイク 6			馬		
D5	キック ブレイク 7			鳥のさえずり		
D#5	ハイハットクローズブレイク3			-		
E5	スネア ブレイク 4			-		
F5	スネア ブレイク 5			-		
F#5	スネア ブレイク 6			ゴースト		
G5	スネア ブレイク 7			マオウ		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

	SFX キット 2 / ライブ! SFX キット2			ノイズ キット		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		-	フォーン コール		-	ホワイトノイズ
C#1		-	ドアのきしみ		-	ピンクノイズ
D1		-	ドアを閉める		-	ホワイトノイズ ダウン 1
D#1		-	スクラッチ カット		-	ピンクノイズ ダウン 1
E1		-	スクラッチ スプリット		-	ホワイトノイズ ダウン 2
F1		-	ウィンド チャイム		-	ピンクノイズ ダウン 2
F#1		-	電話		-	ホワイトノイズ アップ 2
G1		-	-		-	ホワイトノイズ アップ 1
G#1		-	-		-	ピンクノイズ アップ
A1		-	-		-	ホワイトノイズアップリリース
A#1		-	-		-	ピンクノイズアップリリース
B1		-	-		-	ホワイトノイズアップ LFO
C2	-	-	-	-	-	ピンクノイズアップ LFO
C#2	-	-	-	-	-	-
D2	-	-	-	-	-	-
D#2	-	-	-	-	-	-
E2	-	-	イグニッション	-	-	-
F2	-	-	タイヤ	-	-	-
F#2	-	-	レーシングカー	-	-	-
G2	-	-	衝突	-	-	-
G#2	-	-		-	-	
A2	-	-		-	-	
A#2	-	-		-	-	
B2	-	-		-	-	
C3	バースト	フォーン コール		-	ホワイトノイズ	
C#3	ローラー コースター	ドアのきしみ		-	ピンクノイズ	
D3	サブマリン	ドアを閉める		-	ホワイトノイズ ダウン 1	
D#3	-	スクラッチ カット		-	ピンクノイズ ダウン 1	
E3	-	スクラッチ スプリット		-	ホワイトノイズ ダウン 2	
F3	-	ウィンド チャイム		-	ピンクノイズ ダウン 2	
F#3	-	電話		-	ホワイトノイズ アップ 2	
G3	-	-		-	ホワイトノイズ アップ 1	
G#3	笑い声	-		-	ピンクノイズ アップ	
A3	悲鳴	-		-	ホワイトノイズアップリリース	
A#3	パンチ	-		-	ピンクノイズアップリリース	
B3	心音	-		-	ホワイトノイズアップ LFO	
C4	足音	-		-	ピンクノイズアップ LFO	
C#4	-	-		-	-	
D4	-	-		-	-	
D#4	-	-		-	-	
E4	-	イグニッション		-	-	
F4	-	タイヤ		-	-	
F#4	-	レーシングカー		-	-	
G4	-	衝突		-	-	
G#4	-	サイレン		-	-	
A4	-	列車		-	-	
A#4	-	ジェット機		-	-	
B4	-	スターシップ		-	-	
C5	マシンガン	-		-	-	
C#5	レーザーガン			-		
D5	爆発			-		
D#5	花火			-		
E5	-			-		
F5	-			-		
F#5	-			-		
G5	-			-		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

	ボーカルエフェクト キット			ゴスペルアドリブ		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		-	男声 Ha 1		-	-
C#1		-	女声 Ha 1		-	-
D1		-	男声 Ha 2		-	-
D#1		-	男声 Ha 3		-	-
E1		-	男声 Bh 1		-	-
F1		-	女声 Bh 1		-	-
F#1		-	男声 Kh 1		-	-
G1		-	女声 Kh 1		-	-
G#1		-	男声 Ph 1		-	-
A1		-	女声 Ph 1		-	-
A#1		-	男声 Th 1		-	-
B1		-	女声 Th 1		-	-
C2	-	-	男声 Bh 2	-	-	カモン
C#2	-	-	女声 Bh 2	-	-	ホー！
D2	-	-	男声 Kh 2	-	-	アーハー！
D#2	-	-	女声 Kh 2	-	-	オー イェー
E2	-	-	男声 Ph 2	-	-	ヤヤヤヤー
F2	-	-	女声 Ph 2	-	-	プット ユア ハンズ…
F#2	-	-	男声 Th 2	-	-	カモン ナウ
G2	-	-	女声 Th 2	-	-	ヘーーイ
G#2	-	-		-	-	
A2	-	-		-	-	
A#2	-	-		-	-	
B2	-	-		-	-	
C3	男声 Bh 3	男声 Ha 1		ウー イェー	-	
C#3	女声 Bh 3	女声 Ha 1		アーオ	-	
D3	男声 Kh 3	男声 Ha 2		カモン!	-	
D#3	女声 Kh 3	男声 Ha 3		イェー！	-	
E3	男声 Ph 3	男声 Bh 1		オールライト ナウ!	-	
F3	女声 Ph 3	女声 Bh 1		ワン	-	
F#3	男声 Th 3	男声 Kh 1		ツー	-	
G3	女声 Th 3	女声 Kh 1		スリー	-	
G#3	男声 Bh 4	男声 Ph 1		フォー	-	
A3	女声 Bh 4	女声 Ph 1		ワン!	-	
A#3	男声 Kh 4	男声 Th 1		ツー！	-	
B3	女声 Kh 4	女声 Th 1		スリー！	-	
C4	男声 Ph 4	男声 Bh 2		フォー！	カモン	
C#4	女声 Ph 4	女声 Bh 2		ファイブ!	ホー！	
D4	男声 Th 4	男声 Kh 2		シックス!	アーハー！	
D#4	女声 Th 4	女声 Kh 2		セブン!	オー イェー	
E4	-	男声 Ph 2		エイト!	ヤヤヤヤー	
F4	-	女声 Ph 2		クラップ!	プット ユア ハンズ…	
F#4	-	男声 Th 2		ゴスペル クラップ 1	カモン ナウ	
G4	-	女声 Th 2		ゴスペル クラップ 2	ヘーーイ	
G#4	-	男声 Ha 4		-	エブリバディ ナウ	
A4	-	女声 Ha 2		-	クラップ ユア ハンズ…	
A#4	-	男声 Ha 5		-	ウィズ オール ユア ソウル	
B4	-	男声 Ha 6		-	スタンド アップ オン…	
C5	-	-		-	-	
C#5	-			-		
D5	-			-		
D#5	-			-		
E5	-			-		
F5	-			-		
F#5	-			-		
G5	-			-		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

	ワンダーランドキット			ポップラテン キット		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		レーザー ビーム	雷		-	ボンゴ H Op. 1 f
C#1		レーザー ショット	馬		カホン L	ボンゴ H Op. 3 f
D1		ウォーター ホーン	バス ドラム		カホン スラップ	ボンゴ H リム
D#1		泡	足音		カホン チップ	ボンゴ H チップ
E1		水たまり	スネア ドラム		クラベス H	ボンゴ H ヒール
F1		雷	スネア ロール		クラベス L	ボンゴ H スラップ
F#1		雨	足音		ハンド クラップ	ボンゴ L Op. 1 f
G1		波	ライオン		-	ボンゴ L Op. 3 f
G#1		セセラギ	足音		フィンガー スナップ	ボンゴ L リム
A1		足音	牛		カスタネット	ボンゴ L チップ
A#1		ドアのきしみ	足音		コンガ H チップ	ボンゴ L ヒール
B1		ドアを閉める	ドアを閉める		コンガ H ヒール	ボンゴ L スラップ
C2	バス ドラム	バス ドラム	大時計	-	コンガ H オープン	ティンバル L
C#2	グランカッサ	グランカッサ	足音	-	コンガ H ミュート	-
D2	タム 2	タム 2	スターシップ	-	コンガ H スラップOp.	-
D#2	タム 1	タム 1	足音	-	コンガ H スラップ	-
E2	スネア ドラム	スネア ドラム	列車	-	コンガ H スラップMt.	-
F2	スネア ロール	スネア ロール	衝突	-	コンガ L チップ	パイラ L
F#2	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	足音	-	コンガ L ヒール	ティンバル H
G2	シンバル	シンバル	水たまり	-	コンガ L オープン	-
G#2	ハイハット オープン	ハイハット オープン		-	コンガ L ミュート	
A2	タンバリン	タンバリン		-	コンガ L スラップOp.	
A#2	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ		-	コンガ L スラップ	
B2	カスタネット	カスタネット		-	コンガ L スライド	
C3	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート		カウベル トップ	ボンゴ H Op. 1 f	
C#3	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L		カウベル 1	ボンゴ H Op. 3 f	
D3	トライアングル オープン	トライアングル オープン		カウベル 2	ボンゴ H リム	
D#3	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H		カウベル 3	ボンゴ H チップ	
E3	ハンド クラップ	ハンド クラップ		ギロ ショート	ボンゴ H ヒール	
F3	ジングル ベル	ジングル ベル		ギロ ロング	ボンゴ H スラップ	
F#3	ベル ツリー	ベル ツリー		メタル ギロ ショート	ボンゴ L Op. 1 f	
G3	アラーム ベル	アラーム ベル		メタル ギロ ロング	ボンゴ L Op. 3 f	
G#3	列車	列車		タンバリン	ボンゴ L リム	
A3	クラクション 1	クラクション 1		タンボリン オープン	ボンゴ L チップ	
A#3	クラクション 2	クラクション 2		タンボリン ミュート	ボンゴ L ヒール	
B3	サイレン	サイレン		タンボリン チップ	ボンゴ L スラップ	
C4	イグニッション	イグニッション		マラカス	ティンバル L	
C#4	衝突	衝突		シェイカー	-	
D4	ヘリコプター	ヘリコプター		カバサ	-	
D#4	スターシップ	スターシップ		クイーカ ミュート	-	
E4	ひつじ	ひつじ		クイーカ オープン	-	
F4	やぎ	やぎ		カウベル H1	パイラ L	
F#4	牛	牛		カウベル H2	ティンバル H	
G4	いななき	いななき		シェケレ	-	
G#4	馬	馬		シェケレ トーン	-	
A4	ライオン	ライオン		トライアングル ミュート	-	
A#4	犬	犬		トライアングル オープン	-	
B4	猫	猫		-	パイラ H	
C5	にわとり	にわとり		ウィンド チャイム	-	
C#5	ふくろう			-		
D5	虫			-		
D#5	カエル			-		
E5	さえずり 1			-		
F5	さえずり 2			-		
F#5	鳩時計			-		
G5	大時計			-		
G#5	ベル			-		
A5	電話			-		
A#5	カメラ			-		
B5	かじる			-		
C6	拍手			-		

	アラビック キット			ターキッシュ キット		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		-	キック ソフト		-	テフ ドゥン ミュート
C#1		-	サイド スティック		アズマ ダヴル レフト	テフ シンバル
D1		-	スネア ソフト		アズマ ダヴル ライト	テフ シンバル ミュート
D#1		-	アラビック ハンド クラップ		アズマ ダヴル サイド	テフ トレモロ
E1		-	スネア ドラム		アズマ ダヴル ボス	テフ シェイク 1
F1		-	フロア タム L		コルトゥック ダヴル フラム	テフ シェイク 2
F#1		-	ハイハット クローズ		コルトゥック ダヴル テケ	テフ テク フラム
G1		-	フロア タム H		コルトゥック ダヴル テク	テフ フル オープン
G#1		-	ハイハット ペダル		コルトゥック ダヴルドゥン	テフ テケ オープン ショート
A1		-	ロー タム		ベンディル テケ フラム	テフ テク オープン ショート
A#1		-	ハイハット オープン		ベンディル テケ デッド	テフ テク オープン
B1		-	ミドル タム L		ベンディル テク デッド	テフ ドゥン オープン
C2	-	ナカラザン ドム	ミドル タム H	-	ベンディル テケ	ホロ フィンガー デッド
C#2	-	カバサ	クラッシュ シンバル 1	-	ベンディル テク	ホロ スラップ
D2	-	ナカラザン エッジ	ハイ タム	-	ベンディル スラップ	ホロ ドゥン
D#2	-	ハゲール ドム	ライド シンバル 1	-	ベンディル ドゥン	カシーク
E2	-	ハゲール エッジ	クラッシュ シンバル 2	-	ジル ライト クローズ	カシーク フラム
F2	-	ボンゴ H	ドゥフーラ ドム	-	ジル ライト オープン	Bダラブカ テク デッド
F#2	-	ボンゴ L	タンバリン	-	ジル レフト クローズ	Bダラブッカ テク フラム
G2	-	コンガ H ミュート	ドゥフーラ タク	-	ジル レフト オープン	バス ダラブッカ テケ
G#2	-	コンガ H オープン		-	テフ テケ フラム	
A2	-	コンガ L		-	テフ テク ミュート	
A#2	-	ザグロウダ H		-	テフ テケ ダンブド	
B2	-	ザグロウダ L		-	テフ テク ミュートミディアム	
C3	カテム ドム	キック ソフト		Bダラブッカ スラップ 2	テフ ドゥン ミュート	
C#3	カテム タク	サイド スティック		バス ダラブッカ ドゥン	テフ シンバル	
D3	カテム サク	スネア ソフト		ダラブッカ ロールクローズ	テフ シンバル ミュート	
D#3	カテム タク	アラビック ハンド クラップ		ダラブッカ ロールオープン	テフ トレモロ	
E3	ドゥフ タク	スネア ドラム		ダラブカテケフラムダンブ	テフ シェイク 1	
F3	タブラ ドム	フロア タム L		ダラブッカ テク デッド	テフ シェイク 2	
F#3	タブラ タク 1	ハイハット クローズ		ダラブッカテクダンブド	テフ テク フラム	
G3	タブラ ティク	フロア タム H		ダラブッカ テケ フラム	テフ フル オープン	
G#3	タブラ タク 2	ハイハット ペダル		ダラブッカ テケ	テフ テケ オープン ショート	
A3	タブラ サク	ロー タム		ダラブッカ テケ フィン 1	テフ テク オープン ショート	
A#3	タブラ ロール エッジ	ハイハット オープン		ダラブッカ テケ フィン 2	テフ テク オープン	
B3	タブラ フラム	ミドル タム L		ダラブッカ テク 1	テフ ドゥン オープン	
C4	サガト 1	ミドル タム H		ダラブッカ テケ フィン 3	ホロ フィンガー デッド	
C#4	タブル ドム	クラッシュ シンバル 1		ダラブッカ テケ フィン 4	ホロ スラップ	
D4	サガト 3	ハイ タム		ダラブッカ テク 2	ホロ ドゥン	
D#4	タブル タク	ライド シンバル 1		ダラブッカスラップミッド	カシーク	
E4	サガト 2	クラッシュ シンバル 2		ダラブッカ スラップ	カシーク フラム	
F4	リク ドム	ドゥフーラ ドム		ダラブッカ ドゥン	Bダラブカ テク デッド	
F#4	リク タク 2	タンバリン		ボンゴ テク ロール	Bダラブッカ テク フラム	
G4	リク フィンガー 1	ドゥフーラ タク		ボンゴ フラム	バス ダラブッカ テケ	
G#4	リク タク 1	カウベル		ボンゴ テク フラム	Bダラブッカ テケ フィン1	
A4	リク フィンガー 2	ドゥフーラ サク		ボンゴ テク	Bダラブッカ テケ フィン2	
A#4	リク ブラス トレモロ	クラベス		ボンゴ スラップ	バス ダラブッカ テク	
B4	リク サク	ドゥフ ドム		ボンゴ フラム ハイ	Bダラブッカ スラップ 1	
C5	リク ティク	-		ボンゴ ドゥン	-	
C#5	-			-		
D5	-			-		
D#5	-			-		
E5	-			-		
F5	-			-		
F#5	-			-		
G5	-			-		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

	チャイナ キット			オーケストラ パーカッション		
	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)	プリセット1 (上鍵盤)	プリセット1 (下鍵盤)	プリセット2(足鍵盤)
C1		-	ルオ ハイ 1		-	スネア アンサンブル
C#1		-	ゴング バター		シンフォニック ゴング 1	サスペンデッド1 ロールS
D1		-	ジン ルオ		シンフォニックゴングロング	サスペンデッドシンバル1
D#1		-	ルオ ハイ 2		シンフォニック ゴング 2	サスペンデッド2 ロールL
E1		-	ルオ ミッドロー		ティンパニ E	サスペンデッドシンバル2
F1		-	ルオ		ティンパニ F	コンサート タム 5
F#1		-	ジン ルオ ロー		ティンパニ F#	オーケストラシンバル1チョーク
G1		-	ダ チャ 1		ティンパニ G	コンサート タム 4
G#1		-	ダ チャ エフェクト		ティンパニ G#	オーケストラ シンバル 1
A1		-	ゾンチャ		ティンパニ A	コンサート タム 3
A#1		-	シャオチャ エフェクト		ティンパニ A#	オーケストラ シンバル 2
B1		ダ チャ 2	シャオチャ		ティンパニ B	コンサート タム 2
C2	-	ダ グ mp	マン ルオ ロー	-	ティンパニ C	コンサート タム 1
C#2	-	ダ グ リム	マン ルオ ミッド	-	ティンパニ C#	フィンガー シンバル
D2	-	ダ グ f	クインク	-	ティンパニ D	ゴング
D#2	-	ダ グ ハンド	フィンガー ベル	-	ティンパニ D#	ライド シンバル チップ
E2	-	ダ グ ロール	ルオ ビッグ	-	ティンパニ ハイ E	チャイナ シンバル
F2	-	パイ グ 4	ムユ ロー	-	グランカッサ ハード	ライド シンバル カップ
F#2	-	パイ グ 4 ハイ	ムユ ミッドロー	-	グランカッサ ソフト	タンバリン
G2	-	パイ グ 3	ムユ ミッド	-	グランカッサ ヒット	スプラッシュ シンバル
G#2	-	パイ グ 3 ハイ		-	グランカッサ クレシェンド	
A2	-	パイ グ 2		-	コンサート スネア ドラム	
A#2	-	パイ グ 2 ハイ		-	スネア ロール	
B2	-	パイ グ		-	スネア ドラム ライト	
C3	バン	ルオ ハイ 1		ボンゴ H スティック	スネア アンサンブル	
C#3	バング ロール	ゴング バター		ボンゴ L スティック	サスペンデッド1 ロールS	
D3	京劇ボイス 1	ジン ルオ		コンガ H スティック	サスペンデッドシンバル1	
D#3	京劇ボイス 2	ルオ ハイ 2		コンガ L スティック	サスペンデッド2 ロールL	
E3	京劇ボイス 3	ルオ ミッドロー		ウィップ	サスペンデッドシンバル2	
F3	ユンルオ F	ルオ		ローテティング タム 5	コンサート タム 5	
F#3	ユンルオ F#	ジン ルオ ロー		チューブラー ベル L	オーケストラシンバル1チョーク	
G3	ユンルオ G	ダ チャ 1		ローテティング タム 4	コンサート タム 4	
G#3	ユンルオ G#	ダ チャ エフェクト		チューブラー ベル M	オーケストラ シンバル 1	
A3	ユンルオ A	ゾンチャ		ローテティング タム 3	コンサート タム 3	
A#3	ユンルオ A#	シャオチャ エフェクト		チューブラー ベル H	オーケストラ シンバル 2	
B3	ユンルオ B	シャオチャ		ローテティング タム 2	コンサート タム 2	
C4	ユンルオ C	マン ルオ ロー		ローテティング タム 1	コンサート タム 1	
C#4	ユンルオ C#	マン ルオ ミッド		木魚 H	フィンガー シンバル	
D4	ユンルオ D	クインク		木魚 L	ゴング	
D#4	ユンルオ D#	フィンガー ベル		クラベス	ライド シンバル チップ	
E4	ユンルオ E	ルオ ビッグ		ウッド ブロック H	チャイナ シンバル	
F4	ユンルオ ハイ F	ムユ ロー		ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ	
F#4	ユンルオ ハイ F#	ムユ ミッドロー		金床	タンバリン	
G4	ユンルオ ハイ G	ムユ ミッド		トライアングル ロール	スプラッシュ シンバル	
G#4	ユンルオ ハイ G#	ムユ ハイ		トライアングル ミュート	カウベル	
A4	ユンルオ ハイ A	ナンバンジ ロール		トライアングル オープン	ジングル リング	
A#4	ユンルオ ハイ A#	ナンバンジ		ベル ツリー	カスタネット ロール	
B4	ユンルオ ハイ B	バング		スレイ ベル	テーブル カスタネット	
C5	ユンルオ ハイ C	-		ウィンド チャイム	-	
C#5	-			-		
D5	-			-		
D#5	-			-		
E5	-			-		
F5	-			-		
F#5	-			-		
G5	-			-		
G#5	-			-		
A5	-			-		
A#5	-			-		
B5	-			-		
C6	-			-		

ユーザーキーボードパーカッションを作る

打楽器をどの鍵盤で発音させるか、自分で設定することにより、オリジナルのキーボードパーカッションを作ることができます。各ユーザーキーボードパーカッション(ユーザー 1～40)に、キット(86～95ページ)のいずれかを割り当て、さらに上鍵盤/下鍵盤/ペダル鍵盤の各キーに対して自由に打楽器を割り当てます。このようにして作られたユーザーキーボードパーカッション(ユーザー 1～40)は、パネル上のKEYBOARD PERCUSSION [1]または[2]ボタンで呼び出します。
ここでは、ユーザー 1に打楽器を割り当て、パネル上の[1]ボタンで呼び出す手順を例として説明します。

NOTE
ユーザーキーボードパーカッション1～2には、あらかじめELキットのプリセット1～2と同じデータがそれぞれ保存されています。

1 パネル左端のKEYBOARD PERCUSSION (キーボードパーカッション)の[1]ボタンを押します。

画面上にキーボードパーカッションのメニューページが表示されます。

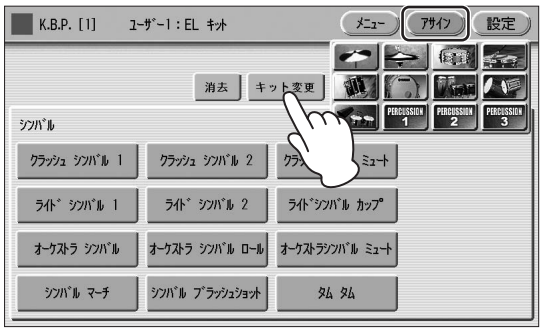
2 画面で[ユーザー 1]を選択します。

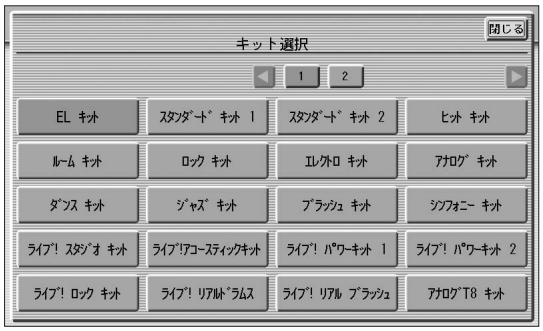
これで、次にキーボードパーカッションの[1]ボタンを押したときには鍵盤にユーザー 1が呼び出せるようになりました。

3 画面右上の[アサイン]ボタンを押して、アサインページを表示させます。

4 画面中央の[キット変更]ボタンを押して、キーボードパーカッションのキット一覧を表示させ、キットを選択します。

キットを変更するときに、「セットアップを初期値にし、アサインを消去しますか？」というメッセージが表示されます。
[OK]を選ぶと、アサインページと設定ページのユーザーの内容がすべて初期化され、選択したキットを初期状態でパネル上に呼び出します。
[キャンセル]を選ぶと、アサインとセットアップを消去せずに選択したキットをパネル上に呼び出します。



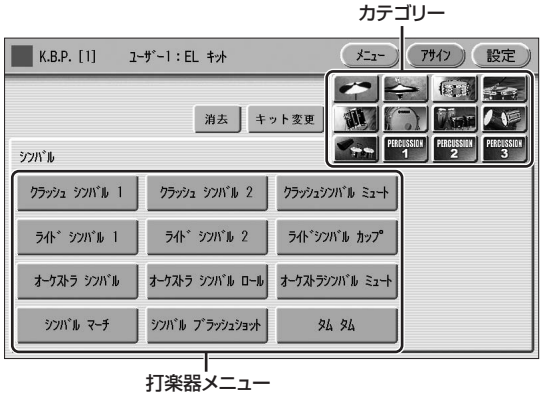


各キットの内容については、86ページのキットアサインリストをご覧ください。
アサインページで、いろいろな打楽器を鍵盤に割り当てます。

NOTE
「アサイン(assign)」には「割り当てる」という意味があります。

5 鍵盤に割り当てたい打楽器を選択します。

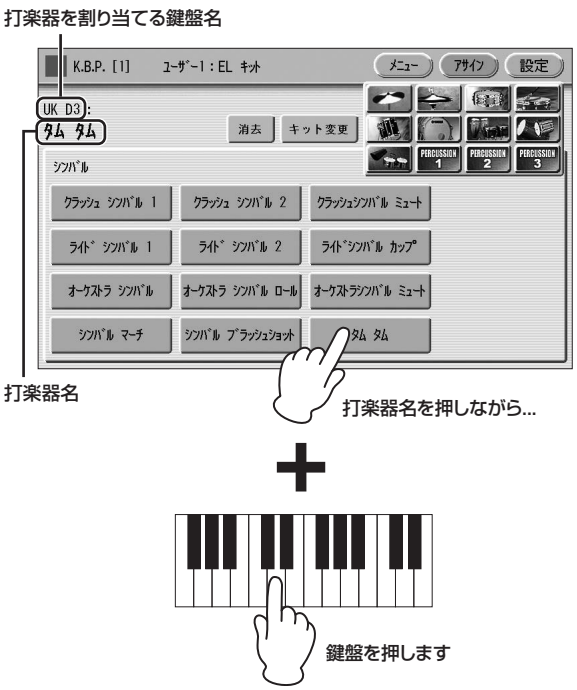
画面上部のカテゴリーから、使用したい打楽器が含まれるカテゴリーを選びます。
選んだカテゴリーに含まれる打楽器メニューが表示されます。



関連ページ
・キットアサインリスト(86ページ)

6 打楽器を任意の鍵盤に割り当てます。

打楽器メニューの中で使用したい打楽器名を押しながら、その打楽器音を割り当てたい鍵盤を押します。



画面上部に、鍵盤名と割り当てた打楽器名が表示され、打楽器音が鍵盤に割り当てられました。割り当てた打楽器は、手順2で選んだユーザー (ここではユーザー 1)に保存されます。

7 手順5～6の操作を繰り返して、必要な打楽器を鍵盤に割り当てます。

8 キーボードパーカッションのメニューページで、演奏に使いたいユーザー番号を選択します。

たとえば、K.B.P [1]の画面上で「ユーザー 5」を選択しておけば、KEYBOARD PERCUSSION [1]ボタンを押すことで、ユーザー 5のキーボードパーカッションを呼び出せます。

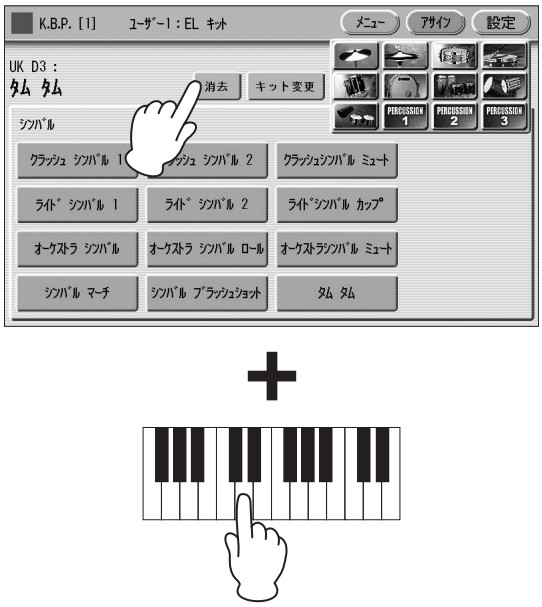
NOTE

ここで作られたユーザーキーボードパーカッションデータはレジストレーションメモリーに記録されません。レジストレーションメモリーには、パネル上のキーボードパーカッション[1]/[2]のオン/オフの状態と、どのキーボードパーカッション(プリセット1～2/ユーザー 1～40)を選択したかの情報のみが記録されます。ユーザーキーボードパーカッションデータをレジストレーションメモリーデータと関連づけて保存しておきたい場合は、USBフラッシュメモリーへの保存操作(119ページ)を行なってください。ユニットごとに40個1セットのユーザーキーボードパーカッションを保存できます。

入力を間違えたときは：

アサインページの[消去]ボタンを使って、入力した打楽器音を消去できます。

[消去]ボタンを押しながら、消去したい打楽器が割り当てられている鍵盤を押します。



注記

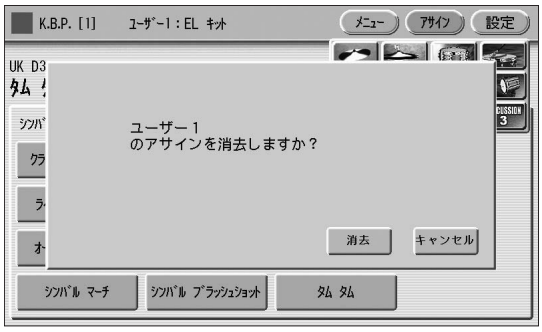
キーボードパーカッションの設定は、別の画面に移動したときに自動的に保存されます。保存中は、画面の左上が数秒間、水色に点灯します。別の画面に移動せずに電源を切ったり、保存中のマークが点灯している間に電源を切ったりすると、設定内容が失われてしまいますので、ご注意ください。

はじめからやり直したいときは：

アサインページの[消去]ボタンを使って、入力した打楽器音をすべて消去できます。

1 [消去]ボタンを押して、すぐに画面から指をはなします。

以下の画面が表示され、全音消去するかどうか確認を求めてきます。



2 [消去]ボタンを選択すると、全音消去を実行し、画面上に操作完了のメッセージが一時的に表示されます。

[キャンセル]ボタンを選択すると、操作をキャンセルし、前の画面に戻ります。

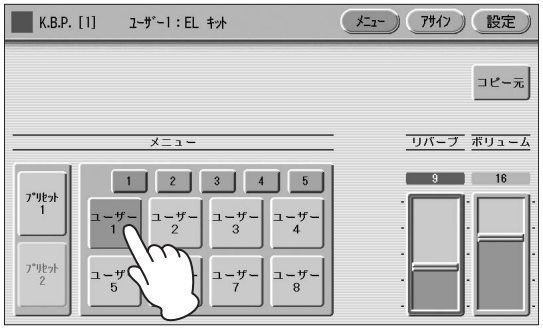
キーボードパーカッションをコピーする

プリセットキーボードパーカッションや、すでに作成してあるユーザーキーボードパーカッションを、別のユーザーにコピーして、それをもとに新しいユーザーキーボードパーカッションをつくることができます。ここでは、プリセット1をユーザー 1にコピーする場合を例に説明します。

1 パネル左端のKEYBOARD PERCUSSION (キーボードパーカッション)の[1]ボタンを押します。

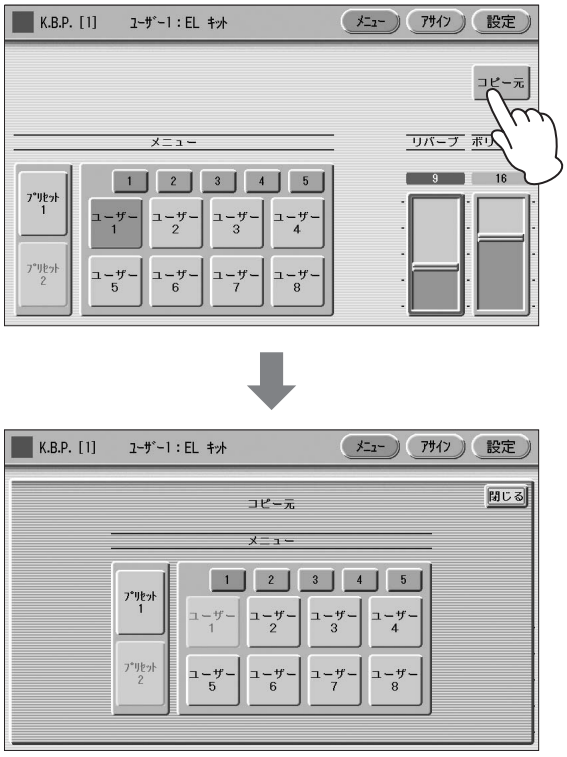
プリセット1をコピーする場合には、必ず[1]ボタンを使います。同様に、プリセット2をコピーする場合には、[2]ボタンを使います。ユーザーをコピーする場合は、[1]ボタンと[2]ボタンのどちらでも構いません。

2 メニュー画面上で、コピー先にしたいユーザー(ここではユーザー 1)を選択します。



3 [コピー元]ボタンを押します。

コピー元を選択する画面が表示されます。



4 コピーしたいキーボードパーカッション(ここではプリセット1)を選びます。

プリセット1をコピーするかどうか確認を求める画面が表示されます。

5 [コピー]ボタンを選択すると、プリセット1のコピーを実行し、画面上に「プリセット1をユーザー 1にコピーしました。」という操作完了のメッセージが一時的に表示されます。

[キャンセル]ボタンを選択すると、操作をキャンセルし、前の画面に戻ります。

各打楽器の細かい設定をする

各打楽器について、パンやボリューム、リバーブなどを設定したり、ドラムのチューニングを変更したりして、自分の好みの打楽器音をつくることができます。ここでの設定は、楽器全体で1つなので、レジストレーションごとに設定を変えることはできません。

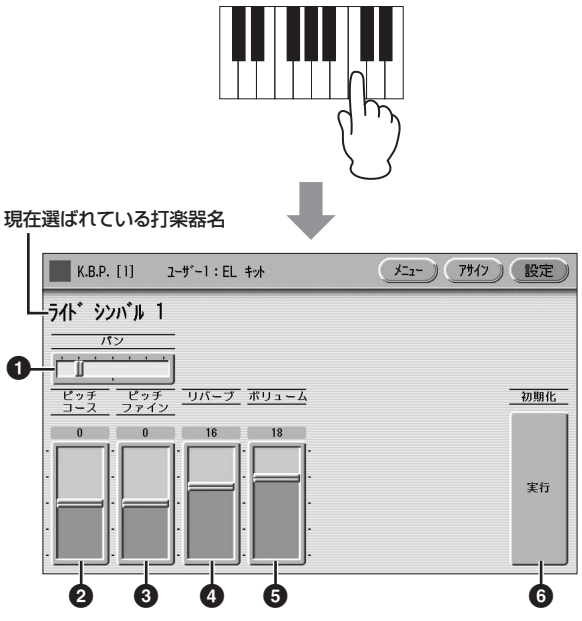
1 設定したい打楽器音が割り当てられている鍵盤の、ボイスセクションのボリュームを0にしておきます。

2 キーボードパーカッション画面で画面右上の[設定]ボタンを押します。

キーボードパーカッションの設定ページが表示されます。

3 設定を変えたい打楽器が割り当てられている鍵盤を押します。

画面に打楽器名が表示され、その打楽器について細かい設定を行ないます。



❶ パン
現在選ばれている打楽器のステレオ出力による位置を設定します。7か所の位置で、打楽器ごとに設定できます。

❷ ピッチコース
現在選ばれている打楽器のピッチを、100セント単位で設定します。
設定範囲：−64〜+63

❸ ピッチファイン
現在選ばれている打楽器のピッチを、1セント単位で設定します。ピッチコース(❷)よりも細かく設定できます。
設定範囲：−64〜+63

❹ リバーブ
現在選ばれている打楽器のリバーブの量を設定します。
設定範囲：0〜24

❺ ボリューム
現在選ばれている打楽器のボリュームを設定します。
設定範囲：0〜24

❻ 初期化
すべての打楽器の、パンやピッチ、リバーブなどの設定を、すべて初期設定に戻します。
[実行]ボタンを押すと、以下の画面が表示され確認を求めてきます。



[実行]ボタンを選択すると、初期設定に戻ります。この場合、画面上に初期化完了のメッセージが一時的に表示され、操作が完了したことを示します。
[キャンセル]ボタンを選択すると、操作を中止し、前の画面に戻ります。

キットアサインリスト

EL キット

シンバル
- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- クラッシュシンバル ミュート
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライドシンバル カップ
- オーケストラ シンバル
- オーケストラ シンバル ロール
- オーケストラシンバル ミュート
- シンバル マーチ
- シンバル ブラッシュショット
- タム タム

ハイハット
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル 1
- ハイハット ペダル 2
- アナログハイハット オープン
- アナログハイハット クローズ

スネアドラム
- スネア ドラム ライト
- スネア ドラム ヘビー
- スネア ドラム リム 1
- スネア ドラム リム 2
- スネア ドラム アクセント 1
- スネア ドラム アクセント 2
- スネアドラム リバーブ 1
- スネアドラム リバーブ 2
- シンセ スネア ドラム
- オーケストラ スネア ドラム
- スネア ドラム ロール
- アナログ スネア ドラム

スネアブラシ
- スネア ブラッシュショット 1
- スネア ブラッシュショット 2
- スネア ブラッシュロール

タム
- タム 1
- タム 2
- タム 3
- タム 4
- タム ブラッシュ ショット 1
- タム ブラッシュ ショット 2
- タム ブラッシュ ショット 3
- タム ブラッシュ ショット 4
- シンセ タム 1
- シンセ タム 2
- シンセ タム 3

バスドラム
- バスドラム ライト
- バスドラム ヘビー
- バスドラム アタック
- シンセ バスドラム
- バスドラム マーチ
- コンサート バスドラム
- アナログバスドラムショート
- アナログバスドラムロング

コンガ/ボンゴ
- コンガ ハイ
- コンガ ロー
- コンガ スラップ
- コンガ モフ
- コンガ スライド
- ボンゴ ハイ
- ボンゴ ロー
- ボンゴ スラップ
- ボンゴ ミュート

クイーカ/スルド
- クイーカ ハイ
- クイーカ ミドル
- クイーカ ロー
- タンボリン オープン
- タンボリン ミュート
- スルド オープン
- スルド ミュート
- スルド リム
- スルド モフ

ティンバレス/カウベル
- ティンバル 1 ハイ
- ティンバル 1 ロー
- ティンバル 2 ハイ
- ティンバル 2 ロー
- ティンバル 3 ハイ
- ティンバル 3 ロー
- ティンバル 4 ハイ
- ティンバル 4 ロー
- カウベル 1
- カウベル 2
- カウベル 3
- カウベル 4

パーカッション1
- カバサ
- シェイカー
- マラカス ハイ
- マラカス ロー
- ギロ ショート
- ギロ ロング
- ウッドブロック ハイ
- ウッドブロック ミドル
- ウッドブロック ロー
- クラベス
- カスタネット
- ビブラスラップ

パーカッション2
- アゴゴ ハイ
- アゴゴ ロー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウィンド チャイム ダウン
- ウィンド チャイム アップ
- タンバリン
- パンデイロ
- ベル
- ハンド クラップ
- フィンガー スナップ
- スクラッチ
- ノイズパーカッション

パーカッション3
- 小鼓(コツヅミ) 1
- 小鼓(コツヅミ) 2
- 小鼓(コツヅミ) 3
- 小鼓(コツヅミ) 4
- 大鼓(オオツヅミ) 1
- 大鼓(オオツヅミ) 2
- 太鼓(タイコ) 1
- 太鼓(タイコ) 2
- 大太鼓(オオダイコ) 1
- 大太鼓(オオダイコ) 2
- かけ声 1
- かけ声 2
- かけ声 3

スタンダード キット 1

シンバル
- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル

スネアドラム
- スネア
- スネア タイト
- スネア ソフト
- スネア ロール
- サイド スティック
- オープン リム ショット
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム
- フロア タム L
- フロア タム H
- ロー タム
- ミドル タム L
- ミドル タム H
- ハイ タム

バスドラム
- キック
- キック タイト
- キック ソフト

パーカッション1
- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション2
- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション3
- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション4
- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

スタンダード キット 2

シンバル
- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル

スネアドラム
- スネア ショート
- スネア タイト H
- スネア ソフト 2
- スネア ロール
- サイド スティック ライト
- オープン リム ショット H
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム
- フロア タム L
- フロア タム H
- ロー タム
- ミドル タム L
- ミドル タム H
- ハイ タム

バスドラム
- キック ショート
- キック タイト
- キック ソフト

パーカッション1
- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション2
- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン

- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ヒット キット

シンバル

- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン 2
- ハイハット クローズ 2
- ハイハット ペダル 2

スネアドラム

- スネア アンビエント
- スネア タイト 2
- スネア エレクトロ
- スネア ロール
- スティック アンビエント
- スネア ピッチ
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- ハイブリッド タム 1
- ハイブリッド タム 2
- ハイブリッド タム 3
- ハイブリッド タム 4
- ハイブリッド タム 5
- ハイブリッド タム 6

バスドラム

- キック タイト H
- キック ウェット
- キック タイト L

パーカッション1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション3

- タンバリン ライト
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ルーム キット

シンバル

- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル

スネアドラム

- スネア スナッピー
- スネア タイト スナップ
- スネア ソフト 2
- スネア ロール
- サイド スティック
- オープン リム ショット
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- タム ルーム 1
- タム ルーム 2
- タム ルーム 3
- タム ルーム 4
- タム ルーム 5
- タム ルーム 6

バスドラム

- キック
- キック タイト
- キック ソフト

パーカッション1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ロック キット

シンバル

- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル

スネアドラム

- スネア ロック
- スネア ロック タイト
- スネア ノイジー
- スネア ロール
- サイド スティック
- オープン リム ショット
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- タム ロック 1
- タム ロック 2
- タム ロック 3
- タム ロック 4
- タム ロック 5
- タム ロック 6

バスドラム

- キック ゲート
- キック 2
- キック ソフト

パーカッション1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

エレクトロ キット

シンバル

- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル

スネアドラム

- スネア ノイジー 2
- スネア ノイジー 3
- スネア スナップ エレクトロ
- スネア ロール
- サイド スティック
- オープン リム ショット
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- リバース シンバル

タム

- タム エレクトロ 1
- タム エレクトロ 2
- タム エレクトロ 3
- タム エレクトロ 4
- タム エレクトロ 5
- タム エレクトロ 6

バスドラム

- キック ゲート ヘビー
- キック ゲート
- キック 3

パーカッション1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- スクラッチ H 2
- スクラッチ L 2
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション3

- タンバリン
- ハイ Q 2
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

アナログ キット

シンバル

- クラッシュ アナログ
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハット オープン アナログ
- ハット クローズ アナログ
- ハット クローズ アナログ2

スネアドラム

- スネア アナログ
- スネア アナログ 2
- スネア ノイジー 4
- スネア ロール
- サイド スティック アナログ
- オープン リム ショット
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- リバース シンバル

タム

- タム アナログ 1
- タム アナログ 2
- タム アナログ 3
- タム アナログ 4
- タム アナログ 5
- タム アナログ 6

バスドラム

- キック アナログ
- キック アナログ ショート
- キック 3

パーカッション 1

- コンガ アナログ M
- コンガ アナログ L
- コンガ アナログ H
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル アナログ
- クラベス 2
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス 2
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- スクラッチ H 2
- スクラッチ L 2
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- ハイ Q 2
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ダンス キット

シンバル

- クラッシュ アナログ
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド アナログ
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン 3
- ハイハット クローズ 3
- ハット クローズ アナログ3

スネアドラム

- スネア クラップ
- スネア ドライ
- スネア テクノ
- リバース ダンス 2
- サイド スティック アナログ
- リム ゲート
- スネア アナログ 3
- スネア アナログ 4
- ビニル ノイズ
- リバース シンバル

タム

- タム ダンス 1
- タム ダンス 2
- タム ダンス 3
- タム ダンス 4
- タム ダンス 5
- タム ダンス 6

バスドラム

- キック テクノ
- キック テクノ L
- キック テクノ Q

パーカッション 1

- コンガ アナログ M
- コンガ アナログ L
- コンガ アナログ H
- ボンゴ アナログ H
- ボンゴ アナログ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル ダンス
- クラベス 2
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス 2
- ビブラスラップ アナログ

パーカッション 2

- キック ダンス 1
- キック ダンス 2
- ダンス ブレス 1
- ダンス ブレス 2
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン アナログ
- ハイ Q 2
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ダンス パーカッション 3
- ダンス パーカッション 4
- スネア ダンス 1
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ダンス クラップ

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ ダンス 1
- スクラッチ ダンス 2
- ダンス パーカッション 2
- ハイ Q ダンス 1
- ダンス パーカッション 1
- リバース ダンス 1

ジャズ キット

シンバル

- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル

スネアドラム

- スネア ジャズ L
- スネア ジャズ M
- スネア ジャズ H
- スネア ロール
- サイド スティック ライト
- オープン リム ショット
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- フロア タム L
- フロア タム H
- ロー タム
- ミドル タム L
- ミドル タム H
- ハイ タム

バスドラム

- キック ジャズ
- キック タイト
- キック ソフト

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン

- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ブラッシュ キット

シンバル

- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル

スネアドラム

- ブラッシュ スラップ 3
- ブラッシュ タップ 2
- ブラッシュ スラップ 2
- スネア ロール
- サイド スティック ライト
- オープン リム ショット
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- タム ブラッシュ 1
- タム ブラッシュ 2
- タム ブラッシュ 3
- タム ブラッシュ 4
- タム ブラッシュ 5
- タム ブラッシュ 6

バスドラム

- キック ジャズ
- キック タイト
- キック ソフト

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

シンフォニー キット

シンバル

- ハンド シンバル
- ハンド シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ハンド シンバル S
- ハンド シンバル 2 S
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル

スネアドラム

- バンド スネア
- バンド スネア 2
- スネア ソフト
- スネア ロール
- サイド スティック
- オープン リム ショット
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- フロア タム L
- フロア タム H
- ロー タム
- ミドル タム L
- ミドル タム H
- ハイ タム

バスドラム

- グラン カッサ ミュート
- グラン カッサ
- キック ソフト 2

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ライブ！スタジオキット

シンバル

- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル
- チャイニーズ シンバル
- ライド シンバル 1
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル カップ
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル

スネアドラム

- スネア スタジオ M
- スネア スタジオ L
- スネア スタジオ 2
- スネア ロール
- サイド スティック
- オープン リム ショット
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- フロア タム L
- フロア タム H
- ロー タム
- ミドル タム L
- ミドル タム H
- ハイ タム

バスドラム

- キック スタジオ
- キック アンビエンス L
- キック アンビエンス H

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ライブ！アコースティック キット

シンバル

- クラッシュ シンバル アコ 1
- クラッシュ シンバル アコ 2
- スプラッシュ シンバル アコ
- チャイニーズ シンバル アコ
- ライド シンバル アコ 1
- ライド シンバル アコ 2
- ライドシンバルカップ アコ

- ハイハット オープン アコ
- ハイハット クローズ アコ
- ハイハット ペダル アコ

スネアドラム

- スネア アコースティック
- スネア ラフ アコースティック
- スネア ソフト アコースティック
- スネア ロール アコースティック
- スティック アコースティック
- リム アコースティック
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- タム アコースティック 1
- タム アコースティック 2
- タム アコースティック 3
- タム アコースティック 4
- タム アコースティック 5
- タム アコースティック 6

バスドラム

- キック ミュート アコ
- キック オープン アコ
- キック ソフト アコースティック

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ パワー

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ライブ！パワー キット 1

シンバル

- クラッシュ シンバル アコ 1
- クラッシュ シンバル アコ 2
- スプラッシュ シンバル アコ
- チャイニーズ シンバル アコ
- ライド シンバル アコ 1
- ライド シンバル アコ 2
- ライド シンバル アコ
- ハイハット オープン パワー
- ハイハット クローズ パワー
- ハイハット ペダル パワー

スネアドラム

- スネア パワー 1
- スネア ラフ 1
- スネア ソフト パワー 1
- スネア ロール
- サイド スティック パワー
- オープン リム パワー 1
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- タム パワー 1
- タム パワー 2
- タム パワー 3
- タム パワー 4
- タム パワー 5
- タム パワー 6

バスドラム

- キック パワー ミュート
- キック パワー オープン
- キック アンビエント+

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ パワー

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ライブ！パワー キット 2

シンバル

- クラッシュ シンバル アコ 1
- クラッシュ シンバル アコ 2
- スプラッシュ シンバル アコ
- チャイナ シンバル アコ
- ライド シンバル アコ 1
- ライド シンバル アコ 2
- ライドシンバルカップ アコ
- ハイハット オープン パワー
- ハイハットクローズPWエッジ
- ハイハット ペダル パワー

スネアドラム

- スネア パワー 2
- スネア ラフ 2
- スネア ソフト パワー 2
- スネア ロール
- サイド スティック パワー
- オープン リム パワー 2
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- タム パワー 1
- タム パワー 2
- タム パワー 3
- タム パワー 4
- タム パワー 5
- タム パワー 6

バスドラム

- キック パワー ミュート
- キック パワー オープン
- キック アンビエント+

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ パワー

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ライブ！ロック キット

シンバル

- クラッシュ シンバル アコ 1
- クラッシュ シンバル アコ 2
- スプラッシュ シンバル アコ
- チャイナ シンバル アコ
- ライド シンバル アコ 1
- ライド シンバル アコ 2
- ライドシンバルカップ アコ
- ハイハット オープン ロック
- ハイハット クローズ ロック
- ハイハット ペダル ロック

スネアドラム

- スネア ロック
- スネア ドライ ロック
- スネア ソフト ロック
- スネア ロール ロック
- スティック ロック
- リム ロック
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- タム ロック 1
- タム ロック 2
- タム ロック 3
- タム ロック 4
- タム ロック 5
- タム ロック 6

バスドラム

- キック ロック
- キック ロック ヘビー
- キック ソフト ロック

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン

- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ パワー

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ライブ！リアルドラムス

シンバル

- クラッシュシンバル リアル 1
- クラッシュシンバル リアル 2
- スプラッシュシンバル リアル
- チャイナ シンバル リアル
- ライド シンバル リアル 1
- ライド シンバル リアル 2
- ライドシンバルカップリアル
- ハイハット オープン リアル
- ハイハット クローズ リアル
- ハイハット ペダル リアル

スネアドラム

- スネア リアル 1
- スネア リアル 2
- スネア タイト
- スネア ロール ロック
- スティック リアル
- リム リアル
- ブラッシュ タップ
- ブラッシュ スラップ
- ブラッシュ スワール 2
- ブラッシュ タップ スワール

タム

- タム リアル 1
- タム リアル 2
- タム リアル 3
- タム リアル 4
- タム リアル 5
- タム リアル 6

バスドラム

- キック リアル 1
- キック リアル 2
- キック ジェニュイン

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- クラップ パワー

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- Seq クリック L
- Seq クリック H
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

ライブ！リアル ブラッシュ

シンバル

- クラッシュ シンバル RB 1
- クラッシュ シンバル RB 2
- スプラッシュ シンバル RB
- チャイナ シンバル RB
- ライド シンバル RB
- ライド カップ RB 1
- ライド カップ RB 2
- ハイハット オープン RB
- ハイハット クローズ RB
- ハイハット ペダル RB

スネアドラム

- ビンテージ スラップ 1
- ビンテージ スラップ 2
- ビンテージ スラップ 3
- ビンテージ スラップ 4
- ビンテージ スラップ 5
- ビンテージスラップスワール
- ビンテージ スワール 1
- ビンテージ スワール 2
- ビンテージ スワール 3
- ビンテージ タップスワール
- ビンテージ チップ
- スティック ブラッシュ
- オープン リム ショット RB

タム

- タム リアル ブラッシュ 1
- タム リアル ブラッシュ 2
- タム リアル ブラッシュ 3
- タム リアル ブラッシュ 4
- タム リアル ブラッシュ 5
- タム リアル ブラッシュ 6

バスドラム

- キック ジャズアンビエンス
- キック ソフト H
- キック ソフト L

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- クイーカ ミュート
- クイーカ オープン
- カバサ
- シェイカー
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- サンバ ホイッスル H
- サンバ ホイッスル L

パーカッション 3

- タンバリン
- ジングル ベル
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- スティック
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ
- クラップ パワー

パーカッション 4

- ハイ Q
- クリック ノイズ
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- メトロノーム クリック
- メトロノーム ベル

アナログT8 キット

シンバル

- クラッシュ シンバル T8
- クラッシュ シンバル 4
- スプラッシュ シンバル
- チャイナ シンバル 2
- ライド シンバル T9
- ライド シンバル 3
- ライドシンバル カップ 2
- ハイハット オープン T8
- ハイハット クローズ T8
- ハイハット ペダル T8

スネアドラム 1

- スネア T8 1
- スネア T8 2
- スネア T8 3
- スネア T8 4
- スネア T8 5
- スネア T8 6
- スネア T8 7
- スネア T8 リム
- スネア アナログ CR
- スネア クラップ アナログ
- スネア ブレイク 1
- スネア ガルグ L
- スネア Fx 1
- スネア ハンマー

スネアドラム 2

- スネア ヒップ 1
- スネア ヒップ 2
- スネア ヒップ ゲート

タム

- タム T8 1
- タム T8 2
- タム T8 3
- タム T8 4
- タム T8 5
- タム T8 6
- タム T8 7

バスドラム

- キック T8 1
- キック T8 2
- キック T8 3
- キック T8 4
- T8 キック ベース
- キック スライミー
- キック ブリップ
- キック テクノ パワー
- キック Fx ハンマー
- キック ザップ ハード

パーカッション 1

- コンガ T8 1
- コンガ T8 2
- コンガ T8 3
- コンガ T8 4
- コンガ T8 5
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル T8
- クラベス T8
- グラス H
- グラス L
- マラカス T8
- ビブラスラップ

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- カバサ
- アナログ シェイカー
- アナログ シェイカー H
- アナログ シェイカー L

パーカッション 3

- タンバリン RX5
- スレイ ベル
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- クラップ T9
- ウィップ スラップ

パーカッション 4

- ハイ Q
- ハイ Q 1
- ハイ Q 2
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- スクラッチ H 2
- スクラッチ L 2
- Fx ガン 1
- Fx ガン 2

アナログT9 キット

シンバル

- クラッシュ シンバル T9
- スプラッシュ シンバル 2
- クラッシュ シンバル 4
- チャイナ シンバル 2
- ライド シンバル T9
- ライド シンバル 3
- ライドシンバル カップ 2
- ハイハット オープン T9
- ハイハット クローズ T9
- ハイハット ペダル T9

スネアドラム 1

- スネア T9 1
- スネア T9 2
- スネア T9 3
- スネア T9 4
- スネア T9 5
- スネア T9 6
- スネア T8 7
- スネア T9 ゲート 1
- スネア T9 ゲート 2
- スネア T9 リム

スネアドラム 2

- スネア ドラム&ベース 1
- スネア ジャングル 1
- スネア ディストーション
- スネア アナログ CR
- スネア ブラッシュ ミュート
- スネア ロックロール ディスト
- スネア ピッコロ
- スネア ロック ロール

タム

- タム T9 1
- タム T9 2
- タム T9 3
- タム T9 4
- タム T9 5
- タム T9 6

バスドラム

- キック T9 1
- キック T9 2
- キック T9 3
- キック T9 4
- キック テクノ パワー
- キック サスティン
- キック ブリップ ハード
- キック ディストーション RM
- キック ブレイク 2

パーカッション 1

- コンガ T8 1
- コンガ T8 4
- コンガ T8 5
- コンガ オープン
- コンガ オープン スラップ
- コンガ チップ
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル 1
- カウベル T8
- マラカス スラー 2

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- カバサ
- アナログ シェイカー

パーカッション 3

- タンバリン RX5
- スレイ ベル
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- クラップ T9
- クラップ アナログ Sm
- アナログ クリック
- ウィップ スラップ

パーカッション 4

- ハイ Q
- ハイ Q 1
- ハイ Q 2
- ハイ Q 3
- スクラッチ H
- スクラッチ H 2
- スクラッチ H 3
- スクラッチ L
- スクラッチ L 2
- スクラッチ ダウン
- Fx ガン 1
- Fx ガン 2

ハウス キット

シンバル

- クラッシュ シンバル T9
- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 4
- スプラッシュ シンバル 2
- ライド シンバル T9
- ライド シンバル 3
- ライドシンバル カップ 2
- ハイハット オープン T9
- ハイハット クローズ T8
- ハイハット ペダル T9

スネアドラム

- スネア T9 1
- スネア T9 2
- スネア T9 3
- スネア T9 5
- スネア T9 ゲート
- スネア T9 リム
- スネア T8 1
- スネア T8 5
- スネア T8 リム
- スネア ガルグ L
- スネア R&B 1
- スネア ロール
- スネア ブレイク ロール

タム

- タム T9 1
- タム T9 2
- タム T9 3
- タム T9 4
- タム T9 5
- タム T9 6

バスドラム

- キック T9 1
- キック T9 2
- キック T9 4
- キック T9 5
- ダブル キック
- フィルター キック

ノイズ

- ピンクノイズ ダウン 1
- ピンクノイズ ダウン 2
- ピンクノイズ アップ
- ピンクノイズアップリリース
- ホワイトノイズ ダウン 1
- ホワイトノイズ ダウン 2
- ホワイトノイズ アップ 1
- ホワイトノイズ アップ 2
- ホワイトノイズアップリリース
- ノイズ バースト
- ディスコ Fx

パーカッション 1

- コンガ H オープン 2
- コンガH スラップオープン
- コンガ H チップ
- ボンゴH オープン 1 F
- ボンゴL オープン 3 F
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル 1
- カウベル T8
- クラベス
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- マラカス スラー 2

パーカッション 2

- クイーカ H
- クイーカ L
- カバサ
- アゴゴ H
- アゴゴ L
- アナログ シェイカー
- ウドゥ ハイ

パーカッション 3

- タンバリン ヒット
- スレイ ベル
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- クラップ T9
- ハンド クラップ
- ボックス ドラム H
- ボックス ドラム L
- ボックス アーク
- ボックス ベル

ヒップホップ キット

シンバル

- クラッシュ T8
- クラッシュ シンバル 3
- ライド シンバル 3
- ハイハット オープン ヒップ
- ハイハット オープン T8 2
- ハイハットオープン ローファイ
- ハイハット クローズ ヒップ
- ハイハット クローズ T8 2
- ハイハット クローズ テクノ
- ハイハット ペダル ヒップ
- ハイハット リバース D&B

スネアドラム

- スネア ヒップホップ 1
- スネア ヒップホップ 2
- スネア ヒップホップ 3
- スネア ヒップホップ 5
- スネア ヒップホップ 6
- スネア ヒップホップ 7
- スネア ヒップホップ 11
- スネア T8 1
- スネア T8 1 H
- スネア クラッピー
- スネア アナログ Sm リム
- スネア ヒップホップリム 2
- スネア ヒップホップリム 3
- スネア ヒップホップリム 4
- スネア ヒップホップリム 5

タム

- フロア タム L
- ロー タム
- ミドル タム L
- ハイ タム
- タム T8 1
- タム T8 2
- タム T8 3
- タム T8 6

バスドラム

- キック ヒップホップ 1
- キック ヒップホップ 2
- キック ヒップホップ 3
- キック ヒップホップ 4
- キック ヒップホップ 5
- キック ヒップホップ 8
- キック ヒップホップ 9
- キック ヒップホップ 10
- キック ヒップ ディープ
- キック アナログ CR
- キック ゲート
- キック グランカッサオープン

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガ H ヒール
- コンガ H チップ
- コンガ L オープン 1
- コンガ L オープン 2

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- シェイカー 2
- ヒップホップ フレックス 1
- ヒップホップ フレックス 2
- ヒップホップ スナップ 1
- ヒップホップ スナップ 2

パーカッション 3

- タンバリン ライト 1
- タンバリン ライト 2
- ハンドベル H
- ウィンド チャイム
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウィップ スラップ
- ヒップホップ クラップ 2
- ヒップホップ クラップ 3
- ヒップホップ クラップ 5
- ヒップホップ クラップ 6
- ヒップホップ クラップ 7
- エレクトリック クラップ 1
- エレクトリック クラップ 2

パーカッション 4

- ハイ Q
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- スクラッチ BD フォワード
- スクラッチ BD リバース

ドラムマシン

シンバル

- クラッシュ シンバル T9
- ライド シンバル T9
- ハイハット オープン T8 1
- ハイハット オープン T8 2
- ハイハット オープン T9
- ハイハット オープン アコ
- ハイハット オープンLo-Fi
- ハイハット オープン Syn
- ハイハット クローズ T8 1
- ハイハット クローズ T8 2
- ハイハット クローズ T9
- ハイハット クローズ アコ
- ハイハット クローズLo-Fi
- ハイハット クローズ Syn
- ハイハット ペダル T9
- ハイハット ペダル アコ

スネアドラム

- スネア T8 1
- スネア T8 2
- スネア T8 3
- スネア T9 1

- スネア T9 4
- スネア T9 リム
- スネア R&B 1
- スネア R&B 2
- スネア ヒップ 1
- スネア ティンバー
- スネア ウッド
- スネア ドラム&ベース 1
- スネア ドラム&ベース 2
- スネア ジャングル 1
- スネア アナログ CR
- スネア ディストーション

タム

- タム T9 1
- タム T9 2
- タム T9 3
- タム T9 4
- タム T9 5

バスドラム

- キック T8 2
- キック T8 3
- キック T9 2
- キック T9 4
- キック T9 HD 3
- キック テクノ パワー
- キック ブレイク 2
- キック ディストーション RM
- BD ドラム & ベース 1
- バス ドラム ディスト 1
- バス ドラム ディスト 3
- バス ドラム ディスト 5
- バスドラム テクノパワー
- バスドラム ハードロング
- バス ドラム ブリップ
- バス ドラム アナログSm

パーカッション 1

- コンガ T8 1
- コンガ T8 2
- コンガ T8 3
- カウベル T8
- カウベル アナログ CR
- クラベス T8 1
- クラベス T8 2
- マラカス T8

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- アナログ シェイカー
- アナログ シェイカー 1
- アナログ シェイカー 2

パーカッション 3

- タンバリン RX5 2
- タンバリン 1 ヒット
- タンバリン アナログ CR
- エレクトリック トライアングル
- エレクトリック カウベル
- クラップ T9
- ウィップ スラップ
- エレクトリック クラップ 1

パーカッション 4

- ハイ Q
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- アナログ クリック

ブレイク キット

シンバル

- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- スプラッシュ シンバル 2
- チャイナ シンバル 2
- ライド シンバル 2
- ライド シンバル 3
- ライドシンバル カップ 2
- ハイハットクローズブレイク1
- ハイハットクローズブレイク2
- ハイハットクローズブレイク3
- ハイハットハーフオープンロック
- ハイハットクローズロックソフト
- ハイハット ペダル ロック

スネアドラム 1

- スネア ブレイク 1
- スネア ブレイク 2
- スネア ブレイク 3
- スネア ブレイク 4
- スネア ブレイク 5
- スネア ブレイク 6
- スネア ブレイク 7
- スネア ブレイク 8
- スネア ブレイク 9
- スネア ブレイク リム

スネアドラム 2

- スネア ゲート 1
- スネア クラッピー
- スネア ヒップ
- スネア ヒップ リム 1
- スネア ヒップ リム 4
- スネア LdwH モノ
- スネア ローファイ
- スネア ミドル
- スネア ロック ロール

タム

- タム ブレイク 1
- タム ブレイク 2
- タム ブレイク 3
- タム ブレイク 4
- タム ブレイク 5
- タム ブレイク 6

バスドラム

- キック ブレイク 1
- キック ブレイク 2
- キック ブレイク 3
- キック ブレイク 4
- キック ブレイク 5
- キック ブレイク 6
- キック ブレイク 7
- キック ブレイク ディープ
- キック ブレイク ヘビー

パーカッション 1

- コンガ H オープン
- コンガH オープンスラップ
- コンガ H チップ
- コンガ オープン
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- ボンゴ 2 H
- ボンゴ 2 L
- ティンバル H
- ティンバル L
- カウベル 1
- カウベル RX11
- クラベス
- マラカス スラー

パーカッション 2

- スルド ミュート
- スルド オープン
- カバサ
- アゴゴ L
- スクラッチ H
- スクラッチ L
- スクラッチ H 2
- スクラッチ L 2
- スクラッチ H 3
- スクラッチ ダウン

パーカッション 3

- タンバリン 1 ヒット
- ハイ Q
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- ウィップ スラップ
- フィンガー スナップ

SFX キット 1

SFX

- カッティング ノイズ 1
- カッティング ノイズ 2
- ストリング スラップ
- フルート キー クリック
- 雨
- 雷
- 風
- せせらぎ
- 泡
- フィード
- ゴースト
- マオウ
- 犬
- 馬
- 鳥のさえずり

SFX キット 2

SFX 1

- フォーン コール
- 電話
- ウィンド チャイム
- ドアのきしみ
- ドアを閉める
- スクラッチ カット
- スクラッチ スプリット
- 笑い声
- 悲鳴
- パンチ
- 心音
- 足音

SFX 2

- イグニッション
- タイヤ
- レーシングカー
- 衝突
- サイレン
- 列車
- ジェット機
- スターシップ
- バースト
- ローラー コースター
- サブマリン
- マシンガン
- レーザーガン
- 爆発
- 花火

ライブ！ SFX キット 1

SFX

- カッティング ノイズ 1
- カッティング ノイズ 2
- ストリング スラップ
- フルート キー クリック
- 雨 2
- 雷 2
- 風 2
- せせらぎ 2
- 泡 2
- フィード
- ゴースト
- マオウ
- 犬
- 馬
- 鳥のさえずり

ライブ！ SFX キット 2

SFX 1

- フォーン コール
- 電話 2
- ウィンド チャイム
- ドアのきしみ 2
- ドアを閉める 2
- スクラッチ カット
- スクラッチ スプリット
- 笑い声
- 悲鳴 2
- パンチ 2
- 心音
- 足音 2

SFX 2

- イグニッション
- タイヤ
- レーシングカー
- 衝突
- サイレン 2
- 列車 2
- ジェット機 2
- スターシップ
- バースト
- ローラー コースター
- サブマリン
- マシンガン 2
- レーザーガン
- 爆発 2
- 花火

ノイズ キット

ノイズ

- ホワイトノイズ
- ホワイトノイズ ダウン 1
- ホワイトノイズ ダウン 2
- ホワイトノイズ アップ 1
- ホワイトノイズ アップ 2
- ホワイトノイズアップリリース
- ホワイトノイズアップ LFO
- ピンクノイズ
- ピンクノイズ ダウン 1
- ピンクノイズ ダウン 2
- ピンクノイズ アップ
- ピンクノイズアップリリース
- ピンクノイズアップ LFO

ボーカルエフェクト キット

女性 1

- 女声 Bh 1
- 女声 Bh 2
- 女声 Bh 3
- 女声 Bh 4
- 女声 Ha 1
- 女声 Ha 2
- 女声 Kh 1
- 女声 Kh 2
- 女声 Kh 3
- 女声 Kh 4
- 女声 Ph 1
- 女声 Ph 2
- 女声 Ph 3
- 女声 Ph 4

女性 2

- 女声 Th 1
- 女声 Th 2
- 女声 Th 3
- 女声 Th 4

男性 1

- 男声 Bh 1
- 男声 Bh 2
- 男声 Bh 3
- 男声 Bh 4
- 男声 Ha 1
- 男声 Ha 2
- 男声 Ha 3
- 男声 Ha 4
- 男声 Ha 5
- 男声 Ha 6
- 男声 Kh 1
- 男声 Kh 2
- 男声 Kh 3
- 男声 Kh 4

男性 2

- 男声 Ph 1
- 男声 Ph 2
- 男声 Ph 3
- 男声 Ph 4
- 男声 Th 1
- 男声 Th 2
- 男声 Th 3
- 男声 Th 4

ゴスペルアドリブ

ゴスペルアドリブ 1

- アーオ
- アーハー!
- へーーイ
- ホー!
- オー イェー
- ウー イェー
- ヤヤヤヤヤー
- イェー!
- カモン
- カモン ナウ
- カモン!
- オールライト ナウ!
- エブリバディ ナウ
- プット ユア ハンズ…
- スタンド アップ オン…
- ウィズ オール ユア ソウル

ゴスペルアドリブ 2

- ワン
- ツー
- スリー
- フォー
- ワン!
- ツー!
- スリー!
- フォー!
- ファイブ!
- シックス!
- セブン!
- エイト!
- クラップ!
- クラップ ユア ハンズ…
- ゴスペル クラップ 1
- ゴスペル クラップ 2

ワンダーランドキット

サウンドエフェクト

- レーザー ビーム
- レーザー ショット
- ウォーター ホーン
- 泡
- 水たまり

自然

- 雷
- 雨
- 波
- せせらぎ

日常

- 足音
- ドアのきしみ
- ドアを閉める
- アラーム ベル
- 鳩時計
- 大時計
- ベル
- 電話
- カメラ
- かじる
- 拍手

乗り物

- 列車
- クラクション 1
- クラクション 2
- サイレン
- イグニッション
- 衝突
- ヘリコプター
- スターシップ

動物

- ひつじ
- やぎ
- 牛
- いななき
- 馬
- ライオン
- 犬
- 猫
- にわとり
- ふくろう
- 虫
- カエル
- さえずり1
- さえずり2

パーカッション 1

- シンバル
- スネア ドラム
- スネア ロール
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- タム 1
- タム 2
- バス ドラム
- グランカッサ

パーカッション 2

- タンバリン
- カスタネット
- ジングル ベル
- ベル ツリー
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- フィンガー スナップ
- ハンド クラップ

ポップラテン キット

コンガ

- コンガ H チップ
- コンガ H ヒール
- コンガ H オープン
- コンガ H ミュート
- コンガ H スラップOp.
- コンガ H スラップ
- コンガ H スラップMt.
- コンガ L チップ
- コンガ L ヒール
- コンガ L オープン
- コンガ L ミュート
- コンガ L スラップOp.
- コンガ L スラップ
- コンガ L スライド

ボンゴ

- ボンゴ H Op. 1 f
- ボンゴ H Op. 3 f
- ボンゴ H リム
- ボンゴ H チップ
- ボンゴ H ヒール
- ボンゴ H スラップ
- ボンゴ L Op. 1 f
- ボンゴ L Op. 3 f
- ボンゴ L リム
- ボンゴ L チップ
- ボンゴ L ヒール
- ボンゴ L スラップ

パーカッション 1

- ティンバル H
- ティンバル L
- パイラ H
- パイラ L
- カウベル トップ
- カウベル 1
- カウベル 2
- カウベル 3
- カウベル H 1
- カウベル H 2
- クラベス H
- クラベス L
- ギロ ロング
- ギロ ショート
- メタル ギロ ロング
- メタル ギロ ショート

パーカッション 2

- マラカス
- クイーカ オープン
- クイーカ ミュート
- カバサ
- シェイカー
- タンバリン
- タンボリン チップ
- タンボリン オープン
- タンボリン ミュート
- カスタネット
- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- ウィンド チャイム

パーカッション 3

- ハンド クラップ
- フィンガー スナップ
- シェケレ
- シェケレ トーン
- カホン L
- カホン スラップ
- カホン チップ

アラビック キット

アラビック 1

- ナカラザン ドム
- ナカラザン エッジ
- ハゲール ドム
- ハゲール エッジ
- ザグロウダ H
- ザグロウダ L
- アラビック ハンド クラップ
- ドゥフーラ ドム
- ドゥフーラ タク
- ドゥフーラ サク
- ドゥフ ドム
- ドゥフ タク

アラビック 2

- カテム ドム
- カテム タク
- カテム サク
- タブラ ドム
- タブラ タク 1
- タブラ タク 2
- タブラ サク
- タブラ ティク
- タブラ ロール エッジ
- タブラ フラム
- タブル ドム
- タブル タク

アラビック 3

- サガト 1
- サガト 2
- サガト 3
- リク ドム
- リク タク 1
- リク タク 2
- リク サク
- リク ティク
- リク フィンガー 1
- リク フィンガー 2
- リク ブラス トレモロ

シンバル/スネアドラム

- クラッシュ シンバル 1
- クラッシュ シンバル 2
- ライド シンバル 1
- ハイハット オープン
- ハイハット クローズ
- ハイハット ペダル
- スネア ドラム
- スネア ソフト
- サイド スティック

タム/バスドラム

- フロア タム L
- フロア タム H
- ロー タム
- ミドル タム L
- ミドル タム H
- ハイ タム
- キック ソフト

パーカッション

- コンガ H オープン
- コンガ L
- コンガ H ミュート
- ボンゴ H
- ボンゴ L
- カウベル
- クラベス
- カバサ
- タンバリン

ターキッシュ キット

シンバル

- ジル ライト オープン
- ジル ライト クローズ
- ジル レフト オープン
- ジル レフト クローズ

ボンゴ

- ボンゴ テク
- ボンゴ テク ロール
- ボンゴ テク フラム
- ボンゴ ドゥン
- ボンゴ スラップ
- ボンゴ フラム
- ボンゴ フラム ハイ

ダヴル

- アズマ ダヴル レフト
- アズマ ダヴル ライト
- アズマ ダヴル サイド
- アズマ ダヴル ボス
- コルトゥック ダヴル テケ
- コルトゥック ダヴル テク
- コルトゥック ダヴルドゥン
- コルトゥック ダヴル フラム

ダラブッカ 1

- ダラブッカ テク 1
- ダラブッカ テク 2
- ダラブッカ テク デッド
- ダラブッカテクダンプド
- ダラブッカ テケ フィン 1
- ダラブッカ テケ フィン 2
- ダラブッカ テケ フィン 3
- ダラブッカ テケ フィン 4
- ダラブッカ テケ
- ダラブカテケフラムダンプ
- ダラブッカ テケ フラム
- ダラブッカ スラップ
- ダラブッカスラップミッド
- ダラブッカ ロールオープン
- ダラブッカ ロールクローズ
- ダラブッカ ドゥン

ダラブッカ 2

- バス ダラブッカ テク
- Bダラブカ テク デッド
- Bダラブッカ テク フラム
- バス ダラブッカ テケ
- Bダラブッカ テケ フィン1
- Bダラブッカ テケ フィン2
- Bダラブッカ スラップ 1
- Bダラブッカ スラップ 2
- バス ダラブッカ ドゥン

ベンディル

- ベンディル テク
- ベンディル テク デッド
- ベンディル テケ
- ベンディル テケ フラム
- ベンディル テケ デッド
- ベンディル スラップ
- ベンディル ドゥン

テフ

- テフ テク フラム
- テフ テク オープン
- テフ テク ミュート
- テフ テク ミュートミディアム
- テフ テク オープン ショート
- テフ テケ フラム
- テフ テケ ダンプド
- テフ テケ オープン ショート
- テフ ドゥン オープン
- テフ ドゥン ミュート
- テフ シンバル
- テフ シンバル ミュート
- テフ シェイク 1
- テフ シェイク 2
- テフ フル オープン
- テフ トレモロ

パーカッション

- ホロ フィンガー デッド
- ホロ スラップ
- ホロ ドゥン
- カシーク
- カシーク フラム

チャイナ キット

シンバル

- ダ チャ 1
- ダ チャ 2
- ダ チャ エフェクト
- ゾンチャ
- シャオチャ
- シャオチャ エフェクト
- ゴング バター
- ルオ ビッグ
- ルオ
- ルオ ミッドロー
- ルオ ハイ 1
- ルオ ハイ 2
- ジン ルオ
- ジン ルオ ロー
- マン ルオ ロー
- マン ルオ ミッド

タイコ

- ダ グ f
- ダ グ mp
- ダ グ リム
- ダ グ ロール
- ダ グ ハンド
- パイ グ
- パイ グ 2 ハイ
- パイ グ 2
- パイ グ 3 ハイ
- パイ グ 3
- パイ グ 4 ハイ
- パイ グ 4

ドラ 1

- ユンルオ F
- ユンルオ F♯
- ユンルオ G
- ユンルオ G♯
- ユンルオ A
- ユンルオ A♯
- ユンルオ B
- ユンルオ C
- ユンルオ C♯
- ユンルオ D
- ユンルオ D♯
- ユンルオ E
- ユンルオ ハイ F
- ユンルオ ハイ F♯
- ユンルオ ハイ G
- ユンルオ ハイ G♯

ドラ 2

- ユンルオ ハイ A
- ユンルオ ハイ A♯
- ユンルオ ハイ B
- ユンルオ ハイ C

パーカッション

- ムユ ロー
- ムユ ミッドロー
- ムユ ミッド
- ムユ ハイ
- バン
- バング
- バング ロール
- ナンバンジ
- ナンバンジ ロール
- クインク
- フィンガー ベル
- 京劇ボイス 1
- 京劇ボイス 2
- 京劇ボイス 3

オーケストラ パーカッション

シンバル

- チャイナ シンバル
- フィンガー シンバル
- オーケストラ シンバル 1
- オーケストラシンバル1チョーク
- オーケストラ シンバル 2
- ライド シンバル チップ
- ライド シンバル カップ
- スプラッシュ シンバル
- サスペンデッドシンバル1
- サスペンデッド1 ロールS
- サスペンデッドシンバル2
- サスペンデッド2 ロールL

スネアドラム

- コンサート スネア ドラム
- スネア ドラム ライト
- スネア アンサンブル
- スネア ロール

タム

- コンサート タム 1
- コンサート タム 2
- コンサート タム 3
- コンサート タム 4
- コンサート タム 5
- ローテティング タム 1
- ローテティング タム 2
- ローテティング タム 3
- ローテティング タム 4
- ローテティング タム 5

バスドラム

- グランカッサ ハード
- グランカッサ ソフト
- グランカッサ ヒット
- グランカッサ クレシェンド

ドラ

- ゴング
- シンフォニック ゴング 1
- シンフォニック ゴング 2
- シンフォニックゴングロング

ティンパニ

- ティンパニ E
- ティンパニ F
- ティンパニ F♯
- ティンパニ G
- ティンパニ G♯
- ティンパニ A
- ティンパニ A♯
- ティンパニ B
- ティンパニ C
- ティンパニ C♯
- ティンパニ D
- ティンパニ D♯
- ティンパニ ハイ E

パーカッション 1

- コンガ H スティック
- コンガ L スティック
- ボンゴ H スティック
- ボンゴ L スティック
- カウベル
- クラベス
- ベル ツリー
- スレイ ベル
- チューブラー ベル H
- チューブラー ベル M
- チューブラー ベル L
- ウィンド チャイム
- ジングル リング
- タンバリン
- カスタネット ロール
- テーブル カスタネット

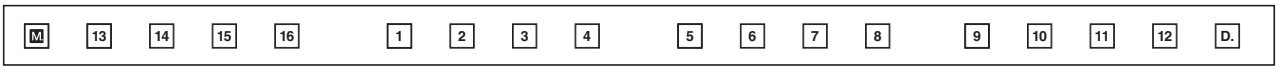
パーカッション 2

- トライアングル オープン
- トライアングル ミュート
- トライアングル ロール
- ウッド ブロック H
- ウッド ブロック L
- 木魚 H
- 木魚 L
- 金床
- ウィップ

6 レジストレーションメモリー

エレクトーンのパネル上、または画面上で設定したボイスやリズムなどのセッティング(=レジストレーション)は、上鍵盤と下鍵盤の間にある1～16までのナンバーボタンに記録できます。記録したレジストレーションは簡単に呼び出すことができます。この機能を「レジストレーションメモリー」と呼びます。記録したレジストレーションは、演奏中にナンバーボタンを押して呼び出すだけでなく、フットスイッチのモードを変更することで操作が可能です。

関連ページ
・レジストレーションシフト(100ページ)



レジストレーションメモリーとバンク

このエレクトーンでは、1～16のレジストレーションメモリーを1バンクとして、A～Eの最大5バンクのレジストレーションデータを作ることができます。そのうちバンクAの1～16ナンバーボタンには、あらかじめ用意された様々なレジストレーションがセットされていますが、自分で設定したレジストレーションを記録することで書き換えが可能です。またバンクB～Eにも、同様に自分で設定したレジストレーションを記録することができ、最大で合計80個のレジストレーションを記録できます。レジストレーションメモリーの初期化(99ページ)を実行すると、バンクAの1～16が元の設定に戻り、バンクB～Eの1～16が空の状態に戻ります。

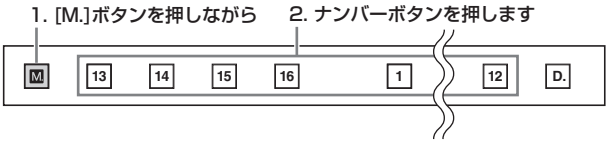
レジストレーションをナンバーボタンに記録する

新しくつくったレジストレーションを、レジストレーションメモリーのナンバーボタンに記録します。レジストレーションメモリーに記録されたレジストレーションは、USBフラッシュメモリーに保存することもできます。

関連ページ
・ボイスを選ぶ(27ページ)
・リズムを選ぶ(57ページ)
・コントロールとエフェクト(43ページ)

1 **記録したいレジストレーションをつくります。**

2 **レジストレーションメモリーボタンの左端にある[M.](メモリー)ボタンを押しながら、記録したいナンバーボタンを押します。**



レジストレーションの記録が開始されると、ナンバーボタンが一時的に点滅します。
点滅が終わると、ナンバーボタンへのレジストレーションの記録が完了します。

注記
レジストレーションを記録すると、画面の左上が数秒間、水色に点灯し、記録中であることを示します。点灯中は電源を切らないでください。点灯中に電源を切るとレジストレーションが記録されません。

メモリーできない機能

以下の設定は、エレクトーン全体に関する設定なので、レジストレーションメモリーに記録しておくことはできません。また、USBフラッシュメモリーに保存することもできません。

- ピッチ(183ページ)
- MIDIコントロール(192ページ)
- マイクボリューム(189ページ)
- マイクリバーブ(189ページ)
- 画面に関する設定(18ページ)
- 無線LAN接続の設定(193ページ)
- ページめくり以外の譜面に関する設定(126ページ)

以下の設定は、レジストレーションナンバーごとに違う設定にすることはできません。ソングのレジストレーションデータとして、USBフラッシュメモリーに保存できます。

関連ページ
・レジストレーションを保存する(119ページ)

- トランスポーズ(183ページ)
- オルガンフルート音色のアタックのモード(40ページ)
- レジストレーションシフト(100ページ)
- オートフィル(59ページ)
- リバーブタイプ(48ページ)
- ユーザーボイス(144ページ)
- ユーザーリズム(160ページ)
- ユーザーキーボードパーカッション(82ページ)
- リズムシーケンス(171ページ)
- ディスエーブル(97ページ)
- ディスエーブルモード(98ページ)
- 譜面設定のネクストページ(126ページ)

別のバンクにレジストレーションを記録する

初期状態の、レジストレーションメモリーのバンクAが選択されている状態では、バンクAだけでなくバンクBにもレジストレーションの記録ができます。バンクBに記録されればバンクCまで、バンクCに記録されればバンクDまで、バンクDに記録されればバンクEまでレジストレーションが記録できるようになり、最大でバンクA～Eに記録ができます。

1 ボイスディスプレイで、バンク選択ボタンを押します。



バンクAを先頭として、レジストレーションが記録されているバンクの次のバンク(空)まで選択可能です。たとえば、バンクAとBにレジストレーションが記録されていれば、バンクCまで選択可能です。選択されたバンクにレジストレーションが記録されているかどうかは、バンク名表示(A～E)のオン/オフで判別できます。



2 96ページ「レジストレーションをナンバーボタンに記録する」の手順1～2の操作を行ないます。

バンクBのメモリー 1に記録されました。



NOTE

レジストレーションの呼びだし後、バンクを変えてからレジストレーションを記録しようとすると、選択されているバンクに記録するかを確認するダイアログが表示されます。記録先のバンクが正しいかご確認ください。

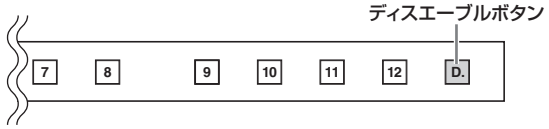
レジストレーションを呼び出す

ボイスディスプレイのバンク選択ボタンでバンクを選択し、呼び出したいナンバーボタンを押すだけで、記録したレジストレーションをパネル上に呼び出すことができます。

- 手でボタンを押すのではなく、フットスイッチを使ってレジストレーションを呼び出す方法(レジストレーションシフト)もあります。レジストレーションシフトについては100ページをご覧ください。
- リズムシーケンスの一部として、あらかじめレジストレーションの変更をプログラムしておく機能(レジストレーションシーケンス)もあります。レジストレーションシーケンスについては173ページをご覧ください。

ディスエーブルボタンについて：

ナンバーボタンを押してレジストレーションを切り替えると、リズムも同時に変わります。しかし、レジストレーションメモリー右端の[D.](ディスエーブル)ボタンをオンにすることで、リズムの種類やテンポなどは変えずに、レジストレーションメモリー機能でボイスを切り替えながら演奏することができます。一定のテンポで演奏を練習したいときなどに便利です。



[D.](ディスエーブル)ボタンをオンにしたときの動作は、ディスエーブルモードによって異なります。ディスエーブルモードについては「ディスエーブルモードを選ぶには」(98ページ)をご覧ください。

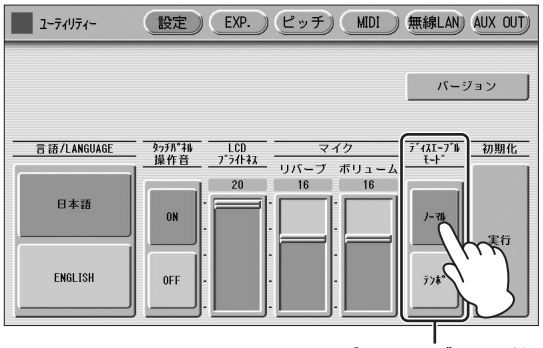
NOTE

ディスエーブル機能は、バンクを切り替えた後も有効となります。

ディスエーブルモードを選ぶには：
ディスエーブルモードで、[D.](ディスエーブル)ボタンをオンにしたときの対象となる機能を選べます。ディスエーブルモードには、ノーマル(リズムの種類やテンポなどが対象)とテンポ(テンポのみが対象)の2種類があります。

1 **[UTILITY]ボタンを押します。**
ユーティリティー画面の設定ページが表示されます。

2 **「ディスエーブルモード」の[ノーマル]ボタンまたは[テンポ]ボタンを押します。**



ディスエーブルモード

ノーマル
このモードのときに、[D.](ディスエーブル)ボタンをオンにすると、レジストレーションメモリーを切り替えても以下の機能は変わりません。
- リズムの種類、セクション、テンポ、ボリューム、リバーブ
- リズムのリバーブタイム
- アカンパニメントのボリューム、リバーブ、パートのオン/オフ
- オートベースコードのモード、メモリー
- メロディーオンコードのモード、フットペダルコントロール
- セカンドエクスプレッションのテンポコントロールのオン/オフ

テンポ
このモードのときに、[D.](ディスエーブル)ボタンをオンにすると、レジストレーションメモリーを切り替えてもリズムのテンポが変わりません。

記録したレジストレーションをUSBフラッシュメモリーに保存する

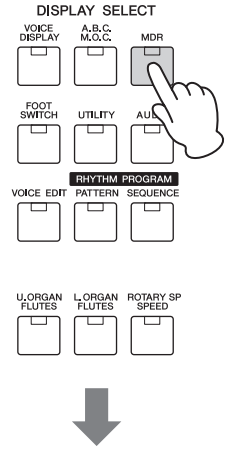
USBフラッシュメモリーに、レジストレーションを保存できます。

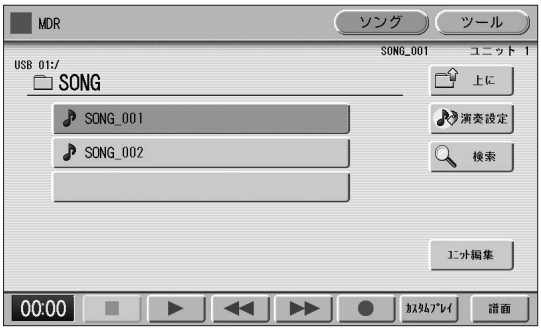
関連ページ
・レジストレーションを保存する(119ページ)

エレクトーン本体に記録したレジストレーションメモリー最大5バンク分を、USBフラッシュメモリーに1つのソングデータとして保存できます。詳細は第7章で説明しますが、ここでは、USBフラッシュメモリーにレジストレーションを保存する手順を、簡単に説明します。

1 **USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に挿入します。**

2 **[MDR]ボタンを押します。**
MDR画面が表示されます。





3 **レジストレーションを保存するソングを選択します(113ページ)。**

4 **画面右側の[ユニット編集]ボタンを押します。**
ユニット編集画面が表示されます。

5 **[保存]ボタンを押します。**

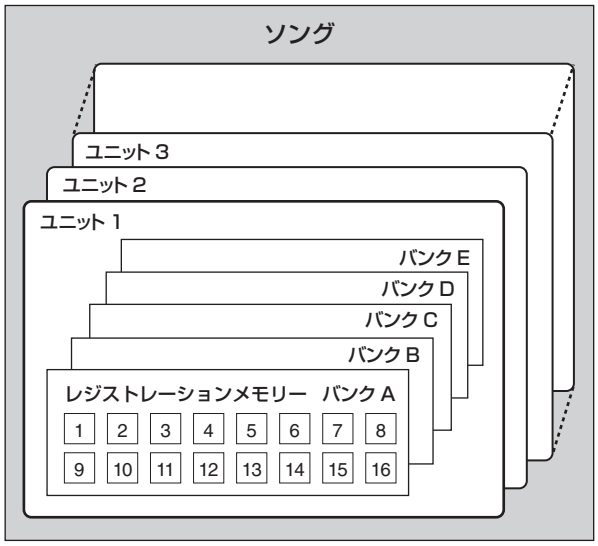
画面に、保存中であることを示すメッセージが表示されます。保存が終了すると、メッセージが消えます。

関連ページ
・レジストレーションなどのデータを読み込む(121ページ)
・ソングに名前を付ける(117ページ)

これで、本体のレジストレーションメモリー (A～Eバンク)に記録されているレジストレーションが、一つのユニットとしてUSBフラッシュメモリーに保存されました。

バンクとユニット

エレクトーン本体に記録されたレジストレーションメモリー (16×最大5バンク)をまとめて「ユニット」といいます。1つのソング内で、レジストレーションメモリーが16×最大5バンクだけでは足りなくなった場合は、別の「ユニット」を追加で作ることにより、さらに多くのレジストレーションを活用できます。ユニットについては、MDR機能の中で編集ができます。119ページをご覧ください。

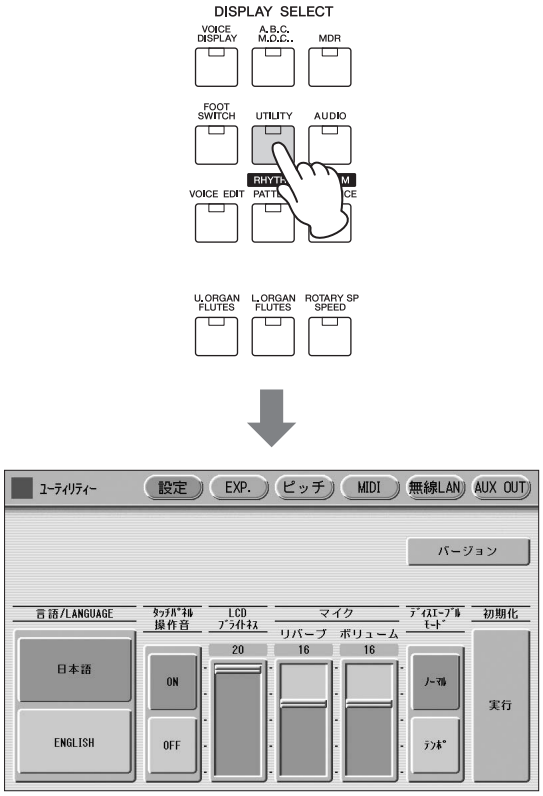


レジストレーションメモリーの初期化

レジストレーションメモリーに記録されたレジストレーションを消去し、レジストレーションメモリーを初期状態に戻すことができます。この場合、すべてのバンクのレジストレーションデータが消去されてしまいます。大切なデータは、あらかじめUSBフラッシュメモリーに保存しておきましょう。

関連ページ
・エレクトーンの初期化(25ページ)

1 **[UTILITY]ボタンを押して、ユーティリティー画面の設定ページを表示させます。**



2 **画面右端の、初期化[実行]ボタンを押します。**

「レジストレーションデータを初期化しますか？」という表示が現れます。[初期化]ボタンを押すと、初期化が実行されます。初期化が終了すると、いったん画面が暗くなったあと、電源を入れたときの画面が自動的に表示されます(再起動)。
[キャンセル]ボタンを押すと、初期化せずに手順1の画面に戻ります。

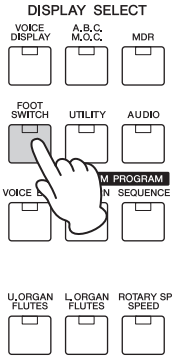
演奏中にレジストレーションを切り替える：レジストレーションシフト

レジストレーションシフトは、エクスプレッションペダルの右側についているフットスイッチを使ってレジストレーションを切り替える機能です。演奏中に手を使わずにレジストレーションの変更ができ、演奏に専念できます。ある特定のレジストレーションを選択したり、ナンバー順に、または自分で設定した順序で、レジストレーションを選択できます。レジストレーションシフトには、シフト、ジャンプ、ユーザーの3つのモードがあり、レジストシフト画面で設定します。また、ボイスディスプレイで内容を確認できます。

レジストシフト画面で設定する

1 **[FOOT SWITCH]ボタンを押します。**

2 **画面右上の[ライト]ボタンを押して、ライトページ(レジストシフト画面)を表示させます。**



レジストシフト画面



❶ OFF

レジストレーションシフトの機能をキャンセルします。
右フットスイッチを使ってレジストレーションを切り替えることはできません。

❷ シフト

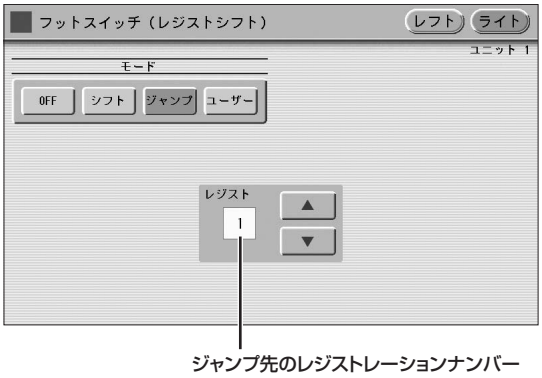
右フットスイッチを押すたびにレジストレーションナンバーが一つずつ進み、1から16までのナンバー順にレジストレーションが選択されていきます。16の次は1に戻ります。選択されたナンバーボタンは点灯します。

NOTE

シフトでは他のバンクのレジストレーションは選択できません。

❸ ジャンプ

右フットスイッチを押すと、指定したナンバーのレジストレーションへジャンプ(移動)します。
データコントロールダイアルを回すか、画面の ▲ ▼ ボタンを押して、ジャンプ先のレジストレーションナンバーを指定します。



ジャンプ先のレジストレーションナンバー

❹ ユーザー

レジストレーションメモリーを切り替える順番をあらかじめ設定しておき、右フットスイッチを押すたびに、設定した順にレジストレーションを呼び出します。

レジストレーションメモリーの順番を設定するには：

1 **バンクを選択します。**

2 **切り替えたいレジストレーションメモリーのナンバーボタンを押します。**

3 **画面の[セット]ボタンを押します。**
レジストレーションが入力され、画面上にバンクとナンバーが表示されます。

4 **上記の2～3をくり返して、レジストレーションメモリーの順番を設定します。**



❶ ポジション

編集画面にあるカーソル(オレンジ色表示)を移動するボタンです。カーソルは、自分で設定したレジストレーションシフトのナンバーの間で移動させることができ、レジストレーションシフトを自在に編集できます。最高400レジストレーションまで設定できます。

- カーソルを最初の位置(TOP)に戻します。
- カーソルを1つだけ左に移動します。
- カーソルを1つだけ右に移動します。
- カーソルを5つ右に移動します。

❷ データ

ユーザーレジストレーションシフトの設定、編集作業をします。

セット：初めてユーザーレジストレーションシフトを設定する場合や、カーソルの位置にあるレジストレーションナンバーを別のレジストレーションナンバーに置き替える場合に、このボタンを使って入力します。
入力したいレジストレーションメモリーのナンバーボタンを押したあと、[セット]ボタンを押すと、入力されたレジストレーションナンバーが、画面中央の列に表示されます。入力後、カーソルは右に移動します。

挿入：カーソル位置の前に、別のレジストレーションを挿入する場合に使います。
カーソルを、挿入したいところの次のレジストレーションの位置に合わせます。挿入したいレジストレーションをナンバーボタンで選択したあと、[挿入]ボタンを押します。カーソルの位置に、挿入するナンバーが表示され、カーソルの位置以降のレジストレーションナンバーが、1つずつ右にずれます。
ユーザーレジストレーションシフトの限度である400レジストレーションを超えて、入力することはできません。挿入操作によって400を超えてしまう場合には、画面に「データがいっぱいです。」と表示され、挿入は実行できません。

削除：カーソルの位置のレジストレーションナンバーを削除する場合に使います。削除したいレジストレーションナンバーにカーソルをあわせて、[削除]ボタンを押します。

全消去：ユーザーレジストレーションシフトをすべて消去する場合に使います。
[全消去]ボタンを押すと、消去してもよいかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。
[消去]ボタンを押すと、すべてのデータは消去され、消去が実行されたことを示すメッセージが一時的に画面上に表示されます。
[キャンセル]ボタンを押すと、消去せずにもとの画面に戻ります。

❸ シフトエンド

レジストレーションシフトが最後まで進んだときの動作を設定します。

ストップ：最後のレジストレーションナンバーを選択して、レジストレーションシフトは終了します(右フットスイッチを押してもレジストレーションナンバーは移動しません)。

トップ：最後のレジストレーションナンバーを選択したあと、最初のレジストレーションナンバー (TOP)に戻って繰り返しシフトします。

ネクストユニット：最後のレジストレーションナンバーを選択したあと、MDRのソングに入っている次のユニットを自動的に読み込みます。一つのソング内に複数のユニットを保存した場合に有効な設定です。

関連ページ
• 一つのソングに複数のレジストレーションを保存する(119ページ)

NOTE

- ネクストユニットを使用した曲をMDRで再生するためには、[カスタムプレイ]ボタン(108ページ)ではなく[▶](再生)ボタンを押してMDRをスタートさせてください。
- リズム再生中にネクストユニットを読み込んでも、シーケンスデータやユーザーリズムは読み込まれません。

トップまたはネクストユニットを選ぶと、編集画面で最後のレジストレーションのあとに、選択したシフトエンドのマーク(または)が表示されます。

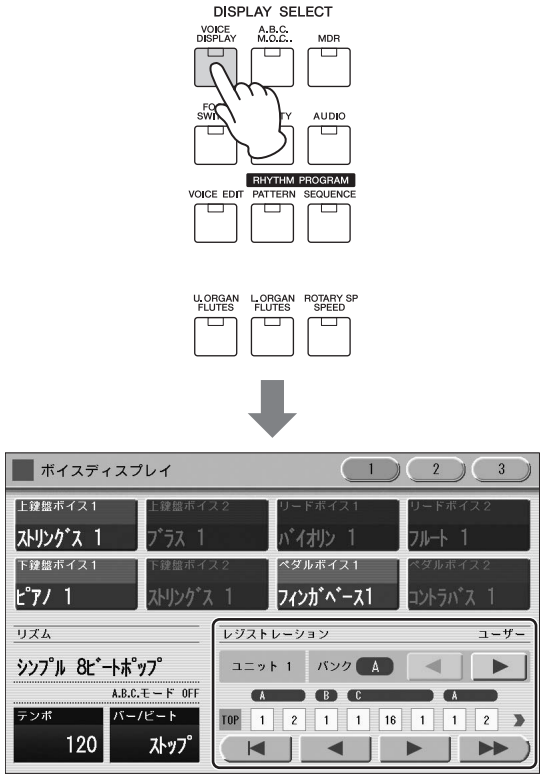
❹ バンクセレクト

呼び出したいレジストレーションが記録されているバンクを選択します。

ボイスディスプレイで確認する

ボイスディスプレイの1ページ目で、レジストレーションシフトの確認ができます。

パネル上の[VOICE DISPLAY]ボタンを押して、ボイスディスプレイの1ページ目を表示させます。



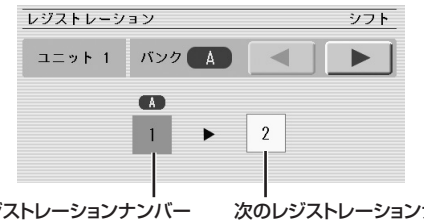
画面右下にレジストレーションシフトの状態が表示されます。現在選ばれているレジストレーションシフトのモードによって、以下のように表示や操作が異なります。

レジストレーションシフトがオフに設定されている場合



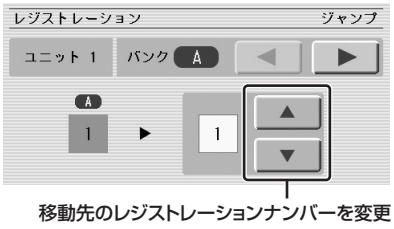
現在のレジストレーションナンバーを表示します。

シフトモード時



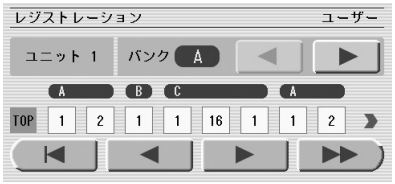
現在のレジストレーションナンバーと次のレジストレーションナンバーを表示します。

ジャンプモード時



現在のレジストレーションナンバーとジャンプ先のレジストレーションナンバーを表示します。また、データコントロールダイアルや ▲ ▼ ボタンを使って、ジャンプ先のレジストレーションのナンバーを変更できます。

ユーザーモード時



設定されているユーザーレジストレーションシフトを順番に表示します。現在のレジストレーションナンバーはカーソル(オレンジ色)で表示されます。データコントロールダイアルや画面上のボタンでカーソルを動かすことによって、好きなレジストレーションナンバーの位置に移動できます。間違って右フットスイッチを2度押してしまったら、この画面で正しい位置に戻せます。

- ⏮ カーソルを最初の位置(TOP)に戻します。レジストレーションナンバーは変わりません。
- ◀ カーソルを1つだけ左に移動し、レジストレーションナンバーを変更します。
- ▶ カーソルを1つだけ右に移動し、レジストレーションナンバーを変更します。
- ▶▶ カーソルを5つ右に移動し、レジストレーションナンバーを変更します。

NOTE

ボイスディスプレイ画面のレジストレーションシフトの表示は、レジストシーケンスとは連動しません。

パラメーターの一括変更

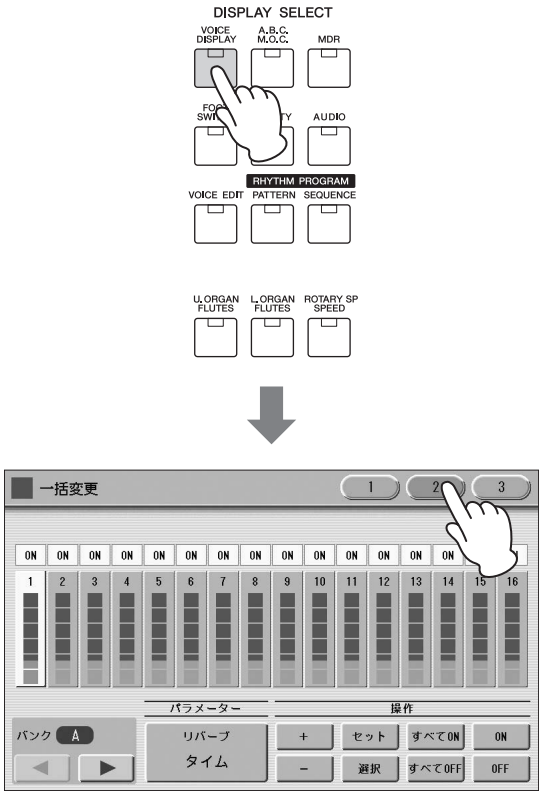
ボイスディスプレイの2ページ目には、バンク内のレジストレーションの同一パラメーターを同時に変更する機能があります。上鍵盤の音を全レジストレーションについて明るめに設定したい、といった場合にこの機能を使うと便利です。

一括変更できるパラメーター

- リバーブ
- リズムのリバーブ
- ボリューム
- パン
- ブリリアンス
- サステイン

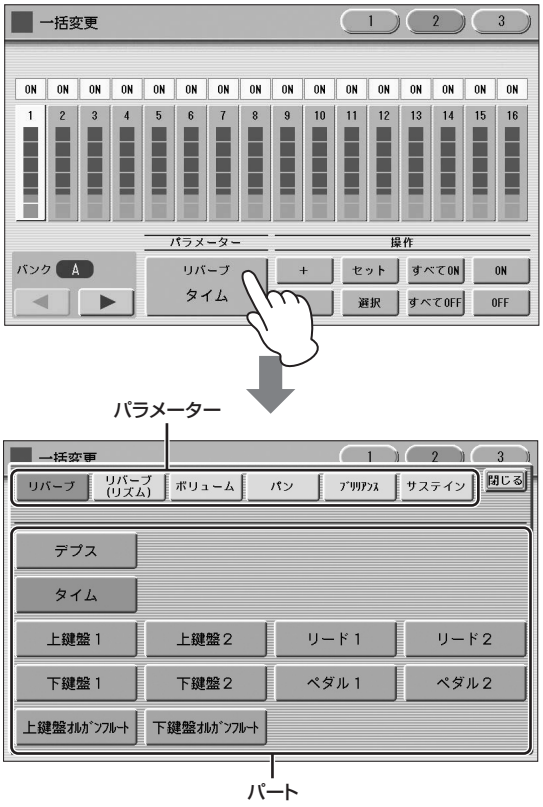
1 パネル上の[VOICE DISPLAY]ボタンを押して、ボイスディスプレイを表示させます。

2 画面右上の[2]ボタンを押して2ページ目を表示させます。



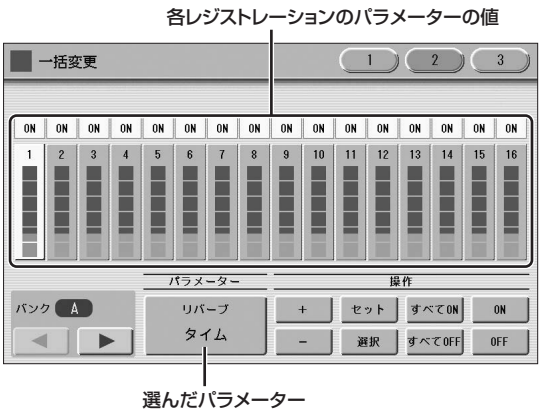
3 バンクを選んだ後にパラメーターボタンを押して、一括変更をしたいパラメーターを選びます。

パラメーターボタンには、現在選ばれているパラメーターが表示されています。
ここを押すと、パラメーター選択画面が開き、一括変更の対象となるパラメーターを選ぶことができます。



選択画面で、一括変更したいパラメーターと、パートを選びます。

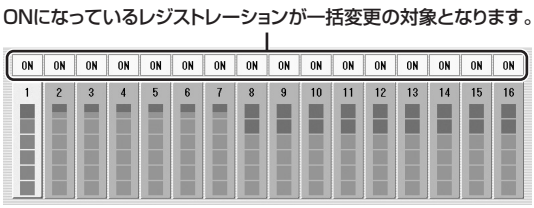
パラメーターとパートを選ぶと、自動的に選択画面が閉じます。選んだパラメーターのレジストレーションごとの値が画面上に表示されます。



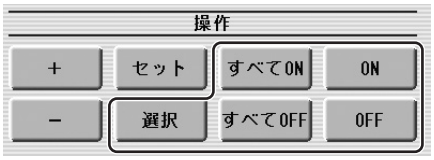
NOTE

バンクをまたいでの一括変更はできません。

4 画面右下の操作ボタンを使って、一括変更の対象となるレジストレーションナンバーをすべて選びます。



画面でオン/オフしたいレジストレーションのナンバーを選び、画面右下の5つの操作ボタンでON/OFFを切り替えます。



[すべてON]: すべてのレジストレーションをON(一括変更の対象)にします。

[すべてOFF]: すべてのレジストレーションの選択を解除します。

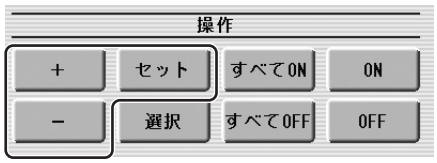
[ON]: 現在カーソルが置かれているレジストレーションをONにします。

[OFF]: 現在カーソルが置かれているレジストレーションをOFFにします。

[選択]: 数字に下線のついたレジストレーションをすべてONにします。下線は、パラメーターのパートとしてボイスセクション(上鍵盤1、リード1など)が選ばれているときに、選択中のレジストレーションと同じボイスを使用しているレジストレーションに表示されます。

5 一括変更を行ないます。

現在ONになっているすべてのレジストレーションのパラメーターを一括変更します。すべての値を同じにそろえる方法と、すべての値を現在の値より1ずつ増減させる方法があります。
一括変更すると、レジストレーションの内容が変更され、もとには戻せませんので、ご注意ください。
画面右下の3つの操作ボタンや、データコントロールダイアルで一括変更を行ないます。



すべての値を同じにそろえるには：

[セット]を押します。
現在ONになっているレジストレーションナンバーのパラメーター値を、一括して現在カーソルが置かれているレジストレーションのパラメーター値にそろえます。[セット]を押すと、次のようなメッセージ画面が表示されます。



[そろえる]ボタンを選選択すると、一括変更が行なわれます。
作業を中止したい場合は[キャンセル]ボタンを選択します。

すべての値を1ずつ増減させるには：

画面の[＋]ボタンや[－]ボタンを押すか、データコントロールダイアルを操作すると、一括変更の対象となっているレジストレーションナンバーのパラメーター値が1ずつ変化します。
パラメーターとしてパンを選んでいる場合には、[＋]/[－]ボタンの代わりに[◀][▶]ボタンが表示されます。

値を変更している際、いずれかのレジストレーションでパラメーターが最大値/最小値に達した場合、次のような警告メッセージが表示されます。



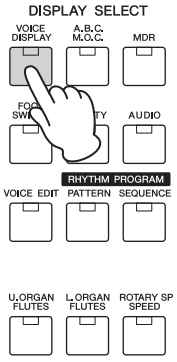
[OK]ボタンを選択すると、最大値/最小値に達したレジストレーションナンバー以外のパラメーターを変更します。
[キャンセル]ボタンを選択すると変化しません。

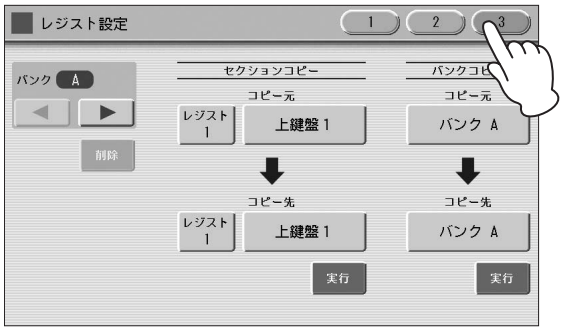
レジストレーションを コピーする

ボイスディスプレイの3ページ目には、レジストレーションメモリーのナンバーに記録されているレジストレーションを、レジストセクション(ボイスセクションやリズム、キーボードパーカッション)単位で別のレジストレーションナンバーにコピーする機能があります(レジストセクションコピー)。レジストレーションナンバー 4の上鍵盤の音を1と同じにしたい、といった場合にこの機能を使うと便利です。

1 パネル上の[VOICE DISPLAY]ボタンを押して、ボイスディスプレイを表示させます。

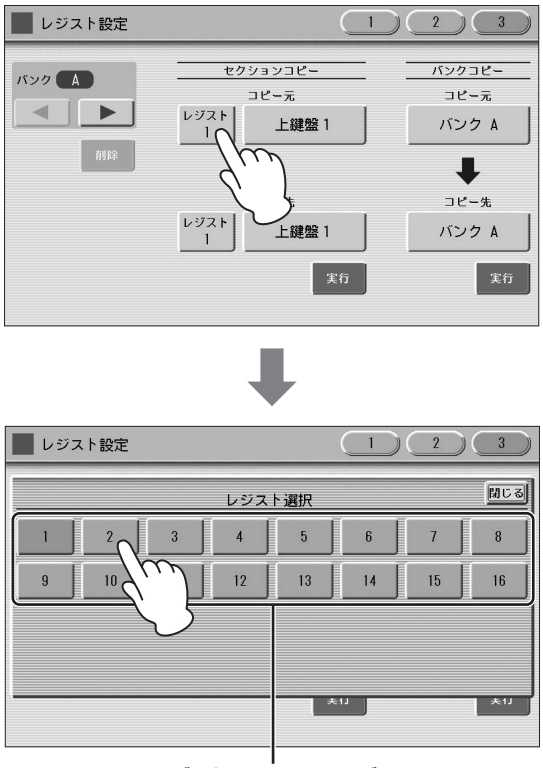
2 画面右上の[3]ボタンを押して3ページ目を表示させます。





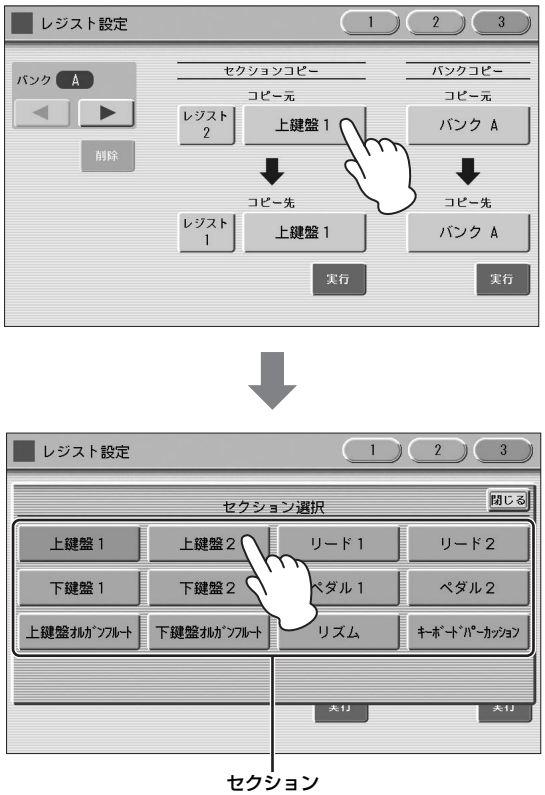
3 画面のコピー元の左下のレジストボタンを押して、コピーするレジストレーションナンバーを選択します。

[閉じる]ボタンを選択すると、操作をキャンセルして、前の画面に戻ります。



4 画面のコピー元の右下にあるセクションボタンを押してコピーするレジストセクションを選びます。

[閉じる]ボタンを選択すると、操作をキャンセルして、前の画面に戻ります。



5 同様にコピー先のレジストレーションナンバーとレジストセクションを選びます。

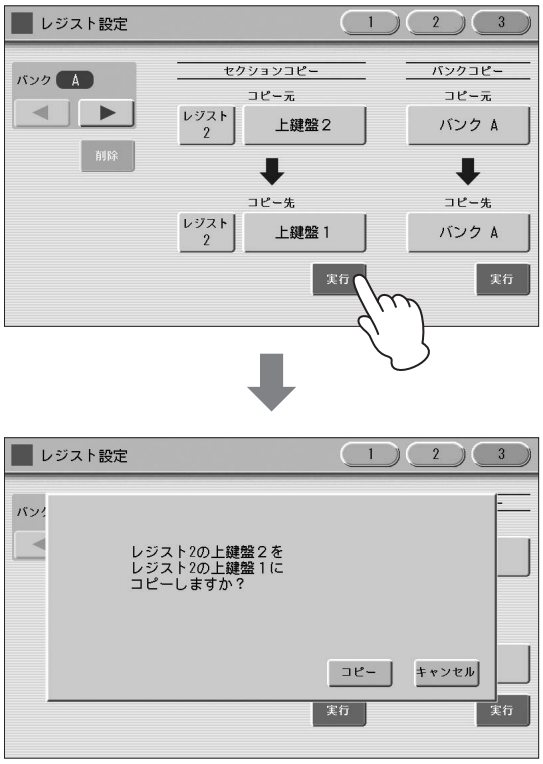
コピー先で選べるレジストセクションは、コピー元で選んだレジストセクションによって変わります。

NOTE

レジストセクションについては、コピー先を変更したあとでコピー元を変更すると、コピー先が自動的にコピー元と同じに変わることがあります。

6 画面のセクションコピー側の[実行]ボタンを押します。

以下の画面が表示され、コピーを実行するかどうか確認を求めてきます。



7 [コピー]ボタンを選択すると、レジストレーションのコピーを実行し、「コピーしました。」という操作完了のメッセージが一時的に表示されます。

[キャンセル]ボタンを選択すると、コピーせずに前の画面に戻ります。

バンクをコピーするには：

レジストレーションデータをバンク単位でコピーすることもできます。「バンクコピー」にある「コピー元」「コピー先」でそれぞれコピー元/コピー先のバンクを選択したあと、画面右下にある[実行]ボタンを押すと、レジストレーションデータがコピーされます。

バンクを削除するには：

画面左のレジストバンクの削除ボタンを押して選択したバンクを削除します。

NOTE

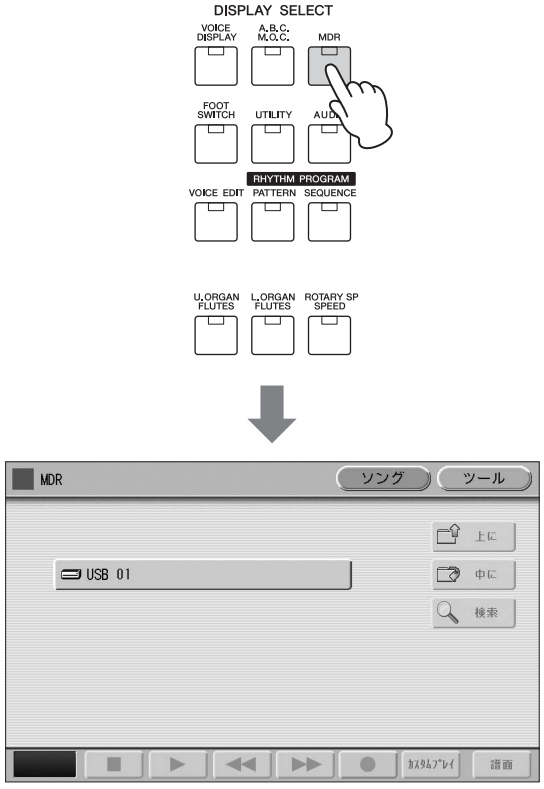
選択したバンクを削除した場合、以降のバンクに記録されている内容は1つ前のバンクに繰り上げになります。たとえばバンクAを削除すると、バンクBの内容がバンクAに、バンクCの内容がバンクBに、バンクDの内容がバンクCに、バンクEの内容がバンクDに移動します。

7 ミュージックデータレコーダー (MDR)

MDR (ミュージックデータレコーダー)は、USBフラッシュメモリーに、レジストレーションや演奏データを録音したり、録音したデータを再生/編集したりする機能です。
使用できるUSBフラッシュメモリーについては、インターネット上のヤマハエレクトーンホームページ<http://jp.yamaha.com/electone/>でご確認ください。また、ご使用前に111ページの注意事項をお読みください。

MDR機能に入る

MDR機能を使って演奏やレジストレーションを録音したり、再生したりする場合は、すべてMDR画面で操作を行ないます。[MDR]ボタンを押すと、MDR画面が表示されます。



NOTE
画面に表示されるUSBフラッシュメモリーの表示「USB 01」(「USB 02」…)順は、ランダムになります。

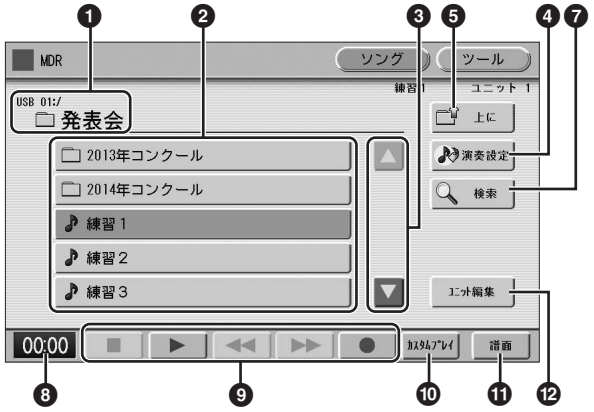
MDR操作中(ソングの再生中など)でも、パネル上の別のボタンを押すと、MDR画面を抜けてしまいます。その場合は、もう一度[MDR]ボタンを押すと、もとのMDR画面に戻ります。

この章では、MDR画面が表示されているものとして、各操作の手順を説明します。

MDR画面の操作

MDR画面には、ソングページとツールページがあります。ソングページはソングを選んで、再生/録音などの操作を行なうためのページです。ツールページはソングのコピーや削除などの編集を行なうためのページです。
ソングページとツールページは画面右上の[ソング]ボタンと[ツール]ボタンを押して切り替えます。

ソングページ



ツールページ



❶ 現在の位置
現在選択されているUSBフラッシュメモリー /フォルダーが表示されます。「:/」の前にはUSBフラッシュメモリーが、「:/」の後ろにはフォルダー名が表示されます。
たとえば、「USB 01:/Folder1/」と表示されている場合は、「USBフラッシュメモリー内の」「Folder1という名前のフォルダー」であることを示します。

❷ USBフラッシュメモリー /フォルダー /ソングリスト
選択できるUSBフラッシュメモリー /フォルダー /ソングが表示されます。選択できるフォルダーは最大120個です(画面上には5個表示されます)。

❸ スクロールボタン
選択可能なUSBフラッシュメモリー /フォルダー /ソングが多い場合、画面外に隠れていることがあります。その場合は、このボタンを使って、隠れているUSBフラッシュメモリー /フォルダー /ソングを表示させます。

❹ 演奏設定
選択されているソングの演奏に関する設定を表示/変更できます。

関連ページ
- ソングの演奏設定(113ページ)

❺ 上に
一つ上の階層のフォルダーまたはUSBフラッシュメモリーへ移動します。たとえば、現在の位置が「USB 01:/Folder1/」(USBフラッシュメモリー内のFolder1というフォルダー)の場合は、このボタンを押すことで「USB 01:/」(USBフラッシュメモリー)に移動します。

❻ 中に
選択されているフォルダーまたはUSBフラッシュメモリーの中へ移動します。たとえば、現在の位置が「USB 01:/Folder1/」(USBフラッシュメモリー内のFolder1というフォルダー)で、選択されているフォルダーが「SONG」の場合は、このボタンを押すことで「USB 01:/Folder1/SONG/」(USBフラッシュメモリー内のFolder1内のSONGフォルダー)に移動します。

NOTE
選択されているフォルダーのボタンを押すことでも、フォルダーの中へ移動できます。

❼ 検索
USBフラッシュメモリー内のソング/フォルダーをソング/フォルダー名から検索します。

関連ページ
- ソング検索(113ページ)

❽ 状態表示
ソングの録音中、再生中に経過時間を表示します(59分59秒まで表示可能)。

❾ ソングコントロール
ソングの録音、再生などをコントロールします。

関連ページ
- 演奏を録音する(115ページ)
- ソングを再生する(123ページ)

❿ カスタムプレイ
選択されているソングの演奏データだけを録音/再生します。このボタンを使うと、レジストレーションデータは読み込まれません。

⓫ 譜面
選択されているソングの譜面を表示します。

関連ページ
- 譜面を表示する(126ページ)

⓬ ユニット編集
選択されているソングのレジストレーションをユニット単位で編集する画面を表示します。

関連ページ
- レジストレーションを保存する(119ページ)
- レジストレーションなどのデータを読み込む(121ページ)

⓭ フォルダー作成
現在表示されているUSBフラッシュメモリー /フォルダー /ソングリストに、新しいフォルダーを作成します。120までのフォルダーを作成できます。このボタンを押すと、フォルダー名を設定する画面が表示されます。フォルダー名をつけて[OK]ボタンを押すと、新しいフォルダーを作成できます。フォルダー名のつけ方は、ソングの名前のつけ方と同じです。117ページをご覧ください。

⓮ 名前変更
選択されているフォルダー /ソングの名前を変更します。

関連ページ
- ソングに名前をつける(117ページ)

⓯ コピー
選択されているUSBフラッシュメモリー /フォルダー /ソングをコピーします。

関連ページ
- ソングコピー (127ページ)

⓰ 削除
選択されているフォルダー /ソングを削除します。

関連ページ
- ソングの削除(130ページ)

⓱ 変換
選択されているソングを他のエレクトーンや機器で再生できるように変換したり、他のエレクトーンで録音されたソングをこのエレクトーン用のソングに変換したりします。XG変換、TO EL変換、FROM EL変換が選べます。

関連ページ
- XG変換機能(130ページ)
- TO EL変換機能(131ページ)
- FROM EL変換機能(132ページ)

⑱ 情報

USBフラッシュメモリーが選択されているときは空き容量(残量)を、ソングが選択されているときは容量や曲名、作曲者名などを表示します。表示される内容は、ソングによって異なります。

関連ページ

・ソング容量/USBフラッシュメモリーの残量の確認(132ページ)
・プロテクトソングの詳細表示(122ページ)

USBフラッシュメモリーが見つからないときは：

1 **上に ボタンがグレー表示になって押せなくなるまで、数回押します。**

USBフラッシュメモリーがリスト表示されます。表示されているUSBフラッシュメモリーが多い場合、画面外に隠れていることがあります。その場合は、スクロールボタン(108ページ ❸)を使って、隠れているUSBフラッシュメモリーを表示させます。

ソングが見つからないときは：

1 **現在の位置(108ページ ❶)を確認します。**

2 **目的のソングが、現在表示されているフォルダー内にある場合は、スクロールボタン(108ページ ❸)を使って隠れているソングを表示させます。目的のソングが別のフォルダー内にある場合は、上に ボタンや 中に ボタンを使って、目的のソングが入っているフォルダーに移動します。**

目的のソングがどこにあるかわからない場合は検索機能(113ページ)を使ってソングを探します。

NOTE

フォルダーを選択したときに、レジストレーションの初期化を促すメッセージが表示された場合は、[初期化]ボタンを押してください(USBフラッシュメモリーは初期化されません)。このメッセージはプロテクトソングを呼び出しているときに表示されます。

アイコン一覧

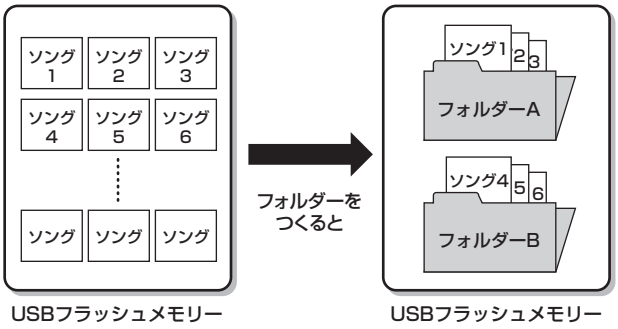
ソングを選ぶときに表示される画面で使われているアイコンです。それぞれのアイコンの意味は次のようになっています。

	USBフラッシュメモリーであることを示します。USBフラッシュメモリー /フォルダー /ソングリストで表示されます。
	フォルダーであることを示します。
	USBフラッシュメモリーにライトプロテクトまたはコピープロテクトがかかっていることを示します。
	演奏データが入っていることを示します。
	XGソングであることを示します。
	プロテクトソング(オリジナル)であることを示します。詳しくは121ページをご覧ください。
	プロテクトソング(編集)であることを示します。詳しくは121ページをご覧ください。

USBフラッシュメモリー内の構成：フォルダー /ソング/ファイル

フォルダーとは

フォルダーとは、USBフラッシュメモリー内のソングを整理するための保管場所です。容量の大きいUSBフラッシュメモリーには、数多くのソングを保存することができるので、多くのソングを保存した場合には、呼び出したいソングを探すのが大変になります。そこで、フォルダーをつくってソングを管理することで、USBフラッシュメモリー内のソングを管理しやすくします。



ソングとは

ソングとは、本来は「曲」という意味ですが、エレクトーンでは、USBフラッシュメモリーに保存する1曲分のデータのことをソングと呼びます。1つのソングには、レジストレーションデータや演奏を録音したデータなどがファイルとして保存されています。

ファイルとは

エレクトーンでは、ソングを構成するデータの一つ一つを「ファイル」と呼びます。つまり、一つのソングにはレジストレーション情報のファイル、演奏情報のファイルといった複数のファイルが入っているのです。MDR機能を使って保存されたソング内には、以下のファイルがあります。（拡張子とは、Windowsなどのコンピューターがファイル形式を識別するための識別子です。拡張子は、エレクトーンの画面上には表示されません。）

ソングに保存されるファイルの種類

保存されるファイル	ファイルの内容	拡張子
演奏データ	エレクトーンで録音した演奏が入っているファイルです。	.mid
レジストレーションなどのデータ	レジストレーションだけでなく、ユーザーボイスやユーザーリズム、リズムシーケンス、レジストレーションシフトなどのデータが含まれているファイルです。	.b00
XG変換後のデータ	演奏を録音したデータを、XG機器で再生できる形式に変換したファイルです。	.mid

このほかに、USBフラッシュメモリーにどんなファイルが入っているか、また、各フォルダーにどんなデータが入っているのかを管理するための管理ファイル(拡張子：.nam)があります。
管理ファイルは、各フォルダーに1つ、自動的に作成されます。（管理ファイルは、エレクトーンの画面上には表示されません。）

[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意

本機には以下のとおり、USBフラッシュメモリーを接続できる[USB TO DEVICE]端子が装備されています。

- 鍵盤の右側手前にある[USB TO DEVICE]端子×2個
- リアパネルにある[USB TO DEVICE]端子×1個

（合計3個）

NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

- USBフラッシュメモリー
- USB無線LANアダプター

上記以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。
動作確認済みUSB機器については、インターネット上のヤマハエレクトーンホームページで最新情報をご確認のうえ、ご購入ください。
http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/

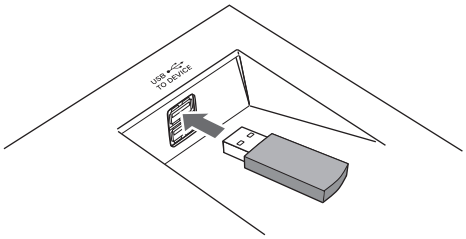
本機では、USB1.1～3.0の機器がご使用できますが、機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、データの種類や本機の状態により異なりますのでご了承ください。

NOTE

[USB TO DEVICE]端子の定格は、最大5V/500mAです。定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

■ USB機器の接続

[USB TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意してしっかりと差し込んでください。



注記

- **USB機器の抜き差しは、再生や録音中、ファイル操作中(保存/コピー /削除/フォーマットなど)、およびUSB機器へのアクセス中には行なわないでください。エレクトーン本体の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。**
- **USB機器の抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行なってください。**

NOTE

- USBフラッシュメモリー以外のUSB機器を接続する場合は、エレクトーン本体の背面にある[USB TO DEVICE]端子に接続してください。
- USBケーブルで接続する場合、3メートル未満のケーブルをご使用ください。
- [USB TO DEVEICE]端子と接続するUSB機器の間をケーブルなどで延長することはできません。

USBフラッシュメモリーの取り扱いについて

本機にUSBフラッシュメモリーを接続すると、エレクトーン本体で制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり、USBフラッシュメモリーのデータをエレクトーン本体で再生したりできます。

■ 接続できるUSBフラッシュメモリーの数

同時に使用できるUSBフラッシュメモリーは、3個までです。

■ USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーは本機でフォーマット(112ページ)することをおすすめします。他の機器でフォーマットしたUSBフラッシュメモリーは、本機で正しく動作しない場合があります。

注記

フォーマットを実行すると、そのUSBフラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なデータが入っていないことを確認してからフォーマットしてください。特に複数のUSBフラッシュメモリーを接続しているときは、ご注意ください。

■ USBフラッシュメモリー接続時に電源を切るには

電源を切る場合は、再生/録音やファイル操作(保存/コピー/削除/フォーマットなど)によるUSBフラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。

USBフラッシュメモリーを初期化(フォーマット)する

新しいUSBフラッシュメモリーは、そのままでは使えない場合があります。この場合、USBフラッシュメモリーをフォーマット(初期化)する必要があります。
フォーマットとは、USBフラッシュメモリーをエレクトーンで使用できる形式にする作業です。
フォーマットを実行すると、USBフラッシュメモリーの中のすべてのデータは消去され、新たにデータが記録できる状態になります。消去されたデータは永久に失われてしまいます。フォーマットを実行する前に、重要なデータが入っていないかどうかよくご確認ください。誤消去を防ぐため、フォーマットを実行するUSBフラッシュメモリーのみ接続することをおすすめします。

NOTE

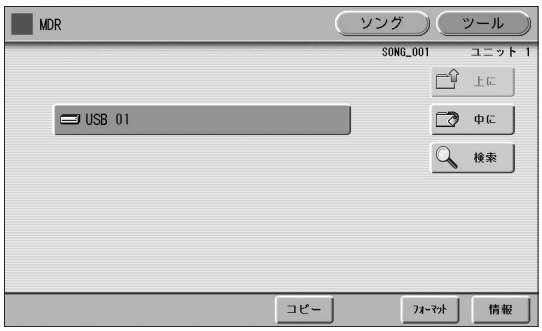
USBフラッシュメモリーは「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください。
インターネット上のピアノ・鍵盤楽器お客様サポートページ <http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>に掲載されている「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください。それ以外のものを使うと、データの保存/呼び出しができない場合があります。また、ご使用前に111ページの注意事項をお読みください。

1 USBフラッシュメモリーの向きを間違えないようにして、[USB TO DEVICE]端子にしっかり接続します。

2 画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

3 上に ボタンが、グレー表示になるまで数回押します。

4 フォーマットしたいUSBフラッシュメモリーを選びます。



接続しているUSBフラッシュメモリーの数によってUSB 01、USB 02などと表示されます。

5 [フォーマット]ボタンを押します。

画面に「フォーマットしますか?」というメッセージが表示されます。[フォーマット]を選ぶとフォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると画面が手順4の表示に戻ります。[キャンセル]を押すとフォーマットせずに手順4の画面に戻ります。

注記

フォーマット中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。

ソングを選ぶ

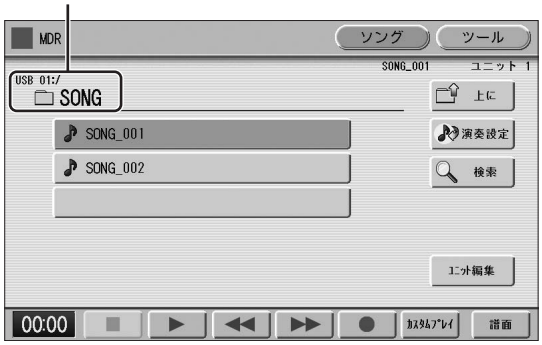
演奏データやレジストレーションデータを保存するときには、何も記録されていないソングを選びます。ソングを再生したり、ソングに名前を付けたりするときには、データが保存されているソングを選びます。

MDR画面には、現在選ばれているUSBフラッシュメモリー/フォルダー内のソングが表示されています。表示されているソングの中から、目的のソングを選びます。

1 USBフラッシュメモリーを確認します。

画面左上に目的のUSBフラッシュメモリーが表示されていることを確認します。

現在選ばれているUSBフラッシュメモリー/フォルダー



注記

アクセス中はUSBフラッシュメモリーを抜かないでください。(ランプ付きのUSBフラッシュメモリーの場合、アクセス中はランプが点滅します。)

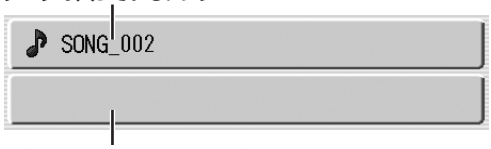
目的のUSBフラッシュメモリーが表示されていない場合は、109ページの「USBフラッシュメモリーが見つからないときは」で目的のUSBフラッシュメモリーを選んでください。

2 選択したいソングのボタンを押します。

これからデータを録音したい場合は、何も書いてない(データの入っていない)ソングのボタンを押します。ソングのボタンがオレンジ色に変わり、選択できたことを示します。

すでにデータの入っているソングを選んで再生したい場合は、ソング名やアイコンを参考にして、目的のソングのボタンを押します。

データの入っているソング



データの入っていないソング

関連ページ

- ソングに名前をつける(117ページ)
- アイコン一覧(109ページ)

ソングの演奏設定

演奏設定ページは、ソングページでソングを選択後、演奏設定 ボタンを押して表示させます。ここでは、選択したソングの再生テンポ、各パートの再生設定が可能です。



[►](再生)ボタンを押したときには、この画面で「PLAY」になっているパートだけが、表示されているテンポ(録音されたときの50%~200%の範囲)で再生されます。

演奏データの入っていないソングの場合は、すべてのパートが「OFF」になっています。[パート保存]ボタンを押すと、各パートの再生状態を保存できます。(テンポの値は保存されません。)

関連ページ

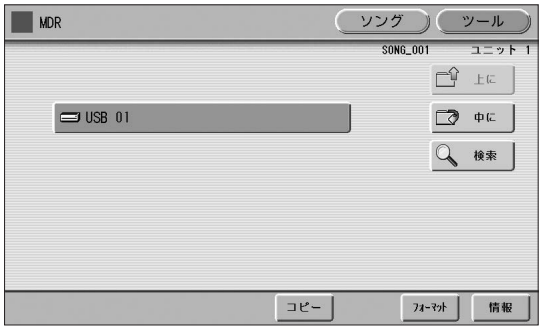
- 特定のパートだけを再生する(123ページ)
- 再生テンポを変更する(124ページ)

ソング検索

検索機能を使って目的のソングやフォルダーを探します。

1 検索したいソングやフォルダーが入っているUSBフラッシュメモリーをエレクトーンに挿入します。

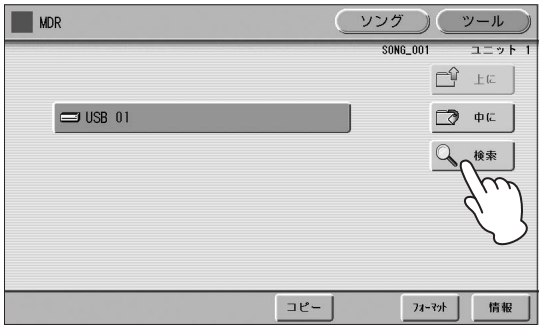
2 検索したいソングやフォルダーが入っているUSBフラッシュメモリーを選びます。



NOTE

ソングやフォルダーの選択状態にかかわらず、検索はUSBフラッシュメモリー全体に対してかけられます。

3 画面の[検索]ボタンを押します。



NOTE

前回検索した結果が表示されます。ただし、以下の場合は表示されません。

- 電源を入れ直した場合
- USBフラッシュメモリーを抜いて差し直した場合
- USBフラッシュメモリーに書き込んだ場合

4 画面の[キーワード]ボタンを押します。





5 検索したいソング名/フォルダー名を入力します。

必要に応じ、前回検索したキーワードを[削除]ボタンで削除します。そのあとで、今回検索したいソング名/フォルダー名を入力します。

文字入力については117ページをご覧ください。

NOTE

- 検索では、大文字と小文字、全角と半角、カタカナとひらがなは同じ文字として扱われます。
- XGソングを検索する場合は「.mid」の拡張子を除いたファイル名だけを入力します。

6 [OK]ボタンを押します。

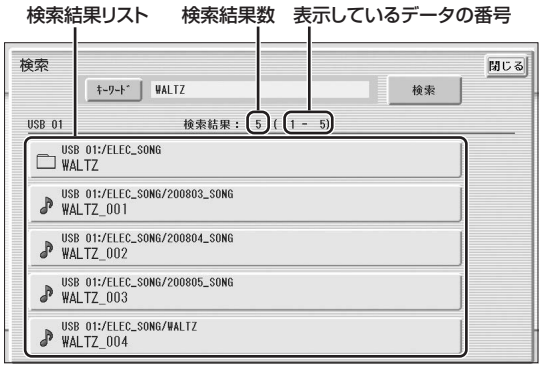
検索が実行され、実行中の結果が表示されます。



実行を中断する場合は[中断]ボタンを押します。

7 検索結果を確認します。

画面に検索結果が表示されます。



8 検索結果から目的のソング/フォルダーのボタンを押します。

自動的に検索画面が閉じ、ソング/フォルダーが選ばれます。

目的のソング/フォルダーが選ばれなかった場合は手順4に戻り、別のソング名/フォルダー名で検索してみてください。

演奏を録音する

演奏を録音する

演奏を録音する前に、あらかじめ、レジストレーションメモリーの設定など、録音したい曲の演奏の準備をしておきましょう。

注記
録音中は、絶対に電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。

1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。

2 演奏を録音するソングを選択します。

データの入っていないソングを選びます。ソングの選択については、113ページをご覧ください。
データの入っているソングに上書きしたい場合は、130ページ「ソングの削除」で、あらかじめ上書きしたいソングを削除しておいてください。

3 右上の[ソング]ボタンを押してソングページを表示させ、画面の[●](録音)ボタンを押します。

下の画面が表示され、録音待機状態になります。



NOTE
録音開始前に「メディアの空き容量が不足しているため、録音ができない可能性があります。録音しますか？」というメッセージが表示された場合は、[キャンセル]ボタンを押したあと、不要なソングを削除するか、新しいUSBフラッシュメモリーを挿入してください。
空き容量が少なくても、そのまま録音を続行する場合は[録音続行]ボタンを押します。

4 画面の[►](再生)ボタンを押します。

画面左下に砂時計が表示され、レジストレーションデータの保存中であることを示します。

NOTE
現在のユニット番号にかかわらず、録音によって演奏以外のデータはソングの先頭のユニットに記録されます。したがって、先頭のユニット以外のユニットが本体に読み込まれているときに [●](録音)ボタンを押すと、先頭のユニットに記録してよいかどうかの確認ダイアログが表示されます。[OK]を押せばダイアログを閉じて録音待機状態になり、[キャンセル]を押せば録音状態から抜けます。

5 砂時計の表示が消えたことを確認してから、演奏を開始します。

6 演奏が終わったら、画面の[■](停止)ボタンを押します。

録音を終了し、演奏データをUSBフラッシュメモリーに書き込むと、MDR画面に戻ります。録音したソングには、「SONG_XXX (XXXには数字が入ります)」と表示され、そのソングにデータが録音されたことを示します。録音したソングには、名前をつける(変更する)ことができます。ソング名の変更については、117ページをご覧ください。

注記
砂時計や書き込み中のメッセージが表示されている間は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。

演奏をやり直す

録音中に演奏をミスした場合には、はじめからやり直すことができます。

1 録音中に、画面の[●](録音)ボタンを押します。



2 [►](再生)ボタンまたは[カスタムプレイ]ボタンを押します。

ふたたび録音が開始します。前もって録音されたデータは、すべて新しいデータに置き換わります。

NOTE
[■](停止)ボタンを押した録音後に、録音をやり直す場合は、演奏データのみを削除し、レジストレーションデータを読み込みなおしてから再度、演奏の録音をお試しください。

パートごとに録音する

上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の、それぞれのパートの演奏や、レジストレーションの変更やエクスプレッションペダルの操作といったコントロールデータを、個別に記録することができます。また、リードボイス1とキーボードパーカッション1は、上鍵盤/下鍵盤の演奏と独立して録音することもできます。ここでは、はじめに下鍵盤とペダル鍵盤の演奏を録音し、次に上鍵盤の演奏を録音する手順を例に説明します。

NOTE
リードボイス2とキーボードパーカッション2は、パートの録音ができません。

1 115ページ「演奏を録音する」の手順1～3の操作を行ないます。

2 録音したいパートを選択します。

各パートボタンを押すたびに、そのパートのPLAY/OFF/RECが切り替わります。
録音したいパートを「REC」にし、録音したくないパートを「OFF」または「PLAY」にします。

- **PLAY：**すでに録音してあるパートを再生します。
- **OFF：**録音や再生を行ないません。
- **REC：**録音します。

上鍵盤をRECにすると、上鍵盤のボイスセクション(リードボイス1も含む)の演奏が録音されますが、リードをRECにすると、リードボイス1の演奏だけを録音することもできます(リード分離)。上鍵盤とリードを同時にRECにすることはできません。下鍵盤とキーボードパーカッションも同様です。

NOTE
キーボードパーカッションを録音する場合は、パネル上のKEYBOARD PERCUSSION [1]ボタンがオンになっていることを確認してください。

下のように設定すると、下鍵盤とペダル鍵盤の演奏だけをパート録音できます。



NOTE
演奏中のレジストレーションの変更やエクスプレッションペダルの操作も一緒に録音するために、コントロールも「REC」に設定しておくことをおすすめします。

3 画面の[►](再生)ボタンを押し、砂時計の表示が消えたら演奏を開始します。

4 (下鍵盤とペダル鍵盤の)演奏が終了したら、画面の[■](停止)ボタンを押します。

これで(下鍵盤とペダル鍵盤の)パート録音ができました。

次に、録音しなかった(上鍵盤)パートの録音を行ないます。

5 画面の[●](録音)ボタンを押します。

上書きするかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。[上書き]を選ぶと、録音待機中の画面が表示されます。

6 録音したいパートを選択します。

新たに録音したいパート(ここでは上鍵盤)を「REC」にします。また、手順2で録音したパート(ここでは下鍵盤とペダル鍵盤)とコントロールを「PLAY」にすると、さきほど録音したデータが再生され、再生音を聞きながらほかのパートを録音できます。

7 選択されているパートの再生テンポを変更する場合は、以下の範囲で設定します。

再生テンポは50%～200%の範囲で設定できます。ソングに入っているもとのテンポが100%で表示され、それよりも大きい数値にすると速く、小さい数値にすると遅くなります。

NOTE
一度変更したテンポをもとの状態(100%)に戻すには、テンポ表示の下にある[リセット]ボタンを押します。

8 手順6で選んだパートを録音するために、画面の[カスタムプレイ]ボタンを押します。

すでに録音したパート(下鍵盤とペダル鍵盤)の再生が始まりますので、それにあわせて手順6で選んだパート(上鍵盤)の演奏を始めます。
[カスタムプレイ]ボタンは、レジストレーションデータ以外のデータを録音/再生する場合に使います。レジストレーションデータは手順3ですでに記録されていますので、すぐに録音できる状態になります。

前回録音したソングの最後まで行くと、録音は自動的にストップします。重ねて録音するパートの長さは、その前に録音したパートの長さ以上にはなりません。

パンチイン録音

録音したソングの一部だけを録音し直すことができます。パートを選択することによって、特定のパートだけをパンチイン録音することもできます。

NOTE
休符と休符ではさまれたフレーズごとに、パンチイン録音すると便利です。

1 **パンチイン録音したいソングを選びます。**
ソングの選択については、113ページをご覧ください。

2 **[▶](再生)ボタンを押して、ソングを再生します。**

3 **録音し直したい位置で、[❚❚](一時停止)ボタンを押します。**
ソングが一時停止状態になります。

4 **[●](録音)ボタンを押します。**
録音画面が表示され、録音待機状態になったことを示します。

5 **録音をやり直したいパートを「REC」に設定し、それ以外のパートは「PLAY」に設定します。**

6 **[▶](再生)ボタンを押して録音を開始します。変更したい部分だけを演奏します。**

7 **録音し直したい部分の演奏が終わったら、速やかに[■](停止)ボタンを押して録音を終了します。**

ソングに名前をつける

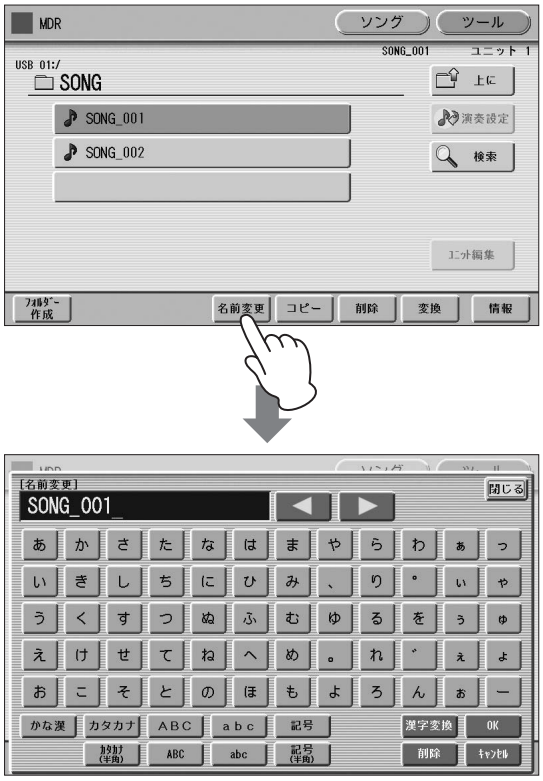
演奏やレジストレーションを録音したソングに名前を付けることができます。曲名や、録音した日付などをソング名にしておくと便利です。ただし、EL-900などのELシリーズで作成したソングの名前を変更することはできません。

NOTE
XGソングのソング名をつける場合、拡張子(.mid)は変更できません。

1 **名前を変更したいソングを選びます。**
ソングの選択については、113ページをご覧ください。

2 **画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。**

3 **画面の[名前変更]ボタンを押します。**
以下の文字入力画面が表示されます。



4 **[◀][▶]ボタンまたはデータコントロールダイアルを使って、文字を入力したい位置にカーソルを移動します。**



5 文字種選択のボタンで、入力したい文字種を選びます。



NOTE

言語設定(18ページ)を「ENGLISH」(英語)にしている場合、ひらがなやカタカナは入力できません。

6 入力したい文字を押します。

最大で25文字(半角文字の場合は50文字)まで入力することができます。文字種を「かな漢」にしているときは、漢字変換もできます。漢字変換については右コラムをご覧ください。

NOTE

XGソングのソング名は最大で全角23文字です。

7 名前を決めたら[OK]ボタンを押して名前を確定します。

文字入力画面が閉じ、ツールページの表示に戻ります。



入力した文字を削除するには：

1 削除したい文字にカーソルを移動します。



2 画面右下の[削除]ボタンを押します。

カーソルの位置にある文字が一文字だけ削除されます。



漢字変換をするには：

1 入力した文字列が反転表示されているときに[漢字変換]ボタンを押します。

反転表示の範囲が漢字に変換されます。候補の漢字が出てこない場合は、[漢字変換]ボタンを何度か押すと、次の候補が表示されます。

- 文節(反転表示の範囲)を変えたいときは、[◀][▶]ボタンまたはデータコントロールダイアルを使います。
- 反転表示の文字をすべて一度に消したいときは、[キャンセル]ボタンを押します。

2 [OK]ボタンを押すか、次の文字を入力すると、漢字が確定します。漢字に変換された文字列をひらがなに戻したいときは、[削除]ボタンを押します。

ソング名やフォルダー名をつけて[OK]ボタンを押すと、「入力されたファイル名は使用できません」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、別の名前を入力し直してください。

NOTE

ソングの表示順序は、記号→数字→アルファベット→カナ/かな→漢字/その他の記号の順に並びます。
ただし、先頭1文字目の半角*(アスタリスク)はその対象になりません。

また、コンピューターでファイル名やフォルダー名を編集するときには、以下のファイル名やフォルダー名は使用しないでください。エレクトーンの動作が不安定になったり、ファイルやフォルダーが自動的に削除されたりします(xxには数字が入ります)。

MDR_xx.EVT
MDR_xx.MID
MDR_xx.Bxx
MDR_xx.Vxx
SONG.NAM
ELS_SONG.NAM
MDR_xxx.MID
REG_xxx.B00
SONG_xxx
MDR_xxx.TMP
REG_xxx.TMP
ELS_SONG.TMP
SONG_xxx.C02
TMP
TMP.E02

レジストレーションなどをユニットに保存する

演奏データを録音せずに、レジストレーションメモリーなどのデータだけを、以下のとおりユニットに保存できます(99ページ)。

- レジストレーションメモリー関連データ(レジストレーションシフト設定を含む)
- ユーザーボイスデータ
- キーボードパーカッションデータ
- ユーザーリズムデータ
- リズムシーケンスデータ

1 レジストレーションメモリーなど作成したデータを保存するための、空のソングを選択します。

ソングの選択については、113ページをご覧ください。

2 画面右下の[ユニット編集]ボタンを押します。

ユニット編集画面が表示されます。

3 [保存]ボタンを押します。

データが保存中であることを示すメッセージが、画面上に表示されます。メッセージが消えたあと、[閉じる]ボタンを押すとソングページに戻り、ソング名が「SONG_XXX」になります(XXXには数字が入ります)。

1つのソングに複数のユニットを作る

1つのソングで5バンク(=1ユニット)を超えるレジストレーションを使用したい場合、1つのソングに複数のユニットを作って保存することができます。ここでは、ソングに新たなユニットを追加する方法を説明します。

関連ページ
- ネクストユニット(101ページ)
- レジストレーションシーケンス(173ページ)

1 作成したレジストレーションを保存するソングを選択します。

すでにレジストレーションが保存されているソングを選択します。ソングの選択については、113ページをご覧ください。

2 画面右下の[ユニット編集]ボタンを押します。

ユニット編集画面が表示されます。画面内には、あらかじめ保存されているレジストレーションが、ユニットとして(ユニット1、ユニット2、など)表示されています。

3 表示されているユニットの一番下にある、空白のボタンを押します。



4 [保存]ボタンを押します。

以上の操作により、あらかじめ保存されていたユニットの下に、新しくユニットが追加され保存されます。

NOTE

上記操作だけでは、新しく作られたユニットがソング再生などで呼び出されることはありません。ユニット編集画面上でレジストレーションユニットの順番(120ページ)を設定した上で、レジストレーションシフト(100ページ)やレジストレーションシーケンス(173ページ)でのネクストユニット設定を行なうことにより、複数のユニットが呼び出されることになります。ただし、現在のユニットと次のユニットとでユーザーボイスデータが異なると、ネクストユニットでユニットを切替時に発音できない時間が生じることがあります。

レジストレーションデータを任意のユニットに上書き保存する

演奏データを変えることなく、録音されているソングのレジストレーションデータだけをユニット単位で差し替え、保存ができます。

1 演奏データの入っているソングを選択します。

ソングの選択については、113ページをご覧ください。

2 ソングページの[ユニット編集]ボタンを押します。

ユニット編集画面が表示されます。画面内にはソングに保存されているレジストレーションが、ユニットとして表示されます。

3 上書きしたいユニットのボタンを押します。

4 [保存]ボタンを押します。

「上書きしますか？」と確認を求めるメッセージが表示されます。[上書き]を選ぶと、ユニットが上書きされます。

NOTE

以下の方法で、レジストレーションなどのデータだけを記録することもできます。

1. 記録させたいソングナンバーを選択します。
2. [●](録音)ボタンを押して、録音を待機状態にします。
3. [▶](再生)ボタンを押して、鍵盤を弾かずに[■](停止)ボタンを押します。

レジストレーションユニットの順番を変更する

1つのソング内に複数のユニットを作った場合に、それらをレジストレーションシフト(101ページ)やレジストレーションシーケンス(174ページ)のネクストユニット設定で順次呼び出せるよう、ユニット編集画面上で順番を設定しておきます。

NOTE

ここで順番設定された最初のレジストレーションユニットが、ソング再生時の最初に呼び出されるユニットになります。

1 ソングページで、レジストレーションユニットが複数あるソングを選択します。

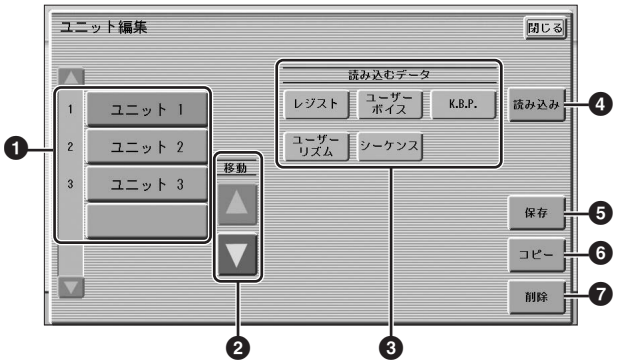
ソングの選択については113ページをご覧ください。

2 [ユニット編集]ボタンを押して、ユニット編集画面を表示させます。



3 レジストレーションユニットを呼び出したい順番に並べます。

画面左側にあるレジストレーションユニットリスト(❶) の中から、順番を移動させたいユニットを選び、移動 ▲ ▼ ボタン(❷)を使って、ユニットの順番を設定します。



❶ レジストレーションユニットリスト

現在のソングに含まれるレジストレーションユニットの一覧です。ユニットが5つ以上ある場合は、画面左の上下のスクロールボタン ▲ ▼ で表示をスクロールさせます。選択中のユニットはオレンジ色になります。

❷ 移動ボタン

❶で選択されているレジストレーションユニットを、1つずつ上または下へ移動します。

❸ 読み込むデータ

❶で選択されているレジストレーションユニットのデータを呼び出すときに、呼び出したいデータだけをオンにします。121ページをご覧ください。

❹ 読み込み

❶で選択されているレジストレーションユニットのデータを、❸で設定された条件に従って呼び出します。

❺ 保存

本体上で記録されているレジストレーションデータを、❶で現在選択されているユニットに保存します。

❻ コピー

❶で選択されているユニットの複製が作られ、レジストレーションユニットリスト(❶)の一番下に追加されます。

❼ 削除

❶で選択されているユニットを削除します。

4 画面右上の[閉じる]ボタンを押して、ユニット編集画面を閉じます。

レジストレーションなどのデータを読み込む

ソングに記録されたレジストレーションなどのデータは、簡単にエレクトーンに読み込むことができます。また、レジストレーションに含まれている以下の5つの情報を、個別に読み込むこともできます。

- **レジスト：**レジストレーション(レジストレーションメモリーに保存されている情報)
- **ユーザーボイス：**ユーザーボイス
- **K.B.P.：**キーボードパーカッション
- **ユーザーリズム：**ユーザーリズム
- **シーケンス：**リズムシーケンス

1 USBフラッシュメモリーを挿入し、読み込みたいデータが入っているソングを選択します。

ソングの選択については、113ページをご覧ください。

2 ソングページの[ユニット編集]ボタンを押します。

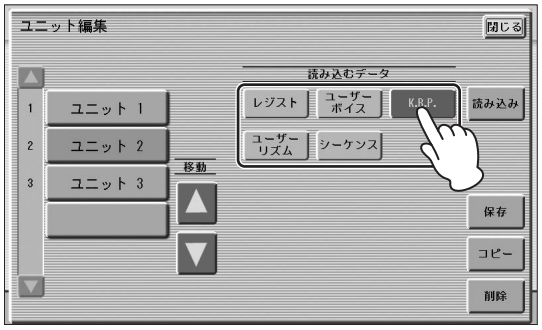
ユニット編集画面が表示されます。

3 読み込みたいユニットを選択します。



4 読み込むデータの5つのボタンで、読み込みたいデータをオンにし、読み込みたくないデータをオフにします。

通常は、すべてオンにしておきます。



NOTE

ネクストユニット機能を使ってレジストレーションを読み込む場合は、ここでの設定に関係なくすべてのデータが読み込まれます。

5 [読み込み]ボタンを押します。

「読み込みますか？」というメッセージが表示されます。[読み込み]ボタンを押すと、手順4で選んだデータが読み込まれます。
[キャンセル]ボタンを押すと、データを読み込まずに手順4の画面に戻ります。

NOTE

リズムの再生中にレジストレーションを読み込むと、シーケンスデータやユーザーリズムは読み込まれません。

6 画面右上の[閉じる]ボタンを押して、ユニット編集画面を閉じます。

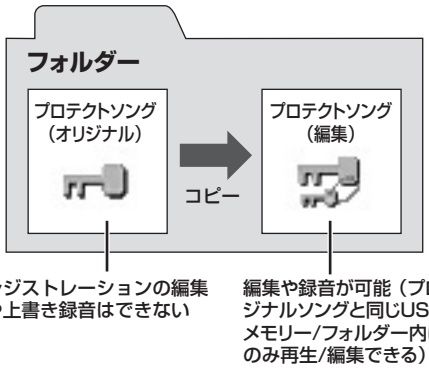
プロテクトソングの選択中は、読み込むデータのボタンが使用できない場合があります(ボタンがグレーアウトされて、選べなくなります)。これは、プロテクトソングの著作権を保護するためです。たとえば、プロテクトソングの一部分だけを別のソングに読み込んで別のソングとして保存することはできません。

プロテクトソングについて

市販のソングデータの中には、誤消去防止、または著作権保護のため、上書きやコピーができないようにプロテクトがかけられているものがあります。このようなソングデータのことを「プロテクトソング」といいます。プロテクトソングは、動作確認済みのID付きUSBフラッシュメモリーに保存できます。
プロテクトソングも、自分で作成したソングと同じように再生することができますが、XG変換やTO EL変換はできません。また、プロテクトソングのレジストレーションを編集したり、上書き録音したりすることもできません。
プロテクトソングのレジストレーションを自分で変更したり、プロテクトソングのレジストレーションを使って演奏を録音したりするには、プロテクトソングを同じUSBフラッシュメモリー /フォルダー内にコピーして、コピーしたソングを編集します(別のUSBフラッシュメモリーや別のフォルダーにはコピーできません)。こうしてプロテクトソングをコピーした場合、もとのプロテクトソング(プロテクトオリジナルソング)を削除すると、コピーしたプロテクトソング(プロテクト編集ソング)も使用できなくなりますので、プロテクトオリジナルソングを削除してしまわないようご注意ください。

注記

プロテクトソングを編集する場合、レジストレーションを初期化(99ページ)してから、編集したいソングを選んでください。この操作を行なわないと、編集後のソングが保存できない場合があります。



注記

プロテクトソングをコンピューター上で直接コピー /移動すると再生できなくなります。
コンピューター上でプロテクトソングを移動する場合は、必ずミュージックソフトダウンローダーをお使いください。ミュージックソフトダウンローダーについては、インターネット上のヤマハダウンロード<http://download.yamaha.com/jp/>をご覧ください。

プロテクトソングの詳細表示

ELS-02シリーズ用の市販データについて、作曲者や編曲者などの情報を、画面上で確認できます。この機能を使うときは、言語設定を[日本語]にしておいてください。

関連ページ

• 画面に表示させる言語を選ぶ(18ページ)

NOTE

EL-900などの市販データをFROM EL変換したソングについては、情報は表示されません。

1 MDR画面のツールページで、情報を確認したいプロテクトソングを選びます。

プロテクトオリジナルソングを選んでください。プロテクト編集ソングを選んだ場合は、情報は表示されません。ソングの選択については113ページをご覧ください。

2 [情報]ボタンを押します。

画面上に曲名や作曲者名などの情報が表示されます。表示される内容は、ソングによって異なります。
[次へ]ボタンを押すと、さらに情報を見ることができます。















3 [OK]ボタンを押して、情報表示を閉じます。

ソングを再生する

MDRで録音したソングの再生方法を説明します。MDRでは市販のソングデータも再生できるので、合わせて説明します。

1 **再生させたいソングを選択します。**
ソングの選択については113ページをご覧ください。

2 **画面上の[►](再生)ボタンを押して再生を開始します。**

- **ソングにレジストレーションデータだけがある場合(演奏データがない場合)：**
演奏データの入っていない、レジストレーションデータだけを記録したソング(画面上のアイコンに音符マークが無いソング)もあります。このようなソングを再生させた場合、画面上に砂時計が表示されてレジストレーションデータが読み込まれたあと、ソング画面に戻ります。
- **ソングにレジストレーションデータ、演奏データの両方がある場合：**
画面上に砂時計が表示されてレジストレーションデータが読み込まれたあと、ソングの演奏が始まります。
- **ソングに演奏データだけがある場合：**
すぐにソングの演奏が始まります。

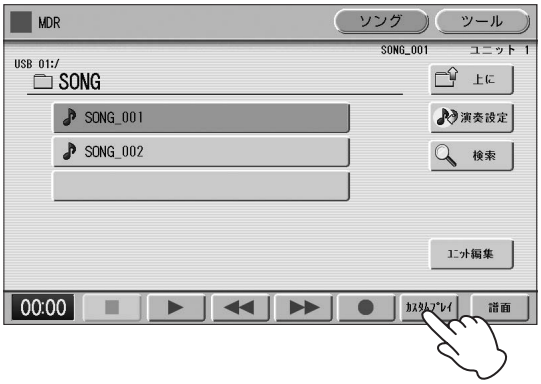
3 **再生を止めたい場合は、画面上の[■](停止)ボタンを押します。**
曲の最後まで来ると再生は自動的に止まりますが、途中で止めたい場合は[■](停止)ボタンを押します。

NOTE

- 複数のレジストレーションユニットがあるソングを再生させた場合、ユニット編集画面で一番上に設定されたユニットが読み込まれます。
- 市販のXGソングなど、エレクトーン以外で作られたソングにレジストレーションデータは含まれていません。

カスタムプレイ

レジストレーションやほかのデータを読み込まないで、演奏データだけを再生したい場合は、[►](再生)ボタンの代わりに[カスタムプレイ]ボタンを押します。すぐに再生がスタートします。



ネクストユニット機能を使った曲を再生する場合には、[カスタムプレイ]ではなく[►](再生)ボタンで再生をスタートさせてください。

特定のパートだけを再生する

MDRでは、演奏データの特定のパートだけを再生することもできます。特定のパートの練習をする場合などに便利です。

特定のパートだけを再生するには：

ソングの再生中や演奏設定画面で、画面の各パートボタンを押して、再生したいパートを「PLAY」、再生したくないパートを「OFF」に設定します。各パートボタンを押すたびに、そのパートのPLAY/OFFが切り替わります。[パート保存]ボタンを押すと、各パートの再生状態を保存できます。

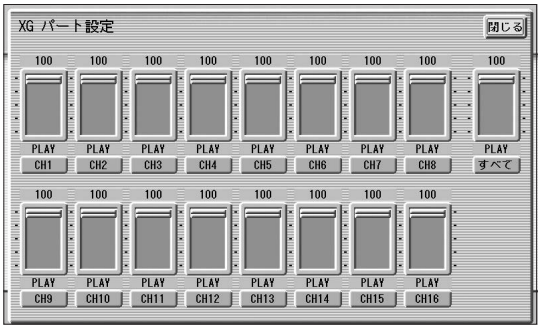
関連ページ
・ソングの演奏設定(113ページ)



XGソングデータで特定のパートだけを再生するには：

XGソングデータの再生中に、パート[XG]ボタンを押します。下のXGパート設定画面が表示されます。

関連ページ
・XG変換機能(130ページ)



チャンネルボタン([CH1]など)を押して、各チャンネルの再生/ミュートを切り替えます。
ボタンを押すたびに、PLAY/OFFが切り替わります。再生したいパートを「PLAY」に、再生したくないパートを「OFF」に設定します。
[すべて]ボタンを押すと、すべてのチャンネルのPLAY/OFFを一括して切り替えます。

スライダーを使って、各チャンネルの音量バランスを設定できます。チャンネルごとのボリュームを0～100の範囲で調節します。
[すべて]のスライダーでは、ソング全体のボリュームを調節します。

早送り/早戻し/一時停止

再生中に、早送りや早戻し、一時停止などができます。

早送り/早戻しをするには：

画面上の[►►](早送り)または[◄◄](早戻し)ボタンを押したままにします。再生は中断され、画面の時間表示も、早送り/早戻しに従って変化します。
ボタンを押さえるのをやめても、再生は中断されたままです。早送り/早戻しをしたところから再生をスタートするには、[►](再生)ボタンまたは[カスタムプレイ]ボタンを押してください。

一時停止するには：

再生中に、画面上の[❚❚](一時停止)ボタンを押すと、ソングを一時停止します。
[►](再生)または[カスタムプレイ]ボタンを押すと、一時停止したところから再生がスタートします。

再生テンポを変更する

USBフラッシュメモリーに録音されているデータを再生する場合には、パネル上のTEMPO (テンポ)ボタンではテンポ変更できません。ソングの再生テンポは、MDR画面で変更します。ソングの再生中でも停止中でも、テンポを変更できます。

NOTE
♪マークが付いているソングデータ(演奏が録音されているソングデータ)のみ、再生中のテンポを変更できます。

テンポを変更するには：

画面のテンポ [▲] [▼] ボタンやデータコントロールダイアルで、再生テンポを変更できます。50%～200%の範囲で設定できます。ソングに入っているもとのテンポが100%で表示され、それよりも大きい数値にすると速く、小さい数値にすると遅くなります。



変更したテンポをもとに戻すには：

一度変更したテンポをもとの状態(100%)に戻すには、テンポ表示の下にあるテンポ[リセット]ボタンを押します。



リピート再生する

特定の曲だけを繰り返し再生したり、同じフォルダーに録音されている全部の曲を繰り返し再生することができます。

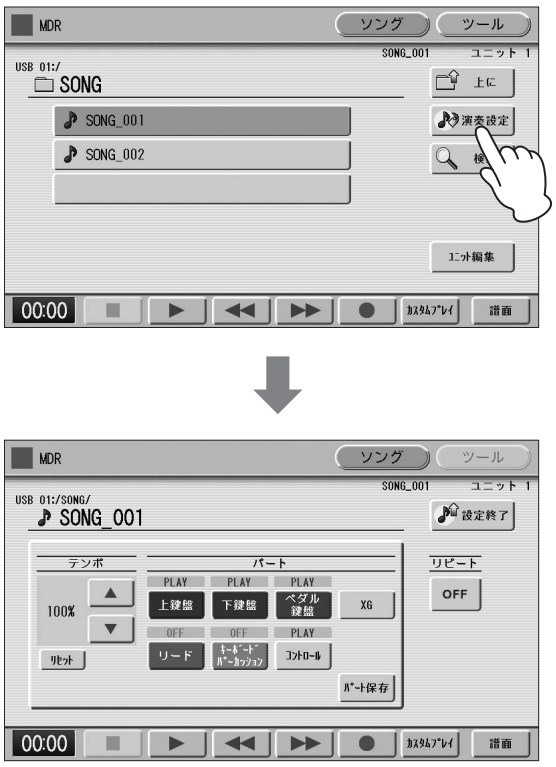
1 リピート再生したいソングを選択します。

フォルダー内の全曲をリピート再生したい場合は、1曲目に再生したい曲を選択します。ソングの選択については113ページをご覧ください。

2 画面右上の[ソング]ボタンを押して、ソングページを表示させます。

3 画面上の 演奏設定 ボタンを押します。

演奏設定画面が表示されます。



4 リピートボタンを押して、リピート再生の方法を選択します。

ボタンを押すたびにリピート再生の方法が変わります。



SINGLE (シングル)
現在選ばれている曲を繰り返し再生します。

ALL (すべて)
現在選ばれているフォルダー内のすべての曲を、順番に繰り返し再生します。

RANDOM (ランダム)
現在選ばれているフォルダー内のすべての曲を、任意の順番で繰り返し再生します。

OFF (停止)
リピート再生しません。

5 画面右上の 設定終了 ボタンを押して、画面を閉じます。

6 [▶](再生)ボタンを押すと、上で選んだ方法でリピート再生がスタートします。

譜面を表示する

USBフラッシュメモリーに録音されている演奏データの譜面を表示することができます。また、表示する譜面サイズや内容を変更することもできます。ソングを再生すると、演奏箇所に合わせてカーソルが移動し、自動的に譜めくりされます。

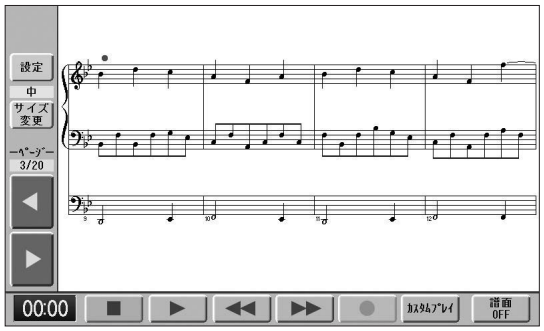
1 演奏データの入っているソングを選択します。

ソングの選択については、113ページをご覧ください。

2 画面の[譜面]ボタンを押します。

現在選択されているソングの譜面が表示されます。





NOTE

一部の譜面表示の許諾があるものを除き、プロテクトソングでは譜面が表示されません。

3 画面の[►](再生)ボタンを押してソングを再生します。

演奏箇所に合わせてカーソルが移動し、自動的に譜めくりされます。

画面の[●](録音)ボタンを押して譜面を表示したまま録音することもできます。

画面の[サイズ変更]ボタンを押して譜面サイズを変更することもできます。[サイズ変更]ボタンを押すたびに中→大→特大→小と変化し、さらに押すと中に戻ります。
ただし、録音中は譜面サイズを変更できません。

NOTE

変更した譜面サイズはレジストレーションメモリーに記録しておくことはできません。

4 譜面を手でめくるには、ソングの再生を停止または一時停止し、画面のページ[◄]または[►]ボタンを押します。

前のページまたは次のページを表示することができます。また、ページ[►]ボタンは左フットスイッチに割り当てることができます。

5 譜面を閉じるには、画面の[譜面OFF]ボタンを押します。

譜面の表示内容や設定を変更する

譜面に表示する内容を選んだり、表示/非表示を切り替えたりできます。また、左フットスイッチに譜めくりの機能を割り当てることができます。

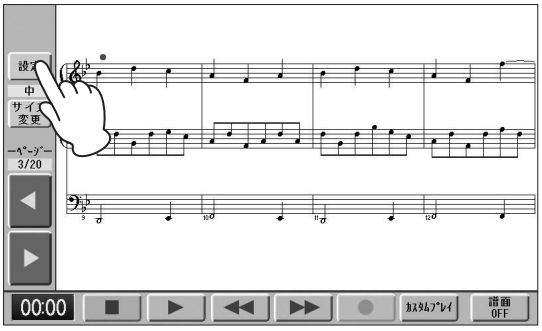
1 譜面を表示します。

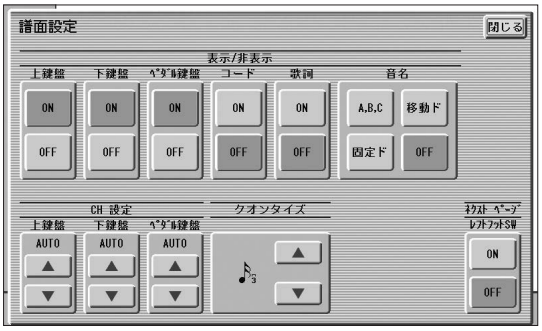
2 画面の[設定]ボタンを押します。

譜面設定画面が表示されます。

NOTE

ソングの録音中は譜面設定を変更することができません。[設定]ボタンは押せなくなります。





3 譜面に表示する内容を変更します。

[ON]または[OFF]ボタンで各パートの表示／非表示を選べます。ただし、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤のうち、少なくとも1つが自動的に[ON]になります。

音名は、[OFF]、[A, B, C]、[固定ド]、[移動ド]から選べます。

CH設定は、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤に割り当てるチャンネルを[▲]または[▼]ボタンを使って選べます。また、[▲]または[▼]ボタンを押したあと、データコントロールダイアルを回して選ぶこともできます。
[AUTO]を選ぶと、曲に応じて自動的にチャンネルが割り当てられます。

クオンタイズは、[▲]または[▼]ボタンを使って選べます。また、[▲]または[▼]ボタンを押したあと、データコンロールダイアルを回して選ぶこともできます。
細かい音符を選ぶほど、譜面表示が正確になります。

ネクストページレフトフットSWを[ON]にすると、左フットスイッチで次のページへ譜めくりできます。譜面表示中に画面のページ[▶]ボタンを押すのと同じです。
左フットスイッチにリズム、グライド、ロータリースピーカーの機能を割り当てている場合は、この設定がオンのときに左フットスイッチを押すと、割り当てられている機能と譜めくりの両方が有効になります。

NOTE

- 譜面表示についての設定はレジストレーションメモリーに記録しておくことはできません。ただし、ページめくり(左フットスイッチ)のオン/オフは、すべてのレジストレーションナンバー共通のレジストレーションデータとして、ユニット内に保存されます。
- 音名を[移動ド]にすると、各調の主音がドとして表示されます。

関連ページ
- クオンタイズについて(154ページ)

4 変更が終わったら、画面の[閉じる]ボタンを押して譜面設定画面を閉じます。

その他の機能(ツール)を使う

ソングをコピーしたり削除したり、あるいはソングの容量を確認したりなどさまざまな機能があります。MDR画面のツールページで設定します。

ソングコピー

1つのソングをコピーしたり、ソングが入ったフォルダーごとコピーしたりする機能です。
同じUSBフラッシュメモリー内でも、異なるUSBフラッシュメモリー間でもコピーできます(EL-900などのELシリーズのソングは1曲ごとにはコピーできません)。
USBフラッシュメモリーの容量が足りない場合はコピーできませんのであらかじめご確認ください。

NOTE

- コピー先に120曲のXGソングが存在している場合、XGソングはコピーできません。またコピー先にフォルダーが120個存在している場合、フォルダーはコピーできません。
- コピー先がルートの場合は、ソング名やパス名が長いと、フォルダー /XGソング数が制限に達していなくても保存できない場合があります。
- コピーするフォルダーの中に、エレクトーンが扱えない形式のファイルが入っていた場合、そのファイルはコピーされません。

プロテクトソングの移動

プロテクトソングは、同一フォルダー内ではコピーできますが、別のUSBフラッシュメモリーや別のフォルダーにはコピーできません。コピー先として別のUSBフラッシュメモリーやフォルダーを指定すると「移動します。」というメッセージが表示され、[移動]ボタンを押すと、プロテクトオリジナルソングとプロテクト編集ソングがいっしょに移動されます(元のフォルダーからはなくなります)。この場合、コピーではなく移動となります。
また、プロテクトのかかっているソングと、プロテクトのかかっていないソングの両方が混在しているフォルダーをコピーすると、プロテクトのかかっていないソングはコピーされますが、プロテクトのかかっているソングはコピーされず移動になります。

NOTE

プロテクトソングを同一フォルダー内にコピーした場合、コピー先のソングはプロテクト編集ソングになります。

ソングコピーの一般的な操作：

同じUSBフラッシュメモリー内でも、異なるUSBフラッシュメモリー間でもソングコピーやフォルダーコピーができます。コピーしたいソングが入っているUSBフラッシュメモリーと、コピー先となるUSBフラッシュメモリーをあらかじめ挿入しておいてください。

注記

USBフラッシュメモリーはしっかりと奥まで差し込んで使用してください。しっかりと差し込んでいないと、データが失われるおそれがあります。

1 コピーしたいソング、フォルダーまたはUSBフラッシュメモリーを選択します。

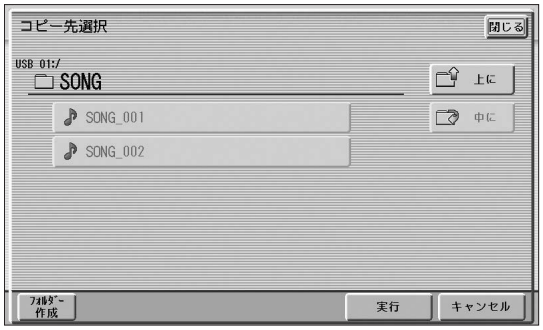
ソングの選択については113ページをご覧ください。

2 画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

3 画面の[コピー]ボタンを押します。

コピー先選択画面が表示されます。





4 別のUSBフラッシュメモリーにコピーする場合はここでコピー先のUSBフラッシュメモリーを指定します。

コピー先の変更については113ページをご覧ください。

5 [実行]ボタンを押してコピーを実行します。[キャンセル]または[閉じる]ボタンを押すと、コピーせずにもとの画面に戻ります。

コピー先のフォルダー /ソング名は、もとのフォルダー /ソング名と同じになります。コピー先に、もとのフォルダー /ソングと同名のフォルダー /ソングがある場合、たとえば元のソング名が「コピー元フォルダー /ソング名_XXX」の場合、「コピー元フォルダー /ソング名_YYY (YYYには数字が入ります)」というフォルダー /ソング名になります。フォルダー /ソング名を変更したい場合は、117ページをご覧ください。

XGソングデータの場合は、コピー先にある同名のXGソングを上書きするかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。[上書き]を選ぶと、コピー先のXGソングデータが上書きされます。

注記

- **コピー中(またはプロテクトソングの移動中)は、絶対に電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データが失われるおそれがあります。**
- **操作の途中でUSBフラッシュメモリーを抜くと、データが失われるおそれがあります。絶対にUSBフラッシュメモリーを抜かないでください。**

NOTE

- フォルダーをコピーする場合、コピー時間の目安が表示されます。実際のコピー時間は長くなる場合がありますのでご注意ください。
- USBフラッシュメモリーごとコピーする場合、コピー先のフォルダー名は"#MEDIA"になります。
- 「階層が深すぎます」「パス名が長すぎます」などのメッセージが表示されたら、コピー元フォルダーの階層を下げる、コピー先フォルダーの階層を上げる、フォルダー名やファイル名を短くするなどしてください。
- フォルダー内に正常に読み書きできないデータがある場合、コピーの途中で終了します。

フォルダーコピーの中断方法

フォルダーコピーの実行中にやむを得ず、中断したい場合は[中断]ボタンを押してください。

コピーが実際に中断されるのは、現在実行中のフォルダーをコピーしたあとになりますので、中断されるまでに時間がかかる場合があります。

中断後は、フォルダーやソングがどこまでコピーされたかを確認してください。

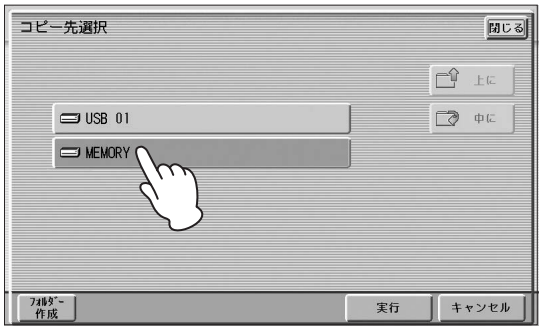
[USB TO DEVICE]端子が1つしか空いていない場合の操作：

通常は、コピー元のUSBフラッシュメモリーとコピー先のUSBフラッシュメモリーの両方を[USB TO DEVICE]端子に接続して128ページの方法でコピーしますが、[USB TO DEVICE]端子に空きがない場合は以下の方法で1ソングずつコピーしてください。
ここの操作で、フォルダーごとのコピーはできません。

1 128ページの1～3の操作を行ないます。

2 上に ボタンがグレー表示になって押せなくなるまで、数回押して、USBフラッシュメモリーのリストを表示させます。

3 「MEMORY」を選びます。



4 [実行]ボタンを押します。

コピーしたいソングが、エレクトーンの内部メモリーにコピーされます。画面には「コピー元のメディアを抜いてください」というメッセージが表示されます。

NOTE

コピーを中止したい場合は、[キャンセル]ボタンを押します。

注記

プロテクトソングの移動中(手順4～8)は、絶対に電源を切らないでください。データが失われるおそれがあります。

5 コピー元のUSBフラッシュメモリーを抜きます。

コピー元のUSBフラッシュメモリーを抜くと、画面には「コピー先のメディアを挿入してください」と表示されます。

6 コピー先のUSBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に差し込みます。

7 ソングのコピー先を指定します。

コピー先の指定については113ページをご覧ください。

8 コピー先の指定が終わったら、[実行]ボタンを押してソングコピーを実行します。[キャンセル]または[閉じる]ボタンを押すと、コピーせずにもとの画面に戻ります。

コピー先のソング名は、もとのソング名と同じになります。コピー先に、もとのソングと同名のソングがある場合、コピーしたソングは、「コピー元ソング名_XXX (XXXには数字が入ります)」というソング名になります。
XGソングデータの場合は、コピー先にある同名のXGソングを上書きするかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。[上書き]を選ぶと、コピー先のXGソングデータが上書きされます。
ソング名を変更したい場合は、117ページをご覧ください。

NOTE

[キャンセル]ボタンを押すことで、プロテクトソングの移動を途中で止め、元のUSBフラッシュメモリーに戻すことができます。詳細は画面に表示される指示に従って操作してください。

データの大きいプロテクトソングを移動する場合

移動させるプロテクトソングの容量が大きい場合、1回の操作で移動が終われず数回に分ける必要があります。そのような場合は、画面に表示されるメッセージに従って、手順6～手順8の操作を繰り返してください。

ソングの削除

ソング内のデータを削除します。レジストレーションデータだけ、演奏データだけを削除したり、ソング自体を削除したりできます。ここで説明する方法は、このエレクトーンで作成したレジストレーションデータや演奏データ、XGソングの削除です(EL-900などのELシリーズのソングは、削除できません)。

1 削除したいデータの入っているソングを選択します。

ソングの選択については113ページをご覧ください。

2 画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

3 画面の[削除]ボタンを押します。

「削除しますか？」というメッセージが表示されます。削除したいソングのソング名が画面に表示されていることを確認します。削除するソングを変更したい場合は、[キャンセル]ボタンを押して、ソングを選び直します。

4 削除したいデータ(レジストレーション、ソング)のボタンを押すと、選択したデータが削除されます。



- **全体削除：**ソング全体を削除します。
- **レジストのみ削除：**ソング内のレジストレーションデータだけを削除します。
- **演奏のみ削除：**ソング内の演奏データだけを削除します。

[キャンセル]を押すと削除せずにもとの画面に戻ります。

削除したいデータがフォルダー、レジストレーションだけのソング、演奏データだけのソング、プロテクトソング、XGソングの場合：



[削除]を選ぶと削除が実行されます。[キャンセル]を選ぶと、削除せずにもとの画面に戻ります。

XG変換機能

このエレクトーンで録音したソングを、XG規格に対応した機器で再生できるよう、データ変換ができます。変換操作をする前に、USBフラッシュメモリーの空き容量が十分あることをあらかじめご確認ください。

NOTE

- 変換により異なるデータ形式(XG規格に対応した機器での再生データ)になるので、オリジナルデータをエレクトーンで再生した場合と、音が違って聞こえる場合があります。
- プロテクトソングは変換できません。

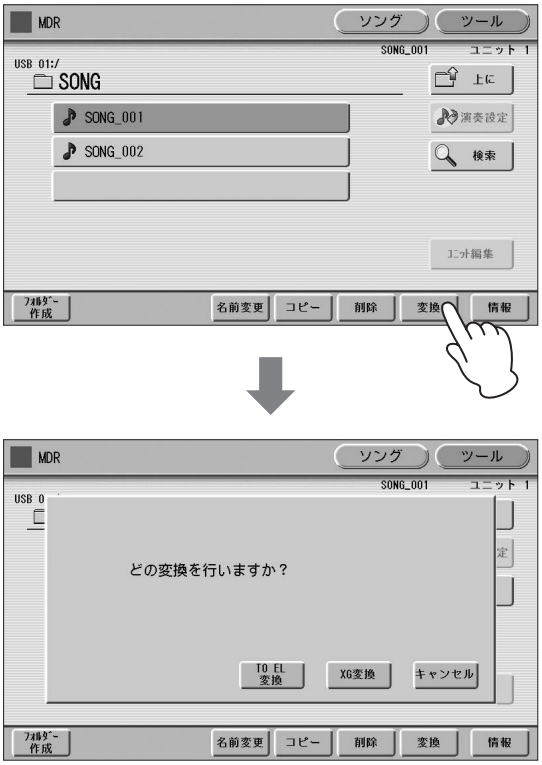
1 ソングページからXG変換したいソングを選択します。

ソングの選択については113ページをご覧ください。

2 画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

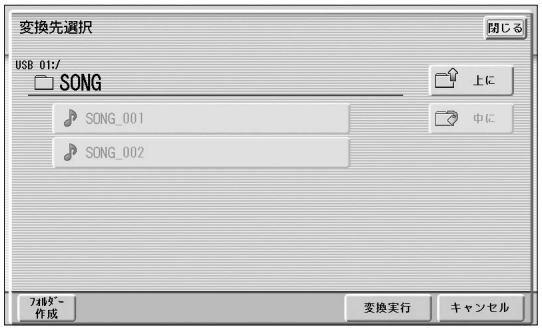
3 [変換]ボタンを押します。

「どの変換を行いますか？」というメッセージが表示されます。



4 **[XG変換]ボタンを押します。**

下の変換先選択画面が表示されます。



5 **(必要に応じて)XG変換後のソングの保存先を変更します。**

保存先の変更については113ページをご覧ください。

6 **[変換実行]ボタンを押します。**

画面に「変換後のデータを確認しています・・・」というメッセージが表示され、ソングの再生が始まります(エレクトーンのXG音源で再生します)。最後まで再生すると、元の画面に戻ります。

NOTE

変換後のデータ確認中に鍵盤を弾いたり、パネルスイッチを押したりすると、それらの操作が変換後のXGソング内に記録されます。

TO EL変換機能

ELS-01シリーズ、ELS-02シリーズやこのエレクトーンで録音したソングをELシリーズで再生できるよう、データ変換ができます。変換されたデータをUSBフラッシュメモリーに保存することで、別売のMDR-5を取り付けたELシリーズで再生ができます。USBフラッシュメモリーのルートにF01～F99のフォルダーを作った上で、下記操作を行なってください。

NOTE

プロテクトソングは変換できません。

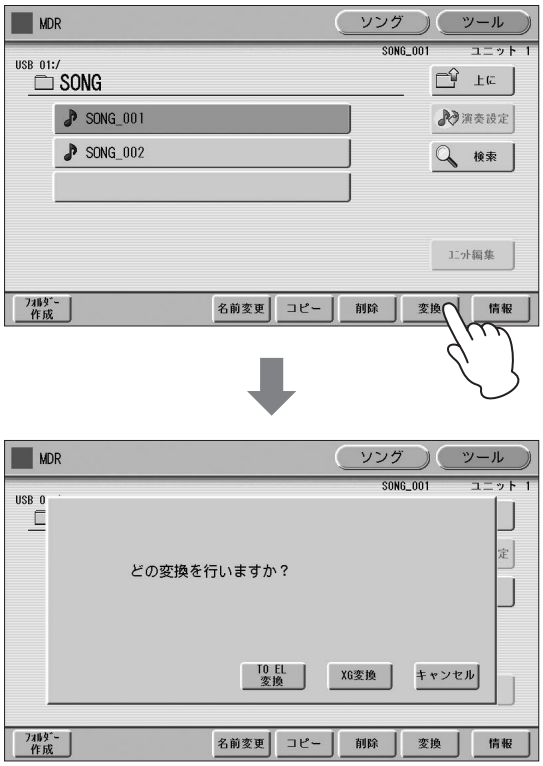
関連ページ
・プロテクトソングについて(121ページ)

1 **ELシリーズの形式に変換したいソングを選びます。**

ソングの選択については113ページをご覧ください。

2 **ツールページで[変換]ボタンを押します。**

「どの変換を行いますか？」というメッセージが表示されます。



3 画面の[TO EL変換]ボタンを押します。

変換先選択画面が表示されるので、変換先としてルートのF01～F99のいずれかを選択します。



4 画面上の[変換実行]ボタンを押します。

TO EL変換が実行されます。

FROM EL変換機能

USBフラッシュメモリーに保存されているEL-900などのELシリーズ用のソングを、このエレクトーンで使用できるデータに変換します。

1 FROM EL変換をしたいソングを選びます。

ソングの選択については113ページをご覧ください。

2 ツールページで[変換]ボタンを押します。

「FROM EL変換を実行しますか？」というメッセージが表示されます。



3 画面の[FROM EL変換]ボタンを押して表示される画面で、変換後のソングの保存先を指定します。

4 画面上の[変換実行]ボタンを押します。

FROM EL変換が実行されます。

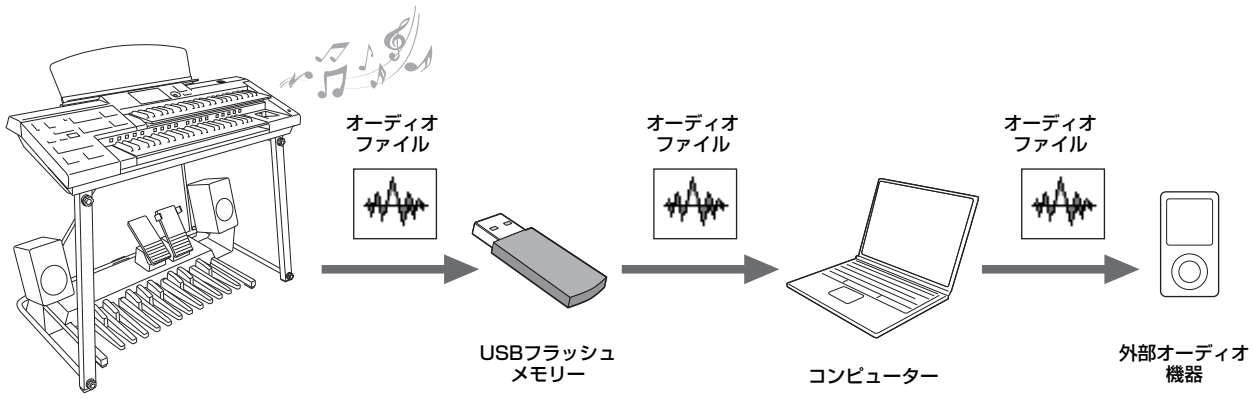
ソング容量/USBフラッシュメモリーの残量の確認

ツールページで[情報]ボタンを押すと、USBフラッシュメモリーが選択されているときは空き容量(残量)を、ソングが選択されているときは容量やバンク数の合計、曲名、作曲者名などを表示します。表示される内容は、ソングによって異なります。



8 オーディオ

[AUDIO]ボタンを使うことにより、ご自分の演奏をオーディオファイル(.WAV)としてUSBフラッシュメモリーに録音することができます。録音したオーディオファイルをコンピューターを使って活用することにより、知り合いとお互いの演奏データをやりとりしたり、オリジナルのCDを制作したりするなど、さまざまな用途で楽しめます。USBフラッシュメモリーに入っているオーディオファイルをこのエレクトーンで再生することもできます。



USBフラッシュメモリーは、インターネット上のピアノ・鍵盤楽器お客様サポートページに掲載されている「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください。

http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/

動作確認済み以外のものを使うと、データの保存/呼び出しができない場合があります。また、ご使用前に111ページの「[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意」をお読みください。

注記

データを保護し、オーディオファイルを安定してご使用いただくために、以下の点にご配慮ください。

- **USBフラッシュメモリーは必要なデータが入っていないことを確認してからフォーマットし、オーディオファイルの録音/再生専用としてご使用いただくことをおすすめします。ソングと共用すると、ファイルの断片化により、空き領域やファイルの検索に時間がかかり、オーディオファイルの録音/再生が停止することがあります。**
- **USBフラッシュメモリーはしっかり挿入し、オーディオファイルの録音/再生中に、演奏などの振動によりUSBフラッシュメモリーの接触不良が起きないようにご注意ください。USBフラッシュメモリー内のデータが壊れるおそれがあります。**

演奏を録音する

オーディオ録音

演奏をオーディオファイルとしてUSBフラッシュメモリーに録音します。演奏した音そのものを記録します。一般的なCD音質(44.1kHz/16bit)のステレオWAV形式で保存され、コンピューターを使って携帯音楽プレーヤーなどに転送して再生できます。[MIC]端子からのモノラル入力音も録音されるので、ボーカルやギターなどの演奏音も録音できます。

NOTE

- AUX IN端子からの入力音をオーディオ録音することはできません。
- [AUDIO]ボタンを使った録音では、レジストレーションを保存することはできません。レジストレーションを保存したい場合は、7章「ミュージックデータレコーダー (MDR)」の「演奏を録音する」(115ページ)の方法で録音してください。

ご自分の演奏をオーディオファイルとしてUSBフラッシュメモリーに録音してみましょう。一回分の録音時間は60分までです(USBフラッシュメモリーの容量によって異なります)。

録音できるファイル形式

拡張子.wav、サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo

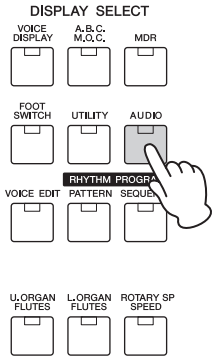
NOTE

拡張子とは、コンピューターがファイル形式を識別するための識別子です。拡張子は、エレクトーンの画面上には表示されません。

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを、[USB TO DEVICE]端子に接続します。

関連ページ
• 動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (133ページ)

2 パネル上の[AUDIO]ボタンを押して、オーディオ画面を表示させます。





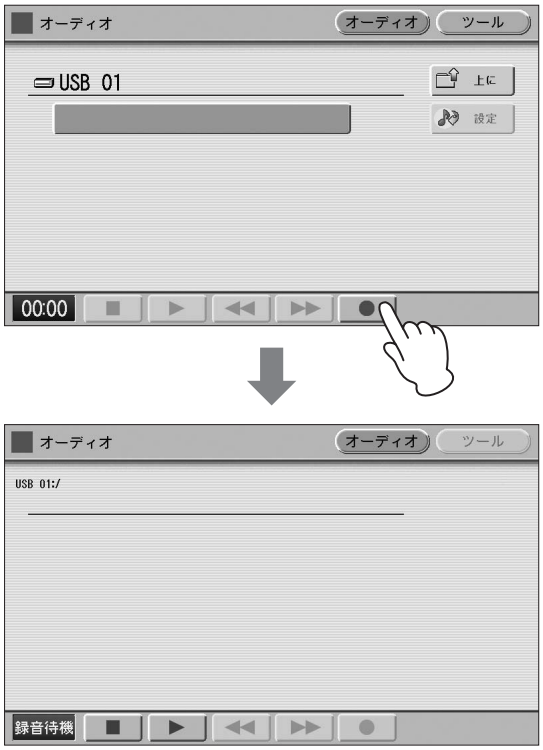
NOTE
USBフラッシュメモリーの中にソングが入っていても、オーディオ画面にソングは表示されません。

3 演奏を録音するための、データが入っていないオーディオファイル(新規オーディオ)を選びます。

データが入っていないオーディオファイル(新規オーディオ)は、手順2の画面で 中に (中に)ボタンを押してUSBフラッシュメモリーの中に入り、データコントロールダイアルを回すと見つかります。
オーディオファイルの選び方は、ソングの選び方と同じです。「ソングを選ぶ」(113ページ)をご参照ください。



4 画面の[●](録音)ボタンを押して録音待機状態にします。



5 画面の[►](再生)ボタンを押して録音を開始します。演奏を始めましょう。

録音が始まると、画面に録音経過時間が表示されます。録音経過時間が表示されたあと、MDR画面からレジストレーションやソングを再生することもできます。



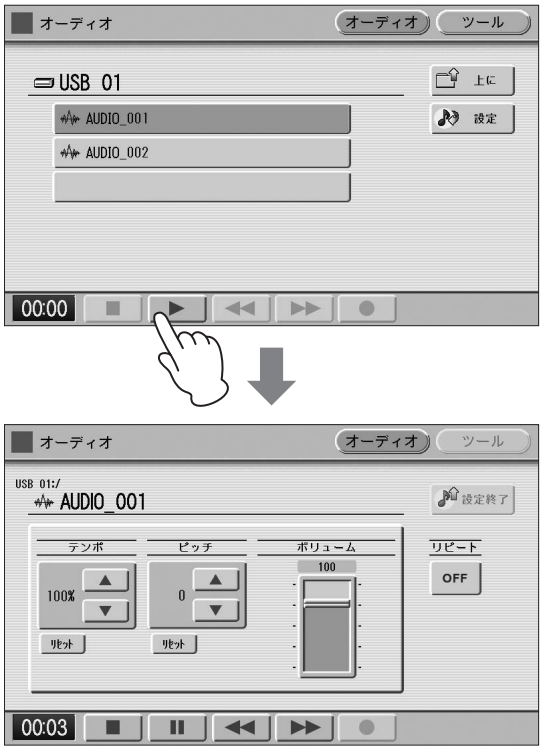
録音経過時間

注記
録音中はUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしたり、楽器の電源を切ったりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

6 演奏が終わったら、画面の[■](停止)ボタンを押して、録音を終了します。

録音したオーディオファイルに自動的に名前が付けられ、オーディオ画面で選択されます。

7 画面の[▶](再生)ボタンを押して、録音した演奏を聞いてみましょう。



関連ページ
・ファイルの削除、名前の変更(138ページ)

ソングをオーディオ録音する

MDR機能を使ってソングとして録音したご自分の演奏を、そのソングを再生しながらオーディオ録音することができます。

1 ソングの入ったUSBフラッシュメモリーと、オーディオ録音用のUSBフラッシュメモリーをそれぞれ[USB TO DEVICE]端子に接続します。

2 オーディオ録音を開始します(上記の手順2～5)。

3 MDR画面でソングを選び、再生します。
ソングの最後まで再生します。

4 オーディオの録音を終了します(上記の手順6～7)。

オーディオファイルを再生する

USBフラッシュメモリーに入っているオーディオファイルをこのエレクトーンで再生してみましょう。

再生できるファイル形式

拡張子.wav、サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo

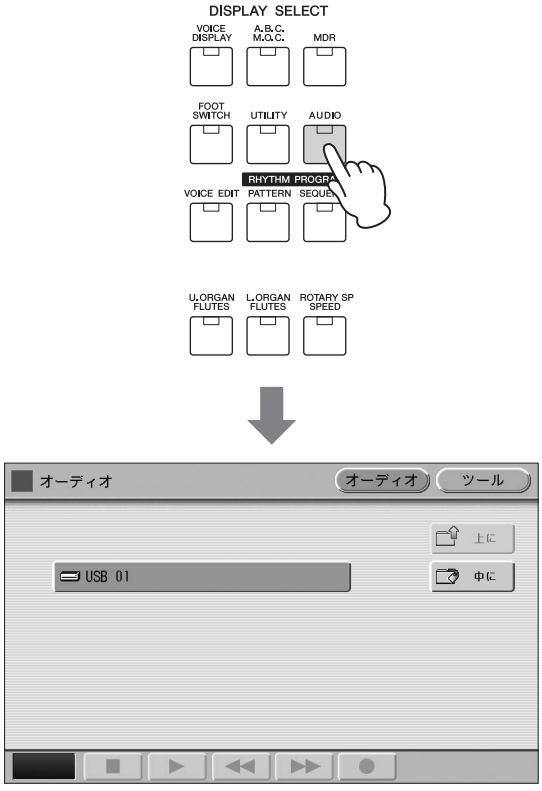
NOTE

DRM(デジタル著作権管理)付きファイルは非対応です。

1 再生したいオーディオファイルの入っている動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを、[USB TO DEVICE]端子に接続します。

関連ページ
・動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (133ページ)

2 パネル上の[AUDIO]ボタンを押して、オーディオ画面を表示させます。

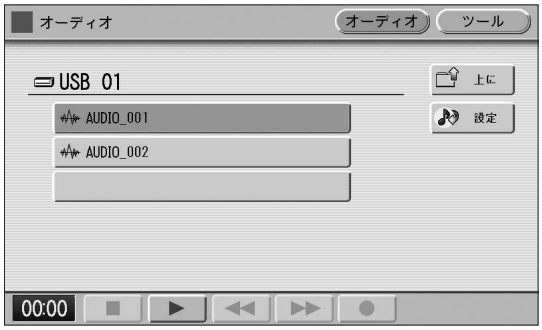


NOTE

USBフラッシュメモリーの中にソングが入っていても、オーディオ画面にソングは表示されません。

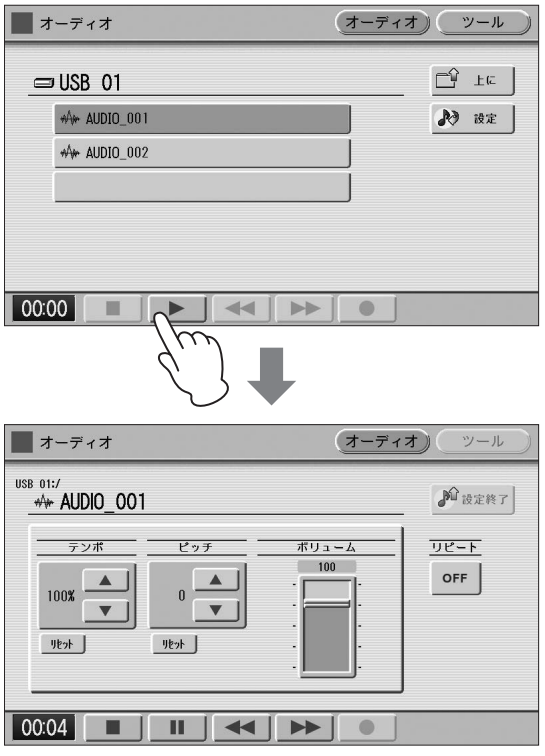
3 再生したいオーディオファイルを選びます。

データの入っているオーディオファイルには、(波形アイコン)が付いています。オーディオファイルの選び方は、ソングの選び方と同じです。「ソングを選ぶ」(113ページ)を参考に、目的のオーディオファイルを選んでください。



4 オーディオファイルが選ばれた状態で画面の[▶](再生)ボタンを押すと、オーディオ再生画面の再生ページが表示され、再生が始まります。

再生中は画面の左下に再生時間が表示されます。



5 再生を止めるには、画面の[■](停止)ボタンを押します。

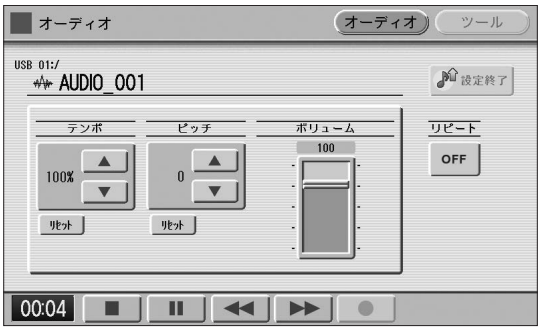
オーディオページに戻ります。

注記

再生中はUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしたり、楽器の電源を切ったりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

早戻し/早送り/一時停止

オーディオファイルの再生中に、早戻しや早送り、一時停止などができます。



早戻し/早送りをするには:

早戻しは画面の[◀◀](早戻し)ボタン、早送りは画面の[▶▶](早送り)ボタンを押します。オーディオファイルの再生は中断され、画面の時間表示も、早戻し/早送りに従って変化します。ボタンをはなしても、再生は中断されたままです。早戻し/早送りをしたところから再生をスタートするには、画面の[▶](再生)ボタンを押してください。

一時停止するには:

オーディオファイルの再生中に、画面の[❚❚](一時停止)ボタンを押すと、再生が一時停止します。画面の[▶](再生)ボタンをもう一度押すと、一時停止したところから再生がスタートします。

音量、テンポ、ピッチの調節

オーディオファイルの再生音量、テンポ、ピッチ(再生音の高さ)を調節できます。

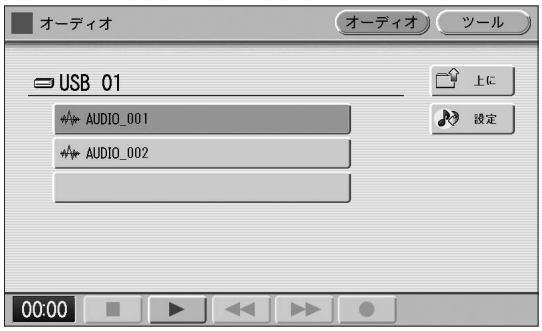
1 オーディオファイルの入った、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

関連ページ
• 動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (133ページ)

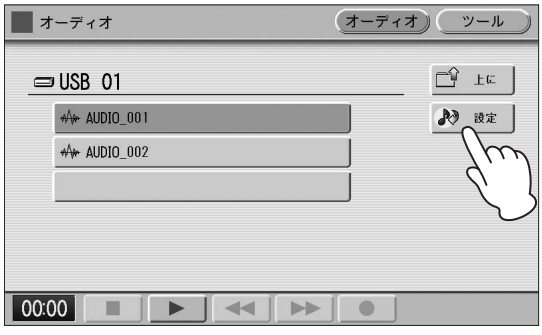
2 [AUDIO]ボタンを押します。

3 目的のオーディオファイルを選択します。

オーディオファイルの選び方は、ソングの選び方と同じです。「ソングを選ぶ」(113ページ)を参考に、目的のオーディオファイルを選んでください。



4 画面の 設定 (設定)ボタンを押して、設定ページに切り替えます。





このページで各設定を行ないます。

- **音量を変更するには：**
  画面に表示されたスライダーを直接触って値を変更するか、データコントロールダイアルを回して、ボリュームを変更します。
  設定範囲: 0～127

- **テンポを変更するには：**
  画面のテンポ ▲ ▼ ボタンを続けて押すか、データコントロールダイアルを回して、再生テンポを変更します。もとのテンポが100%で表示され、それよりも大きい数値にすると速く、小さい数値にすると遅くなります。画面の[リセット]ボタンを押すか、別のオーディオファイルを選ぶと、値は初期設定(100%)に戻ります。
  設定範囲: 75%～125%

- **ピッチを変更するには：**
  画面のピッチ ▲ ▼ ボタンを続けて押すか、データコントロールダイアルを回して、ピッチを変更します。半音単位(－12～+12)で調整できます。画面の[リセット]ボタンを押すか、別のオーディオファイルを選ぶと、値は初期設定(0)に戻ります。
  設定範囲: －12～+12

NOTE

- テンポやピッチを変更すると、曲によっては音質が変わることがあります。
- 音量やテンポ、ピッチを変更した場合、電源を入れなおすと変更した値は初期値に戻ります。

5 再生して変更結果を確認しましょう。

リピート再生する

1 設定ページのリピートボタンを押して、リピート再生の方法を選択します。

ボタンを押すたびにリピート再生の方法が変わります。

1 SINGLE (シングル)
現在選ばれている曲を繰り返し再生します。

ALL (すべて)
現在選ばれているフォルダー内のすべての曲を、順番に繰り返し再生します。

RANDOM (ランダム)
現在選ばれているフォルダー内のすべての曲を、任意の順番で繰り返し再生します。

OFF (停止)
リピート再生しません。

2 設定終了 (設定終了)ボタンを押して、画面を閉じます。

3 [▶](再生)ボタンを押すと、上で選んだ方法でリピート再生がスタートします。

その他の機能(ツール)を使う

フォルダーの作成、ファイルの削除、名前の変更

オーディオファイルを削除したり、名前を変更したりできます。

1 オーディオファイルの入った、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

関連ページ
・動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (133ページ)

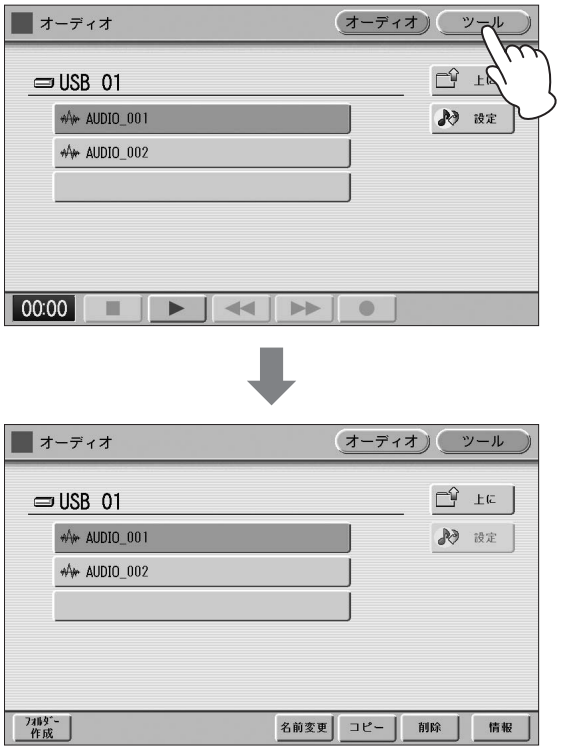
2 [AUDIO]ボタンを押します。

3 目的のオーディオファイルを選択します。

オーディオファイルの選び方は、ソングの選び方と同じです。「ソングを選ぶ」(113ページ)を参考に、目的のオーディオファイルを選んでください。

4 画面の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

ツールページで削除、名前の変更を行ないます。



- **フォルダーを作成するには：**
  画面の[フォルダー作成]ボタンを押し、107ページの「MDR画面の操作」のフォルダー作成の説明と同じ操作を行ないます。
- **ファイルを削除するには：**
  画面の[削除]ボタンを押すとオーディオファイルを削除するかどうか確認を求める画面が表示されます。画面の[キャンセル]ボタンを押すとオーディオファイルは削除されずに元の画面に戻り、画面の[削除]ボタンを押すとオーディオファイルは削除され、元の画面に戻ります。
- **名前を変更するには：**
  画面の[名前変更]ボタンを押すと文字入力画面が表示され、名前を入力できます。入力方法は「ソングに名前を付ける」(117ページ)と同じです。画面の[OK]ボタンを押すと名前が変更され、オーディオページに戻ります。

ツールページからオーディオページに戻るには、画面の[オーディオ]ボタンを押します。

ファイルのコピー

オーディオファイルをコピーするには：

ツール画面の[コピー]ボタンを押し、第7章「ソングコピーの一般的な操作」(128ページ)の手順1～5と同じ操作を行ないます。

NOTE

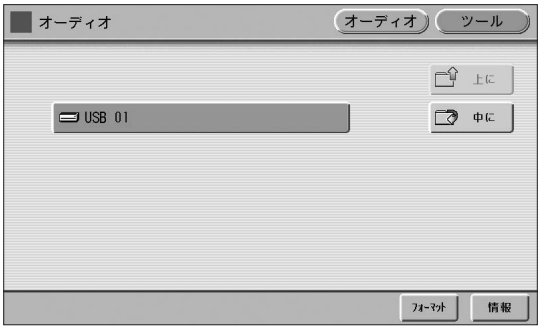
- オーディオファイルは、コピー元と同じフォルダーにコピーすることはできません。
- オーディオファイルをコピーする場合は、フォルダーごとのコピーはできません。1つのオーディオファイルずつコピーしてください。
- 異なるUSBフラッシュメモリー間でオーディオファイルのコピーをする場合は、2本のUSBフラッシュメモリーを同時に接続してください。

オーディオファイルの容量/USBフラッシュメモリーの残量を確認するには：

画面の[情報]ボタンを押すと、オーディオファイルが選択されているときはオーディオファイルの容量と再生時間を表示します。USBフラッシュメモリーが選択されているときは空き容量(残量)を表示します。

USBフラッシュメモリーを初期化(フォーマット)するには：

画面の[フォーマット]ボタンを押し、第7章「USBフラッシュメモリーを初期化(フォーマット)する」(112ページ)の手順3～5と同じ操作を行ないます。



9 ボイスエディット

エレクトーンに内蔵されているボイスの音色や音量を変更して、オリジナルのボイスをつくることができます。この機能をボイスエディット機能といいます。
まずは「ボイスの構成」を読んで、エレクトーンに入っているさまざまな楽器音がどのようにつくられているかを理解しましょう。ボイスの構成が理解できたら、次に「ボイスをエディットする」を読みながら実際のエディット作業に進みましょう。

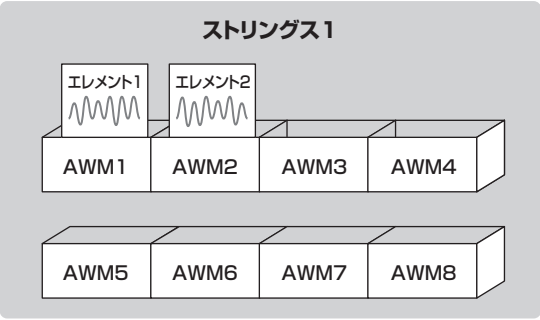
NOTE
スーパーアーティキュレーションボイスはエディットできません。

ボイスの構成

ボイスエディットを始める前に、エレクトーンに内蔵されている個々のボイス(楽器音色)がどのようにつくられているか、詳しく見てみましょう。また、「搭載されている音源について」(39ページ)もあわせてご覧ください。

AWM音色の構成

AWM音色は、生楽器の音をサンプリングしてつくられた素材(AWM音源)でつくられています。しかし、一つのボイスが一つのサンプリング素材だけで構成されるわけではなく、各ボイスは、最大8つのサンプリング素材を重ね合わせて作られています。複数の素材を重ね合わせて一つのボイスをつくることで、広がりや深みを生み出しているのです。
ボイスを構成する一つ一つのサンプリング素材を「エレメント」(構成要素)といいます。エレメントは、AWM1～AWM8の8つの箱に入っています。たとえば2つのエレメントから構成されるストリングス1は、下の図のようになっています。

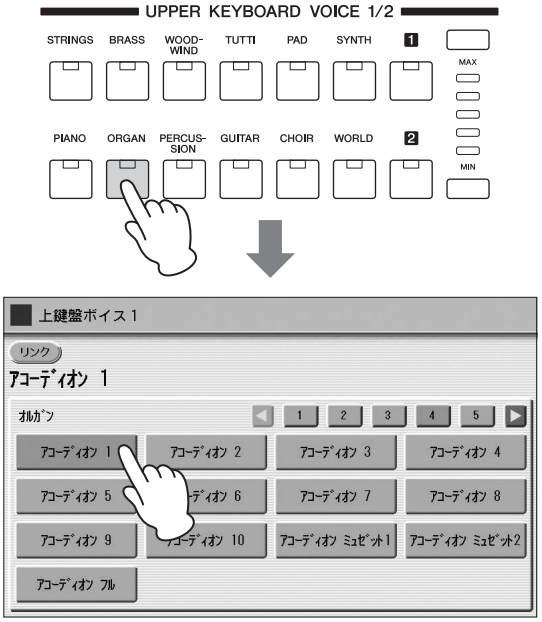


からの箱(AWM3～8)に、別のボイスのエレメントを入れることもできます。たとえば、AWM3に、ブラス系のエレメントを入れて、自分の好みのトゥッティを作るなど、複数のボイスのエレメントを組み合わせての音作りが可能です。

ボイスをエディットする

エディットしたいボイスを選ぶ

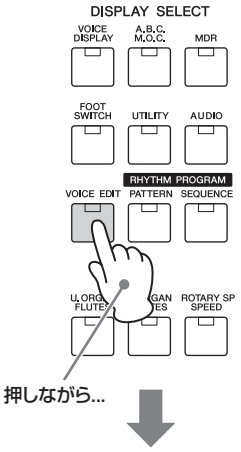
1 **エディットしたいボイスを鍵盤に呼び出します。**
たとえば、アコーディオン1の音をエディットしたい場合は、いずれかのボイスセクションの[オルガン]ボタン(またはユーザーボタン)でアコーディオン1を選んでおきます。

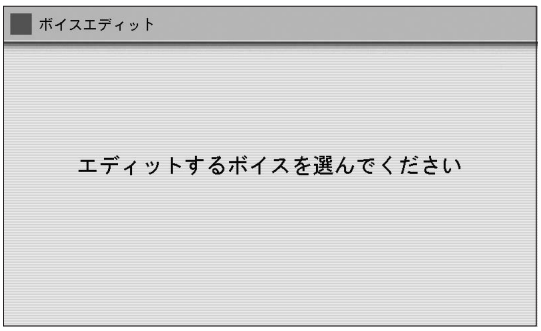


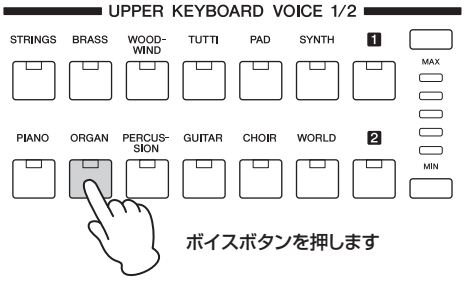
エディットしたいボイス以外のボイスセクションは、音量を下げておきます。

2 [VOICE EDIT]ボタンを押しながら、パネル上のエディットしたいボイスボタンを押します。

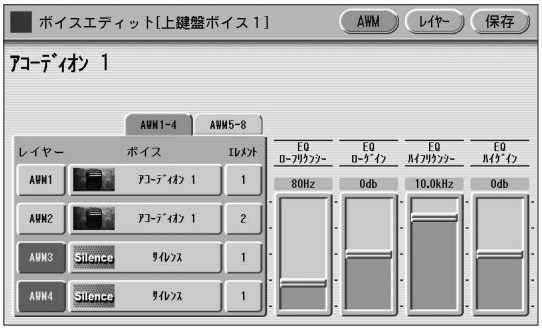
[VOICE EDIT]ボタンを押すと、画面上に「エディットするボイスを選んでください」というメッセージが現れます。このメッセージが表示されている間に、ボイスボタンを押します。







ボイスを選択すると、ボイスエディット画面の最初のページであるAWMページが表示されます。

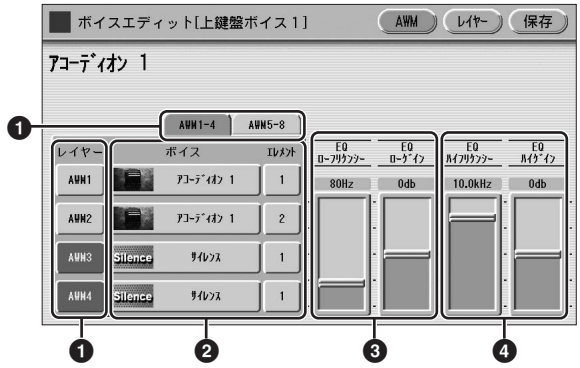


ボイスボタンを押す前に[VOICE EDIT]ボタンから指をはなした場合は、ボイスエディット機能に入らず、ボイスディスプレイに戻ります。

AWM音色のエディット

AWM音色のエディットは、ボイスエディット画面のAWMページとレイヤーページで行ないます。AWMページは、ボイス全体の音質を調整するためのページで、レイヤーページは、ボイスを構成する各エレメントを細かくエディットするためのページです。

AWMページ



❶ エレメントオン/オフ

AWM音源の8つのエレメントを表しています。
上の表示切替ボタンを押すことで、AWM1～4とAWM5～8の表示を切り替えることができます。AWM1～8の各ボタンを押すたびに、オンとオフ(消音)が切り替わります(オフにしたエレメントはグレー表示になります)。

❷ ボイス/エレメント

エディット中のエレメントが表示されます。上のイラストでは、AWM1にアコーディオン1のエレメント1が、AWM2にアコーディオン1のエレメント2が入っていて、AWM3とAWM4にはボイスが割り当てられていません。
別のボイスで使われているエレメントを呼び出して、現在エディットしているエレメントと差し替えることもできます。ボイス、エレメントのそれぞれのボタンを押すと、ボイスメニュー、エレメントメニューが表示されるので、その中から使用したいものを選びます。
ボイスを変更すると、対応するエレメントは変更後のボイスが持っている先頭のエレメント(通常はエレメント1)に自動的に変更されます。

❸ EQローフリケンシー /EQローゲイン

低い周波数の音量を変化させます。フリケンシースライダーでは、音量変化させたい周波数を32Hz～2.0kHzの範囲で設定します。ゲインスライダーでは、フリケンシースライダーで設定した周波数付近の信号量を、－12dB～＋12dBの範囲で調節します(＋6dBでもとの音量の倍、－6dBでもとの音量の半分になります)。

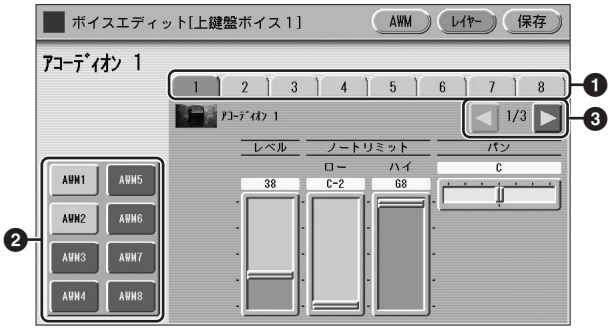
❹ EQハイフリケンシー /EQハイゲイン

高い周波数の音量を変化させます。フリケンシースライダーでは、音量変化させたい周波数を500Hz～16.0kHzの範囲で設定します。ゲインスライダーでは、フリケンシースライダーで設定した周波数付近の信号量を、－12dB～＋12dBの範囲で調節します(＋6dBでもとの音量の倍、－6dBでもとの音量の半分になります)。

EQ (イコライザー)

EQ (イコライザー)は、音をいくつかの周波数帯域に分けて、各帯域のレベル(ゲイン)を上げ下げすることで、音質を補正します。もともとは、アンプやスピーカー、部屋の特性に合わせて、音場環境を補正する(たとえば、低音が響きすぎる部屋では低い周波数の音を小さくする)ためのものでしたが、イコライザーを使って積極的な音作りを行なうこともできます。クラシックはより繊細に、ポップスはより明確に、ロックはよりダイナミックに、というように、曲の特長を引き出すのに欠かせないエフェクトです。
このエレクトーンのイコライザーは、ロー (低周波数)、ハイ(高周波数)の2つの帯域の設定ができます。

レイヤーページ



❶ エレメント選択

エディットしたいエレメントを選択します。

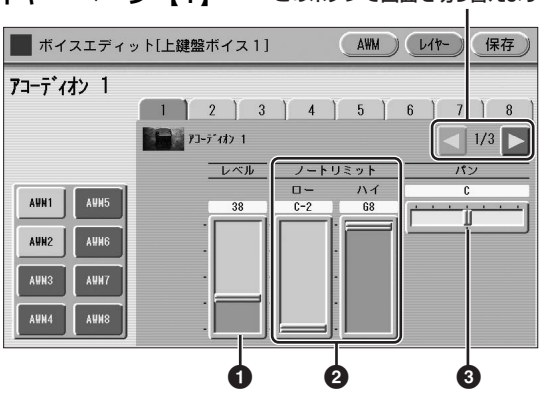
❷ エレメントオン/オフ

AWM音源の8つのエレメントを表しています。AWM1～8の各ボタンを押すたびに、オンとオフ(消音)が切り替わります(オフにしたエレメントはグレー表示になります)。エディット中のエレメントだけをオンにしておくと、エディット内容が確認しやすくなります。ただし、いくつかのエレメントをオフにすると、鍵域や弾く強さによっては音が出ないこともあります。

❸ 画面切り替え

レイヤーページは、3つの画面で構成されています。
◀▶ ボタンで画面を切り替えられます。それぞれの画面の内容は、以下のとおりです。

レイヤーページ【1】



❶ レベル

エレメントの出力レベルを設定します。
設定範囲：0～127

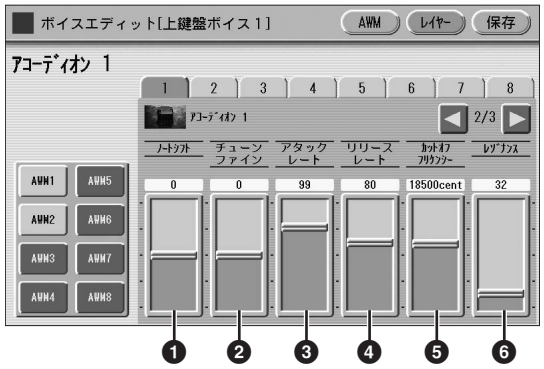
❷ ノートリミット

エディット中のエレメントを発音させる音域を設定します。ここで設定した最低音(ロー)と最高音(ハイ)の間でのみ発音します。最高音(ハイ)を最低音(ロー)より低く設定することはできません。エレメントによっては、設定したとおりにノートリミットの効果がかからないものもあります。
設定範囲：C−2～G8

❸ パン

ステレオ出力によるエレメントの左右の位置を設定します。
設定範囲：L64～R63

レイヤーページ【2】



❶ ノートシフト

現在選択しているエレメントのピッチを、半音単位で移調します。
設定範囲：−64～+63

❷ チューンファイン

現在選択しているエレメントのピッチを、微調整します。
設定範囲：−64～+63

❸ アタックレート

鍵盤を押さえたとき、0から最大の出力レベルに達するまでの速さを設定します。値が大きいほど、音の立ち上がりが速くなります。
設定範囲：0～127

❹ リリースレート

鍵盤から指をはなしたあと、出力レベルが0になるまでの速さを設定します。値が大きいほど、音が消えるまでの時間が短くなります。
設定範囲：1～127

❺ カットオフフリケンシー

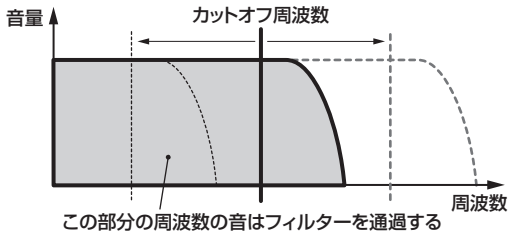
フィルターのカットオフ周波数(フリケンシー)を設定します。
設定範囲：9600～24000セント

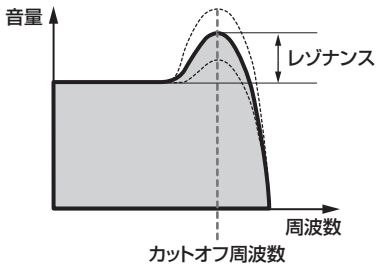
❻ レゾナンス

カットオフ周波数付近の倍音(高調波)を強めて、クセのある音色にします。値を大きくするほど、倍音が強調されます。エレメントによっては、効果のかかりにくいものがあります。
設定範囲：16～140

フィルター(カットオフ周波数とレゾナンス)

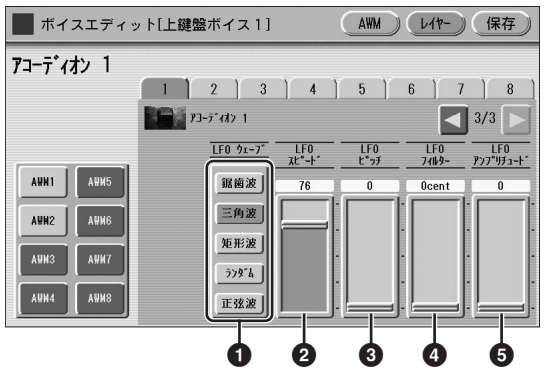
フィルターとは、ある特定の周波数帯だけを通過させて、ほかの周波数の信号を出力させない機構です。このエレクトーンでは、低い周波数だけを通過させ、高い周波数は出力させないタイプのフィルター(ローパスフィルター)を採用しています。





どの周波数までを通過させるかを決めるのがカットオフ周波数です。カットオフ周波数以下の信号は通過させ、それ以外の高周波はカットします。一般的には、カットオフ周波数を下げるほど、高音がたくさんカットされるので音色は暗くなります。また、カットオフ周波数付近の信号レベルを強める働きをレゾナンスといい、音にクセをつける効果があります。

レイヤーページ【3】



❶ LFOウェーブ

LFOから発振される出力波形(ウェーブ)を選択します。右コラムをご覧ください。

❷ LFOスピード

LFOから発振される信号の速さを設定します。値が大きいほど、スピードが上がります。

設定範囲：2～93

❸ LFOピッチ

LFOでピッチを周期的に変化させます。値が大きいほど、ピッチの変化幅が大きくなります。値を0にすると、ピッチは変化しません。

設定範囲：0～400

❹ LFOフィルター

LFOでフィルターのカットオフ周波数(フリケンシー)を周期的に変化させます。値が大きいほど、変化幅が大きくなります。値を0にすると、周波数は変化しません。

設定範囲：0～4800セント

❺ LFOアンプリチュード

LFOで音量を周期的に変化させます。値が大きいほど、音量の変化幅が大きくなります。値を0にすると、音量は変化しません。

設定範囲：0～128

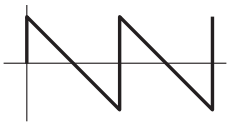
上記❶～❺のパラメーターをエディットしてつくったユーザーボイスは、ビブラートをプリセットに設定して使用することをおすすめします。ビブラートをユーザーに設定すると、ビブラートのデプスやスピードの影響で、LFOの効果がわかりにくくなる場合があります。

関連ページ
• ビブラート(45ページ)

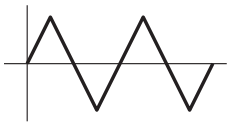
LFO (ローフリケンシーオシレーター)

LFOは、低い周波数の信号を発生する発振器です。
LFOから発振された低周波で、ピッチをふるわせてビブラート効果をかけたり、音質をふるわせてワウワウ効果をかけたり、音量を揺らしてトレモロ効果をかけたり、といった使い方ができます。
発振する信号の波形としては以下の5種類が用意されています。いろいろな波形でどんな効果が得られるか、試してみてください。

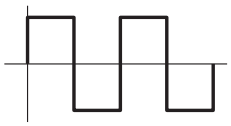
鋸歯波(saw)



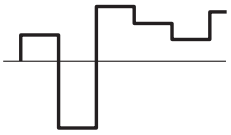
三角波(tri)



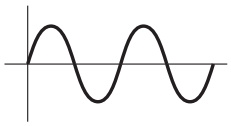
矩形波(squ)



ランダム(rnd)



正弦波(sine)



エディットしたボイスを保存する

ボイスエディットでつくったAWM音色は、ユーザーボイスとして80個まで保存できます。

1 画面右上の[保存]ボタンを押して、保存ページを表示させます。



2 画面上で、保存したいユーザーボイスナンバーを押します。

画面上に、保存してよいかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。(前もって保存しておいたデータを間違って消したりしないようにするためです。)

3 (必要に応じて)[名前変更]ボタンを押して、保存するボイスに名前をつけます。

名前のつけ方は、ソング(MDR)の名前のつけ方と同じです(ただし、ボイスネームは最大で半角16文字までです)。117ページをご覧ください。

4 [保存]ボタンを押すと、「保存しました。」というメッセージが一時的に表示されて、ユーザーボイスが保存されます。

[キャンセル]ボタンを押すと、保存しないで前の画面に戻ります。

注記
ユーザーボイスを保存すると、そのユーザーボイスナンバーに入っていたボイスは、上書きされて消えてしまいます。大切なデータを消去してしまわないよう、よくご確認ください。大切なデータは、あらかじめMDR機能を使って、USBフラッシュメモリーに保存されることをおすすめします。

ボイスを保存したあとは、必ずボイスエディットを終了してください。
ボイスエディットを終了せずに電源を切ると、エディットした内容が失われてしまいます。

ボイスエディットを終了する

ボイスを保存したあとや、エディットを中止したいときなど、どのページからでも簡単に終了できます。

1 パネル上の[VOICE EDIT]ボタンを押します。

エディットしたボイスがすでに保存されている場合は、そのままボイスエディットを終了します。エディットしたボイスがまだ保存されていない場合には、保存せずに終了してよいか確認を求めるメッセージが現れます。

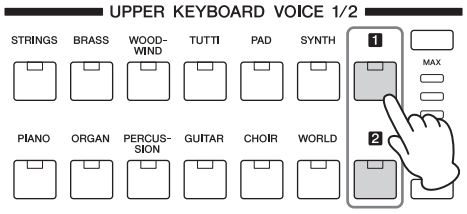
2 [終了]ボタンを押すと、エディットしたボイスを保存せずにボイスエディットを終了します。

[キャンセル]ボタンを押すと、ボイスエディット画面に戻ります。

注記
ボイスエディットを終了すると、画面の左上が数秒間、水色に点灯し、ボイスエディットの内容を保存していることを示します。点灯中は電源を切らないでください。

保存したボイスを呼び出す

保存したユーザーボイスは、各ボイスセクションのユーザーボタンを使って呼び出します。第2章の「ユーザーボタンでボイスを選ぶ」(30ページ)をご覧ください。



10 リズムプログラム

リズムプログラムには、高品位でバラエティー豊かな打楽器音色を駆使して、ユーザーリズムパターンをつくり出せるリズムパターンプログラムと、内蔵されているリズムやユーザーリズムを1小節ずつ自由に並べ替えて、自分自身のリズムシーケンスが楽しめるリズムシーケンスプログラムがあります。リズムシーケンスプログラムでは、レジストレーションシーケンスの情報も組み込んで、自動的にレジストレーションとリズムを切り替えながら演奏することもできます。

リズムプログラムの概要

リズムパターンプログラム(145ページ～161ページ)
内蔵リズムの中に演奏したい曲に合ったものがない場合、自分で打楽器を入力したり、内蔵されているリズムを編集したりして、オリジナルのリズムをつくれます。

打楽器音の入力、編集
↓
下鍵盤で演奏するアカンパニメントのバッキングパターンを入力、編集
↓
エフェクトの設定や、各打楽器の細かい設定(パンやチューンなど)
↓
つくったリズムをユーザーリズムとして保存

リズムシーケンスプログラム(171ページ～175ページ)
1小節単位でリズムを組み合わせて(シーケンス)、何小節目にどのリズムが鳴るかをプログラムします。また、プログラムしたリズムに合わせて、レジストも自動的に切り替わるよう設定できます。

シーケンス保存先([SEQ.1]～[SEQ.4])を選択
↓
リズムを1小節ずつ入力
↓
レジストレーションの切り替えタイミングを設定(レジストレーションシーケンス)

リズムパターンをつくる：リズムパターンプログラム

リズムパターンプログラムでは、下鍵盤と上鍵盤の各キーに割り当てられた打楽器音を使って、オリジナルのリズムをつくることができます。つくったリズムパターンは、48パターンまでユーザーリズムとして保存できます。

リズムパターンプログラムを始める

リズムパターンプログラムでは、エレクトーンに内蔵されているリズムや、すでにつくってあるユーザーリズムをもとに、一部だけ変更して新しいリズムをつくる方法と、何も入力されていない状態から一つ一つの打楽器を入力して、オリジナルのリズムをつくり上げていく方法とがあります。

既存のリズムをもとにしたリズムをつくる場合：
内蔵リズムやすでに作成してあるユーザーリズムの中に、これからつくりたいリズムパターンと似たものがある場合は、既存のリズムパターンをもとにしてプログラムを始めると便利です。

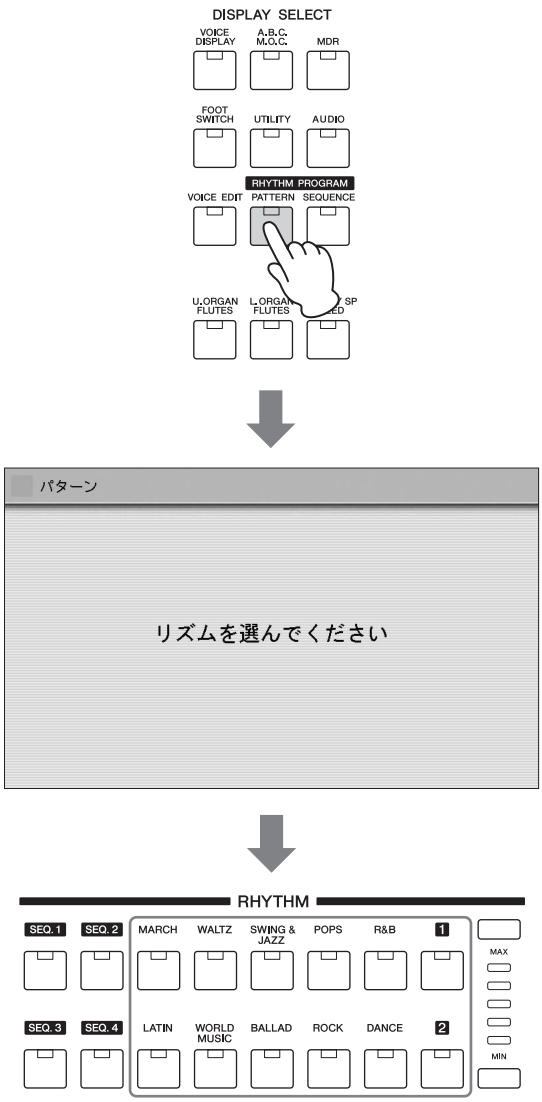
NOTE
すでに作成済みのセクションがあるユーザーリズムに別のセクションを追加する場合も、この手順で作成してください。

1 もとになるリズムをパネルに呼び出します。

2 [PATTERN]ボタンを押しながら、パネル上のもとになるリズムボタンを押します。

[PATTERN]ボタンを押すと、画面上に「リズムを選んでください」というメッセージが現れます。このメッセージが表示されている間に、リズムボタンを押します。

NOTE
- リズムを鳴らしているときに[PATTERN]ボタンを押すと、リズムは自動的に止まります。
- 「+」が末尾についているリズムは、エディットしたりアセンブリー(146ページ)元にすることができません。



不要なセクションの消去

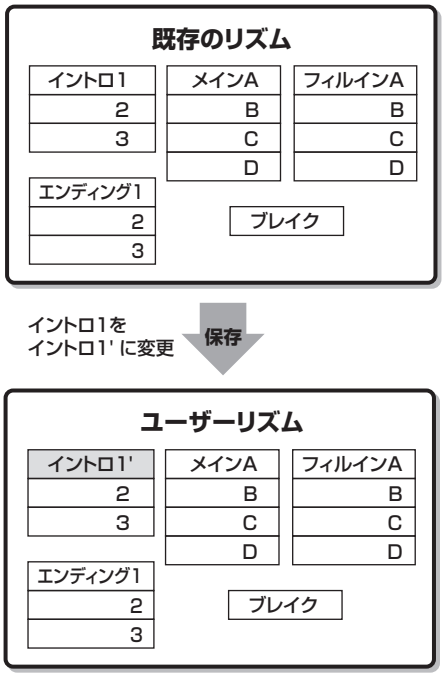
既存のリズムをもとに作ったリズムパターンでは、編集していないセクションも合わせて保存されます。たとえばメインAとメインB だけを編集した場合でも、これら以外のセクションも合わせてデータとして保存されます。このため、複数のリズムを作った場合に、想定より早くにメモリー残量(161ページ)が減ってしまう可能性があります。メモリー容量を節約するためにも、演奏に使うつもりのない不要なセクションについては、パート消去の画面の[ALL]ボタン(149ページ)であらかじめ消去しておくことをお勧めします。

既存のリズムをもとにせず、最初からプログラムを始める場合：

[PATTERN]ボタンを押して、すぐに手を離します。この場合は、何も入力されていない状態からオリジナルのリズムパターンをつくることになります。

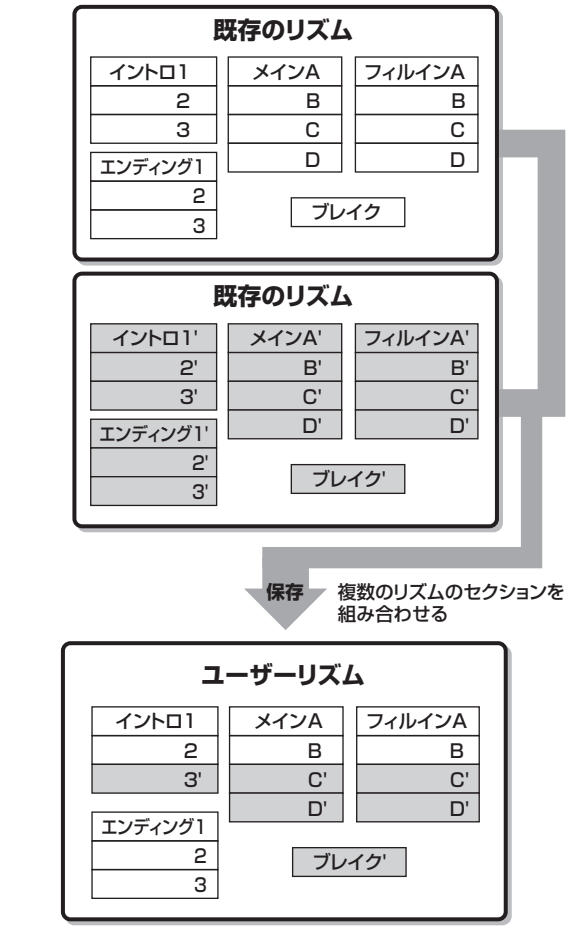
一つのリズムは、リズムパターンのバリエーションとして15種類のセクション(イントロ1～3、メインA～D、フィルインA～D、ブレイク、エンディング1～3)から構成されています。
リズムパターンプログラムでは、これらのセクション1つ1つについて、打楽器を入力したり消去したり、あるいは、ほかのリズムで使っているセクションをコピーして集めてきたり(アセンブリー)して、新しいユーザーリズムをつくります。

ケース1：既存のリズムから一部を変更して、ユーザーリズムをつくる

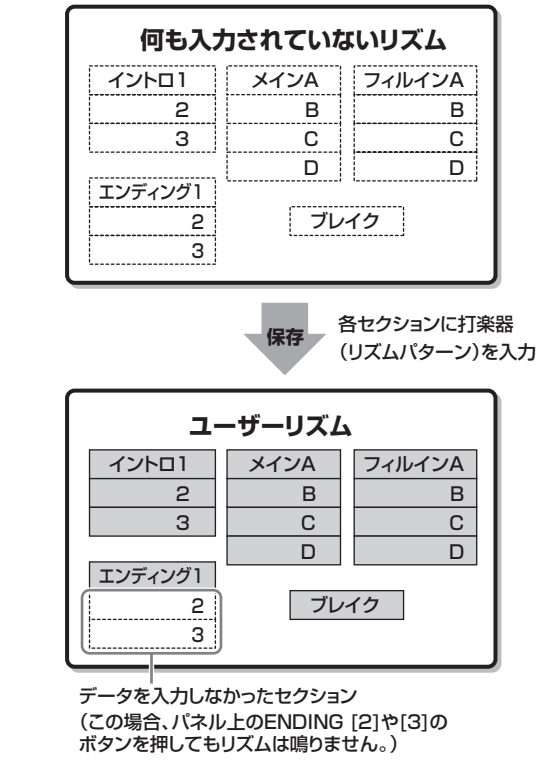


変更しなかったセクションもまとめてユーザーリズムとして保存されます。

ケース2：既存の複数のリズムからセクションを組み合わせて、ユーザーリズムをつくる



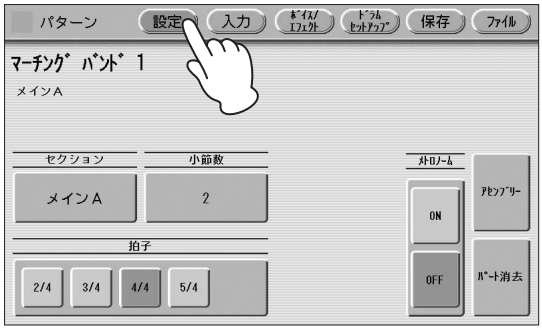
ケース3：まったく新しいユーザーリズムをつくる



入力するリズムの基本設定をする

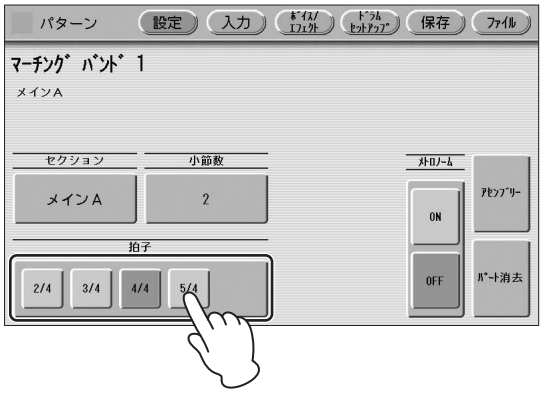
設定ページで、拍子や小節数などの設定を行ないます。
また、別のリズムで使っているセクションをコピーしたり、ドラムやアカンパニメントの各パートを削除したりもできます。

1 画面上の[設定]ボタンを押して、設定ページを表示させます。

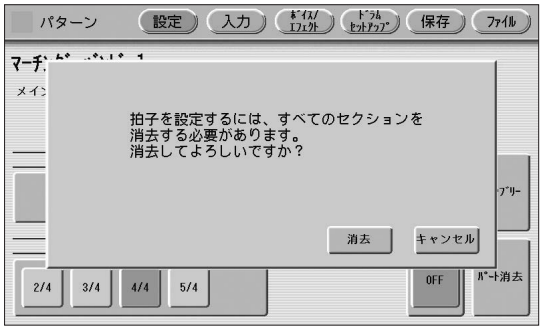


2 リズムの拍子を設定します。

表示されているボタンの中から拍子を選びます。



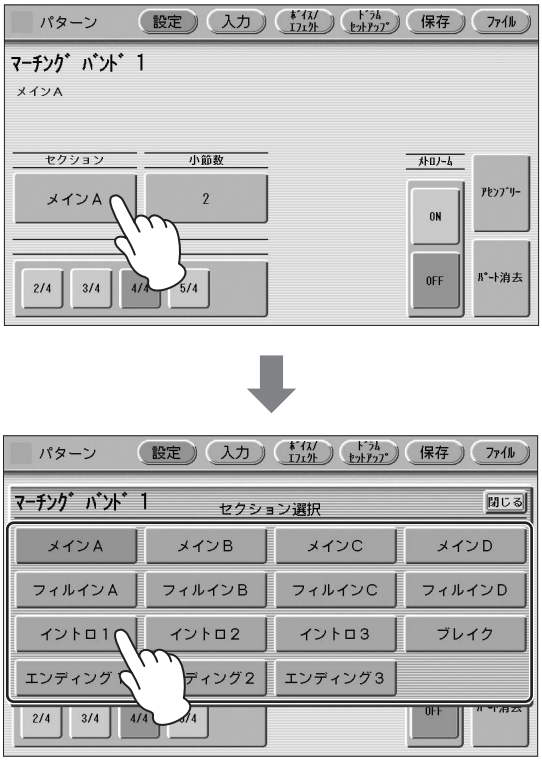
既存のリズムをもとにしてプログラムを始める場合、現在入力されているリズムの拍子とは異なる拍子が選ばれると、次のようなメッセージが現れます。



すべてのセクションのデータを消去してもよければ[消去]ボタンを選びます。メッセージ画面が閉じ、すべてのデータが消去されて拍子が変更されます。
[キャンセル]ボタンを選ぶと、拍子を変更せずに、元の画面に戻ります。

3 リズムパターンを入力するセクションを選びます。

画面上でセクションのボタンを押すと、セクション選択画面が表示されます。選択画面でセクションを選ぶと、自動的に選択画面が閉じます。

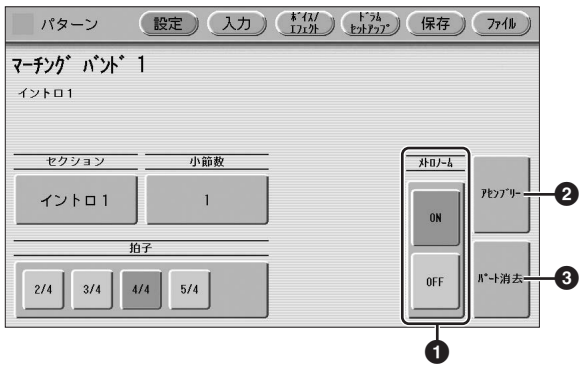


セクションを変更して、パネル上の[START]ボタンでリズムをスタートすると、選んだリズムを確認できます。リズムを鳴らしながらセクションを変更することもできます。アカンパニメントをオフにしたい場合は、158ページをご覧ください。

4 入力する小節数を選びます。

画面上で小節数のボタンを押して、表示される一覧の中から、リズムパターンの長さ(小節数)を選びます。ただし、セクションにフィルインやブレイクを選んでいる場合は、自動的に1小節に設定され、変更することはできません。

5 必要に応じて、メトロノームやアセンブリーなどの設定をします。



❶ メトロノーム

メトロノームのオン/オフを設定します。メトロノームをオンにしてリズムをスタートさせると、拍にあわせてメトロノームが鳴ります。リアルタイム入力のときにオンにしておくと便利です。

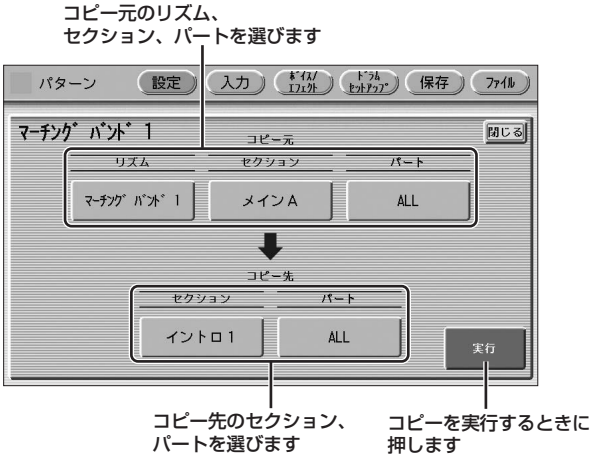
関連ページ
- ステップ入力とリアルタイム入力(149ページ)
- 打楽器(リズム)を入力する－リアルタイム入力(150ページ)

NOTE

パネル上のリズムのVOLUMEボタンを押すと、メトロノームのボリュームも変わります。

❷ アセンブリー

ほかのリズムから現在プログラム中のリズムに、パートをコピーします。複数のリズムからセクションを組み合わせてユーザーリズムを作成する場合に便利です。
[アセンブリー]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

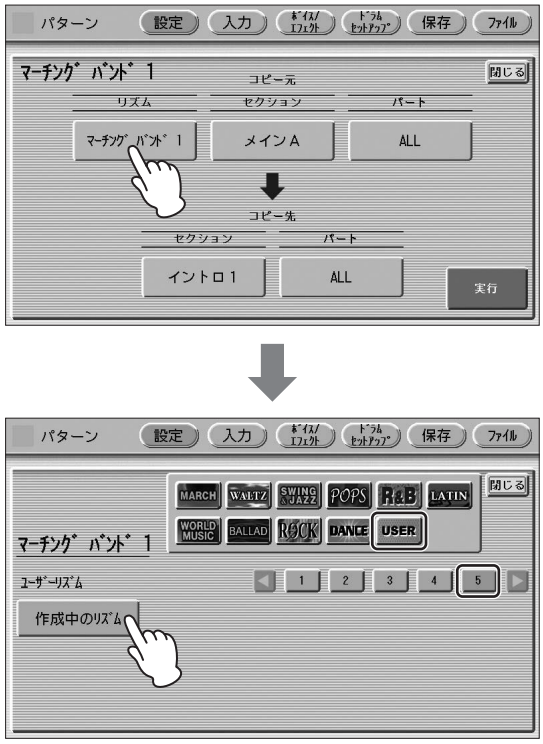


どのリズム/セクションのどのパートをコピーするかを選択します。打楽器パートやアカンパニメントのうちの1パートだけをコピーしたり、すべてのパートをコピーしたりできます。
コピー元のリズム、セクション、パートを選択したあと、コピー先のセクションとパートを選択してください。

コピー元とコピー先の設定ができたら、[実行]ボタンを押します。コピーが実行され、元の画面に戻ります。

コピー元のリズムに現在作成中のリズムパターンを選択することもできます。
たとえばメインAをもとにしてメインBのリズムパターンをつくるときは、メインAのリズムパターンを入力したあと、メインBにコピーしてから編集すると便利です。

作成中のリズムパターンをコピー元として選ぶには、「USER」カテゴリーの5ページ目で「作成中のリズム」を選択します。



❸ パート消去

現在入力されているリズムやアカンパニメントのパートを消去します。[パート消去]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



表示されたパートの中から、消去したいパートを選びます。データの入っていないパートは選択できません。[ALL]ボタンを選ぶとリズムとアカンパニメントのすべてが消去されます。

関連ページ
- アカンパニメント(66ページ)

消去したいパートを選ぶと、「消去しますか？」というメッセージが表示されます。[消去]ボタンを押すと消去し、[キャンセル]ボタンを押すと消去せずにもとの画面に戻ります。

NOTE
ベースを消去すると、A.B.C.をONにしてもベースパートが鳴らなくなります。

セクションの消去

パート消去の画面で[ALL]ボタンを押すと、現在選択されているセクションの全データが消去されることになります。演奏に使うつもりのないセクションについては、セクション全体を消去することでメモリー残量(161ページ)を確保しましょう。

ステップ入力とリアルタイム入力

リズムパターンプログラムでリズムパターンを入力するには、ステップ入力とリアルタイム入力の2つの方法があります。

ステップ入力は、「何小節目の何拍目に」「どの打楽器が」「どのくらいの音量で鳴る」という情報を、一つ一つの打楽器音について入力していくことで、リズムパターンをつくる方法です。バスドラムのように1小節の中で決まった位置と音量で使用される打楽器音をプログラムしたり、また、正確さが要求される場合に適しています。

リアルタイム入力は、鍵盤で弾いた打楽器音がそのままデータとして入力され、前に入力した音を聞きながら、新しいパートを次々と重ねていくことで、リズムパターンをつくる方法です。実際にパーカッションを演奏することがプログラムすることになるので、フィーリングをそのまま表現できます。

つくりたいリズムの種類や好みによって、どちらの方法で入力するか選べます。もちろん、2つの方法をミックスして、パートごとに使い分けながら、一つのリズムをつくることもできます。ステップ入力で基本ビートをプログラムし、リアルタイム入力でアクセントや装飾音を付けるとよいでしょう。

ステップ入力またはリアルタイム入力のどちらを選択するかは、リズムを再生しているかどうかで決めることができます。リズムの停止中は、ステップ入力が自動的に選択されます。リズムの再生中は、リアルタイム入力が選択されます。ステップ入力の手順については150ページを、リアルタイム入力の手順については154ページをご覧ください。

打楽器(リズム)を入力する ーステップ入力

入力ページで打楽器音を入力します。各ボイスセクションのボイスのボリュームを下げて、鍵盤を弾いたときにリズムだけが鳴る状態にしておきましょう。

NOTE

リズムパターンプログラム中のリズムやアカンパニメントのボリュームは、パネル上のリズムのVOLUMEボタンで調節できます。リズムパターンプログラムを終了すると、VOLUMEボタンは、あらかじめ設定されていたリズムのボリューム値に戻ります。

1 画面上の[入力]ボタンを押して、入力ページを表示させます。

2 パートのボタンで、打楽器を入力するパート(メインドラムまたはアドドラム)を選びます。

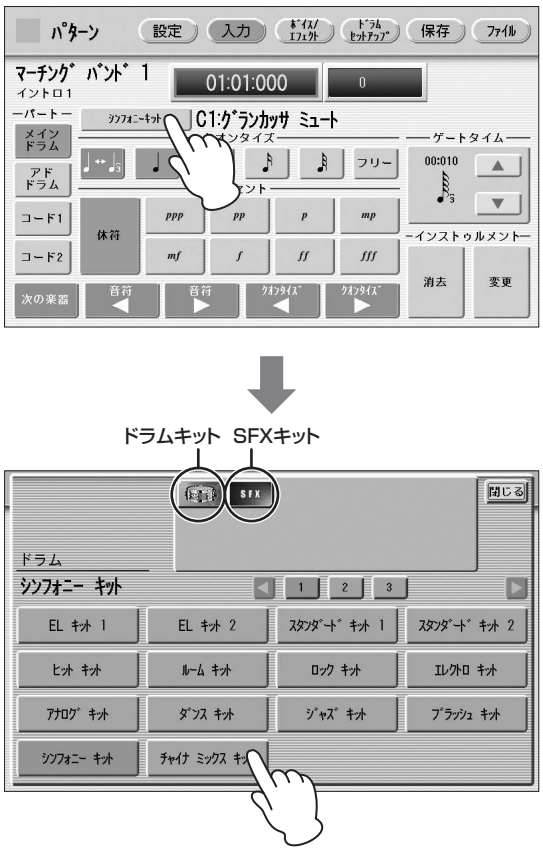
打楽器は、メインドラムまたはアドドラムのパートに入力します。通常は、主な打楽器はメインドラムに入力し、タンバリンなどの装飾音をアドドラムに入力します。



3 入力したい打楽器のセット(キット)を、鍵盤に呼び出します。

キット名が表示されているボタンを押すと、選択できるキットの一覧が表示されます。ドラムキットとSFXキットの2つのカテゴリーからキットを選択できます。それぞれのキットについては、163ページの「キットリスト」をご覧ください。

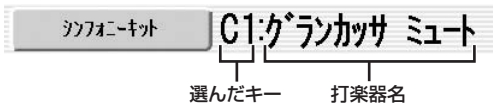
一覧の中から呼び出したいキット名を押すと、一覧表示が閉じ、選んだキットが上鍵盤と下鍵盤に呼び出されます。



キットは、メインドラムとアドドラムのそれぞれについて1種類ずつしか選べません。違うキットの打楽器音を組み合わせてリズムをつくりたい場合は、メインドラムとアドドラムにそれぞれ別のキットを割り当てることで、2種類のキットの打楽器が混ざったリズムを作成できます。

4 入力したい打楽器が割り当てられているキー(鍵)を押さえて、入力する打楽器を選びます。

キーを押さえると、その打楽器名が画面に表示され、入力できる状態になります。



5 入力したいリズムに適したクオンタイズを設定します。

クオンタイズの詳細については、154ページをご覧ください。

NOTE

クオンタイズは、入力している途中に変更することもできます。



6 ホイッスルなどの持続音を入力する場合は、ゲートタイム(音符の長さ)を設定します。

ゲートタイムの設定が必要な打楽器は、163ページのキットリストでご確認ください。ゲートタイムの設定については、157ページをご覧ください。

7 アクセントボタンを押して、表示されているリズムクロックの位置に打楽器音を入力します。

リズムクロックの変更は、クオンタイズ[◀][▶]ボタンで行ないます。



❶ リズムクロック表示ボックス

リズムパターンの現在の位置を[小節:拍:クロック]で表示します。

表示の中ではクロックが一番細かく、1拍は480のクロックで構成されています。

設定ページで決めた小節の長さ分の入力を終えると、先頭のクロック[01:01:000]に戻ります。

関連ページ

・入力するリズムの基本設定をする(147ページ)

❷ アクセントボタン

入力したい音量のアクセントボタンを押すたびに、打楽器音が入力されていきます。[*ppp*]ボタンが一番小さい音、[*fff*]ボタンが一番大きい音で、8段階の音量で入力できます。入力と同時に、リズムクロックの表示も、現在選択されているクオンタイズの長さ分だけ進行します。[休符]ボタンを押したときには、音は出ずにリズムクロックの表示だけが進行します。休符を入力するときに使用します。

❸ クオンタイズ[◀][▶]

1ステップずつリズムクロックの表示を前または次に進めます。ステップは、選択されているクオンタイズによって変わります。

8 手順4～7の操作を繰り返して打楽器音を重ねていき、リズムを完成させます。

入力した音符を編集/消去する

入力を間違えた場合には、次の方法で入力した打楽器音の音量を変えたり、消去したりできます。

入力した音符の音量を変えるには：

1 音量を変えたい音符を選択します。
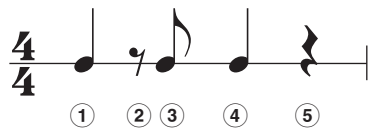


❶ 次の楽器

入力されている打楽器を、左にあるキーから順に検索します。このボタンを押すたびに、入力されている打楽器のうち、現在選ばれている打楽器の次(右側)にあるキーが選択され、打楽器が切り替わります。すでに入力してある打楽器を選びたいときに使用します。

❷ 音符[◄][►]

同一打楽器内で、現在選ばれている音符の前または次に入力されている音符を選びます。
たとえば下図では、休符である②や⑤はとばして、①、③、④を順番に選択できます。

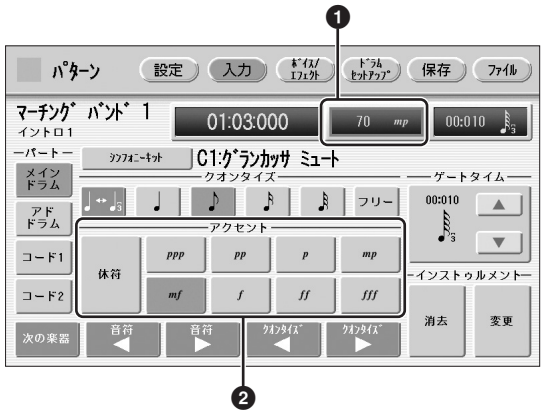


❸ クオンタイズ[◄][►]

1ステップずつリズムクロックの表示を前または次に進めます。ステップは、選択されているクオンタイズによって変わります。

2 アクセント表示ボックス、またはアクセントボタンで、音量を変更します。

アクセント表示ボックスで音量を変更する方が、より細かい調整ができます。



❶ アクセント表示ボックス

アクセント表示ボックスを押すと、ボックスのまわりに青枠が表示されます。
この状態でデータコントロールダイアルを回すと、0～127の範囲で、細かく音量を変更できます。0に設定すると、音は鳴りません。

❷ アクセントボタン

ppp (ピアニッシッシモ)～***fff*** (フォルティッシッシモ)の8段階で、音量を変更できます。
変更したい音量のボタンを押すと、現在選択されている音符が、選択した音量に変わります。

入力した音符の位置を移動するには：

1 151ページの手順1に従って、移動したい音符を選択します。

2 リズムクロック表示ボックスを押します。

リズムクロック表示ボックスのまわりに青枠が表示されます。



3 データコントロールダイアルを回して、音符の位置をクロック単位で変更します。

入力した音符の長さを変えるには：

スネアロールやホイッスルのような持続音については、ゲートタイムを変更することで、音の鳴る長さを調節できます。157ページをご覧ください。

入力した音符を消去するには：

1 151ページの手順1に従って、消去したい音符を選択します。

2 消したい音を選んだ状態で、[休符]ボタンを押します。

入力されていた音が消去されて、休符に置き換わります。



また、特定の打楽器音をすべて消去したり、すべての打楽器の音を消去したりすることもできます。

特定の打楽器音をすべて消去するには：

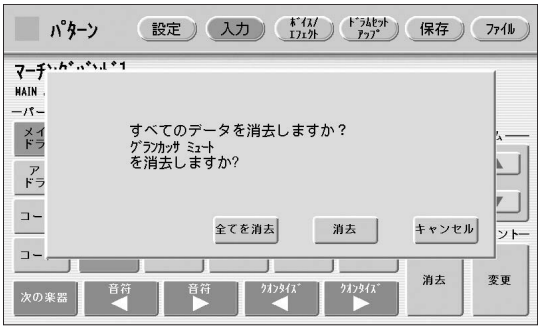
1 **消去したい打楽器が割り当てられているキーを押します。**

選んだキーと打楽器名が、画面に表示されます。



2 **画面右下の[消去]ボタンを押します。**

次のような表示が現れ、すべての打楽器音を消去するか、選ばれている打楽器音を消去するかの確認を求めてきます。



3 **[消去]を選びます。**

「ピンポン」という音がして、選択した打楽器音が消去されたことを知らせます。

このほかに、以下の方法で特定の打楽器音を消去することもできます。

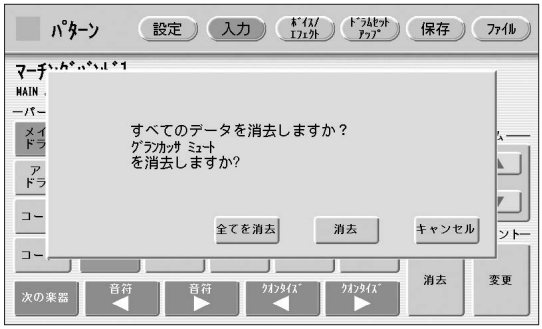
1 **[消去]ボタンを押しながら、消去したい打楽器音が割り当てられているキーを押します。**

「ピンポン」という音がして、その打楽器音が消去されたことを知らせます。

すべての打楽器音を消去するには：

1 **画面右下の[消去]ボタンを押します。**

次のような表示が現れ、選ばれている打楽器音を消去するか、すべての打楽器音を消去するかの確認を求めてきます。



2 **[全てを消去]ボタンを選びます。**

瞬間的にすべての打楽器音が消去されます。

また、入力する打楽器を間違えた場合などは、一度消去してから入力し直さなくても、以下の方法で、すでに入力してある打楽器音をほかの打楽器音に置き換えることもできます。

ほかの打楽器音に置き換えるには：

リズムをストップした状態で、以下の操作をします。

1 **変えたい打楽器音が割り当てられているキーを押します。**

選んだキーと打楽器名が、画面に表示されます。

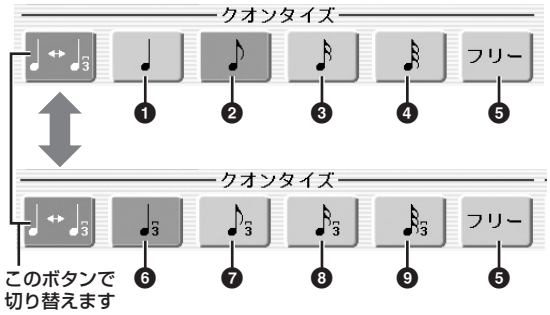


2 **[変更]ボタンを押しながら、置き換えたい打楽器音が割り当てられているキーを押します。**

瞬間的に打楽器音が置き換わります。

クオンタイズについて

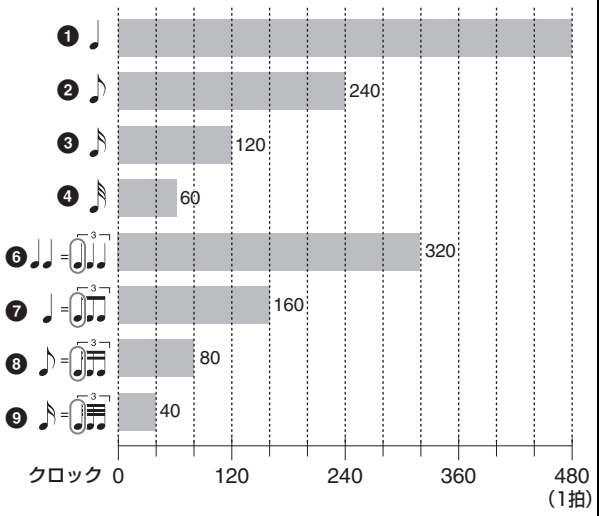
ステップ入力で楽器音を入力する際の入力タイミング、あるいはリアルタイム入力でタイミングを補正する精度を、クオンタイズで設定します。9種類のクオンタイズ値が選べます。



ステップ入力を行なう場合

選択したクオンタイズで、楽器音を入力することができます。入力ページのクロック表示ボックスでは、クオンタイズに応じた数字が表示されます。

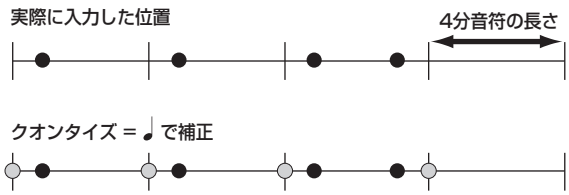
各クオンタイズで移動できるタイミング



フリー (❺)に設定すると、1クロック(1/480拍)ずつタイミングが移動できます。

リアルタイム入力を行なう場合

クオンタイズを選択すると、入力の際に鍵盤を弾くタイミングが少し前後にずれても、正しい位置に補正して入力します。ただし、クオンタイズをフリーに設定した場合は、補正機能は働きません。クオンタイズの設定は、入力する音符のうち、もっとも細かい音符に合わせます。



打楽器(リズム)を入力する ーリアルタイム入力

すでに入力してあるリズムを鳴らしたり、メトロノームを鳴らしたりしながら、鍵盤を弾いて打楽器音を入力します。弾いた音がそのままリズムとして入力されます。

1 **150ページの手順1～3に従って、入力するパートやキットを選びます。**

2 **入力したいリズムに適したクオンタイズを設定します。**

設定されたクオンタイズによって、入力する音符のタイミングが自動的に補正されます。左コラムをご覧ください。



3 **リズムの[START]ボタンを押します。**

既存のリズムをもとにプログラムする場合はもちろん、何も入力されていない状態から始める場合にも、リズムをスタートさせます。リズムをスタートさせることが、リアルタイム入力をスタートすることになり、入力ページは下のようなリアルタイム入力の画面に自動的に切り替わります。



4 リズム(またはメトロノーム)に合わせて、入力したい打楽器音が割り当てられたキー (鍵)を弾いて打楽器を演奏します。

既存のリズムをもとにプログラムを始めた場合は、そのリズムに合わせながら入力できます。何も入力されていない状態から始めた場合は、設定ページでメトロノームをオンにし、メトロノームの音を聞きながら入力します。設定ページで選んだ小節数だけパターンが繰り返されます。

関連ページ
• メトロノーム(148ページ)

5 手順2～4の操作を繰り返して打楽器音を重ねていき、リズムを完成させます。

入力を間違えたときには、リズムが鳴っている状態のままで、特定の打楽器音をすべて消去できます。

特定の打楽器音を消去するには：

[消去]ボタンを押しながら、消去したい打楽器音が割り当てられているキーを押します。
指定された打楽器音は、瞬間的にすべて消去されます。

音量や入力位置などを修正する場合は、リズムを停止した状態で操作します。151ページの「入力した音符を編集/消去する」をご覧ください。

アカンパニメントを選ぶ/つくる(ロワーリズミック機能)

自分でつくったリズムに、既存のリズムのアカンパニメントをあわせて一緒に使用したり、ロワーリズミック機能を使って、下鍵盤にオリジナルのバッキングパターンをつけたりできます。

既存のリズムのアカンパニメントを選ぶには:

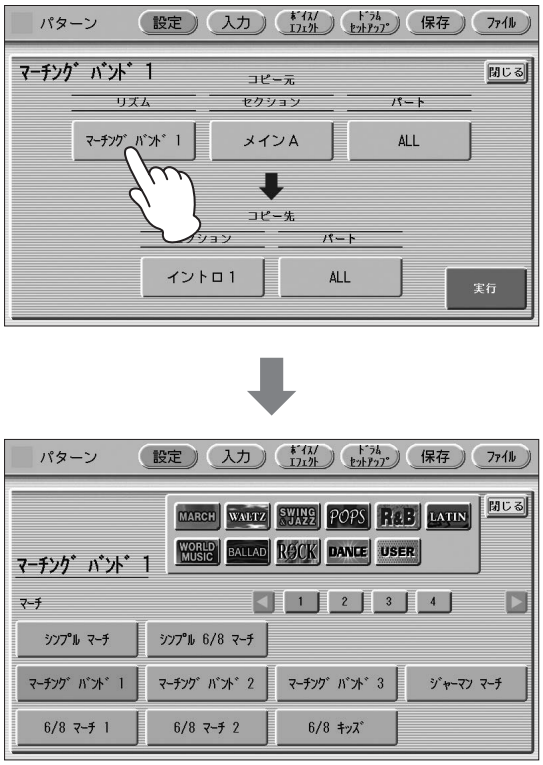
1 画面上の[設定]ボタンを押して設定ページを表示させます。

2 [アセンブリー]ボタンを押します。

コピー先、コピー元を選ぶ画面が現れます。

3 コピー元の[リズム]ボタンや[セクション]ボタンで、使用したいアカンパニメントのあるリズム、セクションを選択します。

関連ページ
• リズムの基本設定をする(147ページ)



4 コピー元の[パート]ボタンで、使用したいアカンパニメントのパートを選択します。

ここで選択したリズムのアカンパニメントが、そのまま自分のリズムに登録されます。

5 コピー先の[パート]ボタンで、アカンパニメントをコピーしたいパート(コード1またはコード2)を選びます。

6 [実行]ボタンを押します。

コピーが実行され、もとの画面(設定ページ)に戻ります。

これで、使用したいパターンが呼び出せました。

オリジナルのリズミックパターンをつくるには:

リズミックパターンの場合も、リズムパターンと同じように、ステップ入力とリアルタイム入力のどちらかの方法で入力します。

1 画面上の[入力]ボタンを押して、入力ページを表示させます。

2 パートのボタンで、リズミックパターンを入力するパート(コード1またはコード2)を選びます。

ロワーリズミックは、コード1またはコード2のパートに入力します。



既存のリズムからコピーしたデータが入っていた場合は、「消去してよろしいですか？」というメッセージが表示されます。消去してオリジナルのリズミックパターンをつくる場合は[消去]ボタンを選びます。

3 リズミックパターンに使用する楽器音(ボイス)を選びます。

ボイス名が表示されているボタンを押すと、ボイスメニューが表示されます。ボイスメニューの中から使用したいボイス名を選ぶと、一覧表示が閉じ、選んだボイスが上鍵盤と下鍵盤に呼び出されます。

NOTE

ここで選べるボイスは、各ボイスセクションで選べるボイスとは異なります。





ボイスは、リズミックパターンを入力したあとでも、この方法で変更できます。

ただし、ボイスは、コード1とコード2のそれぞれについて1種類ずつしか選べません。違うボイスを組み合わせてリズミックパターンをつくりたい場合は、コード1とコード2にそれぞれ別のボイスを割り当てることで、2種類のボイスが混ざったリズミックパターンを作成できます。

4 入力したいリズミックパターンに適したクオンタイズを設定します。

154ページをご覧ください。

5 ゲートタイムを設定します。

ゲートタイムの ▲ ▼ ボタンで操作するか、ゲートタイムが青枠で囲まれている状態でデータコントロールダイアルを操作することで、ゲートタイムを設定します。▲ ▼ ボタンを使うと、大まかに値を変更できます。データコントロールダイアルを回すと、値を一つずつ増減できます。



ゲートタイムというのは、実際に音が鳴っている時間です。たとえば、ひとくちに4分音符といっても、スタッカートで弾くこともあれば、テヌートで弾く場合もあります。そのような「鍵盤を押したときから離したときまでの時間」がゲートタイムです。
1拍は480クロックで構成されているので、4分音符をテヌートで入力する場合は450～470程度に、スタッカートで入力する場合は240前後に設定するとよいでしょう。

6 リズミックパターンを入力します。

リズムパターンとまったく同じ方法で入力できます。ただし、リズミックパターンの入力時は、鍵盤のどのキーを押してもCの和音(ドミソ)が鳴ります。
ステップ入力の場合は151ページの手順7をご覧ください。リアルタイム入力の場合は155ページをご覧ください。

入力した音符の音量を変更したり、入力した音をすべて消去することもできます。151ページの「入力した音符を編集/消去する」をご覧ください。また、次の手順でゲートタイムを変更することもできます。

ゲートタイムを変更するには：

1 **151ページの手順1に従って、ゲートタイムを変更する音符を選びます。**

2 **ゲートタイム表示ボックスを押します。**
ゲートタイム表示ボックスのまわりに青枠が表示されます。



3 **データコントロールダイアルを回して、ゲートタイムを変更します。**

コード1、コード2以外のアカンパニメントを変更する

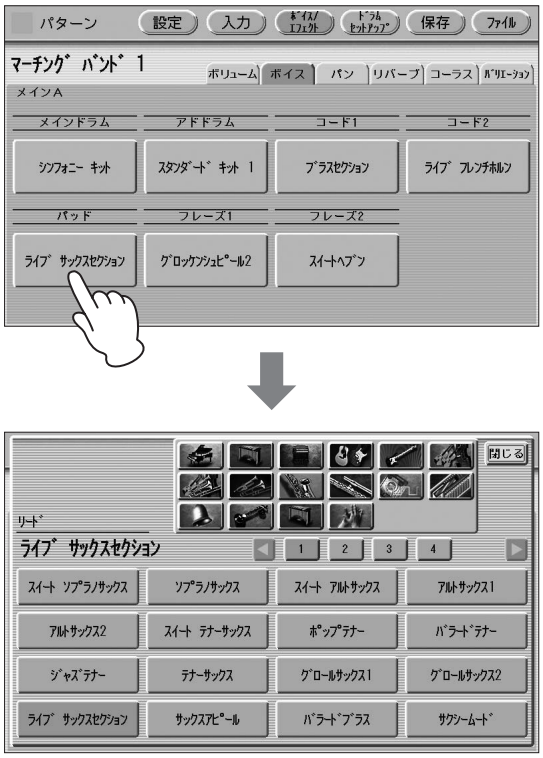
リズムパターンプログラムでは、打楽器パート(メインドラムとアドドラム)、リズミックパート(コード1とコード2)は作成できますが、その他のアカンパニメントのパート(パッド、フレーズ1、フレーズ2)は作成できません。
しかし、パッド、フレーズ1、フレーズ2に関しても、既存のリズムで使われているものをコピーしてそのまま使うだけでなく、音色(ボイス)を変更することができます。
ボイス/エフェクトページでボイスを変更できます。

1 **[ボイス/エフェクト]ボタンを押してボイス/エフェクトページを表示させます。**

2 **[ボイス]ボタンを押します。**
下の画面が表示されます。



3 **画面に表示されているボタンのうち、ボイスを変更したいパートのボタンを押します。**
ボイスメニューが表示されます。



4 **ボイスメニューの中から、使用したいボイスを選びます。**
ボイスメニューが自動的に閉じ、もとの画面に戻ります。

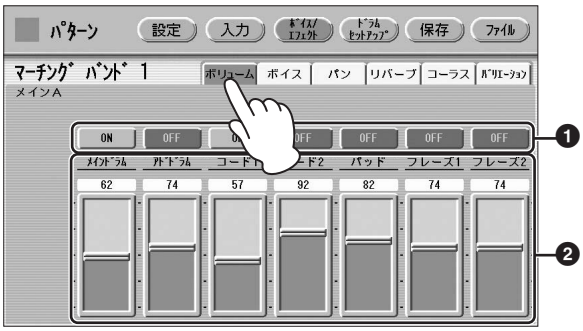
NOTE
ここで選べるボイスは、各ボイスセクションで選べるボイスとは異なります。

上の手順で好きなボイスを選び、各パートのボリュームやパン、エフェクトを調節することで、自分のイメージに近いアカンパニメントを作成することができます。

ボリューム/パンを設定する

ボリュームやパンは、ボイス/エフェクトページで設定します。

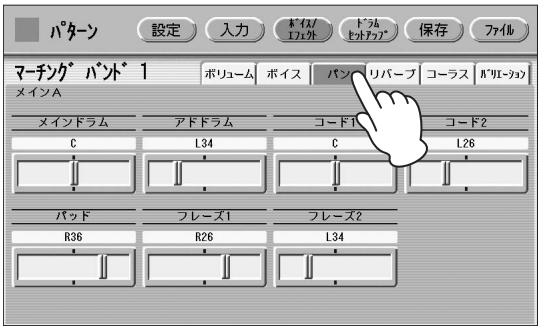
ボリューム画面



❶ オン/オフ
各パートのオン/オフを設定します。オフ(OFF)にしたパートはミュート(消音)されます。

❷ ボリュームスライダー
各パートのボリュームを設定します。
設定範囲：0～127

パン画面

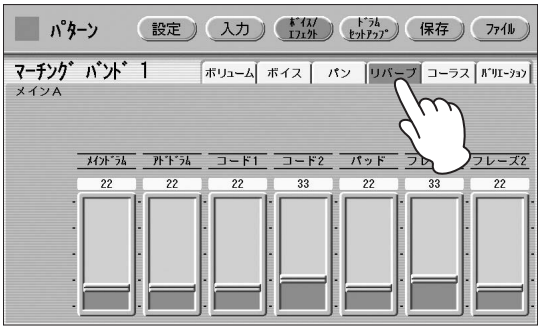


各パートのパン(ステレオ出力の左右の位置)を設定します。
設定範囲：L64～R63

エフェクトをかける

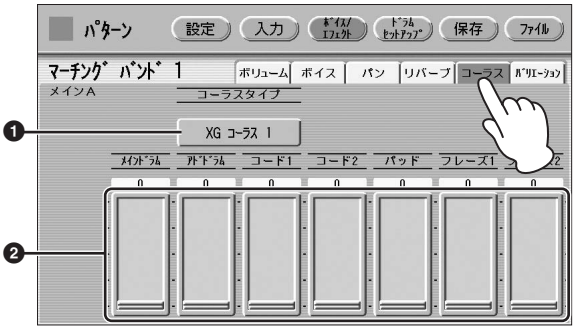
リバーブ、コーラス、バリエーションの3種類のエフェクトをかけることができます。
リバーブは音が響き渡るような効果で広がりや奥行き感を与え、コーラスは複数の音が同時になっているような効果で音に厚みを持たせます。バリエーションは、さまざまなエフェクトの中から好きなものを選んで使用できます。ボイス/エフェクトページで設定します。

リバーブ画面

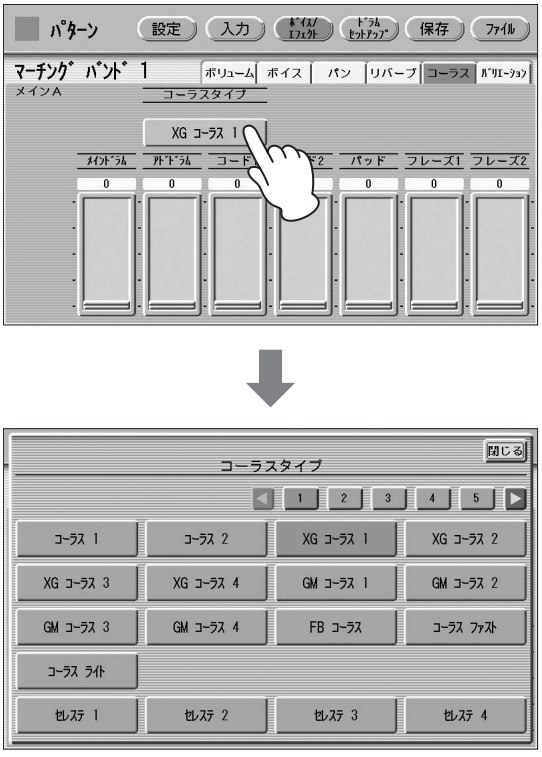


各パートのリバーブ量を設定します。
設定範囲：0～127

コーラス画面



❶ コーラスタイプ
コーラスエフェクトの種類を選びます。コーラスタイプの表示されているボタンを押すと、コーラスタイプ一覧が表示されます。



一覧の中から使用したいコーラスエフェクトを選ぶと、一覧表示は自動的に閉じます。

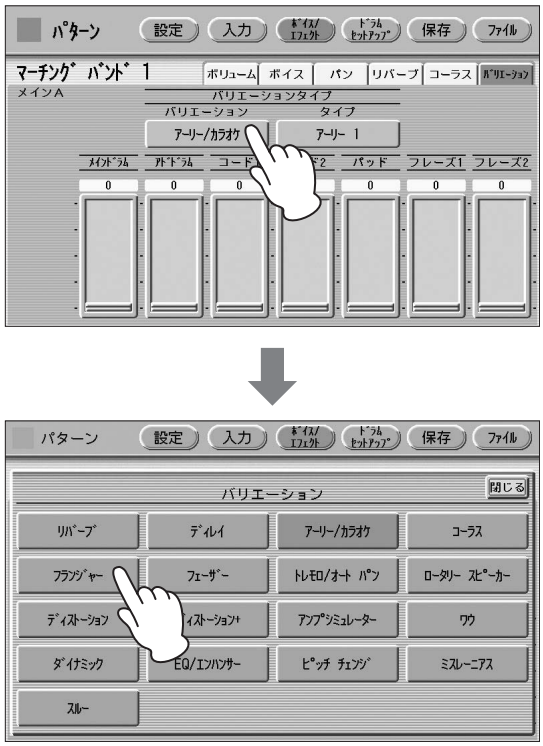
❷ コーラススライダー
各パートにコーラスエフェクトをかける量を設定します。
設定範囲：0～127

バリエーション画面



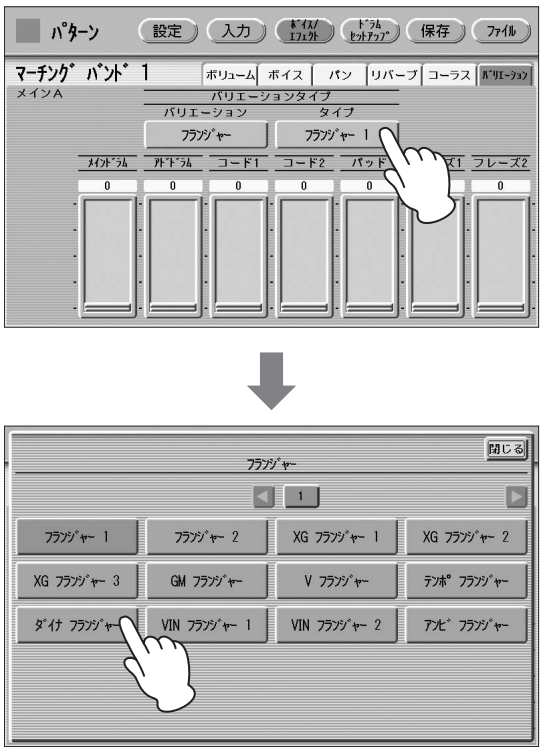
❶ バリエーションエフェクトカテゴリー
バリエーションエフェクトとして使用したいエフェクトのカテゴリーを選びます。エフェクト名の表示されているボタンを押すと、エフェクトカテゴリー一覧が表示されます。

関連ページ
・エフェクトリスト(55ページ)



一覧の中から使用したいバリエーションエフェクトを選ぶと、一覧表示は自動的に閉じます。
ここで選んだエフェクトに応じて、バリエーションタイプ(❷)は自動的に変更されます。

❷ バリエーションタイプ
バリエーションエフェクトのタイプを選びます。タイプ名の表示されているボタンを押すと、エフェクトタイプ一覧が表示されます。



一覧の中から使用したいエフェクトタイプを選ぶと、一覧表示は自動的に閉じます。

❸ バリエーションスライダー
各パートにバリエーションエフェクトをかける量を設定します。
設定範囲：0～127

各打楽器の細かい設定をする

それぞれの打楽器音について、チューニングを変更したり、打楽器ごとのパンやボリュームを変更したりできます。

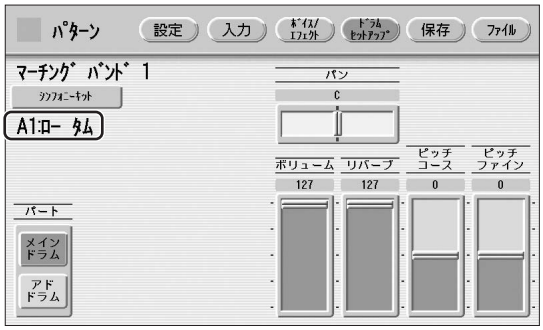
1 画面上の[ドラムセットアップ]ボタンを押して、ドラムセットアップページを表示させます。

2 設定を変更したい打楽器パート(メインドラムまたはアドドラム)を選びます。



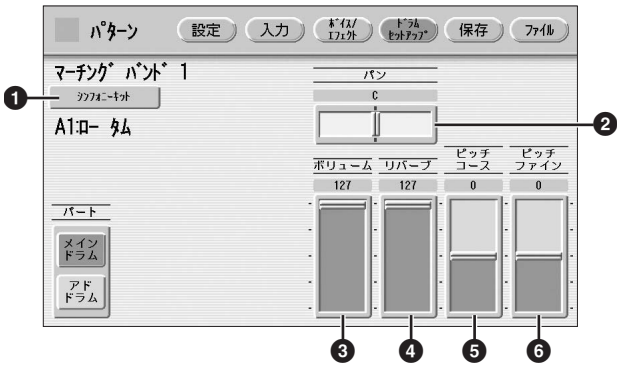
3 設定を変更したい打楽器音が割り当てられているキーを押します。

画面に打楽器名が表示され、その打楽器の設定を変更できることを示します。



4 設定を変更します。

パン、ボリューム、リバーブ、ピッチを変更できます。



❶ キット名

選択しているパートで使用しているキット名を表示します。キット名のボタンを押して表示される一覧で、キットを変更することもできます。キットを変更した場合は、すでに入力されている打楽器音は、新しく選んだキットの音に置き換わります。

関連ページ
・キットリスト(163ページ)

❷ パン

現在選ばれている打楽器の、ステレオ出力による位置を設定します。
設定範囲：L63～R63

❸ ボリューム

現在選ばれている打楽器のボリュームを設定します。
設定範囲：0～127

❹ リバーブ

現在選ばれている打楽器のリバーブの量を設定します。
設定範囲：0～127

❺ ピッチコース

現在選ばれている打楽器のピッチを、100セント単位で設定します。
設定範囲：−64～+63

❻ ピッチファイン

現在選ばれている打楽器のピッチを、1セント単位で設定します。ピッチコース(❺)よりも細かく設定できます。
設定範囲：−64～+63

リズムパターンを保存する

作成したリズムパターンを、ユーザーリズムとして48種類まで保存できます。

1 必要に応じて、保存するデータの内容を確認します。

保存するリズムパターンの確認

作成したリズムパターンは、15種類のセクションをまとめて、1つのリズムとして保存します。保存の操作を行なう前に、保存したいセクションすべてに希望のデータが入っているかどうかを確認してください。

<例>メインAとメインBのリズムパターンをユーザーリズムとして保存したい場合

設定ページの[セクション]ボタンでメインAを選んで、リズムの[START]ボタンを押します。メインAのリズムが再生されるので、保存したいデータであることを確認してください。続けて、メインBについても再生して確認します。
保存したいデータが入っていなかった場合は、アセンブリー(148ページ)で呼び出してください。

また、残りのセクション(ここではメインAとメインB以外の全セクション)も確認することをおすすめします。保存しなくてもよいセクションにデータが入っていた場合は、消去してデータ容量を減らすとよいでしょう。
設定ページの[パート消去]ボタンで、不要なセクションを消去できます(149ページ)。

2 画面右上の[保存]ボタンを押して、保存ページを表示させます。

保存ページを表示させると、リズムは自動的に止まります。

3 保存したいユーザーリズムナンバーを押します。

画面上に以下のメッセージが表示され、保存してよいかどうか確認を求めてきます。



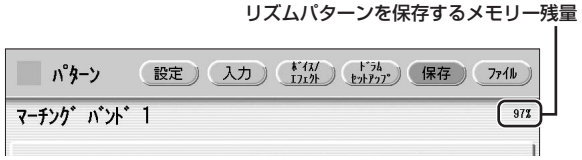


4 [保存]ボタンを押すと、「保存しました。」というメッセージが一時的に表示されて、リズムパターンが保存されます。

[キャンセル]ボタンを押すと、保存しないで前の画面に戻ります。

メモリー残量の確認

画面の右上に、パターンを保存するメモリーの残量が、パーセントで表示されています。



[保存]ボタンを押したときに「データがいっぱいです。」というメッセージが表示された場合は、メモリー残量が足りず、パターンを保存できていません。
このような場合は、15種類のセクションすべてのデータを確認し、不要なデータや必要度の低い打楽器音のデータを消去してから、もう一度試みてください。
また、メモリー残量の不足を未然に防ぐために、データを入力するときにこの[保存]ページで、こまめにメモリー残量をチェックすることをおすすめします。

関連ページ
- 保存するリズムパターンの確認(160ページ)
- パート消去(149ページ)

リズムパターンを保存したあとは、必ず以下の方法でリズムパターンプログラムを終了してください。リズムパターンプログラムを終了せずに電源を切ると、エディットした内容が失われてしまいます。

リズムパターンプログラムを終了する

どのページからでも、リズムパターンプログラムを終了できます。

1 パネル上の[PATTERN]ボタンを押します。

リズムが鳴っているときに[PATTERN]ボタンを押した場合、リズムは自動的に止まります。
つくったリズムパターンがすでに保存されている場合は、そのままリズムパターンプログラムを終了します。
リズムパターンがまだ保存されていない場合には、保存せずに終了してよいか確認を求めるメッセージが現れます。

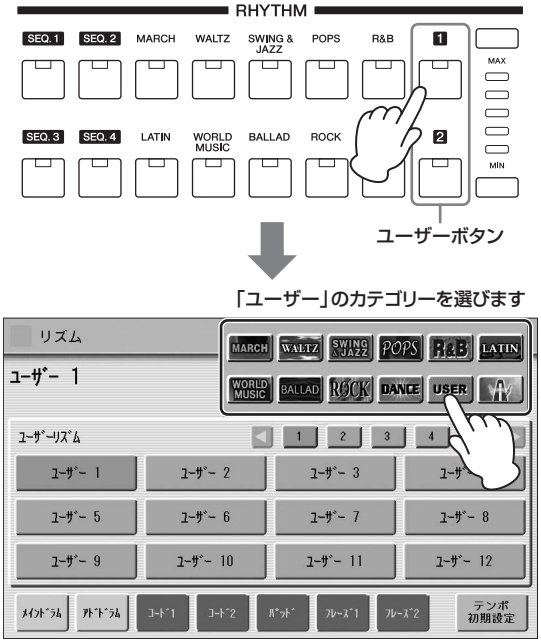
2 [終了]ボタンを押すと、作成中のリズムパターンを保存せずにリズムパターンプログラムを終了します。

[キャンセル]ボタンを押すと、終了せずに前の画面に戻ります。

注記
リズムパターンプログラムを終了すると、画面の左上が数秒間、水色に点灯し、エディット内容を保存していることを示します。点灯中は電源を切らないでください。

保存したユーザーリズムを呼び出す

リズムパターンプログラムでつくったユーザーリズムは、リズムセクションのユーザーボタンで呼び出すことができます。第5章の「ユーザーボタンでリズムを選ぶ」(61ページ)をご覧ください。



USBフラッシュメモリーからパターンを読み込む

USBフラッシュメモリーに保存されたパターンを読み込んで、ユーザーリズムとして保存して使用できます。エレクトーン用のデータだけでなく、ほかの楽器でつくったパターンファイルも読み込むことができます。

1 読み込みたいパターン(パターンファイル)が入ったUSBフラッシュメモリーを、[USB TO DEVICE]端子に差し込みます。

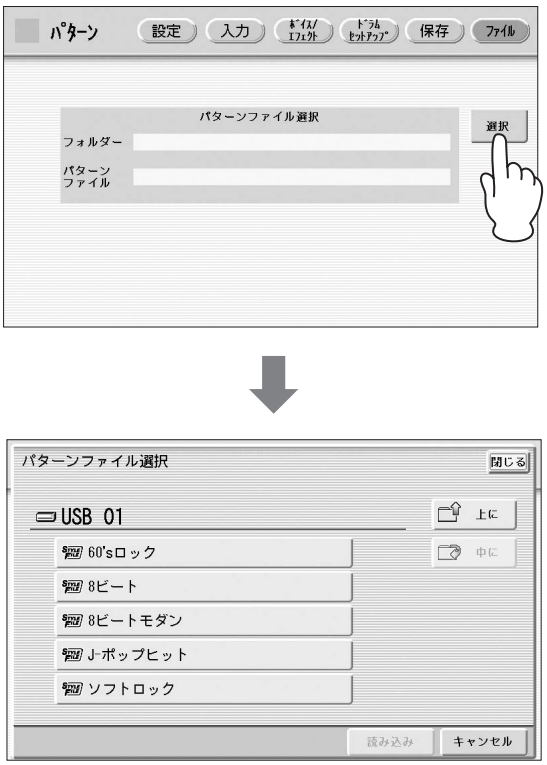
2 パネル上の[PATTERN]ボタンを押します。

3 画面右上の[ファイル]ボタンを押して、ファイルページを表示させます。

リズム再生中にファイルページを表示させると、リズムは自動的に止まります。

4 [選択]ボタンを押して、読み込みたいパターンファイルを選択します。

ファイルの選び方は、MDR機能のフォルダー選択と同じです。109ページ「USBフラッシュメモリーが見つからないときは」をご覧ください。



5 [読み込み]ボタンを押して、パターンをエレクトーンに読み込みます。

これで、USBフラッシュメモリーのパターンが、リズムパターンプログラム画面に読み込まれました。
読み込んだパターンは、入力ページで修正したり(151ページ)、保存ページでユーザーリズムとして保存したり(160ページ)できます。

エレクトーンで読み込めるファイルの種類について

このエレクトーンは、スタイルファイルフォーマットに対応しています。スタイルファイルフォーマット(SFF)というのは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した伴奏スタイルに関するフォーマットです。
SFFに対応した楽器で作成したスタイル(リズム)は、上記の方法で、エレクトーンに読み込むことができます。

STYLE FILE

キットリスト

		ドラム					
		ELキット1	ELキット2	スタンダードキット 1	スタンダードキット 2	ヒットキット	ルームキット
下鍵盤	C-1						
	C#-1	スクラッチ	マラカス ハイ	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート
	D-1	コンサート バスドラム	スルド ミュート	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン
	D#-1	ノイズ パーカッション	マラカス ロー	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q
	E-1	バスドラム マーチ	スルド モフ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ
	F-1	アナログバスドラ ショート	スルド リム	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H
	F#-1	シンセ タム 3	クイーカ ハイ	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L
	G-1	アナログバスドラ ロング	スルド オープン	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ
	G#-1	シンセ タム 2	クイーカ ミドル	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ
	A-1	シンセ バスドラム	タンボリン ミュート	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック
	A#-1	シンセ タム 1	クイーカ ロー	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル
	B-1	バスドラム アタック	タンボリン オープン	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L
	C0	バスドラム ヘビー	バンデイロ	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H
	C#0	タム 4	ボンゴ ハイ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ
	D0	バスドラム ライト	コンガ スライド	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*
	D#0	タム 3	ボンゴ ロー	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ
	E0	オーケストラ スネア ドラム	コンガ スラップ	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*
	F0	スネア ドラム ロール*	コンガ モフ	スネア ロール*	スネア ロール*	スネア ロール*	スネア ロール*
	F#0	タム 2	ボンゴ ミュート	カスタネット	カスタネット	カスタネット	カスタネット
	G0	スネア ブラッシュロール	コンガ ハイ	スネア ソフト	スネア ソフト 2	スネア エレクトロ	スネア ソフト 2
	G#0	タム 1	ボンゴ スラップ	スティック	スティック	スティック	スティック
	A0	スネア ブラッシュショット 2	コンガ ロー	キック ソフト	キック ソフト	キック タイト L	キック ソフト
	A#0	タム ブラッシュ ショット 4		オープン リム ショット	オープン リム ショット H	スネア ピッチ	オープン リム ショット
	B0	スネア ブラッシュショット 1	ティンバル 1 ハイ	キック タイト	キック タイト	キック ウェット	キック タイト
	C1	スネア ドラム ヘビー	ティンバル 1 ロー	キック	キック ショート	キック タイト H	キック
	C#1	タム ブラッシュ ショット 3		サイド スティック	サイド スティック ライト	スティック アンビエント	サイド スティック
	D1	スネア ドラム ライト	ティンバル 2 ハイ	スネア	スネア ショート	スネア アンビエント	スネア スナッピー
	D#1	タム ブラッシュ ショット 2		ハンド クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ
	E1	スネア ドラム アクセント 2	ティンバル 2 ロー	スネア タイト	スネア タイト H	スネア タイト 2	スネア タイト スナップ
	F1	スネア ドラム アクセント 1	ティンバル 3 ハイ	フロア タム L	フロア タム L	ハイブリッド タム 1	タム ルーム 1
	F#1	タム ブラッシュ ショット 1	ウッドブロック ハイ	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ 2	ハイハット クローズ
	G1	スネアドラム リバーブ 2	ティンバル 3 ロー	フロア タム H	フロア タム H	ハイブリッド タム 2	タム ルーム 2
	G#1	スネア ドラム リム 2	ウッドブロック ミドル	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル 2	ハイハット ペダル
	A1	スネアドラム リバーブ 1	ティンバル 4 ハイ	ロー タム	ロー タム	ハイブリッド タム 3	タム ルーム 3
	A#1	スネア ドラム リム 1	ウッドブロック ロー	ハイハット オープン	ハイハット オープン	ハイハット オープン 2	ハイハット オープン
	B1	シンセ スネア ドラム	ティンバル 4 ロー	ミドル タム L	ミドル タム L	ハイブリッド タム 4	タム ルーム 4
	C2	アナログ スネア ドラム	ビブラスラップ	ミドル タム H	ミドル タム H	ハイブリッド タム 5	タム ルーム 5
	C#2	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1
	D2	タンバリン	タンバリン	ハイ タム	ハイ タム	ハイブリッド タム 6	タム ルーム 6
	D#2	トライアングル オープン	トライアングル オープン	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1
	E2	カスタネット	カスタネット	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル
	F2	クラベス	クラベス	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ
	F#2			タンバリン	タンバリン	タンバリン ライト	タンバリン
	G2	カバサ	カバサ	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル
	G#2			カウベル	カウベル	カウベル	カウベル
	A2	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2
	A#2			ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ
	B2	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2
上鍵盤	C3	クラッシュ シンバル 2	ウィンド チャイム ダウン	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H
	C#3	ハイハット クローズ	アゴゴ ハイ	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L
	D3	クラッシュ シンバル 1	ウィンド チャイム アップ	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート
	D#3	ハイハット オープン	アゴゴ ロー	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン
	E3	クラッシュ シンバル ミュート	ベル	コンガ L	コンガ L	コンガ L	コンガ L
	F3	ライド シンバル 2	カウベル 4	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H
	F#3	ハイハット ペダル 2	シェイカー	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L
	G3	ライド シンバル 1	カウベル 3	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H
	G#3	ハイハット ペダル 1	ギロ ショート	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L
	A3	ライド シンバル カップ	カウベル 2	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ
	A#3		ギロ ロング	マラカス	マラカス	マラカス	マラカス
	B3	シンバル ブラッシュショット	カウベル 1	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*
	C4	シンバル マーチ	太鼓(タイコ) 2	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*
	C#4	アナログハイハット クローズ	大太鼓(オオダイコ)	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート
	D4	オーケストラ シンバル ロール	太鼓(タイコ) 1	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*
	D#4	アナログハイハット オープン	大太鼓(オオダイコ) 1	クラベス	クラベス	クラベス	クラベス
	E4	オーケストラ シンバル	大鼓(オオツヅミ) 2	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H
	F4	オーケストラシンバル ミュート	大鼓(オオツヅミ) 1	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L
	F#4		かけ声 3	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート
	G4	タム タム	小鼓(コツヅミ) 4	クイーカ オープン	クイーカ オープン	クイーカ オープン	クイーカ オープン
	G#4		かけ声 2	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート
	A4		小鼓(コツヅミ) 3	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン
	A#4		かけ声 1	シェイカー	シェイカー	シェイカー	シェイカー
	B4		小鼓(コツヅミ) 2	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル
	C5		小鼓(コツヅミ) 1	ベル ツリー	ベル ツリー	ベル ツリー	ベル ツリー
	C#5						
	D5						
	D#5						
	E5						
	F5						
	F#5						
	G5						

*: ゲートタイムの設定が必要な打楽器

		ドラム					
		ロックキット	エレクトロキット	アナログキット	ダンスキット	ジャズキット	ブラッシュキット
上鍵盤	C-1						
	C#-1	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	キック ダンス 1	スルド ミュート	スルド ミュート
	D-1	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	キック ダンス 2	スルド オープン	スルド オープン
	D#-1	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q
	E-1	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ
	F-1	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ ダンス 1*	スクラッチ H	スクラッチ H
	F#-1	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ ダンス 2*	スクラッチ L	スクラッチ L
	G-1	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ
	G#-1	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ
	A-1	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	ダンス バーカッション 1	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック
	A#-1	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	リバース ダンス 1	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル
	B-1	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L	ダンス バーカッション 2	Seq クリック L	Seq クリック L
	C0	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H	ハイ Q ダンス 1	Seq クリック H	Seq クリック H
	C#0	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	スネア アナログ 3	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ
	D0	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ビニル ノイズ*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*
	D#0	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	スネア アナログ 4	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ
	E0	ブラッシュ タップ スワール*	リバース シンバル*	リバース シンバル*	リバース シンバル*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*
	F0	スネア ロール*	スネア ロール*	スネア ロール*	リバース ダンス 2*	スネア ロール*	スネア ロール*
	F#0	カスタネット	ハイ Q 2	ハイ Q 2	ハイ Q 2	カスタネット	カスタネット
	G0	スネア ノイジー	スネア スナップ エレクトロ	スネア ノイジー 4	スネア テクノ	スネア ジャズ H	ブラッシュ スラップ 2
	G#0	スティック	スティック	スティック	スネア ダンス 1	スティック	スティック
	A0	キック ソフト	キック 3	キック 3	キック テクノ Q	キック ソフト	キック ソフト
	A#0	オープン リム ショット	オープン リム ショット	オープン リム ショット	リム ゲート	オープン リム ショット	オープン リム ショット
	B0	キック 2	キック ゲート	キック アナログ ショート	キック テクノ L	キック タイト	キック タイト
	C1	キック ゲート	キック ゲート ヘビー	キック アナログ	キック テクノ	キック ジャズ	キック ジャズ
	C#1	サイド スティック	サイド スティック	サイド スティック アナログ	サイド スティック アナログ	サイド スティック ライト	サイド スティック ライト
	D1	スネア ロック	スネア ノイジー 2	スネア アナログ	スネア クラップ	スネア ジャズ L	ブラッシュ スラップ 3
	D#1	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ダンス クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ
	E1	スネア ロック タイト	スネア ノイジー 3	スネア アナログ 2	スネア ドライ	スネア ジャズ M	ブラッシュ タップ 2
	F1	タム ロック 1	タム エレクトロ 1	タム アナログ 1	タム ダンス 1	フロア タム L	タム ブラッシュ 1
	F#1	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	ハット クローズ アナログ	ハイハット クローズ 3	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ
	G1	タム ロック 2	タム エレクトロ 2	タム アナログ 2	タム ダンス 2	フロア タム H	タム ブラッシュ 2
	G#1	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル	ハット クローズ アナログ2	ハット クローズ アナログ3	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル
	A1	タム ロック 3	タム エレクトロ 3	タム アナログ 3	タム ダンス 3	ロー タム	タム ブラッシュ 3
	A#1	ハイハット オープン	ハイハット オープン	ハット オープン アナログ	ハイハット オープン 3	ハイハット オープン	ハイハット オープン
	B1	タム ロック 4	タム エレクトロ 4	タム アナログ 4	タム ダンス 4	ミドル タム L	タム ブラッシュ 4
	C2	タム ロック 5	タム エレクトロ 5	タム アナログ 5	タム ダンス 5	ミドル タム H	タム ブラッシュ 5
	C#2	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ アナログ	クラッシュ アナログ	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1
	D2	タム ロック 6	タム エレクトロ 6	タム アナログ 6	タム ダンス 6	ハイ タム	タム ブラッシュ 6
	D#2	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1
	E2	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル
	F2	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ
	F#2	タンバリン	タンバリン	タンバリン	タンバリン アナログ	タンバリン	タンバリン
	G2	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル
	G#2	カウベル	カウベル	カウベル アナログ	カウベル ダンス	カウベル	カウベル
	A2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2
	A#2	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ アナログ	ビブラスラップ	ビブラスラップ
	B2	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2	ライド アナログ	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2
下鍵盤	C3	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ アナログ H	ボンゴ H	ボンゴ H
	C#3	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ アナログ L	ボンゴ L	ボンゴ L
	D3	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ アナログ H	コンガ アナログ H	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート
	D#3	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ アナログ M	コンガ アナログ M	コンガ H オープン	コンガ H オープン
	E3	コンガ L	コンガ L	コンガ アナログ L	コンガ アナログ L	コンガ L	コンガ L
	F3	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H
	F#3	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L
	G3	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H
	G#3	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L
	A3	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ
	A#3	マラカス	マラカス	マラカス 2	マラカス 2	マラカス	マラカス
	B3	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*
	C4	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*
	C#4	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート
	D4	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*
	D#4	クラベス	クラベス	クラベス 2	クラベス 2	クラベス	クラベス
	E4	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ダンス バーカッション 3	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H
	F4	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ダンス バーカッション 4*	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L
	F#4	クイーカ ミュート	スクラッチ H 2	スクラッチ H 2	ダンス ブレス 1	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート
	G4	クイーカ オープン	スクラッチ L 2	スクラッチ L 2	ダンス ブレス 2*	クイーカ オープン	クイーカ オープン
	G#4	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート
	A4	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン
	A#4	シェイカー	シェイカー	シェイカー	シェイカー	シェイカー	シェイカー
	B4	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル
	C5	ベル ツリー	ベル ツリー	ベル ツリー	ベル ツリー	ベル ツリー	ベル ツリー
	C#5						
	D5						
	D#5						
	E5						
	F5						
	F#5						
	G5						

*: ゲートタイムの設定が必要な打楽器

	ドラム					
	シンフォニーキット	チャイナ ミックス キット	ライブ! スタンダードキット	ライブ! Std+Pキット	ライブ! ファンクキット	ライブ! ファンク+Pキット
C-1						
C#-1	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート
D-1	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン
D#-1	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q
E-1	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ
F-1	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H
F#-1	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L
G-1	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ
G#-1	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ
A-1	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック
A#-1	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル
B-1	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L
C0	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H
C#0	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ
D0	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*
D#0	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ
E0	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*
F0	スネア ロール*	スネア ロール*	スネア ロール*	スネア ロール*	スネア ロール*	スネア ロール*
F#0	カスタネット	カスタネット	カスタネット	カスタネット	カスタネット	カスタネット
G0	スネア ソフト	スネア ソフト	スネア ソフト	スネア ソフト	スネア ソフト 2	スネア ソフト 2
G#0	スティック	スティック	スティック	スティック	スティック	スティック
A0	キック ソフト 2	キック ソフト	キック ソフト	キック ソフト	キック ソフト	キック ソフト
A#0	オープン リム ショット	オープン リム ショット	オープン リム ショット	オープン リム ショット	オープン リム ショット H	オープン リム ショット H
B0	グラン カッサ	キック タイト	キック タイト	キック タイト	キック タイト	キック タイト
C1	グラン カッサ ミュート	キック	キック	キック	キック ショート	キック ショート
C#1	サイド スティック	サイド スティック	サイド スティック	サイド スティック	サイド スティック ライト	サイド スティック ライト
D1	バンド スネア	スネア	スネア	スネア	スネア ショート	スネア ショート
D#1	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ
E1	バンド スネア 2	スネア タイト	スネア タイト	スネア タイト	スネア タイト H	スネア タイト H
F1	フロア タム L	フロア タム L	フロア タム L	フロア タム L	フロア タム L	フロア タム L
F#1	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ
G1	フロア タム H	フロア タム H	フロア タム H	フロア タム H	フロア タム H	フロア タム H
G#1	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル
A1	ロー タム	ロー タム	ロー タム	ロー タム	ロー タム	ロー タム
A#1	ハイハット オープン	ハイハット オープン	ハイハット オープン	ハイハット オープン	ハイハット オープン	ハイハット オープン
B1	ミドル タム L	ミッド タム L	ミドル タム L	ミドル タム L	ミドル タム L	ミドル タム L
C2	ミドル タム H	ミッド タム H	ミドル タム H	ミドル タム H	ミドル タム H	ミドル タム H
C#2	ハンド シンバル	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1
D2	ハイ タム	ハイ タム	ハイ タム	ハイ タム	ハイ タム	ハイ タム
D#2	ハンド シンバル S	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1
E2	チャイニーズ シンバル	チャイナ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル
F2	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ
F#2	タンバリン	タンバリン	タンバリン	タンバリン	タンバリン	タンバリン
G2	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル
G#2	カウベル	カウベル	カウベル	カウベル	カウベル	カウベル
A2	ハンド シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2
A#2	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ
B2	ハンド シンバル 2 S	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2
C3	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H
C#3	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L
D3	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート
D#3	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン
E3	コンガ L	コンガ L	コンガ L	コンガ L	コンガ L	コンガ L
F3	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H
F#3	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L
G3	アゴゴ H	ダグ ミュート	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H
G#3	アゴゴ L	ゾンチャ ミュート	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L
A3	カバサ	ダグ ヘビー	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ
A#3	マラカス	ゾンチャ オープン	マラカス	マラカス	マラカス	マラカス
B3	サンバ ホイッスル H*	パイグ ミドル	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*
C4	サンバ ホイッスル L*	パイグ ロー	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*
C#4	ギロ ショート	シャオチャ ミュート	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート
D4	ギロ ロング*	バング	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*
D#4	クラベス	シャオチャ オープン	クラベス	クラベス	クラベス	クラベス
E4	ウッド ブロック H	バンジ	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H
F4	ウッド ブロック L	ムユ ロー	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L
F#4	クイーカ ミュート	ゾンルオ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート
G4	クイーカ オープン	ムユ ミッド ロー	クイーカ オープン	クイーカ オープン	クイーカ オープン	クイーカ オープン
G#4	トライアングル ミュート	ゾンルオ オープン	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート
A4	トライアングル オープン	ムユ ミドル	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン
A#4	シェイカー	シャオルオ オープン	シェイカー	シェイカー	シェイカー	シェイカー
B4	ジングル ベル	ムユ ミッド ハイ	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル
C5	ベル ツリー	ムユ ハイ	ベル ツリー	ベル ツリー	ベル ツリー	ベル ツリー
C#5						
D5						
D#5						
E5						
F5						
F#5						
G5						

下鍵盤　上鍵盤

*：ゲートタイムの設定が必要な打楽器

		ドラム					
		ライブ! ブラッシュキット	ライブ! ブラッシュ +Pキット	ライブ! スタジオキット	ライブ! アコースティックキット	ライブ! パワー キット 1	ライブ! パワー キット 2
下鍵盤	C-1						
	C#-1	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート
	D-1	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン
	D#-1	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q
	E-1	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ
	F-1	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H
	F#-1	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L
	G-1	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ
	G#-1	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ
	A-1	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック
	A#-1	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル
	B-1	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L	Seq クリック L
	C0	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H	Seq クリック H
	C#0	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ
	D0	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ スワール*
	D#0	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ
	E0	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*
	F0	スネア ロール*	スネア ロール*	スネア ロール*	スネア ロール アコースティック*	スネア ロール*	スネア ロール*
	F#0	カスタネット	カスタネット	カスタネット	カスタネット	カスタネット	カスタネット
	G0	ブラッシュ スラップ 2	ブラッシュ スラップ 2	スネア スタジオ 2	スネア ソフト アコースティック	スネア ソフト パワー 1	スネア ソフト パワー 2
	G#0	スティック	スティック	スティック	スティック	スティック	スティック
	A0	キック ソフト	キック ソフト	キック アンビエンス H	キック ソフト アコースティック	キック アンビエント+	キック アンビエント+
	A#0	オープン リム ショット	オープン リム ショット	オープン リム ショット	リム アコースティック	オープン リム パワー 1	オープン リム パワー 2
	B0	キック タイト	キック タイト	キック アンビエンス L	キック ミュート アコ	キック パワー オープン	キック パワー オープン
	C1	キック ジャズ	キック ジャズ	キック スタジオ	キック オープン アコ	キック パワー ミュート	キック パワー ミュート
	C#1	サイド スティック ライト	サイド スティック ライト	サイド スティック	スティック アコースティック	サイド スティック パワー	サイド スティック パワー
	D1	ブラッシュ スラップ 3	ブラッシュ スラップ 3	スネア スタジオ M	スネア アコースティック	スネア パワー 1	スネア パワー 2
	D#1	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ	ハンド クラップ パワー	ハンド クラップ パワー	ハンド クラップ パワー
	E1	ブラッシュ タップ 2	ブラッシュ タップ 2	スネア スタジオ L	スネア ラフ アコースティック	スネア ラフ 1	スネア ラフ 2
	F1	タム ブラッシュ 1	タム ブラッシュ 1	フロア タム L	タム アコースティック 1	タム パワー 1	タム パワー 1
	F#1	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ アコ	ハイハット クローズ パワー	ハイハットクローズPWエッジ
	G1	タム ブラッシュ 2	タム ブラッシュ 2	フロア タム H	タム アコースティック 2	タム パワー 2	タム パワー 2
	G#1	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル	ハイハット ペダル アコ	ハイハット ペダル パワー	ハイハット ペダル パワー
	A1	タム ブラッシュ 3	タム ブラッシュ 3	ロー タム	タム アコースティック 3	タム パワー 3	タム パワー 3
	A#1	ハイハット オープン	ハイハット オープン	ハイハット オープン	ハイハット オープン アコ	ハイハット オープン パワー	ハイハット オープン パワー
	B1	タム ブラッシュ 4	タム ブラッシュ 4	ミドル タム L	タム アコースティック 4	タム パワー 4	タム パワー 4
	C2	タム ブラッシュ 5	タム ブラッシュ 5	ミドル タム H	タム アコースティック 5	タム パワー 5	タム パワー 5
	C#2	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル 1	クラッシュ シンバル アコ 1	クラッシュ シンバル アコ 1	クラッシュ シンバル アコ 1
	D2	タム ブラッシュ 6	タム ブラッシュ 6	ハイ タム	タム アコースティック 6	タム パワー 6	タム パワー 6
	D#2	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル 1	ライド シンバル アコ 1	ライド シンバル アコ 1	ライド シンバル アコ 1
	E2	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイニーズ シンバル	チャイナ シンバル アコ	チャイナ シンバル アコ	チャイナ シンバル アコ
	F2	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライド シンバル カップ	ライドシンバルカップ アコ	ライドシンバルカップ アコ	ライドシンバルカップ アコ
	F#2	タンバリン	タンバリン	タンバリン	タンバリン	タンバリン	タンバリン
	G2	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル アコ	スプラッシュ シンバル アコ	スプラッシュ シンバル アコ
	G#2	カウベル	カウベル	カウベル	カウベル	カウベル	カウベル
	A2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル 2	クラッシュ シンバル アコ 2	クラッシュ シンバル アコ 2	クラッシュ シンバル アコ 2
	A#2	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ
	B2	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2	ライド シンバル 2	ライド シンバル アコ 2	ライド シンバル アコ 2	ライド シンバル アコ 2
上鍵盤	C3	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H
	C#3	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L
	D3	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート
	D#3	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン
	E3	コンガ L	コンガ L	コンガ L	コンガ L	コンガ L	コンガ L
	F3	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H
	F#3	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L
	G3	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H
	G#3	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L
	A3	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ
	A#3	マラカス	マラカス	マラカス	マラカス	マラカス	マラカス
	B3	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*
	C4	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*
	C#4	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート
	D4	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*
	D#4	クラベス	クラベス	クラベス	クラベス	クラベス	クラベス
	E4	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H
	F4	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L
	F#4	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート
	G4	クイーカ オープン	クイーカ オープン	クイーカ オープン	クイーカ オープン	クイーカ オープン	クイーカ オープン
	G#4	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート
	A4	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン
	A#4	シェイカー	シェイカー	シェイカー	シェイカー	シェイカー	シェイカー
	B4	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル
	C5	ベル ツリー	ベル ツリー	ベル ツリー	ウィンド チャイム	ウィンド チャイム	ウィンド チャイム
	C#5						
	D5						
	D#5						
	E5						
	F5						
	F#5						
	G5						

*: ゲートタイムの設定が必要な打楽器

		ドラム					
		ライブ! ロック キット	ライブ! リアルドラムス	ライブ! リアル ブラッシュ	アナログT8 キット	アナログT9 キット	ハウス キット
上鍵盤	C-1						
	C#-1	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート	ダブル キック*
	D-1	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン	ディスコ Fx*
	D#-1	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q	ホワイトノイズ ダウン 1*
	E-1	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ピンクノイズ ダウン 1*
	F-1	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H	ホワイトノイズ ダウン 2*
	F#-1	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L	ピンクノイズ ダウン 2*
	G-1	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	スネア ハンマー	スネア ドラム&ベース 1	ホワイトノイズ アップ 2*
	G#-1	クリック ノイズ	クリック ノイズ	クリック ノイズ	キック ザップ ハード	キック ブレイク 2	ホワイトノイズ アップ 1
	A-1	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	メトロノーム クリック	スネア ガルグ L	スネア ディストーション	ピンクノイズ アップ*
	A#-1	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	メトロノーム ベル	キック テクノ パワー	キック テクノ パワー	ホワイトノイズアップリリース*
	B-1	Seq クリック L	Seq クリック L	ビンテージ チップ	キック スライミー	キック ディストーション RM	ピンクノイズアップリリース*
	C0	Seq クリック H	Seq クリック H	ビンテージ スワール 1*	キック T8 4	キック T9 2	キック T9 4
	C#0	ブラッシュ タップ	ブラッシュ タップ	ビンテージ スラップ 1	スネア アナログ CR	スネア アナログ CR	スネア T8 リム
	D0	ブラッシュ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ビンテージ スワール 2*	スネア T8 7	スネア T9 5	スネア T8 5
	D#0	ブラッシュ スラップ	ブラッシュ スラップ	ビンテージ スラップ 2	スネア クラップ アナログ	クラップ アナログ Sm	ハンド クラップ
	E0	ブラッシュ タップ スワール*	ブラッシュ タップ スワール*	ビンテージ タップスワール*	スネア T8 6	スネア T9 ゲート 1	スネア ガルグ L
	F0	スネア ロール ロック*	スネア ロール ロック*	ビンテージスラップスワール*	タム T8 5	スネア ロック ロール*	スネア ロール*
	F#0	カスタネット	カスタネット	ビンテージ スワール 3*	スネア T8 5	スネア T9 3	スネア T9 3
	G0	スネア ソフト ロック	スネア タイト	ビンテージ スラップ 3	キック T8 3	スネア T9 4	スネア T8 1
	G#0	スティック	スティック	スティック	スネア T8 4	スネア T9 ゲート 2	スネア T9 5
	A0	キック ロック ソフト	キック ジェニュイン	キック ソフト L	キック T8 2	キック T9 4	キック T9 1
	A#0	リム ロック	リム リアル	オープン リム ショット RB	スネア T8 3	スネア T9 6	スネア T9 ゲート
	B0	キック ロック ヘビー	キック リアル 1	キック ソフト H	T8 キック ベース	キック T9 1	キック T9 2
	C1	キック ロック	キック リアル 2	キック ジャズアンビエンス	キック T8 1	キック T9 3	キック T9 5
	C#1	スティック ロック	スティック リアル	スティック ブラッシュ	スネア T8 リム	スネア T9 リム	スネア T9 リム
	D1	スネア ロック	スネア リアル 1	ビンテージ スラップ 4	スネア T8 2	スネア T9 1	スネア T9 1
	D#1	ハンド クラップ パワー	クラップ パワー	クラップ パワー	クラップ T9	クラップ T9	クラップ T9
	E1	スネア ドライ ロック	スネア リアル 2	ビンテージ スラップ 5	スネア T8 1	スネア T9 2	スネア T9 2
	F1	タム ロック 1	タム リアル 1	タム リアル ブラッシュ 1	タム T8 1	タム T9 1	タム T9 1
	F#1	ハイハット クローズ ロック	ハイハット クローズ リアル	ハイハット クローズ RB	ハイハット クローズ T8	ハイハット クローズ T9	ハイハット クローズ T8
	G1	タム ロック 2	タム リアル 2	タム リアル ブラッシュ 2	タム T8 2	タム T9 2	タム T9 2
	G#1	ハイハット ペダル ロック	ハイハット ペダル リアル	ハイハット ペダル RB	ハイハット ペダル T8	ハイハット ペダル T9	ハイハット ペダル T9
	A1	タム ロック 3	タム リアル 3	タム リアル ブラッシュ 3	タム T8 3	タム T9 3	タム T9 3
	A#1	ハイハット オープン ロック	ハイハット オープン リアル	ハイハット オープン RB	ハイハット オープン T8	ハイハット オープン T9	ハイハット オープン T9
	B1	タム ロック 4	タム リアル 4	タム リアル ブラッシュ 4	タム T8 4	タム T9 4	タム T9 4
	C2	タム ロック 5	タム リアル 5	タム リアル ブラッシュ 5	タム T8 6	タム T9 5	タム T9 5
	C#2	クラッシュ シンバル アコ 1	クラッシュシンバル リアル 1	クラッシュ シンバル RB 1	クラッシュ シンバル T8	クラッシュ シンバル T9	クラッシュ シンバル T9
	D2	タム ロック 6	タム リアル 6	タム リアル ブラッシュ 6	タム T8 7	タム T9 6	タム T9 6
	D#2	ライド シンバル アコ 1	ライド シンバル リアル 1	ライド シンバル RB	ライド シンバル T9	ライド シンバル T9	ライド シンバル T9
	E2	チャイナ シンバル アコ	チャイナ シンバル リアル	チャイナ シンバル RB	チャイナ シンバル 2	チャイナ シンバル 2	クラッシュ シンバル 4
	F2	ライドシンバルカップ アコ	ライドシンバルカップリアル	ライド カップ RB 1	ライドシンバル カップ 2	ライドシンバル カップ 2	ライドシンバル カップ 2
	F#2	タンバリン	タンバリン	タンバリン	タンバリン RX5	タンバリン RX5	タンバリン ヒット
	G2	スプラッシュ シンバル アコ	スプラッシュシンバル リアル	スプラッシュ シンバル RB	スプラッシュ シンバル	スプラッシュ シンバル 2	スプラッシュ シンバル 2
	G#2	カウベル	カウベル	カウベル	カウベル T8	カウベル 1	カウベル 1
	A2	クラッシュ シンバル アコ 2	クラッシュシンバル リアル 2	クラッシュ シンバル RB 2	クラッシュ シンバル 4	クラッシュ シンバル 4	クラッシュ シンバル 1
	A#2	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	ビブラスラップ	カウベル T8	カウベル T8
	B2	ライド シンバル アコ 2	ライド シンバル リアル 2	ライド カップ RB 2	ライド シンバル 3	ライド シンバル 3	ライド シンバル 3
下鍵盤	C3	ボンゴ H	ボンゴ H	ボンゴ H	コンガ T8 5	コンガ T8 5	ボンゴH オープン 1 F
	C#3	ボンゴ L	ボンゴ L	ボンゴ L	コンガ T8 4	コンガ T8 4	ボンゴL オープン 3 F
	D3	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ H ミュート	コンガ T8 3	コンガ チップ	コンガ H チップ
	D#3	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ H オープン	コンガ T8 2	コンガ オープン スラップ	コンガH スラップオープン
	E3	コンガ L	コンガ L	コンガ L	コンガ T8 1	コンガ オープン	コンガ H オープン 2
	F3	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H	ティンバル H
	F#3	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L	ティンバル L
	G3	アゴゴ H	アゴゴ H	アゴゴ H	グラス H	アナログ クリック	アゴゴ H
	G#3	アゴゴ L	アゴゴ L	アゴゴ L	グラス L	コンガ T8 1	アゴゴ L
	A3	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ	カバサ
	A#3	マラカス	マラカス	マラカス	マラカス T8	マラカス スラー 2	マラカス スラー 2
	B3	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	サンバ ホイッスル H*	Fx ガン 2*	Fx ガン 2*	ボックス ドラム L
	C4	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	サンバ ホイッスル L*	Fx ガン 1*	Fx ガン 1*	ボックス ドラム H
	C#4	ギロ ショート	ギロ ショート	ギロ ショート	アナログ シェイカー H*	スクラッチ H 3*	ギロ ショート
	D4	ギロ ロング*	ギロ ロング*	ギロ ロング*	アナログ シェイカー L*	スクラッチ ダウン*	ギロ ロング*
	D#4	クラベス	クラベス	クラベス	クラベス T8	ハイ Q 3	クラベス
	E4	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	ハイ Q 1	ハイ Q 1	ウッド ブロック H
	F4	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	ハイ Q 2	ハイ Q 2	ウッド ブロック L
	F#4	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	クイーカ ミュート	スクラッチ H 2	スクラッチ H 2	クイーカ H
	G4	クイーカ オープン	クイーカ オープン	クイーカ オープン	スクラッチ L 2	スクラッチ L 2	クイーカ L
	G#4	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	トライアングル ミュート
	A4	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン	トライアングル オープン
	A#4	シェイカー	シェイカー	シェイカー	アナログ シェイカー	アナログ シェイカー	アナログ シェイカー
	B4	ジングル ベル	ジングル ベル	ジングル ベル	スレイ ベル	スレイ ベル	スレイ ベル
	C5	ウィンド チャイム	ウィンド チャイム	ウィンド チャイム	ウィンド チャイム	ウィンド チャイム	ウィンド チャイム
	C#5				スネア ヒップ 1	スネア ピッコロ	スネア ブレイク ロール
	D5				スネア ヒップ 2	スネア T8 7	ノイズ バースト
	D#5				スネア ヒップ ゲート	スネア ロックロール ディスト	ボックス ベル
	E5				スネア ブレイク 1	スネア ブラッシュ ミュート	スネア R&B 1
	F5				キック ブリップ	キック ブリップ ハード	ボックス アーク
	F#5				スネア Fx 1	スネア ジャングル 1	ウドゥ ハイ
	G5				キック Fx ハンマー	キック サスティン	フィルター キック

*: ゲートタイムの設定が必要な打楽器

		ドラム			SFX		
		ヒップホップ キット	ドラムマシン	ブレイク キット	SFXキット1	SFXキット2	ライブ! SFX キット 1
上鍵盤	C-1						
	C#-1	スルド ミュート	スルド ミュート	スルド ミュート			
	D-1	スルド オープン	スルド オープン	スルド オープン			
	D#-1	ハイ Q	ハイ Q	ハイ Q			
	E-1	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ	ウィップ スラップ			
	F-1	スクラッチ H	スクラッチ H	スクラッチ H			
	F#-1	スクラッチ L	スクラッチ L	スクラッチ L			
	G-1	ハイハットクローズT8 2	スネア ドラム&ベース 1	フィンガー スナップ			
	G#-1	タム T8 3	キック ブレイク 2	スネア ブレイク 8			
	A-1	ハイハット オープン T8 2	スネア ディストーション	スネア ブレイク 9			
	A#-1	タム T8 6	キック テクノ パワー	ハイハットクローズブレイク1＊			
	B-1	クラッシュ T8	キック ディストーション RM	ハイハットクローズブレイク2＊			
	C0	トライアングル ミュート	バスドラム ハードロング	キック ブレイク ディープ			
	C#0	トライアングル オープン	バスドラム テクノパワー	スネア ヒップ			
	D0	ベル ツリー	バス ドラム ディスト 5	スネア ローファイ			
	D#0	タンバリン ライト 2	バス ドラム ディスト 3	スネア クラッピー			
	E0	タンバリン ライト 1	バス ドラム ディスト 1＊	スネア LdwH モノ			
	F0	キック ヒップホップ 9	BD ドラム & ベース 1	スネア ロック ロール＊			
	F#0	ハイハット クローズ テクノ	バス ドラム ブリップ	スネア ゲート 1			
	G0	キック ゲート	バス ドラム アナログSm	スネア ミドル			
	G#0	ハイハットオープン ローファイ	キック T8 2	スネア ブレイク リム			
	A0	キック グランカッサオープン	キック T8 3	キック ブレイク ヘビー			
	A#0	ハイハット リバース D&B	キック T9 HD 3	スネア ヒップ リム 4			
	B0	キック ヒップホップ 1	キック T9 2	キック ブレイク 2			
下鍵盤	C1	キック アナログ CR	キック T9 4	キック ブレイク 1	カッティング ノイズ 1＊	フォーン コール＊	カッティング ノイズ 1＊
	C#1	スネア アナログ Sm リム	スネア T9 リム	スネア ヒップ リム 1	カッティング ノイズ 2＊	ドアのきしみ＊	カッティング ノイズ 2＊
	D1	スネア ヒップホップ 1	スネア T9 1	スネア ブレイク 3		ドアを閉める＊	
	D#1	スネア クラッピー	クラップ T9	スネア ブレイク 1	ストリング スラップ＊	スクラッチ カット＊	ストリング スラップ＊
	E1	スネア ヒップホップ 2	スネア T9 4	スネア ブレイク 2		スクラッチ スプリット＊	
	F1	フロア タム L	タム T9 1	タム ブレイク 1		ウィンド チャイム＊	
	F#1	ハイハット クローズ ヒップ	ハイハット クローズ T9	ハイハットクローズロックソフト		電話＊	
	G1	ロー タム	タム T9 2	タム ブレイク 2			
	G#1	ハイハット ペダル ヒップ	ハイハット ペダル T9	ハイハット ペダル ロック			
	A1	ミドル タム L	タム T9 3	タム ブレイク 3			
	A#1	ハイハット オープン ヒップ	ハイハット オープン T9	ハイハットハーフオープンロック			
	B1	ハイ タム	タム T9 4	タム ブレイク 4			
	C2	ライド シンバル 3	タム T9 5	タム ブレイク 5			
	C#2	クラッシュ シンバル 3	クラッシュ シンバル T9	クラッシュ シンバル 1			
	D2	シェイカー 2	コンガ T8 1	タム ブレイク 6			
	D#2	スクラッチ BD フォワード	ライド シンバル T9	ライド シンバル 3			
	E2	スクラッチ BD リバース	コンガ T8 2	チャイナ シンバル 2	フルート キー クリック＊	イグニッション＊	フルート キー クリック＊
	F2	キック ヒップホップ 2	アナログ クリック	ライドシンバル カップ 2		タイヤ＊	
	F#2	スネア ヒップホップリム 2	クラベス T8 1	タンバリン 1 ヒット		レーシングカー＊	
	G2	ヒップホップ クラップ 2	マラカス T8	スプラッシュ シンバル 2		衝突＊	
	G#2	ヒップホップ スナップ 1	タンバリン アナログ CR	カウベル 1		サイレン＊	
	A2	スネア ヒップホップ 3	アナログ シェイカー	クラッシュ シンバル 2		列車＊	
	A#2	エレクトリック クラップ 2	カウベル T8	カウベル RX11		ジェット機＊	
	B2	キック ヒップ ディープ	カウベル アナログ CR	ライド シンバル 2		スターシップ＊	
	C3	キック ヒップホップ 3	スネア T8 1	ボンゴ H		バースト＊	
	C#3	スネア ヒップホップリム 3	スネア T8 2	ボンゴ L		ローラー コースター＊	
	D3	スネア ヒップホップ 5	スネア T8 3	コンガ H チップ		サブマリン＊	
	D#3	エレクトリック クラップ 1	スネア アナログ CR	コンガH オープンスラップ			
	E3	ハンドベル H	スネア ジャングル 1	コンガ H オープン			
	F3	キック ヒップホップ 4	スネア ドラム&ベース 2	ボンゴ 2 H			
	F#3	ヒップホップ クラップ 3	スネア ヒップ 1	ボンゴ 2 L			
	G3	ヒップホップ スナップ 2	スネア R&B 1	コンガ オープン			
	G#3	スネア ヒップホップリム 5	スネア R&B 2	アゴゴ L	雨＊	笑い声＊	雨 2＊
	A3	ヒップホップ フレックス 1	スネア ヒップ 1	カバサ	雷＊	悲鳴＊	雷 2＊
	A#3	ヒップホップ フレックス 2	スネア ウッド	マラカス スラー	風＊	パンチ＊	風 2＊
	B3	シェイカー 2	スネア ティンバー	ティンバル H	せせらぎ＊	心音＊	せせらぎ 2＊
	C4	キック ヒップホップ 5	ハイハット クローズ T8 1	ティンバル L	泡＊	足音＊	泡 2＊
	C#4	スネア ヒップホップリム 4	ハイハット オープン T8 1	スクラッチ H 3＊	フィード＊		フィード＊
	D4	スネア ヒップホップ 6	ハイハット クローズ T8 2	スクラッチ ダウン＊			
	D#4	スネア ヒップホップ 11	ハイハット オープン T8 2	クラベス			
	E4	キック ヒップホップ 10	ハイハット ペダル アコ	ウッド ブロック H			
	F4	スネア ヒップホップ 7	ハイハット クローズ アコ	ウッド ブロック L			
	F#4	ヒップホップ クラップ 5	ハイハット オープン アコ	スクラッチ H 2			
	G4	コンガ H チップ	ハイハット クローズLo-Fi	スクラッチ L 2			
	G#4	コンガ H ヒール	ハイハット オープンLo-Fi	トライアングル ミュート			
	A4	コンガ H オープン	ハイハット クローズ Syn	トライアングル オープン			
	A#4	コンガ L オープン 1	ハイハット オープン Syn	キック ブレイク 3			
	B4	コンガ L オープン 2	アナログ シェイカー 1	キック ブレイク 4			
	C5	キック ヒップホップ 8	タンバリン RX5 2	キック ブレイク 5＊	犬＊	マシンガン＊	犬＊
	C#5	ヒップホップ クラップ 6	タンバリン 1 ヒット	キック ブレイク 6	馬＊	レーザーガン＊	馬＊
	D5	スネア T8 1	エレクトリック カウベル	キック ブレイク 7	鳥のさえずり＊	爆発＊	鳥のさえずり＊
	D#5	スネア T8 1 H	コンガ T8 3	ハイハットクローズブレイク3		花火＊	
	E5	ヒップホップ クラップ 7	エレクトリック トライアングル	スネア ブレイク 4			
	F5	タム T8 1	クラベス T8 2	スネア ブレイク 5			
	F#5	ハイハット クローズ T8 2	アナログ シェイカー 2	スネア ブレイク 6	ゴースト＊		ゴースト＊
	G5	タム T8 2	エレクトリック クラップ 1	スネア ブレイク 7	マオウ＊		マオウ＊

＊: ゲートタイムの設定が必要な打楽器

		SFX					
		ライブ! SFX キット 2	ノイズ キット	ボーカルエフェクト キット	ゴスペルアドリブ	ワンダーランドキット	ポップラテンキット
上鍵盤	C-1						
	C#-1						カホン L
	D-1						カホン スラップ
	D#-1						カホン チップ
	E-1						クラベス H
	F-1						クラベス L
	F#-1						ハンド クラップ
	G-1						
	G#-1						フィンガー スナップ
	A-1						カスタネット
	A#-1						コンガ H チップ
	B-1						コンガ H ヒール
	C0					レーザー ビーム	コンガ H オープン
	C#0					レーザー ショット*	コンガ H ミュート
	D0					ウォーター ホーン*	コンガ H スラップOp.
	D#0					泡	コンガ H スラップ
	E0					水たまり	コンガ H スラップMt.
	F0					雷*	コンガ L チップ
	F#0					雨*	コンガ L ヒール
	G0					波*	コンガ L オープン
	G#0					せせらぎ*	コンガ L ミュート
	A0					足音	コンガ L スラップOp.
	A#0					ドアのきしみ	コンガ L スラップ
	B0					ドアを閉める	コンガ L スライド*
下鍵盤	C1	フォーン コール*	ホワイトノイズ*	男声 Ha 1*		バス ドラム	ボンゴ H Op. 1 f
	C#1	ドアのきしみ 2*	ピンクノイズ*	女声 Ha 1*		グランカッサ	ボンゴ H Op. 3 f
	D1	ドアを閉める 2*	ホワイトノイズ ダウン 1*	男声 Ha 2*		タム 2	ボンゴ H リム
	D#1	スクラッチ カット*	ピンクノイズ ダウン 1*	男声 Ha 3*		タム 1	ボンゴ H チップ
	E1	スクラッチ スプリット*	ホワイトノイズ ダウン 2*	男声 Bh 1*		スネア ドラム	ボンゴ H ヒール
	F1	ウィンド チャイム*	ピンクノイズ ダウン 2*	女声 Bh 1*		スネア ロール*	ボンゴ H スラップ
	F#1	電話 2*	ホワイトノイズ アップ 2*	男声 Kh 1*		ハイハット クローズ	ボンゴ L Op. 1 f
	G1		ホワイトノイズ アップ 1*	女声 Kh 1*		シンバル	ボンゴ L Op. 3 f
	G#1		ピンクノイズ アップ*	男声 Ph 1*		ハイハット オープン	ボンゴ L リム
	A1		ホワイトノイズアップリリース*	女声 Ph 1*		タンバリン	ボンゴ L チップ
	A#1		ピンクノイズアップリリース*	男声 Th 1*		フィンガー スナップ	ボンゴ L ヒール
	B1		ホワイトノイズアップ LFO*	女声 Th 1*		カスタネット	ボンゴ L スラップ
	C2		ピンクノイズアップ LFO*	男声 Bh 2*	カモン*	トライアングル ミュート	ティンバル L
	C#2			女声 Bh 2*	ホー!*	ウッド ブロック L	
	D2			男声 Kh 2*	アーハー!*	トライアングル オープン	
	D#2			女声 Kh 2*	オー イェー*	ウッド ブロック H	
	E2	イグニッション*		男声 Ph 2*	ヤヤヤヤー*	ハンド クラップ	
	F2	タイヤ*		女声 Ph 2*	ブット ユア ハンズ…*	ジングル ベル	バイラ L
	F#2	レーシングカー*		男声 Th 2*	カモン ナウ*	ベル ツリー	ティンバル H
	G2	衝突*		女声 Th 2*	ヘーーイ*	アラーム ベル*	
	G#2	サイレン 2*		男声 Ha 4*	エブリバディ ナウ*	列車*	
	A2	列車 2*		女声 Ha 2*	クラップ ユア ハンズ…*	クラクション 1*	
	A#2	ジェット機 2*		男声 Ha 5*	ウィズ オール ユア ソウル*	クラクション 2	
	B2	スターシップ*		男声 Ha 6*	スタンド アップ オン…*	サイレン*	バイラ H
	C3	バースト*		男声 Bh 3*	ウー イェー*	イグニッション*	カウベル トップ
	C#3	ローラー コースター*		女声 Bh 3*	アーオ*	衝突*	カウベル 1
	D3	サブマリン*		男声 Kh 3*	カモン!*	ヘリコプター*	カウベル 2
	D#3			女声 Kh 3*	イエー!*	スターシップ*	カウベル 3
	E3			男声 Ph 3*	オールライト ナウ!*	ひつじ*	ギロ ショート
	F3			女声 Ph 3*	ワン*	やぎ*	ギロ ロング*
	F#3			男声 Th 3*	ツー*	牛*	メタル ギロ ショート
	G3			女声 Th 3*	スリー*	いななき*	メタル ギロ ロング*
	G#3	笑い声*		男声 Bh 4*	フォー*	馬*	タンバリン
	A3	悲鳴 2*		女声 Bh 4*	ワン!*	ライオン*	タンボリン オープン
	A#3	パンチ 2*		男声 Kh 4*	ツー!*	犬	タンボリン ミュート
	B3	心音*		女声 Kh 4*	スリー!*	猫*	タンボリン チップ
	C4	足音 2*		男声 Ph 4*	フォー!*	にわとり*	マラカス
	C#4			女声 Ph 4*	ファイブ!*	ふくろう*	シェイカー
	D4			男声 Th 4*	シックス!*	虫	カバサ
	D#4			女声 Th 4*	セブン!*	カエル	クイーカ ミュート
	E4				エイト!*	さえずり 1	クイーカ オープン
	F4				クラップ!*	さえずり 2*	カウベル H1
	F#4				ゴスペル クラップ 1*	鳩時計*	カウベル H2
	G4				ゴスペル クラップ 2*	大時計	シェケレ
	G#4					ベル*	シェケレ トーン
	A4					電話*	トライアングル ミュート
	A#4					カメラ	トライアングル オープン
	B4					かじる	
	C5	マシンガン 2*				拍手*	ウィンド チャイム
	C#5	レーザーガン*					
	D5	爆発 2*					
	D#5	花火*					
	E5						
	F5						
	F#5						
	G5						

*: ゲートタイムの設定が必要な打楽器

		SFX				
		キューバンキット	アラビックキット	ターキッシュ キット	チャイナ キット	オーケストラ パーカッション
上鍵盤	C-1					
	C#-1			アズマ ダヴル レフト		シンフォニック ゴング 1
	D-1			アズマ ダヴル ライト		シンフォニックゴングロング*
	D#-1			アズマ ダヴル サイド		シンフォニック ゴング 2
	E-1			アズマ ダヴル ボス		ティンパニ E
	F-1			コルトゥック ダヴル フラム		ティンパニ F
	F#-1			コルトゥック ダヴル テケ		ティンパニ F♯
	G-1			コルトゥック ダヴル テク		ティンパニ G
	G#-1			コルトゥック ダヴルドゥン		ティンパニ G♯
	A-1			ベンディル テケ フラム		ティンパニ A
	A#-1	コンガ H チップ		ベンディル テケ デッド		ティンパニ A♯
	B-1	コンガ H ヒール		ベンディル テク デッド	ダ チャ 2	ティンパニ B
	C0	コンガ H オープン	ナカラザン ドム	ベンディル テケ	ダ グ mp	ティンパニ C
	C#0	コンガ H ミュート	カバサ	ベンディル テク	ダ グ リム	ティンパニ C♯
	D0	コンガ H スラップOp.	ナカラザン エッジ	ベンディル スラップ	ダ グ f	ティンパニ D
	D#0	コンガ H スラップ	ハゲール ドム	ベンディル ドゥン	ダ グ ハンド	ティンパニ D♯
	E0	コンガ H スラップMt.	ハゲール エッジ	ジル ライト クローズ	ダ グ ロール*	ティンパニ ハイ E
	F0	コンガ L チップ	ボンゴ H	ジル ライト オープン	バイ グ 4	グランカッサ ハード
	F#0	コンガ L ヒール	ボンゴ L	ジル レフト クローズ	バイ グ 4 ハイ	グランカッサ ソフト
	G0	コンガ L オープン	コンガ H ミュート	ジル レフト オープン	バイ グ 3	グランカッサ ヒット
	G#0	コンガ L ミュート	コンガ H オープン	テフ テケ フラム	バイ グ 3 ハイ	グランカッサ クレシェンド
	A0	コンガ L スラップOp.	コンガ L	テフ テク ミュート	バイ グ 2	コンサート スネア ドラム
	A#0	コンガ L スラップ	ザグロウダ H	テフ テケ ダンブド	バイ グ 2 ハイ	スネア ロール*
	B0	コンガ L スライド*	ザグロウダ L*	テフ テク ミュートミディアム	バイ グ	スネア ドラム ライト
	C1	ボンゴ H Op. 1 f	キック ソフト	テフ ドゥン ミュート	ルオ ハイ 1	スネア アンサンブル
	C#1	ボンゴ H Op. 3 f	サイド スティック	テフ シンバル	ゴング バター	サスペンデッド1 ロールS*
	D1	ボンゴ H リム	スネア ソフト	テフ シンバル ミュート	ジン ルオ	サスペンデッドシンバル1
	D#1	ボンゴ H チップ	アラビック ハンド クラップ	テフ トレモロ*	ルオ ハイ 2	サスペンデッド2 ロールL*
	E1	ボンゴ H ヒール	スネア ドラム	テフ シェイク 1	ルオ ミッドロー	サスペンデッドシンバル2
	F1	ボンゴ H スラップ	フロア タム L	テフ シェイク 2	ルオ	コンサート タム 1
	F#1	ボンゴ L Op. 1 f	ハイハット クローズ	テフ テク フラム	ジン ルオ ロー	オーケストラシンバル1チョーク
	G1	ボンゴ L Op. 3 f	フロア タム H	テフ フル オープン	ダ チャ 1	コンサート タム 2
	G#1	ボンゴ L リム	ハイハット ペダル	テフ テケ オープン ショート	ダ チャ エフェクト	オーケストラ シンバル 1
	A1	ボンゴ L チップ	ロー タム	テフ テク オープン ショート	ゾンチャ	コンサート タム 3
	A#1	ボンゴ L ヒール	ハイハット オープン	テフ テク オープン	シャオチャ エフェクト	オーケストラ シンバル 2
	B1	ボンゴ L スラップ	ミドル タム L	テフ ドゥン オープン	シャオチャ	コンサート タム 4
	C2	ティンバル L	ミドル タム H	ホロ フィンガー デッド	マン ルオ ロー	コンサート タム 5
	C#2		クラッシュ シンバル 1	ホロ スラップ	マン ルオ ミッド	フィンガー シンバル
	D2		ハイ タム	ホロ ドゥン	クインク	ゴング
	D#2		ライド シンバル 1	カシーク	フィンガー ベル	ライド シンバル チップ
	E2		クラッシュ シンバル 2	カシーク フラム	ルオ ビッグ	チャイナ シンバル
	F2	バイラ L	ドゥフーラ ドム	Bダラブッカ テク デッド	ムユ ロー	ライド シンバル カップ
	F#2	ティンバル H	タンバリン	Bダラブッカ テク フラム	ムユ ミッドロー	タンバリン
	G2		ドゥフーラ タク	バス ダラブッカ テケ	ムユ ミッド	スプラッシュ シンバル
	G#2		カウベル	Bダラブッカ テケ フィン1	ムユ ハイ	カウベル
	A2		ドゥフーラ サク	Bダラブッカ テケ フィン2	ナンバンジ ロール*	ジングル リング
	A#2		クラベス	バス ダラブッカ テク	ナンバンジ	カスタネット ロール*
	B2	バイラ H	ドゥフ ドム	Bダラブッカ スラップ 1	バング	テーブル カスタネット
下鍵盤	C3	カウベル トップ	カテム ドム	Bダラブッカ スラップ 2	バン	ボンゴ H スティック
	C#3		カテム タク	バス ダラブッカ ドゥン	バング ロール*	ボンゴ L スティック
	D3		カテム サク	ダラブッカ ロールクローズ*	京劇ボイス 1*	コンガ H スティック
	D#3		カテム タク	ダラブッカ ロールオープン*	京劇ボイス 2*	コンガ L スティック
	E3	ギロ ショート	ドゥフ タク	ダラブカテケフラムダンブ	京劇ボイス 3*	ウィップ
	F3	ギロ ロング*	タブラ ドム	ダラブッカ テク デッド	ユンルオ F	ローテティング タム 1
	F#3		タブラ タク 1	ダラブッカテクダンブド	ユンルオ F♯	チューブラー ベル L
	G3		タブラ ティク	ダラブッカ テケ フラム	ユンルオ G	ローテティング タム 2
	G#3	タンバリン	タブラ タク 2	ダラブッカ テケ	ユンルオ G♯	チューブラー ベル M
	A3		タブラ サク	ダラブッカ テケ フィン 1	ユンルオ A	ローテティング タム 3
	A#3		タブラ ロール エッジ*	ダラブッカ テケ フィン 2	ユンルオ A♯	チューブラー ベル H
	B3		タブラ フラム	ダラブッカ テク 1	ユンルオ B	ローテティング タム 4
	C4	マラカス	サガト 1	ダラブッカ テケ フィン 3	ユンルオ C	ローテティング タム 5
	C#4	シェイカー	タブル ドム	ダラブッカ テケ フィン 4	ユンルオ C♯	木魚 H
	D4	カバサ	サガト 3	ダラブッカ テク 2	ユンルオ D	木魚 L
	D#4		タブル タク	ダラブッカスラップミッド	ユンルオ D♯	クラベス
	E4		サガト 2	ダラブッカ スラップ	ユンルオ E	ウッド ブロック H
	F4		リク ドム	ダラブッカ ドゥン	ユンルオ ハイ F	ウッド ブロック L
	F#4		リク タク 2	ボンゴ テク ロール*	ユンルオ ハイ F♯	金床
	G4		リク フィンガー 1	ボンゴ フラム	ユンルオ ハイ G	トライアングル ロール*
	G#4		リク タク 1	ボンゴ テク フラム	ユンルオ ハイ G♯	トライアングル ミュート
	A4		リク フィンガー 2	ボンゴ テク	ユンルオ ハイ A	トライアングル オープン
	A#4		リク プラス トレモロ*	ボンゴ スラップ	ユンルオ ハイ A♯	ベル ツリー
	B4		リク サク	ボンゴ フラム ハイ	ユンルオ ハイ B	スレイ ベル
	C5		リク ティク	ボンゴ ドゥン	ユンルオ ハイ C	ウィンド チャイム
	C#5					
	D5					
	D#5					
	E5					
	F5					
	F#5					
	G5					

*: ゲートタイムの設定が必要な打楽器

リズムを自動で切り替える：リズムシーケンスプログラム

リズムシーケンスプログラムを使えば、自分で作ったユーザーリズムや、エレクトーンに内蔵されているリズムを1小節ずつ自由に組み合わせて、完成されたリズム譜として1曲分のデータ(リズムシーケンス)を作ることができます。
リズムシーケンスは、パネル上の4つのシーケンスボタンに、それぞれ140小節まで保存できます。複数のボタンに入ったデータを連続して再生することができるので、必要に応じてデータを分けておけば、次のような使い方ができます。

- 何曲かをメドレー形式で演奏する場合に、1曲ごとに別のシーケンスボタンにシーケンスデータを保存します。曲別に練習したいときに、目的の曲だけを再生できます。
- 1曲をいくつかの部分に分けて、イントロをシーケンス[1]ボタン、Aメロを[2]ボタン、サビを[3]ボタンなどと、それぞれ別のシーケンスボタンに保存しておきます。サビを練習したいときには[3]ボタンを再生すれば、すぐに目的の場所から演奏が始められます。

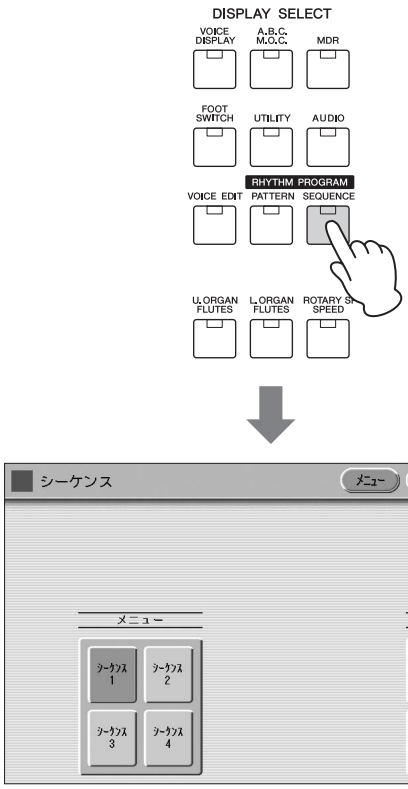
リズムシーケンスプログラムを始める

リズムシーケンスプログラムでは、何も入力されていない状態から一つ一つリズムを並べてシーケンスをつくり上げていく方法と、すでにつくってあるシーケンスを編集してプログラムする方法とがあります。

関連ページ
- リズムシーケンスをプログラムする(172ページ)
- リズムシーケンスを編集する(173ページ)

1 [SEQUENCE]ボタンを押します。

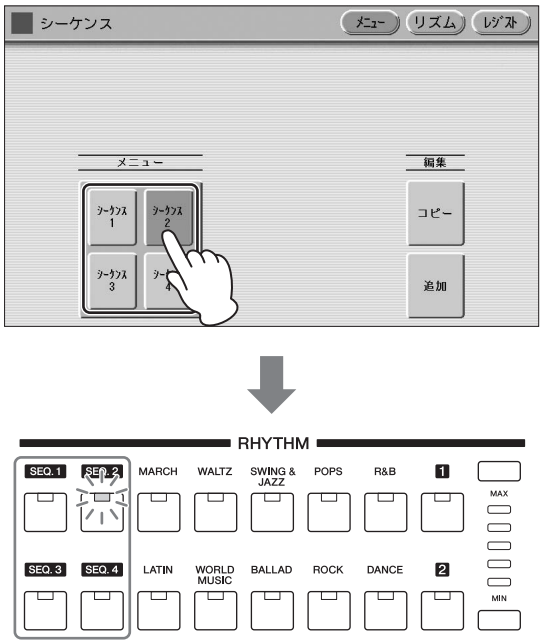
シーケンス画面のメニューページが表示されます。



リズムが鳴っているときに[SEQUENCE]ボタンを押した場合、リズムは自動的に止まります。

2 画面上のメニュー [シーケンス1]～[シーケンス4]ボタンを押して、シーケンスプログラムを保存したいシーケンスナンバーを選びます。

シーケンスナンバーを選ぶと、パネル上のシーケンスボタンのランプが点灯します。



または、パネル上のシーケンスボタン[SEQ.1]～[SEQ.4]を押してシーケンスナンバーを選ぶこともできます。

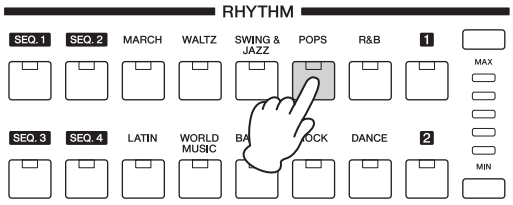
これで、シーケンスプログラムの準備が整いました。すでにつくってあるシーケンスを編集してシーケンスプログラムを始める場合は、176ページの「シーケンスをコピーする」の操作が必要です。また、何も入力されていない状態から一つ一つリズムを並べて、シーケンスをつくり上げていく場合は、下記の「リズムシーケンスをプログラムする」の操作が必要です。

リズムシーケンスをプログラムする

1 画面右上の[リズム]ボタンを押して、リズムページを表示させます。

2 パネル上で、シーケンスを組みたいリズムのリズムボタンを押します。ユーザーリズムを選ぶ場合は、ユーザーボタン[1]または[2]を押します。

選択したリズムのリズムメニューが画面に表示されます。



3 リズムメニューの中から、入力したいリズムを選びます。



4 パネル上のボタンで、入力したいセクション(メインA～D、フィルインA～D、イントロ1～3、エンディング1～3、ブレイク)を選びます。

選んだリズムは、画面上部の中央に表示されます。

NOTE

- イントロセクションを入力する場合、入力するセクションの小節数を画面上部で確認し、その小節数だけセットしてください。
- メインセクション再生中にENDING [1]ボタンを押すと、エンディング1が鳴る前に自動的に1小節フィルインが入りますが、シーケンスプログラムでエンディングを入力した場合、フィルインは入りません。

5 画面の[セット]ボタンを押します。

選んだリズムが1小節だけ入力され、画面上にボックスで表示されます。リズムを入力すると、カーソルが自動的に1つ進み、次のリズムを入力できる状態になります。
一つのシーケンスボタンに、140小節までのリズムが入力できます。エンディングを入力する場合は、エンディングパターンがすべて入力されます。(たとえば、2小節のエンディングパターンの場合は、[セット]を押すと2小節分入力されます。)
エンディングを入力したあとの小節には、シーケンスは入力できません。

6 手順2～5の操作を繰り返して、リズムを入力していきます。

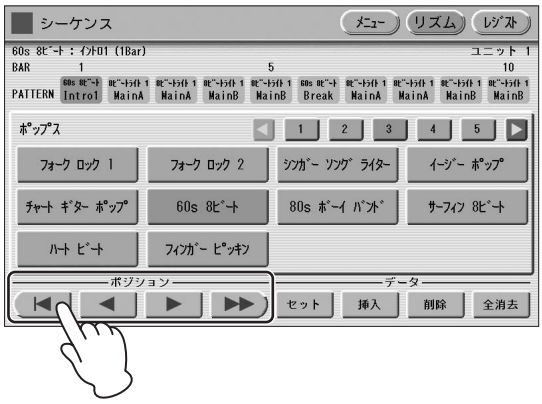
リズムシーケンスプログラムの途中で電源を切ると、入力したリズムシーケンスデータは失われてしまいます。電源を切る前に、必ず175ページの方法でリズムシーケンスプログラムを終了してください。

リズムシーケンスを試聴する

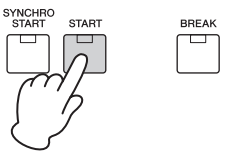
シーケンスプログラムの途中で、作成中のシーケンスを試聴できます。

1 シーケンス再生させたい位置までカーソルを移動します。

カーソルの移動は、データコントロールダイアルまたは画面のポジションボタンで行ないます。



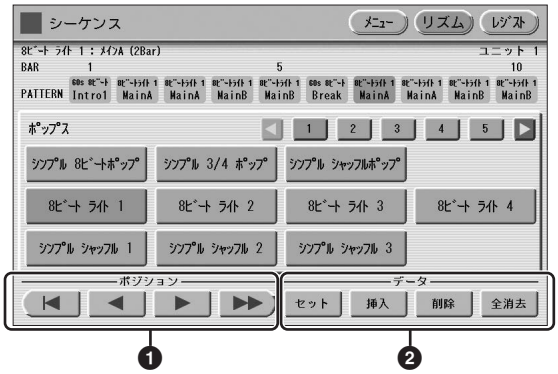
2 リズムの[START]ボタンを押します。



これで、シーケンス再生が始まります。試聴をストップするには、もう一度リズムの[START]ボタンを押します。

入力したリズムシーケンスを編集する

すでに入力したリズムの間に違うリズムを挿入したり、入力してあるリズムを削除したりできます。



❶ ポジション

編集画面にあるカーソル(オレンジ色表示)を移動するボタンです。カーソルは、自分で設定したリズムシーケンスの小節内で移動させることができます。

- カーソルを最初の位置(TOP)に戻します。
- カーソルを1つだけ左に移動します。
- カーソルを1つだけ右に移動します。
- カーソルを5つ右に移動します。

❷ データ

リズムシーケンスデータの設定、編集作業をします。

NOTE

シーケンスの途中にエンディングパターンを挿入すると、それ以降のシーケンスは自動的に削除されます。

セット

初めてリズムを入力するときや、カーソルの位置にあるリズムを別のリズムに置き換える場合に使います。
[セット]ボタンを押すと、カーソルの位置に、現在リズムメニューで選ばれているリズムを入力します。ただし、エンディングパターンの途中にある小節を別のリズムに置き換えることはできません。

挿入

カーソル位置の前にリズムを挿入する場合に使います。
カーソルを、挿入したいところの次のリズムの位置に合わせます。挿入したいリズムをリズムメニューで選択したあと、[挿入]ボタンを押します。カーソルの直前に、挿入したリズムが表示され、カーソルの位置以降のリズムが1つずつ右にずれます。ただし、エンディングパターンの途中に小節を挿入することはできません。
リズムシーケンスの限度である140小節を超えて、入力することはできません。
挿入操作によって140を超えてしまう場合には、画面に「データがいっぱいです。」と表示され、挿入は実行できません。

削除

カーソルの位置のリズムを削除する場合に使います。
削除したいリズムにカーソルをあわせて、[削除]ボタンを押します。
エンディングパターンを選んで[削除]ボタンを押した場合は、エンディングパターン全体が削除されます(1小節だけ削除することはできません)。

全消去

入力されているシーケンスデータをすべて消去する場合に使います。
[全消去]ボタンを押すと、消去してもよいかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。
[消去]ボタンを押すと、すべてのデータは消去され、消去が実行されたことを示す「すべてのデータを消去しました。」が一時的に画面上に表示されます。
[キャンセル]ボタンを押すと、消去せずにもとの画面に戻ります。

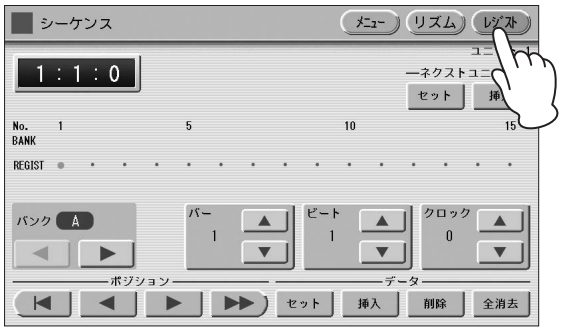
レジストレーションシーケンスをつくる

レジストレーションシーケンスは、「何小節目のどのタイミングで、レジストレーションが何番に切り替わる」という情報をプログラムする機能で、リズムシーケンスの一部として保存されます。レジストレーションシーケンスのデータをつくっておくと、リズムシーケンスを再生したときに、自動的にレジストレーションも切り替わります。フットスイッチでレジストレーションを切り替える必要がなくなり、演奏に専念できます。また、レジストレーションシーケンスの中にネクストユニットをプログラムすることもできます。

1 画面右上の[レジスト]ボタンを押して、レジストページを表示させます。

NOTE

リズムの再生中にレジストレーションを読み込むと、シーケンスデータやユーザーリズムは読み込まれません。



レジストページで、レジストレーションシーケンスをプログラムします。入力されたレジストレーションは、画面の中央に横一列に表示されます。

2 バンクを選択し、入力したいレジストレーションメモリーのナンバーボタンを押します。

3 レジストレーションを切り替えたいバー (小節)/ビート(拍)/クロックを設定します。

▲ ▼ ボタンやデータコントロールダイアルを使ってバー /ビート/クロックを設定します(1拍=96クロックです)。
データコントロールダイアルを使う場合は、まず変更したい数字を触って青枠を移動し、それからデータコントロールダイアルで値を変更します。



4 画面のデータ[セット]ボタンを押します。
選んだレジストレーションが入力され、小節/拍/クロックの早い方から順に画面上に表示されます。
レジストレーションを入力すると、カーソルが自動的に1つ進み、次のレジストレーションを入力できる状態になります。140までのレジストレーションが入力できます。
複数のレジストレーションを同じ小節/拍/クロックに入力すると、最後に入力したレジストレーションが有効になります。

5 手順2～4の操作を繰り返して、レジストレーションシーケンスを入力します。

ネクストユニットを入力する：

レジストレーションシーケンスにネクストユニットのデータを入力しておくと、MDRで再生しているソングに入っている次のレジストレーションを自動的に読み込みます。

1 ネクストユニットを入力したいバー (小節)/ビート(拍)/クロックを設定します。
▲ ▼ ボタンやデータコントロールダイアルを使ってバー /ビート/クロックを設定します(1拍=96クロックです)。

2 画面のネクストユニット[挿入]ボタンを押します。
手順1で設定した位置にネクストユニットが入力され、小節/拍/クロックにそって画面上に表示されます。
ネクストユニットは ❯ マークで表示されます。

ネクストユニットの読み込み時間について

- ネクストユニットの読み込みには時間がかかることがあります(読み込むデータのサイズによって、読み込み時間は異なります)。読み込み時間がかかることを考慮して、早めのタイミング(バー /ビート/クロック)にネクストユニットを入力することをおすすめします。
- レジストレーションシーケンス中にネクストユニットをプログラムしても、フットスイッチでネクストユニットを実行しても、レジストの読み込み時間は同じです。

入力したレジストレーションシーケンスを編集する

レジストレーションシーケンスに入力したレジストレーションナンバーやネクストユニットを編集します。タイミングを変更したり、削除したりできます。

タイミングを変更する：

1 ポジションボタンを使って、タイミングを変更したいレジストレーションナンバーまたはネクストユニットにカーソル(オレンジ色表示)を移動させます。

2 バー /ビート/クロックを、変更したいタイミングに設定します。

3 レジストレーションナンバーのタイミングを変更する場合は、画面のデータ[セット]ボタンを、ネクストユニットのタイミングを変更する場合は、画面のネクストユニット[セット]ボタンを押します。
タイミングが変更され、画面上に表示されるレジストレーションまたはネクストユニットは、小節/拍/クロックにそって並びます。

レジストレーションまたはネクストユニットを削除する：

1 ポジションボタンを使って、削除したいレジストレーションナンバーまたはネクストユニットにカーソル(オレンジ色表示)を移動させます。

2 画面のデータ[削除]ボタンを押します。

リズムシーケンスプログラムを終了する

どのページでも、リズムシーケンスプログラムを終了することができます。リズムシーケンスプログラムを終了すると、それまでに作成したシーケンスは、自動的に保存されます。

リズムシーケンスプログラムを終了するには：

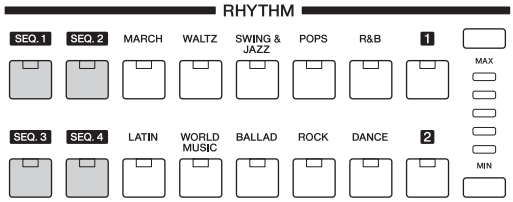
パネル上の[SEQUENCE]ボタンを押します。
画面表示がボイスディスプレイに変わり、リズムシーケンスを終了します。

注記
リズムシーケンスプログラムを終了すると、画面の左上が数秒間、水色に点灯し、リズムシーケンスを保存していることを示します。点灯中は電源を切らないでください。

リズムシーケンスを再生する

リズムシーケンスを再生するには：

1 **シーケンスの入っているシーケンスボタン([SEQ.1]～[SEQ.4])を押します。**
SEQ.ボタンのランプが点灯します。



2 **リズムの[START]ボタンを押します。**
シーケンスの再生が始まります。
シーケンス中は、シーケンスで組み込まれたリズムのリズムボタンが点灯し、現在再生中のリズムを示します。
レジストシーケンスも作成した場合は、リズムに合わせてレジストレーションが切り替わります。

リズムシーケンスでプログラムされた小節数だけ再生すると、リズムは自動的に停止します。途中でリズムを停止したい場合は、もう一度リズムの[START]ボタンを押します。

複数のシーケンスを順番に再生する

4つあるSEQ.(シーケンス)ボタンを同時に複数使うことで、順番に再生させることができます。一つのシーケンスでは足りない場合に組み合わせて使用します。

1 **使用したいすべてのシーケンスボタンを押して、ランプを点灯させます。**

2 **リズムの[START]ボタンを押します。**
SEQ.ボタンのナンバー表示の小さい方からシーケンスの再生が始まり、ナンバー表示の大きい方へと再生していきます。(SEQ.ボタンを4、2、3、1の順番で押したとしても、シーケンスは数字の順序どおりに1、2、3、4と再生していきます。)

シーケンスの再生中にいずれかのSEQ.ボタンを押すと、押されたボタンのランプが消え、そのシーケンスだけがキャンセルされます。ただし、再生中のSEQ.ボタンはキャンセルできません。また、再生が終了したシーケンスのSEQ.ボタンはランプが消えます。

左フットスイッチを使って、シーケンスをスタートさせるには：

左フットスイッチを使ってリズムシーケンスのデータを再生することもできます。

1 **使用したいすべてのSEQ.ボタンを押して、ランプを点灯させます。**

2 **パネル上の[FOOT SWITCH]ボタンを押してフットスイッチ画面を呼び出し、レフトページを表示させます。**

3 **モードを[リズム]にし、リズム設定で[停止]を選びます。**
フットスイッチの詳細については、177ページをご覧ください。

4 **左フットスイッチを右足で軽く押します。**
これでリズムシーケンスがスタートします。リズムシーケンスの再生中に左フットスイッチを押すとリズムは停止します。

複数のシーケンスボタンを使用している場合、フットスイッチでリズムシーケンスをいったんストップさせたあと、もう一度フットスイッチでスタートさせると、次のシーケンスボタンの最初から再生されます。(たとえば[SEQ.1]、[SEQ.2]の2つをオンにした場合、[SEQ.1]の途中にフットスイッチでストップさせて、そのあとで再スタートすると、[SEQ.2]の最初から始まります。)

シーケンスをコピーする

シーケンスプログラムの保存先に別のシーケンスナンバーの内容をコピーしたり、保存先のシーケンスプログラムの最後に別のシーケンスナンバーの内容を追加したりできます。

1 **コピー先のシーケンスをメニューページで選択します。**

2 **シーケンス画面のメニューページで、画面上の編集[コピー]または編集[追加]ボタンを押します。**

画面上に、コピー元選択画面または追加元選択画面が表示されます。

NOTE

コピー先の最後のセクションがエンディングのときにシーケンスの追加を選択すると、コピー先の最後のセクションは自動的にメインAに変更され、その後ろにシーケンスが追加されます。

3 **シーケンスプログラムの保存先にコピーまたは追加したいシーケンスナンバーを選びます。**

画面上に、コピー /追加してもよいかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。

4 **[コピー]または[追加]を押すとコピー /追加が実行されます。**

[キャンセル]を押すとコピー /追加せずにもとの画面に戻ります。

5 **必要に応じて、コピー /追加後のシーケンスを編集します。**

173ページ「入力したリズムシーケンスを編集する」や、174ページ「入力したレジストレーションシーケンスを編集する」をご覧ください。

リズムパターンやリズムシーケンスをUSBフラッシュメモリーに保存する

リズムパターンやリズムシーケンスのデータは、レジストレーションなどのデータの一部として、USBフラッシュメモリーに保存できます。119ページの「レジストレーションなどをユニットに保存する」をご覧ください。

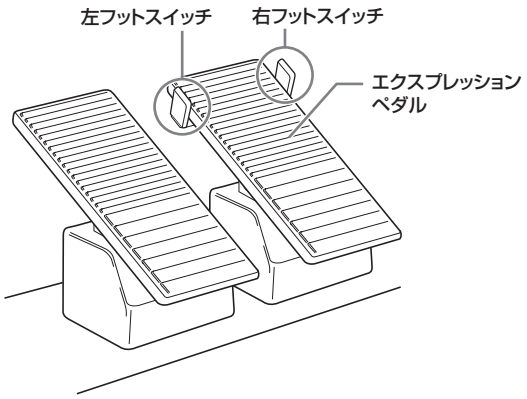
また、保存したリズムパターンをUSBフラッシュメモリーから読み込む場合は、リズムの再生を停止した状態で操作してください。リズムの再生中には、読み込むことはできません。

11 フットスイッチ/フットペダル(別売)/エクスプレッションペダル

フットスイッチやフットペダル、エクスプレッションペダルを使用すると、演奏中に右足を使っていろいろな機能を操作したり、エフェクトのオン/オフを切り替えたりできます。手を使ってレジストレーションやリズムなどを切り替える必要がなくなるので、演奏に専念できます。

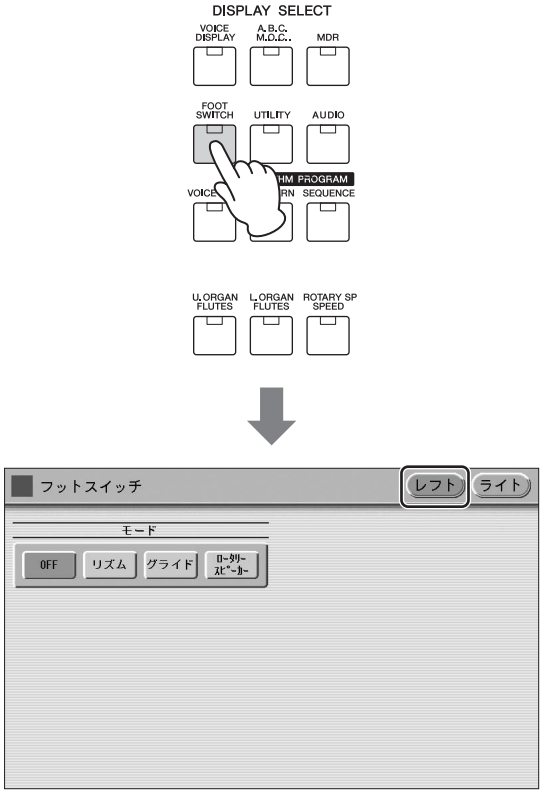
フットスイッチ

フットスイッチは、エクスプレッションペダルの左右に一つずつあります。
右フットスイッチは、レジストレーションシフトをコントロールするのに使用します。
左フットスイッチは、リズム、グライド、そしてロータリースピーカーのコントロールに使用します。
右フットスイッチの設定については、100ページをご覧ください。ここでは、左フットスイッチの設定について説明します。



1 **[FOOT SWITCH]ボタンを押します。**

2 **画面右上の[レフト]ボタンを押して、レフトページを表示させます。**



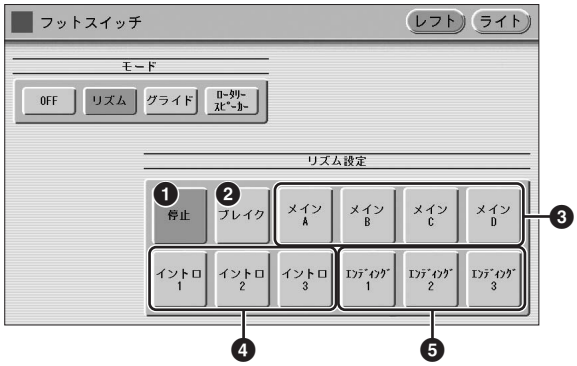
この画面で、左フットスイッチの機能を割り当てます。リズム、グライド、ロータリースピーカーのコントロールが選べます。
ここで[OFF]ボタンを選ぶと、左フットスイッチの機能をオフにし、左フットスイッチを押しても何も起こりません。

NOTE

左フットスイッチに譜めくりの機能を割り当てている場合、リズム、グライド、ロータリースピーカー、アーティキュレーションいずれかの機能を割り当てて左フットスイッチを押すと、割り当てられている機能と譜めくりの両方が機能します。譜めくりの設定については、126ページをご覧ください。

リズムをコントロールする

左フットスイッチでリズムのスタート/ストップなどをコントロールします。



❶ 停止

フットスイッチを押すたびに、リズムがスタート/ストップします。

❷ ブレイク

フットスイッチを押すと、パネル上の[BREAK]ボタンを押したときと同じ効果が得られます。演奏中に、フットスイッチでリズムにブレイクを入れることができます。

❸ メインA～D

フットスイッチを押すと、パネル上のMAIN/FILL IN [A]～[D]ボタンを押したときと同じ効果が得られます。リズムパターン(A～D)を切り替えたり、フィルインを入れたりします。

❹ イントロ1～3

フットスイッチを押すと、パネル上のINTRO [1]～[3]ボタンを押したときと同じ効果が得られます。

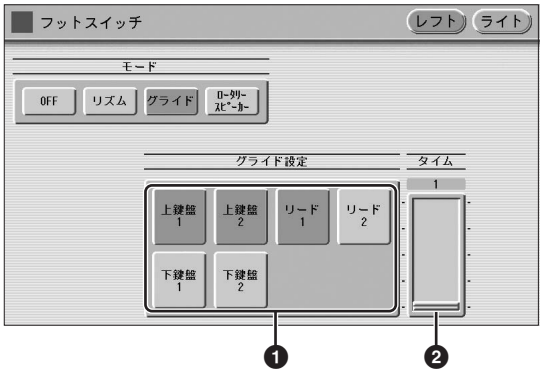
❺ エンディング1～3

フットスイッチを押すと、パネル上のENDING [1]～[3]ボタンを押したときと同じ効果が得られます。

関連ページ
・リズムの構成(58ページ)

グライドをコントロールする

左フットスイッチでグライド効果をコントロールします。



フットスイッチを押すと、上鍵盤/下鍵盤のボイスセクションごとに音色のピッチを半音下げます。
フットスイッチから足をはなすと、ゆるやかに元の音程に戻ります。

❶ 上鍵盤1/上鍵盤2/リード1/リード2/下鍵盤1/下鍵盤2

グライドをかけたいボイスセクションを選択します。複数のボイスセクションをオンにしておくこともできます。

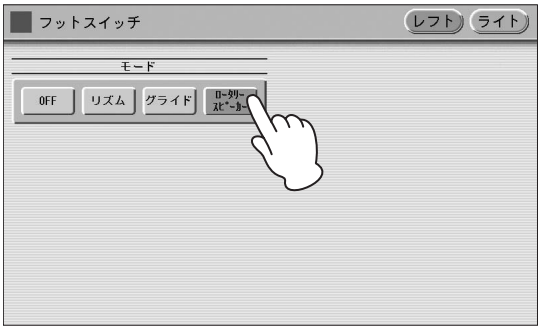
❷ タイム

フットスイッチから足をはなしたときに、音程が戻る速さを設定します。設定値を大きくすると、音程が戻る速さは遅くなります。
設定範囲：1～5

ロータリースピーカーをコントロールする

左フットスイッチで、ロータリースピーカーのオン/オフを切り替えます。

関連ページ
• ロータリースピーカー (50ページ)



ここで[ロータリースピーカー]ボタンを選んで、フットスイッチを押すと、パネル上の[ROTARY SP SPEED]ボタンを押したときと同じ効果が得られます。この機能を使うためには、あらかじめ、それぞれのボイスセクションやオルガンフルート音色で、ロータリースピーカーが正しく設定されていることが必要です。詳しくは、50ページをご覧ください。

譜めくりをコントロールする

MDR画面の譜面表示を、左フットスイッチで譜めくりできます。詳しくは、126ページをご覧ください。

効果音(アーティキュレーション)をコントロールする

左フットスイッチを使って、ボイスにアコースティック楽器のような効果音をつけられます。(ボイスによってはつかないものもあります。) 詳しくは、46ページをご覧ください。

フットペダル(別売)

フットペダルを使用すると、以下の機能をコントロールできます。

- 上鍵盤と下鍵盤のサステイン
- メロディーオンコード
- リードスライド効果
- ソロ機能の切り替え

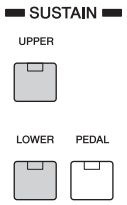
NOTE

- フットペダルには、同時に複数の機能が割り当てられます。この場合、フットペダルを操作すると割り当てたすべての機能が同時にオン/オフされることになります。
- ご使用できるフットペダルは、FC4A/FC5になります。
- フットペダルには、上記の機能以外の割り当てはできません。

サステインをコントロールする

上鍵盤と下鍵盤のサステインをフットペダルでオン/オフできます。ただし、ペダル鍵盤のサステインは、フットペダルではコントロールできません。

1 パネル左端のサステインボタンのうち、[UPPER]または[LOWER]ボタンをオンにします。



関連ページ
• サステイン(49ページ)

2 フットペダルをエレクトーン本体の背面にあるFOOT PEDAL (フットペダル)端子に接続します。

この状態では、サステインはかかりません。

関連ページ
• フットペダルとの接続 (190ページ)

3 演奏中にサステインをかけたいところで、フットペダルを踏み込みます。

フットペダルを踏み込んでいる間だけ、サステインがかかります。踏み込むのをやめると、サステインはかからなくなります。

フットペダルが接続されていない場合：
パネルのサステインボタンがオンになっていると、サステインがかかります。

フットペダルが接続されている場合：
パネルのサステインボタンがオンになっていても、サステインはかかりません。

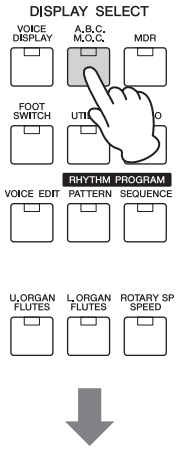
フットペダルが踏み込まれている場合：
パネルのサステインボタンがオンになっていると、サステインがかかります。

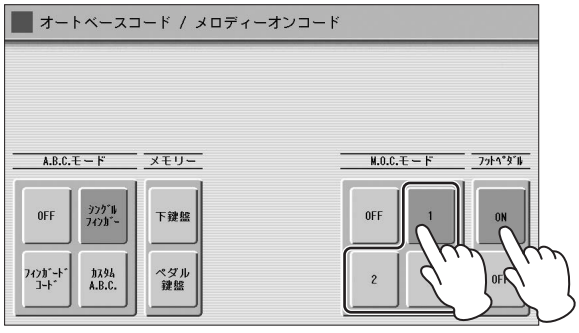
メロディーオンコードをコントロールする

1 **[A.B.C./M.O.C.]ボタンを押します。**
画面の右半分にメロディーオンコードが表示されます。

2 **メロディーオンコードのモード(1～3)を選択し、フットペダルの[ON]ボタンを選択します。**

関連ページ
・メロディーオンコード(68ページ)





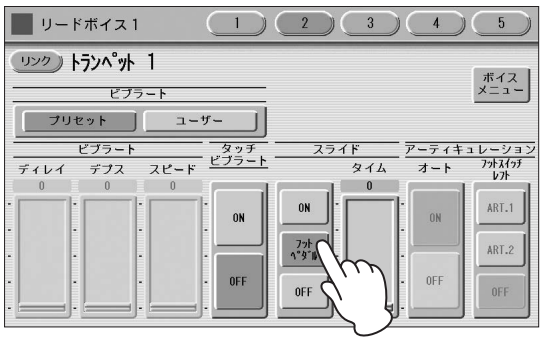
3 **演奏中にメロディーオンコードの効果をかけたいところで、フットペダルを踏み込みます。**
踏み込んでいる間だけ、メロディーオンコードの効果がかかります。フットペダルを踏み込むのをやめると、メロディーオンコードの効果はかからなくなります。

リードスライドをコントロールする

1 **リードスライドをかけたいリードボイスの、ボイスコンディション画面2ページ目を表示させます。**

関連ページ
・ボイスコンディション画面(45ページ)

2 **スライドの[フットペダル]ボタンを選択します。**



3 **演奏中にスライドをかけたいところで、フットペダルを踏み込みます。**
踏み込んでいる間だけ、リードボイスにスライドがかかります。フットペダルを踏み込むのをやめると、リードスライドはかからなくなります。

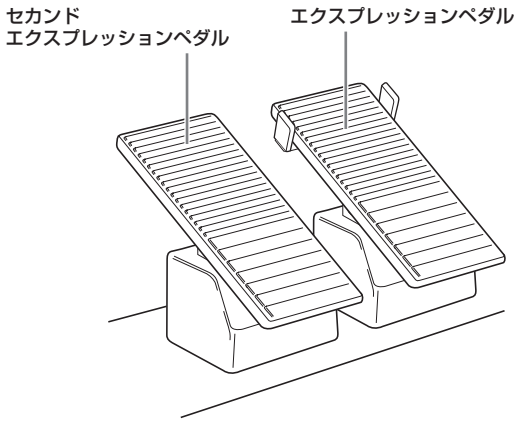
ソロ機能をコントロールする

リードボイス2のソロ機能を、フットペダルでオン/オフできます。29ページをご覧ください。

エクスプレッションペダル

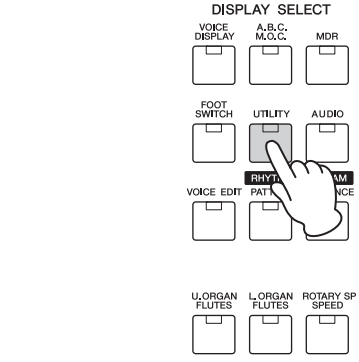
エクスプレッションペダルは、演奏中に音の強弱をコントロールします。また、ピッチベンドとリズムテンポをコントロールするためのセカンドエクスプレッションペダルがあります。ここではセカンドエクスプレッションペダルについて説明します。

関連ページ
• 演奏までの準備(15ページ)



1 **[UTILITY]ボタンを押します。**
ユーティリティー画面が表示されます。

2 **画面上の[EXP.](エクスプレッション)ボタンを押して、エクスプレッションページを表示させます。**





この画面で、セカンドエクスプレッションペダルの機能を設定します。セカンドエクスプレッションペダルではピッチベンドとリズムテンポがコントロールできます。
ピッチベンドとリズムテンポの両方をオンにすると、セカンドエクスプレッションペダルを操作したときに、両方の機能が同時に働きます。通常はどちらか一つの機能をセカンドエクスプレッションペダルに割り当てるようにします。

ピッチベンドをコントロールする



❶ モード

ピッチベンドの幅を設定します。値を1増やすたびに、ピッチ変化の範囲は半音ずつ増えます。
設定範囲：1～12

値が2 (NARROW: ナロー =狭い)の場合は、セカンドエクスプレッションペダルを踏み込んだときに2半音の範囲でピッチを変化させます。
値が12 (WIDE: ワイド=広い)の場合は、セカンドエクスプレッションペダルを踏み込んだときに1オクターブの範囲でピッチを変化させます。

❷ ピッチベンド

ピッチベンドをコントロールしたいボイスセクションをONにします。ピッチベンドは、上鍵盤ボイス1、2、リードボイス1、2、ペダルボイス1、2にかかります。

リズムテンポをコントロールする



❶ モード

リズムテンポの変化の幅を設定します。
設定範囲：1～12

値が2 (NARROW: ナロー =狭い)の場合は、セカンドエクスプレッションペダルを踏み込んだときに、テンポを70%～140%の範囲で変化させます。
値が12 (WIDE: ワイド=広い)の場合は、セカンドエクスプレッションペダルを踏み込んだときに、テンポを50%～200%の範囲で変化させます。

❷ テンポ

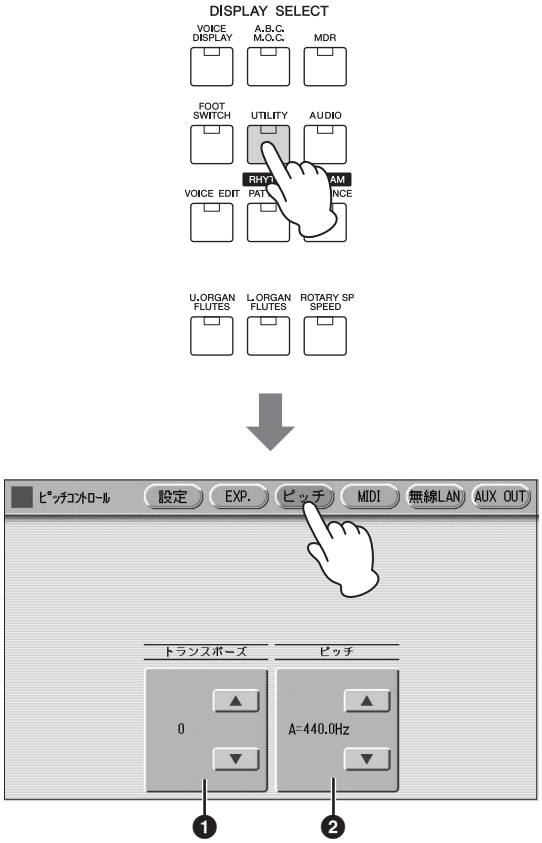
セカンドエクスプレッションペダルでリズムテンポをコントロールする場合は、ここをONにします。

12 トランスポーズ/ピッチ

エレクトーンの音程を変更する機能として、半音ずつ移調するトランスポーズと、音程の微調整をするピッチがあります。ユーティリティー画面で、トランスポーズやピッチに関する設定を行ないます。

1 **[UTILITY]ボタンを押します。**
ユーティリティー画面が表示されます。

2 **画面右上の[ピッチ]ボタンを押して、ピッチページを表示させます。**



画面の ▲ ▼ ボタンやデータコントロールダイアルを使ってトランスポーズ、ピッチを変更します。

❶ トランスポーズ
1オクターブの範囲で、半音ずつ移調します。
設定範囲：−6〜+6

❷ ピッチ
ピッチを微調整できます。0.2Hzずつ変化させます。初期設定はA3 (ラの音)が440.0Hzとなっています。
設定範囲：427.2Hz〜452.6Hz

ボイスセクションごとにトランスポーズやピッチを変えることもできます。この場合は、ボイスコンディション画面で設定します。詳しくは、47ページをご覧ください。

NOTE
XGソングにはトランスポーズ/ピッチの効果はかかりません。



ちょっとひと休み

ピッチとチューニング

オーケストラのように複数の人数で楽曲を演奏するときには、かならず演奏前に「チューニング」と呼ばれる作業を行ないます。たとえば、A (ラの音)を演奏したときに435Hz (ヘルツ)の音を出す楽器、440Hzの音を出す楽器、445Hzの音を出す楽器を同時に演奏すると、不協和音になってしまいます。
こんなことがおこらないように各楽器のピッチをそろえる作業が「チューニング」です。楽器によって「調律」「調弦」などと呼ばれることもあります。

チューニングの方法は、大きく分けて2通りあります。

1つめは、奏者ひとりひとりが自分の楽器を決められたピッチに合わせる方法。音叉やチューニングメーターなどを使って正確なピッチに合わせます。ギター合奏などはこの方法で行なうことが多いでしょう。たとえばロックバンドの場合は、ギタリストとベーシストがそれぞれの楽器を「A=440Hz」に合わせておきます。すると、いっしょに演奏したときには同じピッチの音が出せるというわけです。

エレクトーンをほかの楽器といっしょに演奏する場合は、183ページのピッチ設定でエレクトーンを相手の楽器に合わせます。もちろん、相手の楽器をエレクトーンに合わせても構いません。

もう1つは、演奏者のうち一人だけがあらかじめチューニング(現代のオーケストラでは442Hzが一般的のようです)をしておいて、他の演奏者がその楽器にあわせてチューニングをする方法。オーケストラやブラスバンドをはじめ、多くの場合はこの方法でチューニングを行ないます。ステージ上で一人の奏者が音を出し、それに合わせて奏者全員が同じ音を出す、という場面を見たことがあるでしょう。この場合、奏者ひとりひとりが自分の耳を頼りにチューニングすることになるので、必ずしも全員がまったく同じピッチ(A=442Hz)になるとは限りません。一般的に、低い音は、人の耳には実際の音よりも高く聞こえるため、低音楽器は正しいピッチよりも少し低めにしておく方が自然に聞こえ、安定感が出ます。また、ソロパートを演奏する楽器は、他の楽器に比べてわずかに高いピッチで演奏した方が、目立ちやすくなります。こういった人の耳の錯覚や、奏者の感性で、ハーモニーが美しく聞こえる高さを決めているのです。

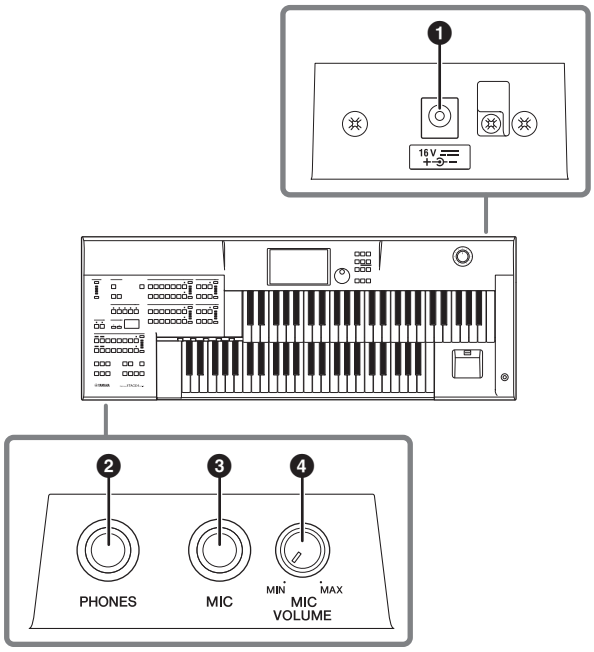
ひとりでエレクトーンを演奏する場合にも、各ボイスセクションのピッチを少しずつずらしておくことで、これと同じ効果が得られます。47ページのチューンの設定を変えて、ちょうどいい設定を探してみましょう。

13 外部機器との接続

このエレクトーンには、本体の背面と前面左側にいろいろな端子があります。入出力端子を使うと、CDの再生音やマイクからの音声を入力したり、エレクトーンの音をヘッドフォンや外部のスピーカーやステレオ機器から出力したりできます。USB端子やMIDI端子を使うと、エレクトーンとコンピューターをつないでデータをやり取りしたり、エレクトーンでほかの楽器をコントロールしたりできます。また、別売のフットペダルを接続するための端子もあります。

付属端子の名称と機能

このエレクトーンに付属している各端子について説明します。さまざまな機器の具体的な接続方法については、187ページをご覧ください。



❶ DC IN端子
電源アダプターのDCプラグを接続します。

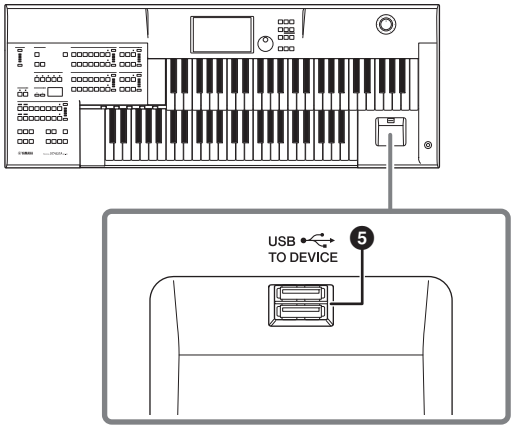
❷ PHONES(ヘッドフォン)端子
ヘッドフォン専用の接続端子です。
ステレオ標準ジャックです。

関連ページ
・スピーカーから音を出さずヘッドフォンで音を聞く(187ページ)

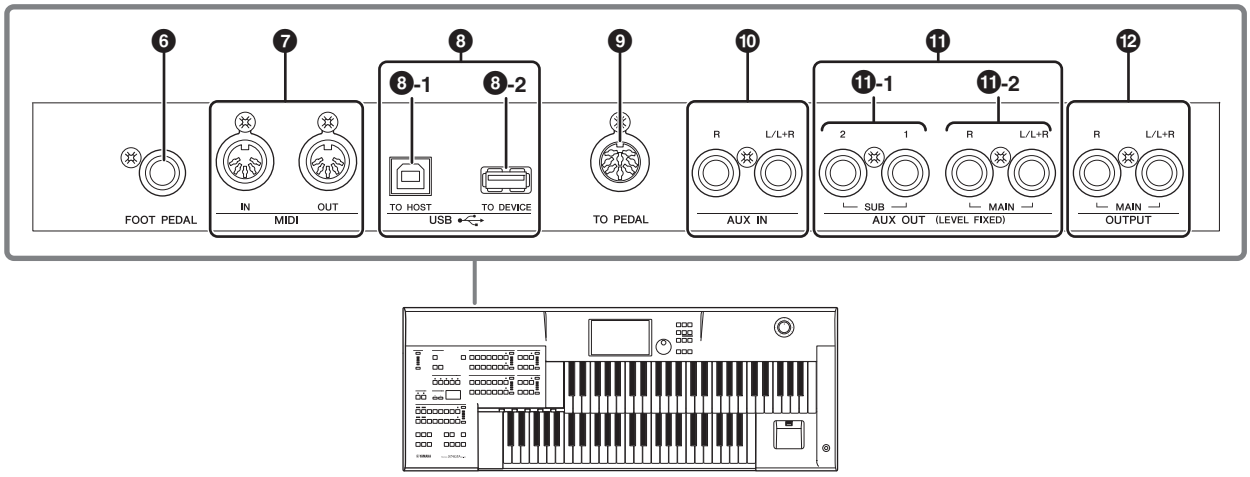
❸ MIC端子
マイクなどの信号をモノラル入力する端子です。入力された信号は、エレクトーンの音と一緒にエレクトーンのOUTPUT端子やAUX OUT端子に接続したパワードスピーカーから出力されます。リバーブをかけることができます。

関連ページ
・マイクをつないで使う(189ページ)

❹ MIC VOLUMEつまみ
MIC端子から入力された信号の音量を調節します。MINで最小、MAXで最大になります。



❺ USB TO DEVICE端子
USBフラッシュメモリーを接続するための端子が2つあります。



❻ FOOT PEDAL (フットペダル)端子

別売のフットペダルを接続するための端子です。サステインなどをコントロールします。

関連ページ
- フットペダル(別売)(179ページ)

❼ MIDI IN/OUT端子

ほかのMIDI (Musical Instrument Digital Interface)規格の楽器と接続するための端子です。エレクトーンとほかの楽器との間でデータのやり取りをしたり、エレクトーンでその楽器をコントロールする場合に使用します。MIDIインターフェースを使用すると、コンピューターと接続することもできます。

関連ページ
- エレクトーンから外部MIDI音源を鳴らす(189ページ)
- 外部MIDI機器からエレクトーンをコントロールする(190ページ)
- コンピューターとの接続(191ページ)

❽ USB端子

❽ -1 [USB TO HOST]端子

コンピューターのUSB端子と接続するための端子です。USBケーブルを使って直接接続できます(接続にはUSB-MIDIドライバーが必要です)。

❽ -2 [USB TO DEVICE]端子

[USB TO DEVICE]端子について詳しくは、111ページをご覧ください。

関連ページ
- コンピューターとの接続(191ページ)

USBとは

USBとは、Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス)の略で、コンピューターと周辺機器を接続するためのシリアルインターフェースです。

❾ TO PEDAL端子

ペダル鍵盤を接続するための端子です。

関連ページ
- ペダル鍵盤との接続(190ページ)

❿ AUX INフォーン端子 L/L+R、R

外部機器からの音声信号をステレオ入力する端子です。入力された信号は、エレクトーンの音と一緒に楽器に接続した外部スピーカーから出力されます。

関連ページ
- 外部オーディオ機器の音をエレクトーンを通して外部のスピーカーから流す(189ページ)

⓫ AUX OUTフォーン端子(LEVEL FIXED)

⓫ -1 SUB端子 1、2

エレクトーンの音声信号をパート別に出力する端子です。MASTER VOLUMEダイアルで音量を調節することはできません。

⓫ -2 MAIN端子 L/L+R、R

エレクトーンの音声信号をステレオ出力する端子です。MASTER VOLUMEダイアルで音量を調節することはできません。

関連ページ
- エレクトーンの音を外部スピーカーから出力する(187ページ)
- エレクトーンの音を外部録音機器に録音する(188ページ)

⓬ OUTPUT端子 L/L+R、R

エレクトーンの音声信号をステレオ出力する端子です。同梱のスピーカーを接続します。MASTER VOLUMEダイアルで音量を調節できます。

NOTE

- ヘッドフォン端子を使用しているときにはOUTPUT端子から出力されません。
- ELCU-M02にはスピーカーが付属していません。市販されているパワードスピーカーをお使いください。

関連ページ
- エレクトーンの音を外部スピーカーから出力する(187ページ)

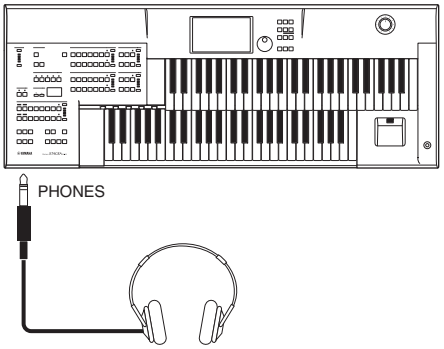
外部機器との接続

⚠ 注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

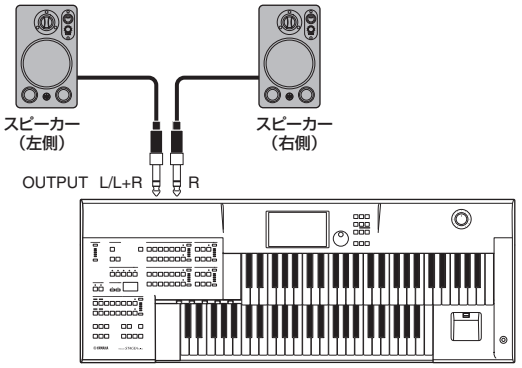
スピーカーから音を出さずヘッドフォンで音を聞く

ヘッドフォンをPHONES端子(標準ステレオフォーン端子)に接続して使います。



エレクトーンの音をスピーカーから出力する

エレクトーンの音を、スピーカーから鳴らす場合は、OUTPUT端子を使用します。スピーカーを1台だけ使う場合は、OUTPUTのL/L+R端子を使用します。



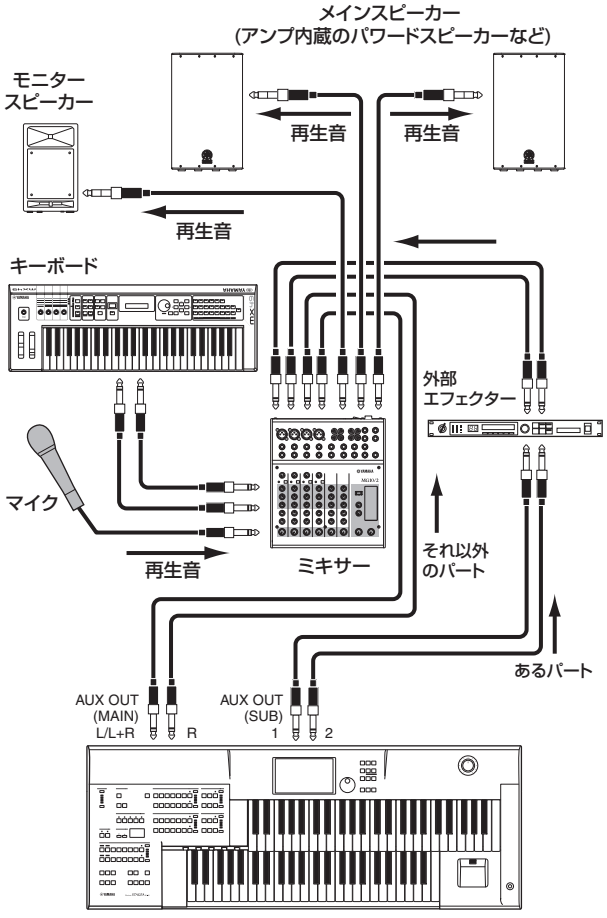
NOTE

- OUTPUT端子を使用してスピーカーから音を出している場合、同時にヘッドフォンを接続するとスピーカーからは音が出ません。
- ELCU-M02にはスピーカーが付属していません。市販のパワードスピーカーをお使いください。

ミキサーを使ったライブ演奏

エレクトーンをコンサートなどで使用する場合は、エレクトーンを直接パワードスピーカーに接続するのではなく、エレクトーンとミキサーを接続し、ミキサーをパワードスピーカーに接続するのが一般的です。
ミキサーを通すことで、他の楽器との間で音量/音質バランス調整が容易に行なえるようになり、調整することでまとまりのある演奏になります。
ミキサーとの接続には、エレクトーンのAUX OUT端子を使用します。
エレクトーンのAUX OUTには、MAINとSUBがありますので、一部のパートだけをSUBから出力して外部エフェクトをかけ、それ以外のパートはMAINから出力してミキサー上で調節するなど、パート別に出力することなども可能です。パート別の出力先の設定については、「エレクトーンの音の出力先をパート別に設定する」(188ページ)をご覧ください。
このエレクトーンのAUX OUTは、一定のレベルで出力するLEVEL FIXEDの端子です。

接続例



ミキサーとの接続にはOUTPUT端子も使えます。
OUTPUT端子はMASTER VOLUMEダイアルで出力を調整できます。

端子名称	出力タイプ
AUX OUT端子 MAIN L/L+R、R	アンバランス方式* LEVEL FIXED
AUX OUT端子 SUB 1、2	アンバランス方式* LEVEL FIXED
OUTPUT端子 L/L+R、R	アンバランス方式* MASTER VOLUMEダイアルで出力レベル調整可能

*バランス方式は外部からのノイズに強いので、小さな信号の受け渡しをする場合や、ケーブルが長くなる場合に適しています。アンバランス方式は、主にラインレベルの信号の受け渡しに使われます。

電源を入れる順番

電源オン/オフ時のノイズからスピーカーを保護するため、電源を入れる順番に気を配りましょう。
電源を入れる前に、すべての機器のボリュームが絞られている(0になっている)ことを確認し、以下の順序で電源を入れます。

(1) エレクトーンやキーボードなどの外部音源
(2) ミキサー
(3) パワードスピーカー

電源を切る場合は、すべての機器のボリュームを下げたあと、逆の順番(3→2→1)で切ってください。

エレクトーンの音の出力先をパート別に設定する

エレクトーンの音をAUX OUT端子のMAINやSUBに出力するとき、各ボイスセクションやリズムのドラムなど、パート別に出力先を設定できます。

1 [UTILITY]ボタンを押します。

ユーティリティー画面が表示されます。

2 画面右上の[AUX OUT]ボタンを押して、AUX OUTページを表示させます。



この画面で、各ボイスセクションやオルガンフルート音色、リズムのメインドラム、アドドラム、アカンパニメント、キーボードパーカッション、XG、マイクの各パートの出力先をそれぞれ設定できます。

3 出力したいパートの出力先をオンにします。

出力先は、AUX OUT端子のMAIN、SUB1、SUB2、SUB1&SUB2のいずれか1つです。



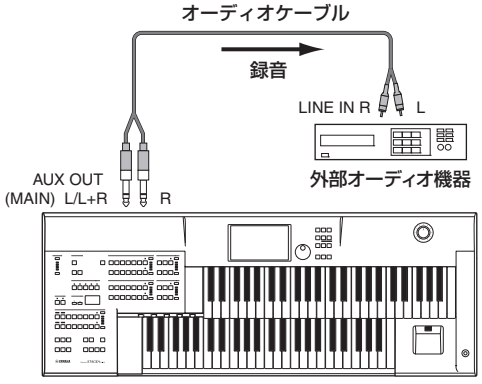
出力先にSUB1、SUB2、SUB1&SUB2のいずれかを選ぶと、そのパートはPHONES端子とOUTPUT端子には出力されませんので、ヘッドフォンやモニタースピーカー、オーディオ録音機器などを接続しても音は聞こえません。
AUX OUT端子のMAINまたはSUB1&SUB2に設定されたパートの音は、ステレオ出力(SUB1: L、SUB2: R)されます。SUB1またはSUB2に設定されたパートの音は、それぞれモノラル出力されます。

NOTE

- SUB1、SUB2、SUB1&SUB2に出力するとリバーブ、リズムのコーラスとバリエーションエフェクトはかかりません。
- AUX OUTページの設定は、別の画面に移動したときに自動的に保存されます。

エレクトーンの音を外部録音機器に録音する

AUX OUT端子(MAIN)を使って、エレクトーンでの演奏音を外部のオーディオ録音機器などに録音できます。

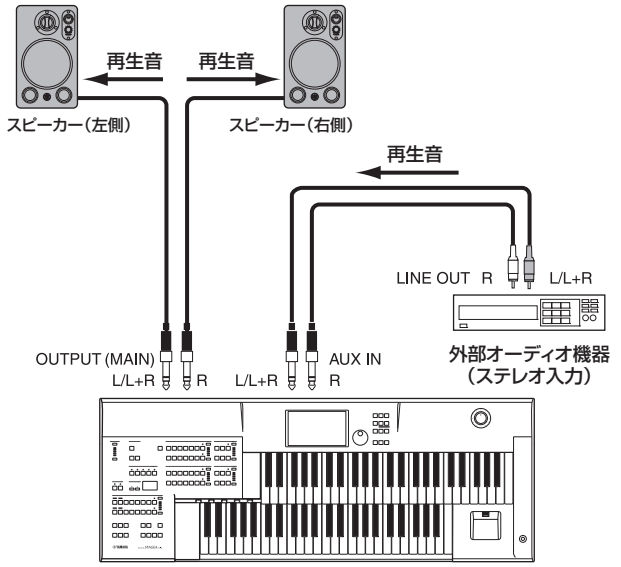


NOTE

AUX IN端子からの入力音も一緒に録音する場合は、鍵盤の背面にあるAUX OUT (MAIN)端子を使用してください。

外部オーディオ機器の音をエレクトーンを通してスピーカーから流す

CDプレーヤーなどの外部オーディオ機器のLINE OUTとエレクトーンのAUX IN端子を接続します。CDプレーヤーの再生音は外部スピーカーから鳴ります。
電源を入れるときには、CDプレーヤーの電源を入れてからエレクトーンの電源を入れてください。電源を切るときは、エレクトーンの電源を切ってからCDプレーヤーの電源を切ってください。

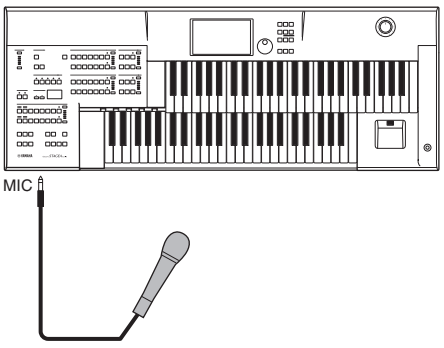


モノラル入力(ケーブル1本で接続する場合)は、AUX INのL/L+R端子を使用します。

マイクをつないで使う

マイクを接続して弾き語りやカラオケを楽しむことができます。MIC端子にマイクを接続して、エレクトーンのOUTPUT端子やAUX OUT端子に接続したパワードスピーカーから音を出します。

1 **マイクをMIC端子に接続します。**
マイクを使用する場合はダイナミックマイクをご使用ください。



2 **マイクのボリュームをMIC VOLUMEつまみで調節します。**

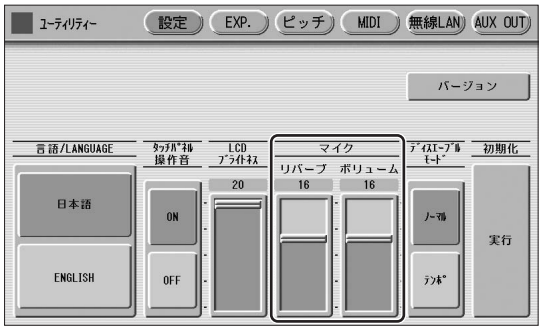


ボリューム/リバーブを変更するには：

1 **パネル上の[UTILITY]ボタンを押して、ユーティリティー画面を表示させます。**

2 **設定ページのマイクボリューム、マイクリバーブのスライダーで、ボリュームとリバーブの量を変更します。**

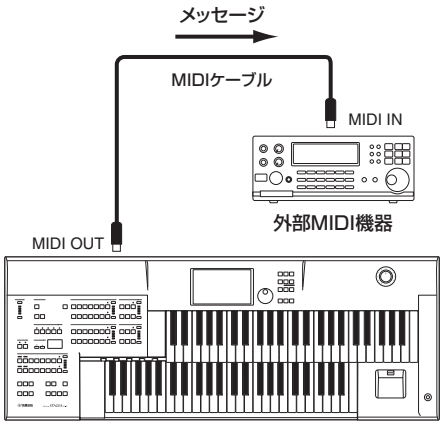
関連ページ
・リバーブ(47ページ)



ボリュームスライダーの値を最大にしても、MIC VOLUMEつまみが最小になっていると、マイクの入力音声は聞こえません。また、リバーブスライダーの値を最大にしても、リバーブ画面1ページ目のリバーブ量が最小になっていると、リバーブはかかりません。

エレクトーンから外部MIDI音源を鳴らす

エレクトーンを演奏すると、接続先の機器もその機器の音色で同時に鳴らすことができます。音に厚みを出すときなど便利です。(ただし、外部MIDI機器の受信チャンネルが楽器の送信チャンネルと一致していることが必要です。)
この他にもいろいろな演奏の動作や状態を「メッセージ」と呼ばれるデジタルデータ(数値に置き換えたデータ)として送信することができます。接続先がメッセージを受けてどう対応するかは、接続先のMIDI機能によって決まります。



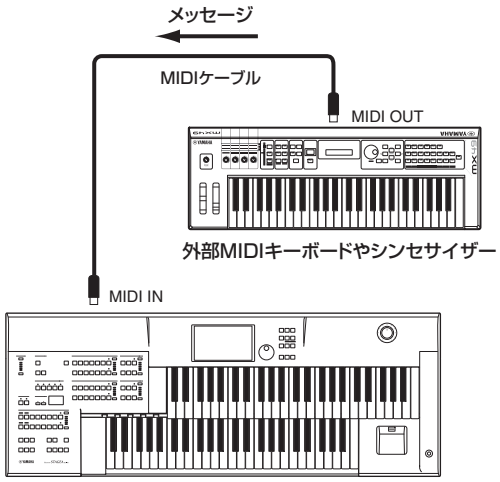
USB無線LANアダプターを使用している場合は、[USB TO HOST]端子とMIDI端子は使用できません。

NOTE

MDR使用時は、外部機器にMIDI信号を送信することはできません。

外部MIDI機器からエレクトーンをコントロールする

外部のMIDIキーボードを演奏してエレクトーンを同時に鳴らしたり、シーケンサーからエレクトーンにMIDI信号を送って楽器の音源を鳴らしたり、レジストレーションを切り替えたりできます。（ただし、外部MIDI機器の送信チャンネルがエレクトーンの受信チャンネルと一致していることが必要です。）



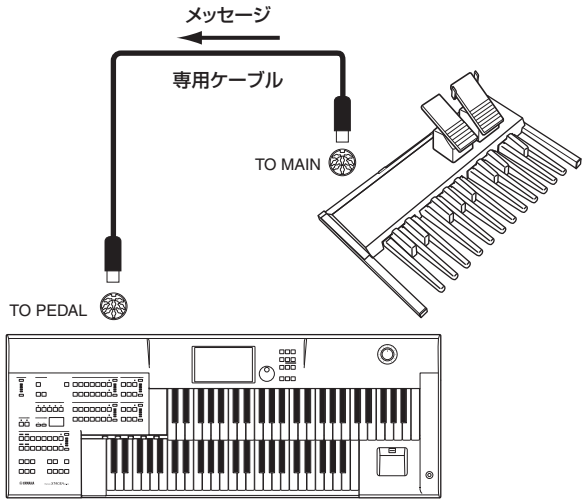
USB無線LANアダプターを使用している場合は、[USB TO HOST]端子とMIDI端子は使用できません。

NOTE

MDR使用時は、外部機器からのMIDI信号は受信できません。

ペダル鍵盤との接続

このエレクトーンは、必ずペダル鍵盤ユニットを取り付けてご使用ください。
ペダル鍵盤ユニットを取り付けることで、ペダル鍵盤、左右のフットスイッチ、エクスプレッションペダル、セカンドエクスプレッションペダルを使用できます。フットスイッチやエクスプレッションペダルなどを使うと、ロータリースピーカーやボリュームなど、さまざまな効果のオン/オフを足元の操作でコントロールできます。この操作のためには、あらかじめ使いたい機能を割り当てておくことが必要です。ペダル鍵盤ユニットのケーブルを挿抜する場合は、必ずエレクトーンの電源をオフにしてから行なってください。電源を入れたまま挿抜すると正常に動作しません。

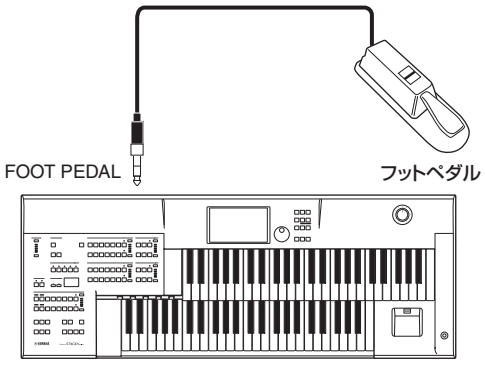


関連ページ

- 各鍵盤で選べるボイス(26ページ)
- フットスイッチ(177ページ)
- エクスプレッションペダル(181ページ)

フットペダルとの接続

別売のフットペダルを取り付けることで、サステインなど、さまざまな効果のオン/オフなどをフットペダルでコントロールできます。この操作のためには、あらかじめ使いたい機能をフットペダルに割り当てておくことが必要です。



関連ページ

- フットペダル(別売)(179ページ)
- サステインをコントロールする(179ページ)
- メロディーオンコードをコントロールする(180ページ)
- リードスライドをコントロールする(180ページ)
- ソロ機能をコントロールする(180ページ)

コンピューターとの接続

USB端子を使って、エレクトーンとコンピューターを接続できます。
エレクトーンとコンピューター間で直接MIDI信号を送受信できます。実際にMIDI信号をやり取りするためには、お使いのコンピューターに合ったMIDIドライバーが必要になります。

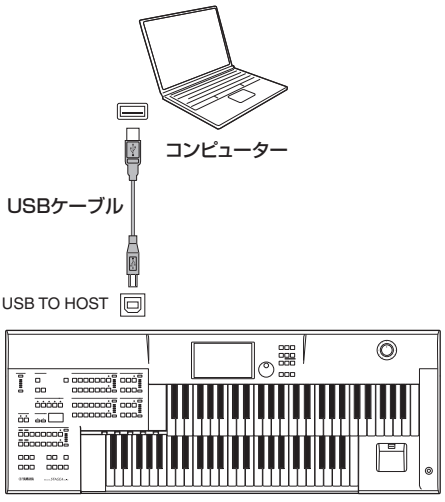
コンピューターと接続する前に、コンピューターにMIDIドライバーをインストールしておいてください。最新のMIDIドライバーは、インターネット上のヤマハホームページ<http://download.yamaha.com/jp/>からダウンロードできます。

エレクトーンとコンピューターを接続すると、自分の演奏をコンピューターに保存して、楽譜を作ったり、ホームページで公開したりできます。（楽譜作成ソフトやシーケンスソフトなどが必要です。）また、コンピューターのシーケンスソフトで再生したMIDIデータをエレクトーンを使って鳴らすこともできます。

NOTE

MDR使用時は、コンピューターとの間でMIDI信号を送受信することはできません。

USBケーブルを使って、エレクトーンの[USB TO HOST]端子とコンピューターのUSB端子を接続します。



USB無線LANアダプターを使用している場合は、[USB TO HOST]端子とMIDI端子は使用できません。

[USB TO HOST]端子ご使用時の注意

[USB TO HOST]端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。
コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れ直してください。

注記

- **USBケーブルは、ABタイプのものをご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。**
- **[USB TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。**
- **本体の電源を入れる前に、[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続してください。**
- **本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。**
  - **すべてのアプリケーションを終了させてください。**
  - **本体からデータが送信されていないか確認してください。（鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本体からデータが送信されます。）**
- **本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行なってください。**

MIDIコントロール

エレクトーンをほかのMIDI機器やコンピューターと接続したときに、外部機器からどのようにエレクトーンをコントロールするか、またはエレクトーンからどのように外部機器をコントロールするかを設定します。送信チャンネルを選択したり、外部機器との同期設定をしたりします。

1 **[UTILITY]ボタンを押します。**
ユーティリティー画面が表示されます。

2 **画面上の[MIDI]ボタンを押して、MIDIページを表示させます。**



❶ アウトプット

MIDIの送信チャンネルを変えることができます。上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤、サステイン、エクスプレッションペダル、セカンドエクスプレッションペダルのそれぞれについて、チャンネル1～16のいずれかを設定できます。ここで設定した送信チャンネルで各鍵盤やフットコントローラーの演奏情報を送信することができます。MIDIメッセージを送信したい機器(コンピューターやMIDI音源など)の受信チャンネルに合わせて、送信チャンネルを設定してください。
送信チャンネルボタンを押すと、チャンネル(CH)1～16のリストが表示されます。その中から設定したいチャンネルナンバーを選ぶと、自動的にリストが閉じ、選んだ送信チャンネルが設定されます。

サステイン、エクスプレッションペダル、セカンドエクスプレッションペダルについては、出力しない設定(OFF)を選ぶこともできます。セカンドエクスプレッションペダルについては、セカンドエクスプレッションとして出力するCC#4も選べます。

❷ MIDIアウトフィルター

エレクトーンの演奏によって出力されるMIDIデータのうち、特定のMIDIデータをカットし、出力されないようにします。カットできるMIDIデータは、アフタータッチ、セカンドエクスプレッション、リズムスタート/ストップ情報の3種類です。
それぞれのON/OFFボタンを使って、個別に設定します。ONに設定したMIDIデータはカットされ、外部機器には出力されません。

NOTE
MIDIアウトフィルターでセカンドエクスプレッションをONにすると、アウトプット(❶)でのセカンドエクスプレッションの設定は無効になります。

❸ インターナル/エクスターナル

表示された各項目のコントロールをエレクトーンで行なう(インターナル)か、外部機器で行なう(エクスターナル)かを切り替えます。

❸ -1 リード1

リードボイス1の発音方法を設定します。

インターナル：リードボイス1は、上鍵盤(トゥーロワー機能をオンにした場合は下鍵盤)で発音します。

エクスターナル：リードボイス1は、MIDIチャンネル4で外部から送信された演奏情報を受けて、発音します。

❸ -2 同期

リズムを同期させるためのタイミング決定を、エレクトーンが持つ内部クロックで行なうか、エレクトーンと接続した他のMIDI機器のクロック(外部クロック)で行なうかを設定します。通常はインターナルにします。

インターナル：内部クロックで動作します。

エクスターナル：MIDI IN端子から入ってくる外部クロックで動作します。エレクトーンは外部機器のクロックに従います。

❸ -3 エクスプレッション

エクスプレッションペダルの機能をコントロールします。通常はオートにします。

オート：インターナル/エクスターナルが自動的に切り替わります。

インターナル：エクスプレッションペダルを使ってエレクトーンの音量を調整できます。

エクスターナル：外部からMIDI信号を受信しているときやMDRでソングを再生している間は、受信したMIDI信号やMDRに記録されたデータによってエレクトーンの音量がコントロールされ、エクスプレッションペダルでの音量調節はできません。

iPhone/iPadと接続する

このエレクトーンはiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続できます。エレクトーンに対応のアプリケーションを使うことにより、エレクトーンをもっと便利に楽しむことができます。

接続の方法については、ウェブサイト上の「エレクトーンのお客様向け iPhone/iPad接続マニュアル」をご覧ください。

http://download.yamaha.com/jp/

対応のスマートデバイスやアプリケーションについて詳しくは、ウェブサイト上の下記ページでご確認ください。

http://jp.yamaha.com/kbdapps/

USB無線LANアダプター (別売)を使った接続

USB無線LANアダプター (別売)を使うと、このエレクトーンをスマートデバイスに無線接続できます。USB無線LANアダプターは、インターネット上のピアノ・鍵盤楽器お客様サポートページに掲載されている「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください。

http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/

基本的な接続方法はウェブサイト上の「エレクトーンのお客様向け iPhone/iPad接続マニュアル」で説明されていますが、操作の途中で必要になるエレクトーン側の設定については、本書の「無線LAN接続する」もあわせてお読みください。

NOTE

USB無線LANアダプターを使用している場合は、[USB TO HOST]端子とMIDI端子は使用できません。

無線LAN接続する

iPhone/iPad接続マニュアルの説明手順に沿って操作を始めると、途中で「WPSによる接続」、「ネットワーク一覧から選んで接続する」、「手動接続」、「アドホックモードによる接続」のいずれかの設定がエレクトーン側で必要になります。本書の194ページ～196ページをご覧いただき、必要な操作を行なってください。
使用できるアクセスポイントがない場合は、「アドホックモードによる接続」(196ページ参照)を行なってください。

関連ページ
- 無線LANの詳細設定(197ページ)
- 無線LAN設定を初期化する(199ページ)

注記

- **iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPhone/iPadの機内モードをオンにしてからWi-Fiをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。**
- **iPhone/iPadを不安定な場所に置かないでください。iPhone/iPadが落下して破損するおそれがあります。**

NOTE

[USB TO DEVICE]端子を使う前に、7章「[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意」(111ページ)をお読みください。

WPSによる接続

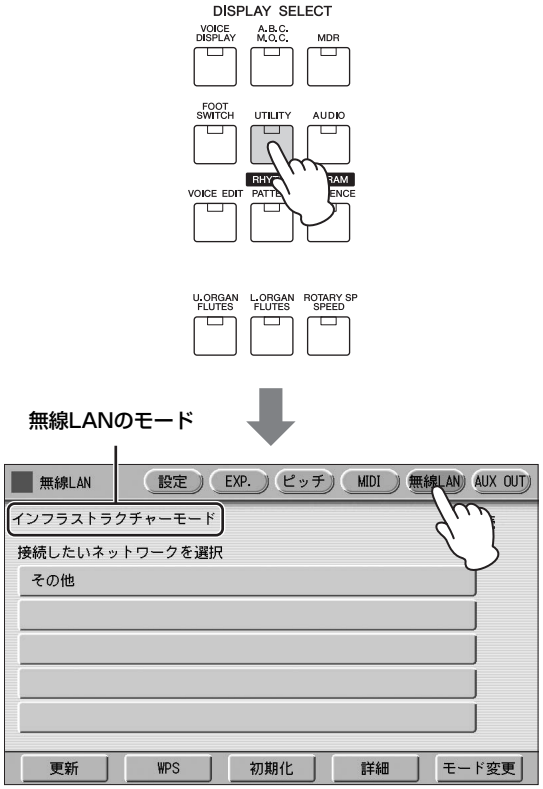
アクセスポイントがWPS機能に対応している場合は、設定情報の画面入力などを行なうことなく簡単な操作でエレクトーンをネットワークに接続できます。

NOTE

アクセスポイントがWPS機能に対応しているかは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1 **USB無線LANアダプターを接続します。**

2 **[UTILITY]ボタンを押したあと、画面の[無線LAN]ボタンを押して、無線LANページを表示させます。**



3 **無線LANのモードが「インフラストラクチャーモード」になっているか確認します。**

アドホックモードになっている場合は、[モード変更]ボタンを押して、インフラストラクチャーモードに変更してください(196ページ)。

4 **画面の[WPS]ボタンを押します。**

WPS接続を開始するかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。画面の[キャンセル]ボタンを押すとキャンセルされます。

5 **画面の[OK]ボタンを押すとWPSが開始されますので、2分以内にお使いのアクセスポイントのWPSボタンを押してください。**



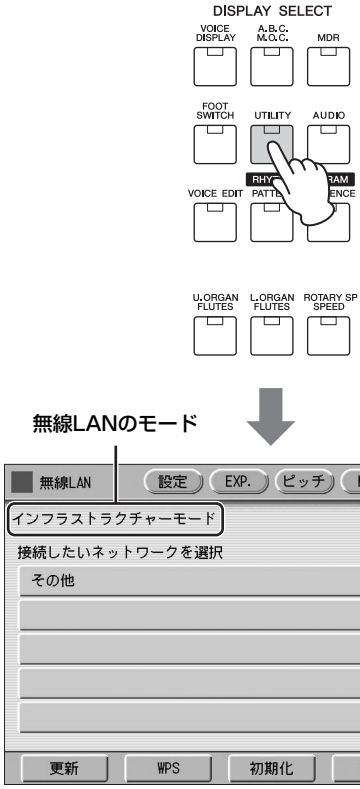
6 **エレクトーンとネットワークの接続が完了したら、「エレクトーンのお客様向け iPhone/iPad 接続マニュアル」を参照して、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。**

ネットワーク一覧から選んで接続する

エレクトーンのネットワーク一覧から接続できるネットワークを選びます。

1 USB無線LANアダプターを接続します。

2 [UTILITY]ボタンを押したあと、画面の[無線LAN]ボタンを押して、無線LANページを表示させます。



3 無線LANのモードが「インフラストラクチャーモード」になっているか確認します。

アドホックモードになっている場合は、[モード変更]ボタンを押して、インフラストラクチャーモードに変更してください(196ページ)。

4 画面の[更新]ボタンを押して、エレクトーンの近くにあるネットワーク一覧を画面に表示させます。

セキュリティーが設定されているネットワークには (鍵アイコン)が表示されます。

5 画面の接続するネットワーク名が表示されているボタンを押して、お使いになるネットワークを選択します。

- **鍵アイコンが付いていないネットワークの場合：**
  接続が開始されます。
- **鍵アイコンが付いているネットワークの場合：**
  パスワード入力画面が表示されますので、アクセスポイント側で設定しているパスワードと同じに設定してください。文字の入力方法は、「ソングに名前をつける」(117ページ)と同じです。入力が終わったら画面の[OK]ボタンを押して確定します。すると接続が自動的に開始されます。

エレクトーンとネットワークの接続に成功すると表示されます



6 エレクトーンとネットワークの接続が完了したら、「エレクトーンのお客様向け iPhone/iPad 接続マニュアル」を参照して、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。

手動接続

アクセスポイントがSSIDを非公開にしているためネットワーク一覧に表示されない場合は、SSID、セキュリティー方式、パスワードを入力して接続します。

NOTE

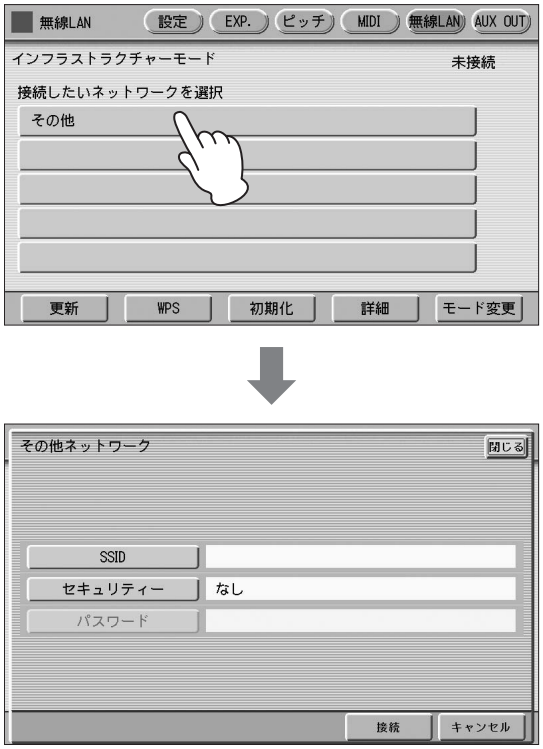
アクセスポイントの設定内容の確認や変更については、使用するアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1 無線LANのモードが「インフラストラクチャーモード」になっているか確認します。

195ページの「ネットワーク一覧から選んで接続する」の手順1～3と同じ操作を行なってください。

2 画面のネットワーク名が「その他」のボタンを押します。

「その他ネットワーク」画面が表示されます。



3 SSID、セキュリティー、パスワードを順に設定します。

アクセスポイント側で設定している内容と同じに設定してください。

SSID

画面の[SSID]ボタンを押すと、SSIDの入力画面が表示されますので、アクセスポイントとしてのSSIDを入力します。文字の入力方法は、「ソングに名前を付ける」(117ページ)と同じです。半角の英数字と記号で最大32文字です。入力が終わったら、画面の[OK]ボタンを押します。

セキュリティー

画面の[セキュリティー]ボタンを押すと表示される、[なし]ボタン、[WEP]ボタン、[WPA2-PSK(AES)]ボタンのいずれかを押してセキュリティーを選択します。

パスワード

画面の[パスワード]ボタンを押すとパスワード入力画面が表示されますので、SSIDと同様の方法で入力します。入力が終わったら、画面の[OK]ボタンを押します。

NOTE

セキュリティーで「なし」を選ぶと、パスワードの設定はできません。

4 画面の[接続]ボタンを押すと、接続を開始します。

エレクトーンとネットワークの接続に成功すると表示されます



5 エレクトーンとネットワークの接続が完了したら、「エレクトーンのお客様向け iPhone/iPad 接続マニュアル」を参照して、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。

アドホックモードによる接続

1 無線LANのモードをアドホックモードに切り替えます。

「無線LANのモードの切り替え」をご覧ください。

2 SSIDなどを変更する必要がなければ、これでエレクトーン側の設定は完了しました。「エレクトーンのお客様向け iPhone/iPad接続マニュアル」を参照して、iPhone/iPadとエレクトーンを接続してください。

SSIDやセキュリティーを変更したい場合は、詳細設定画面で行ないます。

関連ページ
・無線LANの詳細設定(197ページ)

無線LANのモードの切り替え

1 195ページの「ネットワーク一覧から選んで接続する」の手順1～2と同じ操作を行なってください。

2 無線LANのモードを変更します。

アドホックモードまたはインフラストラクチャーモードに変更できます。

画面の[モード変更]ボタンを押すと、モードを変更するかどうか確認を求めるメッセージが表示されますので、変更する場合は画面の[OK]ボタンを押します。

無線LANの詳細設定

インフラストラクチャーモードと、アドホックモードそれぞれに詳細設定があります。
すでにエレクトーンとiPhone/iPadが接続済みの場合、詳細設定は特に必要ありません。

関連ページ
• 無線LANのモードの切り替え(196ページ)

1 無線LANのモードを選んだあと、無線LAN画面ページの[詳細]ボタンを押して、詳細画面を表示させます。

インフラストラクチャーモード時



詳細 (IP アドレス) 画面



詳細 (その他) 画面



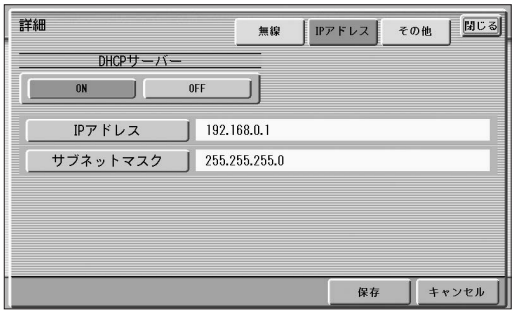
アドホックモード時



詳細 (無線) 画面



詳細 (IP アドレス) 画面



詳細 (その他) 画面



2 必要に応じて設定します。

無線モード	画面	項目名	初期値	設定/入力方法
インフラストラクチャーモード時	詳細(IPアドレス)画面	DHCP	ON	DHCPを使用するか「ON」、使用しないか「OFF」を設定します。使用しているアクセスポイントがDHCPに対応している場合は、「ON」を選びます。画面の[ON]/[OFF]ボタンでON/OFFを切り替えます。
		IPアドレス	0.0.0.0	DHCPを「OFF」に設定したときは、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー 1、DNSサーバー 2の設定が必要です。設定内容については、使用しているアクセスポイントの取扱説明書などをご確認ください。 入力方法は、「ソングに名前をつける」(117ページ)と同じです。設定範囲は0.0.0.0～255.255.255.255です。
		サブネットマスク	0.0.0.0	
		ゲートウェイ	0.0.0.0	
		DNSサーバー 1	0.0.0.0	
		DNSサーバー 2	0.0.0.0	
アドホックモード時	詳細(無線)画面	SSID	ap-ELC-02-[MACアドレス下6桁](MACアドレスが取得できない場合はap-ELC-02)	MACアドレスの確認方法はこの表の下にあります。 ・SSID、セキュリティー、パスワードは「手動接続」(196ページ)時と同じ方法で設定します。MACアドレス下6桁のアルファベットは小文字です。 ・チャンネルは画面の[チャンネル]ボタンを押すと表示される1～13の数字の書いてあるボタンを押して選択します。 ・DHCP、IPアドレスは、インフラストラクチャーモード時と同じ方法で設定します。 ・サブネットマスクは画面の[サブネットマスク]ボタンを押すと表示される数値入力画面で入力します。
		チャンネル	11	
		セキュリティー	— (なし)	
		パスワード	— (なし)	
	詳細(IPアドレス)画面	DHCP	ON	
		IPアドレス	192.168.0.1	
		サブネットマスク	255.255.255.0	
インフラストラクチャーモード時/ アドホックモード時	詳細(その他)画面	ホスト名	ELC-02-[MACアドレス下6桁](MACアドレスが取得できない場合はELC-02)	画面の[ホスト名]ボタンを押しホスト名を設定します。最大57文字。半角英数字に加え「 - 」と「 _ 」も設定可能です。入力方法は、「ソングに名前をつける」(117ページ)と同じです。入力が終わったら、画面の[OK]ボタンを押して確定します。MACアドレス下6桁のアルファベットは小文字です。
		MACアドレス	— (なし)	USB無線LANアダプターのMACアドレスを表示します。設定はできません。
		LANドライバーバージョン	— (なし)	LANドライバーのバージョンを表示します。設定はできません。
		ステータス	00000000	ネットワーク機能のエラーコードを表示します。00000000はエラーなしです。

3 設定の変更を保存します。

詳細設定が終わったら、画面の[保存]ボタンを押します。キャンセルしたい場合は画面の[キャンセル]ボタンを押します。保存が終了すると、自動的に元の画面に戻ります。

無線LAN設定を初期化する

無線LAN設定は、1章「エレクトーンの初期化」(25ページ)では初期化されません。ここで説明する方法で初期化をする必要があります。初期化を実行すると、無線LAN設定画面で行なったすべての設定が消去されて工場出荷時の状態に戻ります。

1 [UTILITY]ボタンを押したあと、画面の[無線LAN]ボタンを押して、無線LANページを表示させます。



2 初期化します。

画面の[初期化]ボタンを押すと、無線LAN設定を初期化するかどうか確認を求めるメッセージが表示されますので、初期化する場合は画面の[OK]ボタンを押します。

インターネット用語辞典

アクセスポイント	無線LANで電波のやりとりを行なうときの基地局となる機器。無線LANを有線LANにつなぐ役割も持つ。
アドホックモード	無線LANのアクセスポイントなどの中継機器を経由せずに直接、端末機器同士でデータ通信を行なう通信方式。
インフラストラクチャーモード	各端末が無線LANのアクセスポイントなどの中継機器を経由することによってデータ通信を行なう通信方式。
ゲートウェイ	ネットワーク上で、通信規格の異なるデータを相互に変換してやりとりするためのシステム。
サイト	正式には「ウェブサイト」という。ひとまとまりに公開されているウェブページ群。 たとえば、http://jp.yamaha.com/で始まるウェブページを「ヤマハのサイト」と呼ぶ。
サーバー	ある特定のサービスを提供するシステムやコンピューターのこと。
サブネットマスク	大規模なネットワークを、いくつかの小さなネットワークに分割するための設定。
無線LAN	ケーブルを使わず、無線通信でデータの送受信をするLANのこと。
ルーター	異なるネットワーク同士を相互接続するための機器。たとえば家庭などで複数のコンピューターを同時にインターネットに接続して、それぞれに異なるはたらきをさせたい場合に必要となる。一般的にはモデムとコンピューターの間に接続するが、モデム自体にルーター機能が内蔵されているものもある。
DHCP	インターネットに接続するたびに、コンピューターにIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てるための規格。
DNS	ネットワークに接続されている各コンピューターの名前とIPアドレスを対応させるシステム。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューター 1台1台に割り振られた、ネットワーク上の所在を示す識別番号。
LAN	同じ建物の中にあるコンピューター同士を専用のケーブルで接続し、データをやり取りするネットワーク。 Local Area Networkの略。
SSID	無線LANで特定のネットワークを指定するための識別名のこと。SSIDが一致した端末間でのみ通信できる。

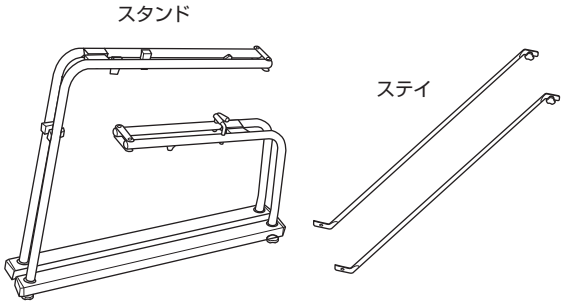
14 付録

スタンドの組み立て

⚠ 注意

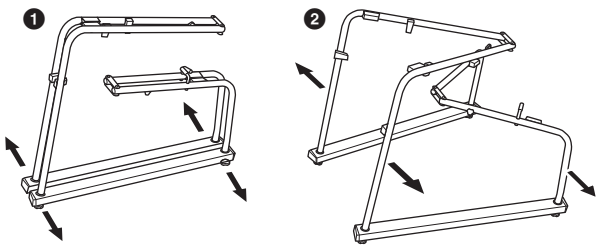
- **組み立ては、必ず2人以上で行なってください。**
- **手をはさんだり、キーボードを落としたりしないよう、ご注意ください。**
- **傾斜地や不安定な場所に設置しない。**
  スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
- **指定のキーボード以外の目的に使用しない。**
  指定のキーボード以外のものは取り付けられません。また、指定のキーボード以外のものをのせたり、スタンドにのったり、スタンドにもたれ掛かったりすると、のせているものが落ちたり、スタンドが転倒して危険です。
- **スタンドの上のキーボードに必要以上の力を加えない。**
  スタンドが転倒したりして危険です。
- **使用前に安全点検をする。**
  使用する前に、ネジが確実にしまっているか、必ず確認してください。ネジがゆるんでいると、スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

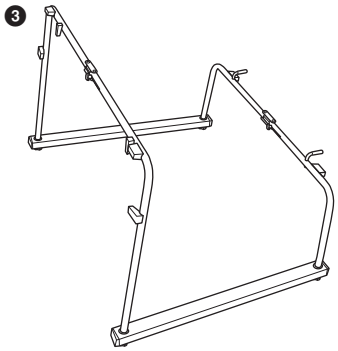
すべての部品がそろっていることを確認します。



1 折りたたまれた状態のスタンドを開きます。

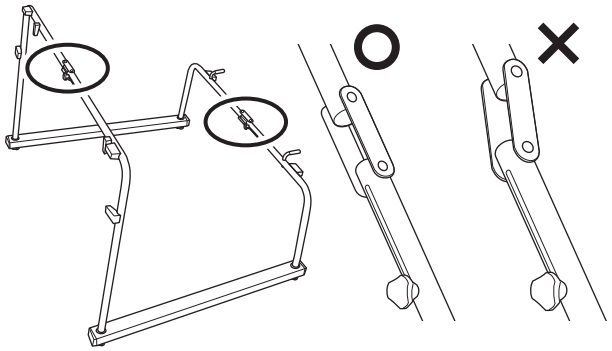
図のようにスタンドを開きます。





2 ジョイント部を固定します。

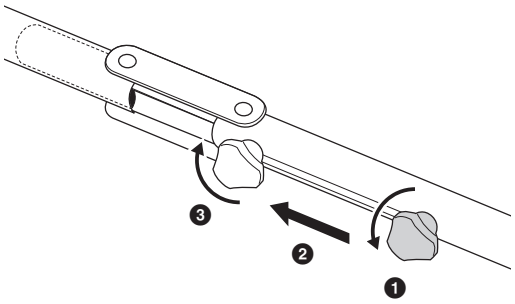
2-1 ジョイント部がまっすぐになるように伸ばしてください。



NOTE

ジョイントがストッパーに当たると、それ以上スタンドは開かないので、力を入れて無理に開かないでください。

2-2 手でネジをゆるめてスライドさせ、ネジを締めます。

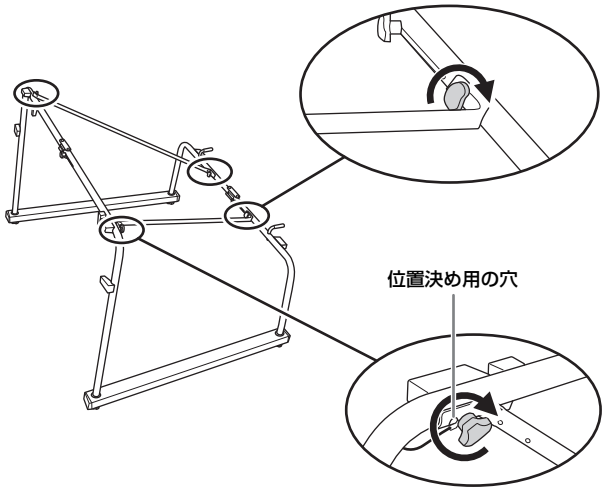


NOTE

スライドできない場合は、ジョイント部が手順2-1の図のように、まっすぐになっているか調整しながらスライドしてください。

3 フレームの間を押し広げながら、ステイを取り付けます。

ステイの上側とフレームの下側にはあらかじめネジがついていますので、このネジをフレームの位置とステイを合わせて、ステイの上側から先に手で締めます。

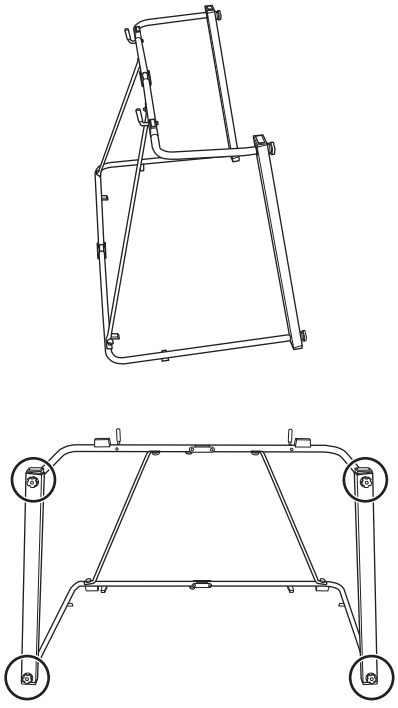


下のフレームには位置決め用のネジが付いており、ステイの端には位置決め用の穴があります。

NOTE

ステイを取り外すとき、ネジをゆるめにくいことがあります。その場合は、ステイを持って軽く前後左右に動かしながらネジをゆるめてください。

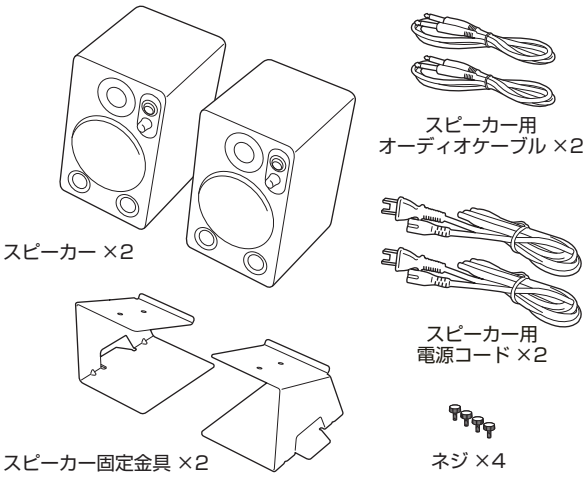
4 スタンドを図のように起こし、丸印のついたネジがすべて締まっているか確認します。



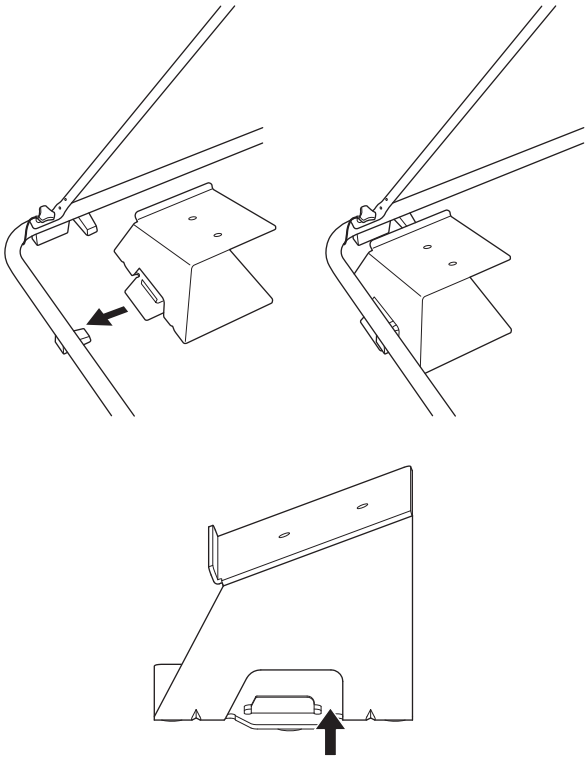
これでスタンドが組み立てられました。

スピーカーの取り付け

すべての部品がそろっていることを確認します。

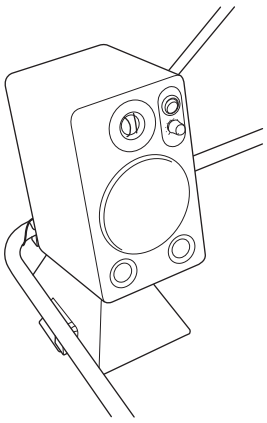


1 スピーカー固定金具をスタンドのフレームの突起にはめて固定します。

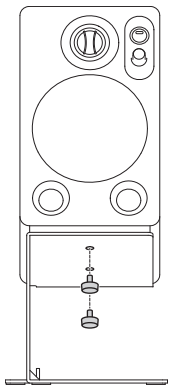


固定金具の切り欠きにフレームの突起をはめ込みます。

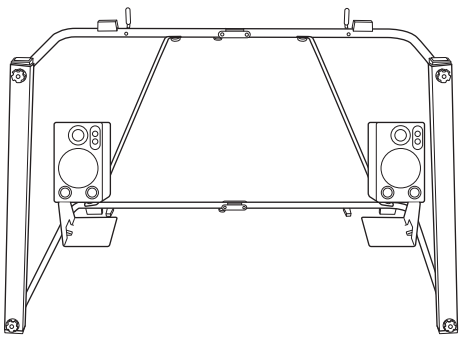
2 スピーカー固定金具にスピーカーを乗せ、固定金具の下から、ネジ2本を手で締めます。



スピーカー固定金具は正面から見ると、下図のように斜めに上に上がっているため、ネジ穴の位置を確認できます。



3 反対側も同様に取り付けます。



これで、スピーカーが取り付けられました。
スピーカー用電源コードとスピーカー用のオーディオケーブルの接続については、メインユニットの取り付けと接続方法(204ページ)をご覧ください。

ペダルユニットの取り付け

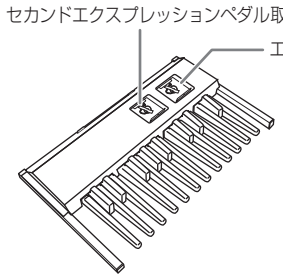
⚠ 注意

- **ペダルユニットを取り付けたり、取り外したりする前に、必ず楽器本体の電源を切ってください。**
- **手をはさんだり、ペダルユニットを落としたりしないよう、ご注意ください。**
- **エクスプレッションペダルとセカンドエクスプレッションペダルは、取り付け後は取り外さないでください。接触不良が起こり、故障の原因になることがあります。**

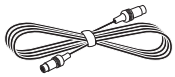
ペダルユニットの取り付けには、+(プラス)のドライバーが必要です。ご用意ください。



すべての部品がそろっていることを確認します。



ペダルユニット



接続コード



エクスプレッションペダル



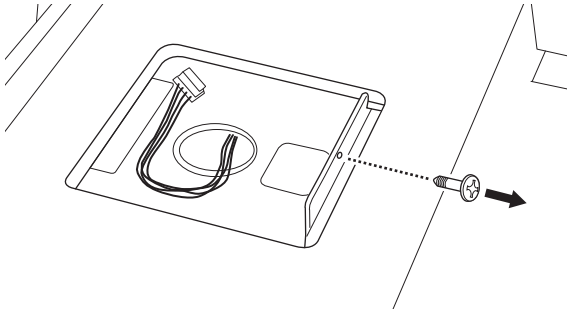
**セカンド
エクスプレッションペダル**

1 エクスプレッションペダルを取り付けます。

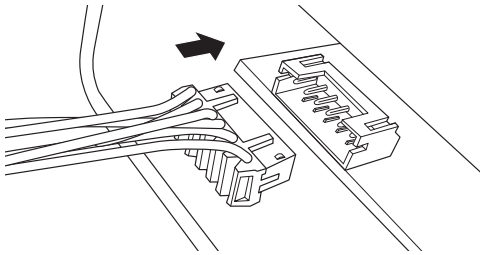
1-1 コネクターを止めているテープを外します。

1-2 ネジを外します。

このネジは手順2で使用します。ネジをなくさないように注意してください。

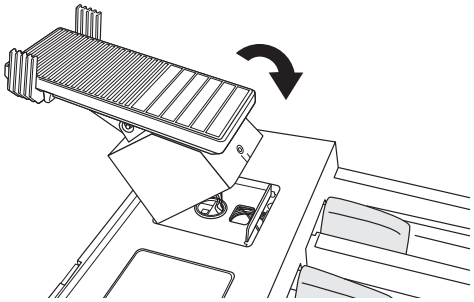


1-3 2本の線が入った面を上にして、ペダルユニットのコネクターをエクスプレッションペダルの底面内側にあるコネクターに接続します。



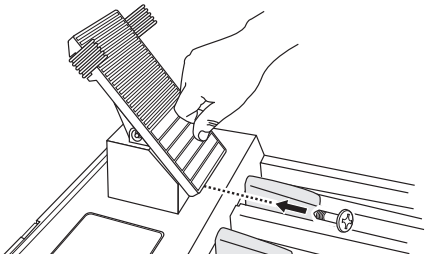
1-4 エクスプレッションペダルを図のようにはめこみます。

先に奥の突起部分をはめこんでから、次に手前をはめ込みます。手順2でネジ止めするまで、手前は少し浮いた状態です。コネクターをはさまないように注意してください。

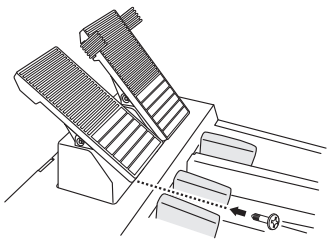


2 ネジを締めます。

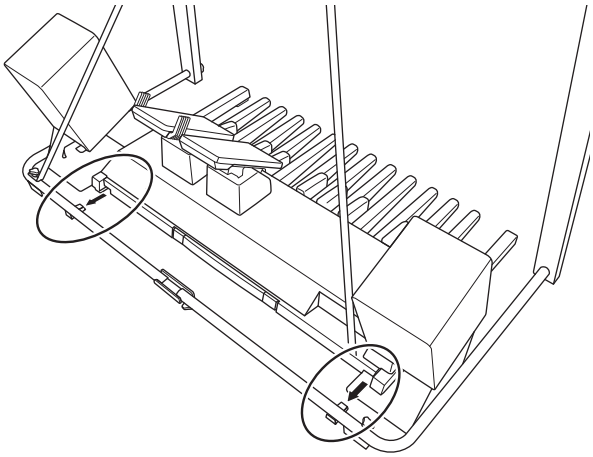
エクスプレッションペダルが浮かないように手前を押さえながら、手順1-2で外したネジを使ってペダルユニットに固定します。



3 エクスプレッションペダルと同様に、セカンドエクスプレッションペダルを取り付け、ネジで固定します。



4 ペダルユニットの背面のくぼみを、スタンドのフレームの突起に、図のようにはめこみます。



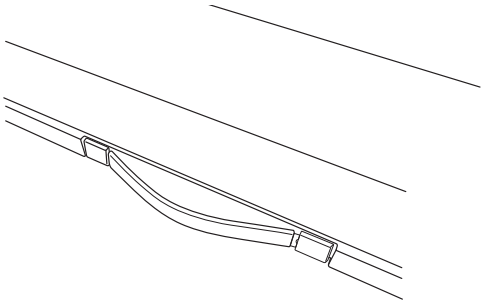
これで、ペダルユニットが取り付けられました。
取り外す場合は、取り付けと逆の手順で行なってください。

NOTE

接続コードの取り付けについては204ページをご覧ください。

これは便利！

ペダルユニットの背面には持ち手がついており、ここをもって持ち運びできます。



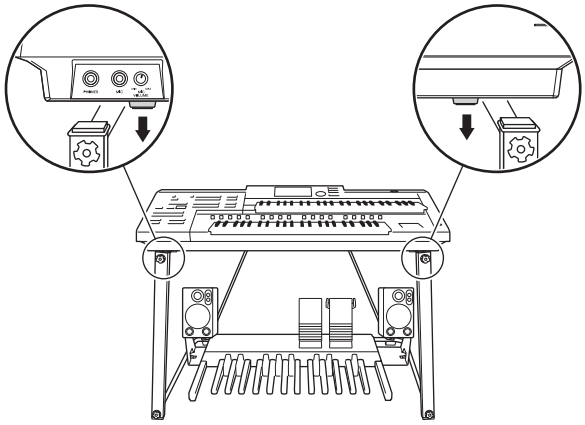
⚠ 注意

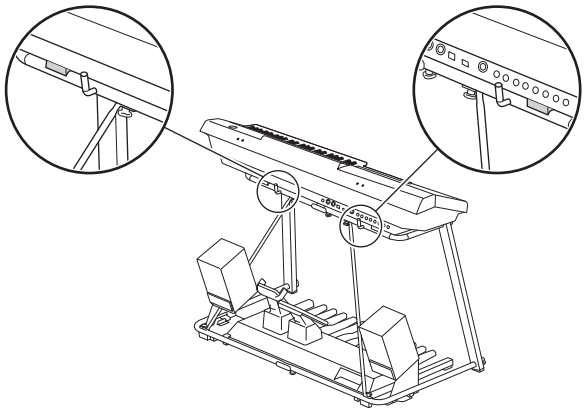
持ち運びの際は、鍵盤に手をかけないでください。故障の原因になることがあります。

メインユニットの取り付けと接続方法

1 メインユニットを取り付けます。

2人でメインユニットを持ち、背面とスタンドのストッパーに隙間ができないように真上から下ろします。メインユニット底面の左右の突起は、スタンドのフレームの内側にくるようにします。

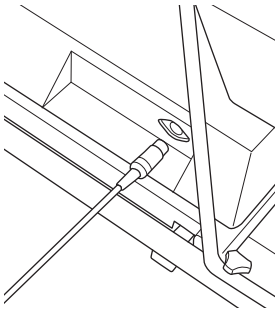


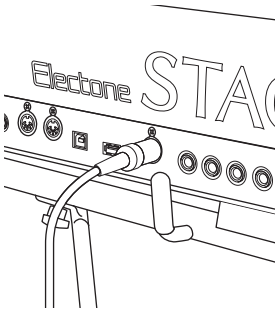


⚠ 注意

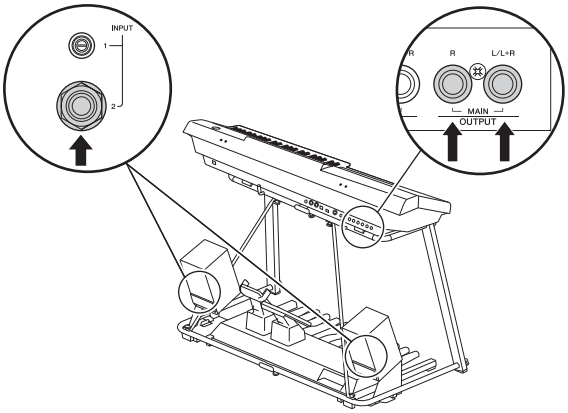
- **指や服をはさんだり、メインユニットを落としたりしないようご注意ください。**
- **鍵盤に手をかけないでください。故障の原因になることがあります。**

2 ペダルユニット背面の[TO MAIN]端子とメインユニット背面の[TO PEDAL]端子を、付属のコードで接続します。

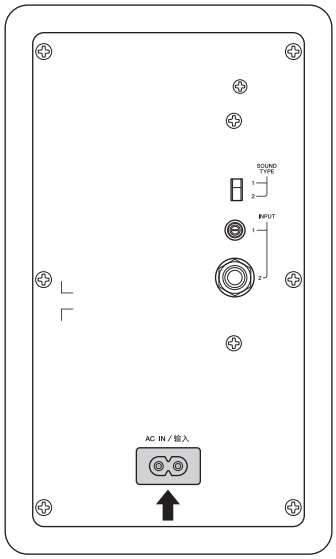




3 スピーカー背面のINPUT 2端子とメインユニット背面のOUTPUT端子を、付属のスピーカー用オーディオケーブルで接続します。



4 スピーカー背面のAC IN端子に付属のスピーカー用電源コードを接続します。



スピーカー背面

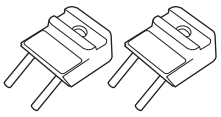
組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- **部品があまっていませんか？**
  →組み立て手順を再確認してください。
- **部屋のドアなどがエレクトーンにあたりませんか？**
  →エレクトーンを適切な位置に移動してください。
- **エレクトーンがゆれませんか？**
  →メインユニットをスタンドから降ろして、すべてのネジを確実に締め直してください。

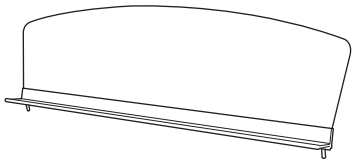
使用中にメインユニットがきしむ、横ゆれする、ぐらつくなどの症状が出たら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。

譜面板の取り付け

すべての部品がそろっていることを確認します。



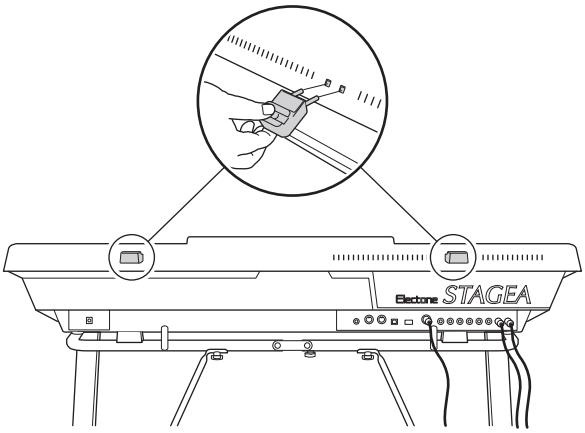
取付台×2



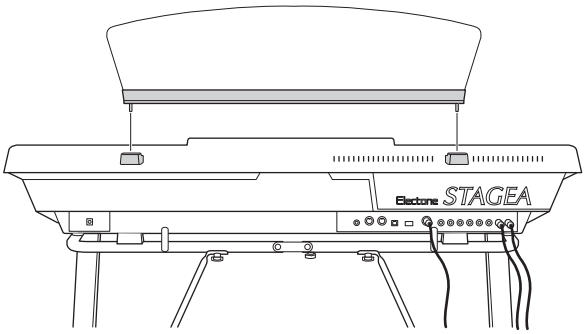
譜面板

1 譜面板の取付台2つを、メインユニットのリアパネルに取り付けます。

イラストのように背面の穴に差し込みます。



2 譜面板を、取付台に装着します。



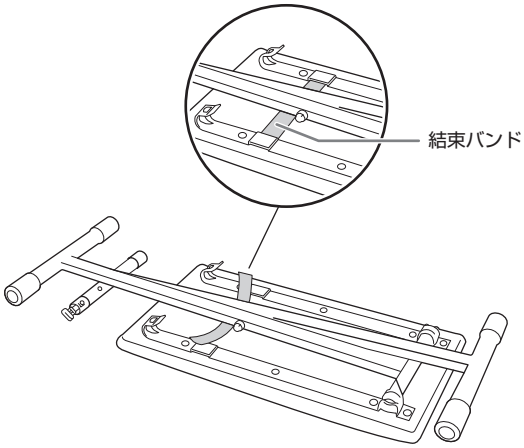
イスについて

⚠ 注意

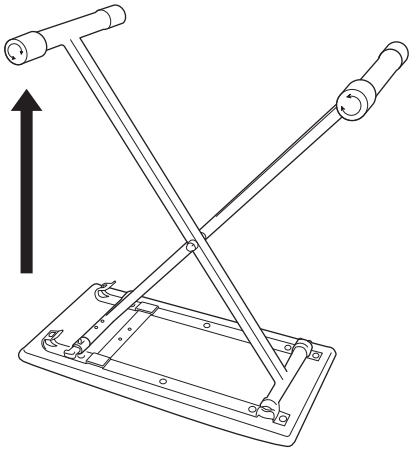
- **組み立て中に手をはさんだりしないよう、ご注意ください。**
- **傾斜地や不安定な場所に設置しないでください。イスが転倒して、お客様がけがをしたりする原因になります。**
- **安定感の良い4本脚の角形ピアノイスより安定感は良くありませんので、小さなお子様がご使用の場合は、十分ご注意ください。**

1 座面を下にして床に置きます。

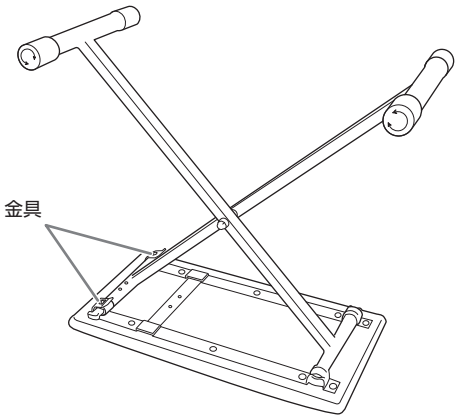
脚の結束バンドを外して、座面裏のポケットにバンドの端をしまいます。



2 脚をゆっくりと持ち上げます。

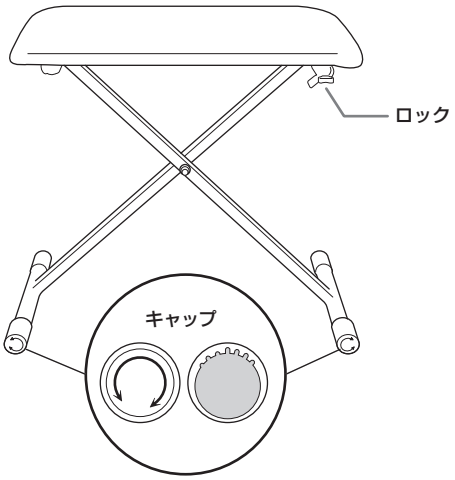


3 **脚を開いて金具にセットし、ロックされていることを確認してください。**



4 **イスを図のように起こします。**

ロックがついている方が後ろ側です。

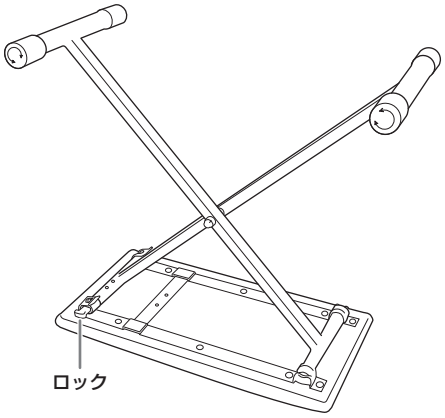


ロックが付いている側の2つのキャップが偏心していることにより、2つのキャップをそれぞれに回転させ、ガタツキを補正することができます。

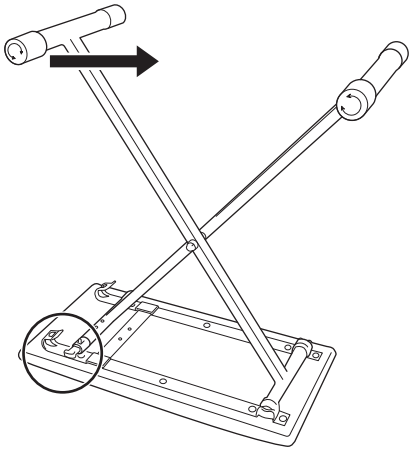
NOTE

回転させる際は外側に10mmほどキャップを抜いてから回すと回しやすくなります。回した後は、キャップを内側に戻してください。

5 **折りたたむときは、座面を下にして床に置きます。**



6 **ロックを下に下げて、ロックの無い側の脚を横に押し、脚を閉じながら金具から外します。**



7 **手順1～2の逆の手順でイスをたたみます。**

困ったときは

現象	原因と対処
エレクトーン全般	
[⏻]電源スイッチを押して電源を入れたとき、「ポツッ」などのノイズ音が発生する。	エレクトーンの通常の起動動作にともない、まれに発生する音のため、故障ではありません。
電源を入れて10秒程度待たないと音が出ない。	システムの起動に時間がかかるためです。故障ではありません。
時々ガリッとかポツンという雑音が入る。	近くで電気器具の電源をオン/オフしたり、電気ドリルなどを使用している場合は、雑音が入ることがあります。原因と思われる機器から、なるべく離れたコンセントを使ってください。
携帯電話や、ラジオ、テレビ、無線などの電波が入る。	エレクトーンの近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。エレクトーンの近くに携帯電話を置かないでください。
ラジオやテレビなどに雑音が入ることがある。	エレクトーンのすぐ近くにラジオやテレビを置くと、雑音が入ることがあります。できるかぎり離してご使用ください。
音が周囲のものを共鳴させてびりつく。	エレクトーンの音は持続音が多いため、周囲の戸棚やガラスなどの家具類を共鳴させることがあります。気になる場合は、家具類の配置を一工夫するか、エレクトーンの音量を小さくしてください。
LCDディスプレイ内に、点灯しない点や点灯したままの点がある。	TFTカラー液晶の特性です。故障ではありません。
ディスプレイセレクトのボタンの中で点灯しないものがある。	ボイスエディット、リズムプログラム、オルガンフルート、ロータリースピーカーのボタンを押すと点灯しますが、それ以外のボタンを押した場合は一時的に点灯するだけです。
ボリュームを最大にセットしても、音が小さすぎる。	• マスターボリュームもしくは外部/同梱スピーカーのボリュームが最小近くになっています。時計回りに回してください(15ページ)。 • エクスプレッションペダルが踏み込まれていません。ペダルを踏み込んでください(15ページ)。 • スピーカーと本体をつなぐケーブルが抜けています。正しく接続してください。 • スピーカーの電源がOFFになっています。常にONに設定してください。
ペダル鍵盤、エクスプレッションペダル、セカンドエクスプレッションペダルが反応しない。	ペダルユニットの接続コードが外れています。正しく接続してください。
コントロールパネルなどが正常に働かない。または、メモリーしていた情報が変わってしまう。	非常にまれなことですが、落雷などにより異常電圧が流れ、エレクトーンが正常に機能しなくなったり、メモリーしていた情報が変わったりすることがあります。このような場合は、いったん電源スイッチを切り、ENDING [1]ボタンを押しながら、電源スイッチをもう一度入れると初期化が実行されます。詳しくは25ページをご参照ください。

現象	原因と対処
ボイス/リズム	
選んだボイスによって、鍵盤位置による音量のばらつきがある。	一般に電子楽器は、音色を変えるという本質的な要素を持つため、音色による各鍵盤の音量のばらつきをなくすことは非常に困難です。エレクトーンはどのボイスでも演奏上問題のないように設計、調整されていますが、設置場所や聞く位置によって音量や音色が異なることがあります。
ペダル鍵盤ではピッチが高く、上/下鍵盤の高音部ではピッチが低く感じられる。	特にピアノと比較した場合に感じることです。ピアノでは倍音構成が複雑なため、高音と低音の調律は実音での調律ができず、倍音を聞いて調律しています。エレクトーンの場合は逆に実音で調律していますから、ピアノとエレクトーンでは、高音と低音の調律自体が本質的に違うわけです。
割れるような感じや、ノイズが入るような感じのするボイスがある。	おもに管楽器の音色で感じることです。これは実際の楽器音の特長を再現するため、意図的に組み込まれた音色効果です。ブラスの振動やブレスノイズなど、よりリアルな特徴をそなえた音色が得られます。
複数の鍵盤を押さえたとき、鳴らない音がある。	上鍵盤または下鍵盤では、上/下鍵盤合わせて最大14音まで同時に発音するようになっています。ペダルポリモードをオンにした場合は、上/下/ペダル鍵盤合わせて最大14音まで同時発音します。この同時発音数を超えて鍵盤を押さえた場合は、鳴らない音があります。
サステインをホールドにすると、前に弾いた音が消えてしまう。	サステインをホールドにすると、一度弾いた音がそのまま消えずに鳴り続けるため、同時に発音できるエレメント数を超えてしまうことがあります。この場合、前に弾いた音が消えます。
ペダル鍵盤またはリードボイスを同時に2音以上押さえても、1音しか発音しない。	通常、ペダル鍵盤では同時に1音しか発音しないようになっています。同時に2音以上押さえた場合は、高音が優先されます。なお、ポリモードをオンにすることによって、複音発音の状態に変更することができます(45ページ)。また、リードボイスは、常に1音しか発音しないようになっています。
ボリュームをセットしても、ペダル鍵盤のボイスが発音しない。	• オートベースコードのシングルフィンガーまたはフィンガードコードがセットされています。A.B.C./M.O.C.画面でA.B.C.モードをオフにしてください(67ページ)。 • ペダルボイスセクションの[TO LOWER▲] (トゥーロワー)ボタンが2つともオンになっています。[VOICE SECTION 2]ボタンで切り替えて、2つともボタンをオフにしてください(29ページ)。
ユーザーボタンでボイス/リズムメニューを選んでいるときに、画面上段のボイス/リズム名とその下のボイス/リズムメニューのカテゴリーが異なる。	画面上段には現在選択されているボイス/リズム名が表示されます。ほかのボイス/リズムを選択しなおすまで表示は変わりません。
アカンパニメントを選んでリズムをスタートさせたが、アカンパニメントが鳴らない。	• アカンパニメントのボリュームが0に設定されています。リズムコンディション画面でアカンパニメントのボリュームを上げてください(66ページ)。 • アカンパニメントのパートがすべてOFFになっています。ONに設定してください(66ページ)。
鍵盤を押さえるとリズム楽器の音が一緒に発音する。	キーボードパーカッションがオンになっています。キーボードパーカッションを使用しないときはオフにしてください(69ページ)。
リズムのユーザーボタンを押してユーザーリズムをスタートしたが、リズムが発音されない。	ユーザーリズムは、リズムパターンプログラムでつくったリズムを呼び出すセクションなので、最初はなにも入っていません。
エフェクト	
タッチコントロールがきかない。	ボイスコンディション画面でのタッチトーンのレベル設定が0になっています。ボイスコンディション画面を表示させ、タッチトーンのレベルを上げてください(44ページ)。
パネル左端のリバーブボリュームを上げたが、かけたいボイスセクションにリバーブがかからない。	かけたいボイスセクションのリバーブが0に設定されています。まず、リバーブ画面2～4ページでかけたいボイスセクションのリバーブボリュームを上げてください(48ページ)。
[ROTARY SP SPEED]ボタンを押したが、ロータリースピーカーの効果がかからない。	ロータリースピーカーの効果を得るためには、まず、ボイスコンディション画面の3～4ページ、または、オルガンフルートのアタック/ボリュームページで、エフェクトにロータリースピーカーを選択することが必要です(50ページ)。

現象	原因と対処
A.B.C./アカンパニメント/M.O.C.	
A.B.C.のシングルフィンガーで下鍵盤の高い方を押さえても、音程が変わらない。	シングルフィンガーでは定められた1オクターブの中の音が出るようになっています。同じコードまたは同じ音色であれば、下鍵盤のどの位置を押さえても同じ音程で和音が得られます。
イントロ/エンディングパターンが鳴っているとき、下鍵盤を弾いても発音しない。	イントロ/エンディングパターンの演奏中はアカンパニメントコードが自動的に選択演奏されるので、その他の音は発音しないようになっています。
アカンパニメントを選んでリズムをスタートさせたが、アカンパニメントが鳴らない。	・アカンパニメントのボリュームが0に設定されています。リズムコンディション画面でアカンパニメントのボリュームを上げてください(66ページ)。 ・アカンパニメントのパートがすべてOFFになっています。ONに設定してください(66ページ)。
メロディーオンコード(M.O.C.)によるハーモニーの音が発音しない。	上鍵盤でリードボイスだけが発音するようになっています。上鍵盤ボイスまたは、オルガンフルート音色をセットしてください。
ベースパターンが発音しない。	ベースがポリモードになっています。ボイスコンディション画面でポリをOFFにしてください(45ページ)。
レジストレーションメモリー	
レジストレーションメモリーに記録されない機能がある。	レジストレーションメモリーにはすべての設定が記録できるわけではありません。記録できない機能については96ページをご覧ください。
ボイスエディット	
[VOICE EDIT]ボタンを押したのに、画面にエディットのメニューが表示されない。	[VOICE EDIT]ボタンだけを押しても、ボイスエディットのメニューは表示されません。[VOICE EDIT]ボタンを押しながら、エディットしたいボイスボタンを押してください。
ボイスエディットを行なっているとき、鍵盤を押さえても指定した音色が発音しない。	・エレメントがオフになっているか、エレメントの出力レベルが0になっています。エレメントをオンにするか、出力レベルを上げてください。 ・ノートリミットで設定した音域以外の鍵盤を押しています。ノートリミットで設定した音域内の鍵盤を弾いてください。
エディットしたボイスに名前を付けるときに、途中でエラーメッセージが表示される。	ユーザーボイス名は最大16文字(スペースも含む)です。不要な文字やスペースを削除してみてください。
リズムプログラム	
リズムパターンプログラムを設定しているときに、新しく打楽器音を入力しようとしても発音しない。	メモリーがいっぱいになってしまうと、次に新しく入力しようとした打楽器音は発音されません。必要であれば、重要度の低い打楽器音を消去して入力してください(151ページ)。

現象	原因と対処
MDR	
エレクトーンがUSBフラッシュメモリーを認識しない。	接続したUSBフラッシュメモリーが動作確認済みであるかどうかを、ヤマハエレクトーンホームページでご確認ください。 http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/
録音/再生ができない。	• パート選択ボタンがOFFになっていると、そのパートは録音/再生されません。画面上で録音/再生したいパートのボタンを押してRECまたはPLAYにしてください。 • 演奏データの容量が大きすぎます。録音/再生できる演奏データの容量は1MBまでです。
演奏が終わる前に録音がストップしてしまった。	• USBフラッシュメモリーの空き容量が不足しています。別のUSBフラッシュメモリーを使用してください。 • すでに録音してあるソングに録音する場合、録音する曲の長さは前に録音した曲の長さになります。前に録音したソングを削除してから、録音しなおしてください(130ページ)。 • 演奏データの容量が大きすぎます。容量が1MBを超える演奏は録音できません。1MBを超えて録音したい場合は、曲の途中でソングを分けるなどしてください。
ソング名やフォルダー名をつけるときに、途中でエラーメッセージが表示される。	• ソング名/ファイル名が長すぎます。半角で50文字(全角で25文字)以下にしてください。 • ソング名/フォルダー名に使用できない名前があります。118ページをご覧ください。 • パス名(USB 01:/Folder1/Folder2/SONG1など)が長すぎます。階層を減らしたり、フォルダー /ソング名を短くしたりして、パス名が半角で234文字以下になるようにしてください(117ページ)。
録音開始時にリズムがスタートしなかったり、スタートさせたリズムがストップしてしまう。	録音開始時にリズムがスタートしている場合、リズムをストップさせる仕様になっています。リズムを使用する場合は、画面の時間表示が00:00に切り替わったあとでスタートさせてください(115ページ)。
再生されていたエレクトーンの音が鳴りっぱなしになった。	再生中にUSBフラッシュメモリーを取り出したためです。[■](停止)ボタンを押して再生をストップしてから、USBフラッシュメモリーを取り出してください。
ソングリストに表示されているソングが再生できない。	フォルダーコピー実行中にエラーメッセージが表示された場合、リスト内のソングが再生できない場合があります。
プロテクト編集ソングのデータを編集しようとすると、エラーメッセージが出る。	エレクトーン上に、別のプロテクトソングのレジストレーションが残っています。レジストレーションメモリーの初期化(99ページ)を実行したあとで、編集したいプロテクトソングを選んでください。
自分で作ったソングにプロテクトがかかってしまう。	エレクトーン上に、プロテクトソングのレジストレーションが残っています。レジストレーションメモリーの初期化(99ページ)を実行したあとで、レジストレーションの作成/保存や、演奏の録音をしてください。
オーディオ再生ができない。	データが表示されないときは、拡張子が正しいか確認してください。(.wav)
「データを正常に書き込めませんでした。」のメッセージ表示され、オーディオ録音が中断された。	録音や削除を繰り返し行なったUSBフラッシュメモリーをお使いの場合に、表示されます。USBフラッシュメモリーに必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットし(112ページ)、操作をし直してください。

仕様

品名			DIGITAL ORGAN
音源			AWM
鍵盤			上鍵盤: 49鍵(C～C)、下鍵盤: 49鍵(C～C)、ペダル鍵盤: 20鍵(C～G)
	鍵盤種		スタンダード鍵盤(FS鍵盤)
	イニシャルタッチ		上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤
	アフタータッチ		上鍵盤、下鍵盤
レジストレーション	レジストレーションメニュー		506
	レジストレーションメモリー		1ユニット　16×5 M.(メモリー)、1～16、D.(ディスエーブル)
	レジストレーションシフト		シフト、ジャンプ、ユーザー (1ユニット 400ステップ) ネクストユニット
音色	ボイスセクション数		上鍵盤ボイス: 2、リードボイス: 2、下鍵盤ボイス: 2、ペダルボイス: 2
	ボイスボタン	上/下鍵盤ボイス	STRINGS、BRASS、WOODWIND、TUTTI、PAD、SYNTH、PIANO、ORGAN、 PERCUSSION、GUITAR、CHOIR、WORLD、ユーザーボタン1、2
		リードボイス	VIOLIN、SYNTH、FLUTE、TRUMPET、ユーザーボタン1、 TO LOWER (リード1)、SOLO (リード2)
		ペダルボイス	CONTRABASS、ELEC. BASS、TIMPANI、SYNTH BASS、ユーザーボタン1、 TO LOWER
	全プリセットボイス数		AWM: 986
	ユーザーボイス数		1ユニット AWM: 80
	ボイスリンク		○
	オルガンフルート		[タイプ] サイン、ビンテージ、ユーロ [フッテージ] 16'、5 1/3'、8'、4'、2 2/3'、2'、1 3/5'、1 1/3'、1' [アタック] 4'、2 2/3'、2'、レングス、レスポンス [モード] ファースト、イーチ [ビブラート] デプス、スピード [エフェクト] XGロータリー SP、ロータリースピーカー 1、2、3、4、5、 2ウェイロータリー SP、デュアルローター 1、2、デュアルローター BRT、 デュアルローター WRM、ディスト+ロータリー、ドライブ+ロータリー、 アンプ+ロータリー、ディスト+2ロータリー、ドライブ+2ロータリー、 アンプ+2ロータリー、OFF
	ロータリースピーカースピードコントロール		2.69～39.7Hz、スロー、ストップ
効果	サステイン		上鍵盤1、2 (フットペダル)、下鍵盤1、2 (フットペダル)、ペダル鍵盤1、2
	リバーブ (ボイスセクション/リズム)	タイプ	ホール1、2、3、M、L、XGホール1、2、ルーム1、2、3、4、S、M、L、 XGルーム1、2、3、ステージ1、2、XGステージ1、2、プレート1、2、XGプレート、 GMプレート、ホワイトルーム、アトモスフィアホール、アコースティックルーム、 ドラムルーム、パーカッションルーム、トンネル、キャニオン、ベースメント
		レベル設定	上鍵盤1、2、下鍵盤1、2、リード1、2、ペダル鍵盤1、2、 パーカッション、アカンパニメント、キーボードパーカッション、 上鍵盤オルガンフルート、下鍵盤オルガンフルート
	ボイスセクションエフェクト		リバーブ、ディレイ、アーリー /カラオケ、コーラス、フランジャー、フェーザー、 トレモロ/オートパン、ロータリースピーカー、ディストーション、ディストーション+、 アンプシミュレーター、ワウ、ダイナミック、EQ/エンハンサー、ピッチチェンジ、 ミスレーニアス、スルー
リズム	リズムボタン		MARCH、WALTZ、SWING&JAZZ、POPS、R&B、LATIN、WORLD MUSIC、 BALLAD、ROCK、DANCE、ユーザーボタン1、2
	プリセットパターン数		634 (メトロノーム含む)
	パート		メインドラム、アドドラム
	セクション		INTRO1、2、3、ENDING1、2、3、MAIN/FILL A、B、C、D、BREAK、オートフィル
演奏補助機能	アカンパニメント		コード1、2、パッド、フレーズ1、2
	オートベースコード		OFF、シングルフィンガー、フィンガードコード、カスタムA.B.C.、 メモリー : 下鍵盤、ペダル鍵盤
	メロディーオンコード		OFF、1、2、3、フットペダル
プログラム機能	ボイスエディット		○
	リズムパターンプログラム		○
	リズムシーケンスプログラム		1ユニット　SEQ.1、2、3、4 (リズム、レジスト)
	キーボードパーカッションアサイン		1ユニット プリセット1、2、ユーザー 1～40 (パン、ピッチコース、ピッチファイン、リバーブ、ボリューム)

各種コントロール	**フットスイッチ**	**レフト**	[リズム] 停止、ブレイク、メインA、B、C、D、イントロ1、2、3、エンディング1、2、3 [グライド] 上鍵盤1、2、リード1、2、下鍵盤1、2、タイム設定 [ロータリースピーカー]
		ライト	レジストレーションシフト
	エクスプレッションペダル		○
	セカンドエクスプレッションペダル		ピッチベンド、テンポ
	フットペダル		サステイン(上鍵盤1、2、下鍵盤1、2)、M.O.C.、リードスライド、ソロ(リード2)
	トランスポーズ		-6～+6
	ピッチ		A=427.2～452.6Hz、初期状態A=440.0Hz
	MIDI設定		○
	メインコントロール	**メインユニット**	電源スイッチ、マスターボリューム
		スピーカー	電源スイッチ、ボリューム、サウンドタイプ1/2
	MDR		検索 [ソング] 停止、再生、一時停止、早戻し、早送り、録音、カスタムプレイ、譜面、 演奏設定(テンポ/パート)、ユニット編集 [ツール] フォルダー作成、名前変更、コピー、削除、 変換(XG変換/TO EL変換/FROM EL変換)、フォーマット、情報
	オーディオ録音/再生		[再生] 停止、再生、一時停止、早戻し、早送り、ボリューム、テンポ、ピッチ [録音] 停止、録音 [ツール] フォルダー作成、名前変更、コピー、削除、フォーマット、情報 対応フォーマット: .wav (サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo)
	ユーティリティー		言語(日本語/英語)、タッチパネル操作音、LCDブライトネス、 マイク(リバーブ/ボリューム)、ディスエーブルモード(ノーマル/テンポ)、初期化
	ディスプレイセレクト		VOICE DISPLAY、A.B.C./M.O.C.、MDR、FOOTSWITCH、UTILITY、AUDIO、 VOICE EDIT、RHYTHM PATTERN PROGRAM、RHYTHM SEQUENCE PROGRAM、U. ORGAN FLUTES、L. ORGAN FLUTES、ROTARY SP SPEED
機器仕様	**液晶ディスプレイ**		7.0型TFT- カラー ワイド VGA LCD 800 × 480ドット
	サウンド	**アンプ出力**	(20W + 15W) × 2
		スピーカー	([コーン型] 96mm、[ドーム型] 19mm) × 2
	ストレージ(外部記憶装置)		USBフラッシュメモリー
	端子	**メインユニット**	PHONES (フォーン)、MIC (フォーン)、MIC VOLUME、 OUTPUT L/L+R、R (フォーン)、 AUX OUT (LEVEL FIXED) MAIN L/L+R、R、SUB 1、2 (フォーン)、 AUX IN L/L+R、R (フォーン)、TO PEDAL、USB TO DEVICE×3、 USB TO HOST、MIDI IN/OUT、FOOT PEDAL (SUSTAIN)
		スピーカー	INPUT1 (RCA)、INPUT2 (フォーン)
	電源 **アダプター**	**メインユニット**	PA-300C
	消費電力 **(※定格電圧・周波数は100V/50/60Hz)**	**メインユニット**	28W (電源アダプター PA-300C使用時)
	寸法	**ELC-02**	幅 1185mm × 奥行き 652mm × 高さ 938mm (譜面板装着時 高さ1091mm)
	質量		45.8kg 46.8kg (譜面板装着時)
	寸法	**ELCU-M02 (メインユニット)**	幅 1149mm × 奥行き 425mm × 高さ 209mm (譜面板装着時 奥行き 519mm × 高さ 362mm)
	質量		17.0kg 18.0kg (譜面板装着時)
	寸法	**ペダルユニット**	幅 873mm × 奥行き 539mm × 高さ 310mm
	質量		13.0kg
	寸法	**スピーカー**	幅 144mm × 奥行き 191mm × 高さ 242mm 幅 167mm × 奥行き 243mm × 高さ 390mm (スピーカー固定金具装着時)
	質量		3.3kg × 2 4.9kg × 2 (スピーカー固定金具装着時)
	寸法	**スタンド**	幅 1185mm × 奥行き 652mm × 高さ 750mm
	質量		6.0kg
	寸法	**イス**	幅 637mm × 奥行き 324mm × 高さ 580mm
	質量		5.4kg

付属品

- 取扱説明書(本書)
- 取扱説明書(スピーカー用)
- 保証書
- ユーザー登録のご案内
- 譜面板
- 譜面板取付台×2
- 電源アダプター : PA-300C
- 電源コード(エレクトーン用)
- イス

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

エレクトーン用語辞典

ここでは、エレクトーンに特有の機能や、パネル上または画面上に出てくる難しい用語について掲載します。
電子楽器全般に関する基本的な用語、ボイスエディットやエフェクトに関する各パラメーターの意味などは、インターネット上の下記ページにも掲載してありますので、参考にしてください。

■ エレクトーン用語検索<http://jp.yamaha.com/electone/>

(URLやページタイトルは、予告なく変更される場合があります。)

用語		解説	ページ
ア	アーティキュレーション	音の強弱や高さなどにメリハリをつけて演奏に表現をつける効果のこと。	46
	アカンパニメント	リズムと連動して、多彩な装飾音を施した自動伴奏が得られる機能。コード1、コード2、パッド、フレーズ1、フレーズ2のパートで構成される。	66
	アサイン	キーボードパーカッションで打楽器音を鍵盤に割り当てること。(アサイン=割り当て)	82
	アセンブリー	リズムパターンプログラムでユーザーリズムをつくる際に、既存のリズムの中から好きなセクションやパートを組み合わせてオリジナルのパターンをつくる方法。	148
	アフタータッチ	鍵盤を押さえたあとでさらに押さえつける演奏法。音量や音色、ピッチを変化させることができる。	44、44
イ	イニシャルタッチ	鍵盤を弾くときの強さ。このタッチの強弱で、音量を変化させることができる。	44
	イントロ	曲の前奏部分。また、前奏に適したリズムパターン。	58
ウ	上鍵盤ボイス	上鍵盤で発音させることのできる楽器音色。	26
エ	エクスプレッションペダル	演奏中に楽器の音量をコントロールするためのペダル。	181
	エフェクト	音色を変化させる効果。	43
	エレメント	AWM音色を構成するデジタル波形。各ボイスは、最大8つのエレメントで構成される。	139
	演奏データ	USBフラッシュメモリーに記録した演奏のこと。	115
	エンディング	曲の終止部分。また、終止に適したリズムパターン。	58
オ	オートフィル	リズムのセクションが切り替わるたびに、自動的にフィルインを入れる機能。	59
	オートベースコード(A.B.C.)	下鍵盤の演奏からベースの伴奏が自動的に得られる機能。	67
	オルガンフルート	9種類のフルートフッテージと3種類のアタックフッテージを組み合わせてオルガンサウンドをつくる機能。	40
カ	カスタム(プレイ)	USBフラッシュメモリー内のソングを再生するときに、レジストレーションデータを読み込まずに演奏データだけを再生するためのボタン。	123
	カスタムA.B.C.	オートベースコードのモードの1つ。下鍵盤で押さえた和音とペダル鍵盤で押さえた音を検出し、自動的に伴奏をつける。	68
キ	キーボードパーカッション	各キーに打楽器音を割り当てておき、鍵盤を弾くことで打楽器演奏ができる機能。	69
ク	グライド	ボイスの音程を一時的に半音下げ、徐々にもとの音程に戻す効果。左フットスイッチで操作する。	178
コ	コントロールデータ	USBフラッシュメモリーに保存するデータのうち、パネル操作やフットスイッチの操作など、鍵盤演奏以外の情報こと。	116
サ	サステイン	鍵盤から手や足をはなしたあと、音に余韻を与える効果。	49
シ	シーケンス	リズムパターンやレジストレーションの順番をあらかじめプログラムしておく機能。 →リズムシーケンス、レジストレーションシーケンス	171、173
	下鍵盤ボイス	下鍵盤で発音させることのできる楽器音色。	27
	シングルフィンガー	オートベースコードのモードの1つ。下鍵盤で1～3つのキーを押さえただけで、和音を検出し、自動的に伴奏をつける。	67
	シンクロスタート	下鍵盤またはペダル鍵盤の演奏と同時にリズムをスタートさせるリズム再生の方法。	58
ス	スライド	リードスライドともいう。リードボイスの音程をなめらかに移動させる効果を持つ。	46、180
	スーパーアーティキュレーションボイス	自然なアコースティック楽器の音を再現するため、鍵盤の弾き方や左フットスイッチの操作に応じて繊細な表情が付加されるボイス。	39

用語		解説	ページ
セ	セカンドエクスプレッション	ピッチベンドやテンポをコントロールするためのペダル。	181
	セクション	リズムパターンのバリエーションのこと。イントロ、エンディング、メイン、フィルイン、ブレイクなどに分かれている。	58
ソ	ソロ機能	リードボイス2の音だけを上鍵盤で演奏することのできる機能。フットペダル(別売)で操作する。	29
	ソング	MDRに保存する1曲分のデータ。	110
タ	タッチトーン	鍵盤を押す力や押さえ続ける力によって、音量や音色を変化させる機能。イニシャルタッチとアフタータッチがある。	44
	タッチビブラート	鍵盤を押さえる強さによってビブラートをコントロールする機能。	46
チ	チューン	ボイスセクションごとに、ボイスのピッチを変更する機能。各ボイスセクションのチューンをずらしておくことで、演奏に厚みを持たせることができる。	47
テ	ディスプレイセレクト	LCDディスプレイの右側にある12個のボタン群。	14
	データコントロールダイアル	画面に表示される数値やスライダーなどを操作するためのダイアル。	17
ト	トゥーロワー	リードボイスやペダルボイスを、下鍵盤で演奏できる機能。	29
	トランスポーズ	移調の設定。ボイスセクションごとでも楽器全体でも変更できる。	47、183
ネ	ネクストユニット	1つのソング内に複数のレジストレーションデータを保存した場合に、レジストレーションシーケンスまたはフットスイッチ操作でそれらを次々に読み込む機能。	101、174
ハ	パート再生/録音	MDR機能で演奏データを録音する場合に、鍵盤ごとに録音や再生を行なうこと。リードボイスだけ、キーボードパーカッションだけを別に録音することもできる。	116、123
	バー /ビート	小節数/拍のこと。	60
	バンク	レジストレーションメモリーのナンバーボタン1～16に記録された16個のレジストレーションのまとまり。本体には最大5バンク(A～E)まで記録できる。	96
	パンチイン録音	MDR機能で録音した演奏の一部分だけを再録音する録音方法。	117
ヒ	ピッチ	音の高さのこと。アフタータッチなどを利用して、演奏中にリアルタイムで変更することもできる。	44、47、183
	ピッチベンド	音の高さを連続的に変化させる効果。セカンドエクスプレッションペダルでコントロールする。	181
	ビブラート	音をふるわせ、音色にうるおいを持たせる効果。	45
フ	フィート	ボイスのオクターブを表す単位。パイプオルガンのパイプの長さに由来している。数字が大きくなるほど音程は低くなる。	44
	フィルイン	リズムのバリエーションとして、リズムにアクセントをつけたパターン。	58
	フィンガードコード	オートベースコードのモードの1つ。下鍵盤で押さえた和音をもとに、自動的にベース音と伴奏をつける。	67
	フッテージレバー	オルガンフルート音色で、どの高さの音をどれくらいのレベルで出すかを決めるレバー。	42
	フットスイッチ(レフト: 左)	エクスプレッションペダルの左についているスイッチのこと。リズム、グライド、ロータリースピーカーをコントロールする。	177
	フットスイッチ(ライト: 右)	エクスプレッションペダルの右についているスイッチのこと。レジストレーションシフトをコントロールする。	100
	プライオリティー	リードボイス2で上鍵盤を2音以上押さえたとき、あとから弾いた音だけを鳴らすか、高い方の音だけを鳴らすか設定する機能。	45
	ブリリアンス	音色を明るくしたり暗くしたりする効果。	45
	ブレイク	リズムのバリエーションとして、一瞬の空白を入れることで、リズムに変化を持たせるパターン。	58
	プロテクトソング	市販データの著作権を保護する(=プロテクト)ため、コピーや編集などの操作に制限がかかっているソング。	121
ヘ	ペダルボイス	ペダル鍵盤で発音させることのできる楽器音色。	27

用語		解説	ページ
ホ	ボイス	各鍵盤で鳴らすことのできる楽器音色。	26
	ボイスエディット	ボイスを編集すること。音量や音色を変更して、ユーザーボイスをつくることができる。	139
	ボイスコンディション	ボイスの発音状態(=コンディション)を設定する画面の名称。ボイスボタンを2回押すと表示される。	28
	ボイスセクション	ボイスを選ぶときに使用するひとかたまりのボタン群。ボイスボタンとユーザーボタン、VOLUMEボタンで構成される。	26
	ボイスディスプレイ	現在選ばれているボイスやリズムなどの状態を表示する画面。	19
	ボイスメニュー	ボイスボタンを押したときに表示される画面。	28
	ボイスリンク	ボイスコンディション画面の設定(ボリュームとブリリアンスを除く)を含めた音色を、1つのボイスとして登録できる機能。	44、51
	ポリ	複音のこと。ペダル鍵盤で和音が弾けるモード。	45
ミ	ミュージックデータレコーダー(MDR)	USBフラッシュメモリーに演奏やレジストレーションなどのデータを録音できる機能。	107
メ	メイン	基本のリズムパターンのセクション。	58
	メロディーオンコード(M.O.C.)	上鍵盤で演奏している音に、下鍵盤の演奏情報にもとづいて自動的にハーモニーをつける機能。	68
ユ	ユーザービブラート	ビブラートの速さや深さなどの設定を変更できる機能。	45
	ユーザーボイス	ボイスエディットで作成したオリジナルのボイス。	144
	ユーザーボタン	各ボイスセクションのボイスボタンや、リズムボタンの右端にある、数字の書いてあるボタン。ユーザーボイスやユーザーリズムを選ぶときに使うだけでなく、全カテゴリーのボイス/リズムを選ぶことができる。	30、61
	ユーザーリズム	リズムパターンプログラムで作成したオリジナルのリズムパターン。	160
	ユニット	本体に記録されたレジストレーション(16×最大5バンク)やユーザー音色、ユーザーリズム、シーケンス、KBPアサインキットセットアップなどをまとめて、ソングに保存したデータ。	98
リ	リズムコンディション	リズムの発音状態(=コンディション)を設定する画面の名称。リズムボタンを2度押すと表示される。	60
	リズムシーケンスプログラム	リズムパターンを1小節ずつ並べて、1曲分のリズムデータをプログラムする機能。	171
	リズムパターンプログラム	打楽器音を入力することで、リズムパターンを作成する機能。内蔵されているリズムを編集してオリジナルのパターンをつくることもできる。	145
	リズムメニュー	リズムボタンを押したときに表示される画面。	57
	リードボイス	上鍵盤で演奏できるリードパート用のボイスセクション。単音で発音する。	26
	リバーブ	音に残響をつけ、広いホールなどで演奏しているような響きを与えるエフェクト。	47
レ	レジストレーション	上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤のボイスや、エフェクト、リズム、アカンパニメントなどの設定情報のこと。	96
	レジストレーションシーケンス	リズムと同期して自動的にレジストレーションを切り替える機能。どのタイミングでレジストレーションを切り替えるかは、あらかじめ設定しておく。	173
	レジストレーションシフト	フットスイッチ(ライト)を使って、記録してあるレジストレーションを順番に呼び出す機能。呼び出す順番はあらかじめ設定しておくことができる。	100
	レジストレーションデータ	USBフラッシュメモリーに保存したレジストレーションのこと。	119
	レジストレーションメニュー	エレクトーンに内蔵されているレジストレーションのセット。ジャンルごとに分類されていて、REGISTRATION MENU [1]～[5]のボタンで呼び出す。	21
	レジストレーションメモリー	レジストレーションを記録しておく機能。また、記録したレジストレーションを呼び出すボタン。	96
ロ	ロータリースピーカー	音に回転感(トレモロ効果)を持たせるエフェクト。	50
	ロワーリズミック	リズムパターンプログラムで作成できるバッキングパターン。	155

索引

A
A.B.C./M.O.C. 67, 68
AEM 9
AWM (ボイスエディット) 141
AWM音源 39

B
BAR/BEAT 60

D
[D.](ディスエーブル) 97
DATA CONTROL 14
DISPLAY SELECT 14

E
ENDING 58
EQ (イコライザー) 141
EQ/エンハンサー (エフェクト) 56

F
FOOT SWITCH 100, 177
FROM EL変換 132

I
INTRO 58

K
KEYBOARD PERCUSSION 69

L
L. ORGAN FLUTES 40
LCDディスプレイ 14
LCDブライトネス 18
LEAD VOICE 12
LFO (ローフリケンシーオシレーター) 143
LOWER KEYBOARD VOICE 12

M
[M.](メモリー) 96
M.O.C. 68
MAIN/FILL IN 58
MASTER VOLUME 15
MDR 107
MIDI 192
MIDIアウトフィルター 192
MIDIコントロール 192

P
PATTERN 145
PEDAL VOICE 12

R
REGISTRATION MENU 21
REVERB 47
RHYTHM 57
RHYTHM PROGRAM 145
ROTARY SP SPEED 50

S
SEQUENCE 171
SOLO 29
START 58
SUSTAIN 49
SYNCHRO START 58

T
TEMPO 60
TO EL変換 131
TO LOWER 29

U
U. ORGAN FLUTES 40
UPPER KEYBOARD VOICE 12
USB TO DEVICE 111
USB TO HOST 191
USBフラッシュメモリー 111
UTILITY 18

V
VOICE DISPLAY 19
VOICE EDIT 140
VOLUME (ボイス) 28
VOLUME (リズム) 60

X
XG 9
XG変換 130

ア
アーティキュレーション 46
アーリー /カラオケ 55
アカンパニメント 66
アクセントボタン 151
アサイン(キーボードパーカッション) 82
アセンブリー 148
アタック(オルガンフルート) 40
アタックレート(ボイスエディット) 142
アドドラム 66
アフタータッチ(タッチトーン) 44
アフタータッチ(ピッチ) 44
アンプシミュレーター 56

イ
イーチ(オルガンフルート) 40
一時停止 124
移調 183
イニシャルタッチ 44
インターナル 192
イントロ 58

ウ
上鍵盤ボイス 26

エ
エクスターナル 192
エクスプレッションペダル 15
エフェクト 46
エフェクトカテゴリー (ボイス) 46
エフェクトタイプ(オルガンフルート) 41
エフェクトタイプ(ボイス) 46
エフェクトパラメーター 47
エフェクトリスト 55
エレメント 139
エンディング 58

オ
オーディオ 133
オーディオ録音 133
オートフィル 59
オートベースコード 67
オルガンフルート 40
音声ガイド 19

カ
カスタムA.B.C. 68
カットオフフリケンシー 142

キ
キーボードパーカッション 69
キーボードパーカッションリスト 71
キットアサインリスト 86
キットリスト(リズムプログラム) 163

ク
クオンタイズ 154
グライド 178

ケ
ゲートタイム 156
言語/LANGUAGE 18

コ
コード1 66
コード2 66
コーラス(エフェクト) 55
コーラス(リズムパターンプログラム) 158

サ
再生 123
削除 130
サステイン 49

シ
下鍵盤ボイス 27
自動伴奏(アカンパニメント) 66
自動伴奏(オートベースコード) 67
シフト(レジストレーションシフト) 100
シフトエンド 101
ジャンプ 100
仕様 211
初期化 25
初期化(MDR) 112
初期化(レジストレーションメモリー) 99
シングルフィンガー 67
シンクロスタート 58

ス
スーパーアーティキュレーションボイス 39
スタート 58
スタイルファイルフォーマット 162
スタンド 200
ステップ入力 149, 150
ストップ(シフトエンド) 101
ストップ(ロータリースピーカー) 50
スピーカー 15, 201
スピード(ビブラート) 45
スピード(ロータリースピーカー) 50
スライド 46
スルー (エフェクト) 56
スロー (ロータリースピーカー) 50

セ
セカンドエクスプレッションペダル 181
セクション 58

ソ
送信チャンネル(MIDI) 192
ソロ 29
ソング 110, 113
ソングコピー 127
ソング名変更 117

タ
ダイナミック 56
タイム(スライド) 46
打楽器(キーボードパーカッション) 69
タッチトーン 44
タッチパネル操作音 18
タッチビブラート 46

チ
チューン(ボイスセクション) 47
チューンファイン(ボイスエディット) 142

テ
データコントロールダイアル 14
ディスエーブルボタン 97
ディスエーブルモード 98
ディストーション 55
ディストーション+ 56
ディスプレイセレクト 14
ディレイ(エフェクト) 55
ディレイ(ビブラート) 45
デプス(ビブラート) 45
デプス(リバーブ) 47
電源スイッチ 15
テンポ(MDR) 124
テンポ(リズム) 60
テンポ初期設定 61

ト
トゥーロワー 29
トップ(シフトエンド) 101
トップ(リードボイス) 45
トランスポーズ 183
トランスポーズ(ボイスセクション) 47
トレモロ(ロータリースピーカー) 50
トレモロ/オートパン 55

ナ
ナンバーボタン(レジストレーションメモリー) 96

ネ
ネクストユニット 120

ノ
ノートリミット 142

ハ
バー /ビート 60
バージョン 25
パート(リズム) 66
パート録音 116
ハーモニー (メロディーオンコード) 68
パッド 66
早送り 124
早戻し 124
パラメーターの一括変更 103
バリエーション(リズムパターンプログラム) 159
パン(ボイス) 44
パン(ボイスエディット) 142
バンク 96, 99
パンチイン録音 117

ヒ
ピッチ 183
ピッチ(ボイス) 44
ピッチチェンジ 56
ピッチベンド 181
ビブラート 45
ビブラート(オルガンフルート) 41

フ
ファースト(オルガンフルート) 40
ファイル 110
フィート 44
フィルイン 58
フィルター 142
フィンガードコード 67
フェーザー 55
フォーマット(MDR) 112
フォルダー 110
付属端子 185
フッテージ 40
フットスイッチ 177
フットペダル 179
譜面表示 126
プライオリティー 45
フランジャー 55
プリセット(ビブラート) 45
プリセットキーボードパーカッション 69
ブリリアンス 45
フレーズ1 66
フレーズ2 66
ブレイク 58
プロテクトソング 121

ヘ
ペダルボイス 27
ペダルポリモード 45
ペダルユニット 202
ヘッドフォン 187

ホ
ボイス 26
ボイスエディット 139
ボイスコンディション 28, 44
ボイスセクション 26
ボイスディスプレイ 19
ボイスボタン 27
ボイスメニュー 27
ボイスリスト 31
ボイスリンク 44, 51
ポリ 45
ボリューム(アカンパニメント) 66
ボリューム(オルガンフルート) 41
ボリューム(キーボードパーカッション) 70
ボリューム(ボイス) 28
ボリューム(マイク) 189
ボリューム(リズム) 60
ボリューム(リズムパターンプログラム) 158

ミ
ミスレーニアス 56
ミュージックデータレコーダー 107

ム
無線LAN接続 193

メ
メイン 58
メインドラム 66
メトロノーム 148
メモリー (A.B.C.) 68
メロディーオンコード 68

モ
モード(オルガンフルート) 40
モード(ロータリースピーカー) 50

ユ
ユーザー (ビブラート) 45
ユーザー (レジストレーションシフト) 100
ユーザーキーボードパーカッション 82
ユーザーボイス 144
ユーザーボタン(ボイス) 30
ユーザーボタン(リズム) 61
ユーザーリズム 160
ユーティリティー 18
ユニット 99
ユニット編集(MDR) 119

ラ
ラスト(リードボイス) 45

リ
リードスライド 46
リード分離 116
リードボイス 26
リアルタイム入力 149, 154
リズム 57
リズムクロック(リズムパターンプログラム) 151
リズムコンディション 59
リズムシーケンスプログラム 171
リズムパターンプログラム 145
リズムプログラム 145
リズムボタン 57
リズムメニュー 57
リズムリスト 62
リバーブ 47
リバーブ(マイク) 189
リバーブ(リズムパターンプログラム) 158
リピート 125
リリースレート(ボイスエディット) 142

レ
レイヤー (ボイスエディット) 141
レジストセクションコピー 105
レジストレーションシーケンス 173
レジストレーションシフト 100
レジストレーションメニュー 21
レジストレーションメニューリスト 22
レジストレーションメモリー 96
レスポンス(オルガンフルート) 40
レゾナンス 142
レベル(ボイスエディット) 142

ロ
ロータリースピーカー 50, 55
録音(MDR) 115
録音(オーディオ) 133
ロワーリズミック 155

ワ
ワウ 56

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。
下記の内容は、上記ライセンス条件にもとづき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

WPA Supplicant

Copyright © 2003-2009, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This program is dual-licensed under both the GPL version 2 and BSD license. Either license may be used at your option.

License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

XySSL

Copyright © 2006-2008, Christophe Devine.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of XySSL nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例
ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)
ナビダイヤル® 0570-012-808
※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL **053-460-4830** へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

FAX 東日本（北海道/東北/関東/甲信越/東海）
03-5762-2125
西日本（北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄）
06-6649-9340

◆修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）
* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006
東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011
大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセイビル 7F
FAX 06-6649-9340

*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

◆エレクトーンの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへ
お問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター
エレクトーン・D-DECKご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-005-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL **053-460-4836**へおかけください。

受付: 月曜日～金曜日 10:00～17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

http://jp.yamaha.com/support/

◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社ホームページ
http://jp.yamaha.com/

ヤマハエレクトーンホームページ
http://jp.yamaha.com/electone/

ヤマハ ダウンロード
http://download.yamaha.com/jp/

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、
あらかじめご了承ください。

Manual Development Group

© 2016 Yamaha Corporation

2017年5月 改訂 MWTO-C0
Printed in Japan

ZY80640

ZY80640